第7.2.(5)「異動」処理

27.氏の変更届

27

標準仕様書修正履歴

平成１０年２月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).27 （氏の変更届）	1．システム処理の概要説明 （1）その他の追加 ・配偶者の９条２項ファイルに生年月日は設定されない。９条２項通知は運用にて対処する。 2．審査 （1）非本籍地で届出人が後見人の場合に確認メッセージを表示するように審査を追加 （2）中間ファイル編集（届書）修正 ・指示日、許可日の編集を削除 3．入力確認 （1）中間ファイル編集（仮受付） ・筆頭者項目及び編集条件を追加 （2）更正者の身分事項（変動なし）の編集 ・更正事項、更正事由の編集条件修正 父・養母 → 父及び養母 母・養父 → 養父及び母 （3）中間ファイル編集（筆頭者：９条２項） ・受理日編集条件修正 （4）中間ファイル編集（配偶者：９条２項） ・受理日編集条件修正 （5）中間ファイル編集（他の構成員：９条２項） ・受理日編集条件修正	001 018,019 020 033 036 037 039 041	

70002

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第 7. 2. (5). 27 （氏の変更届）	公職選挙法改正によるシステムの対応（サンプル提示） １．入力確認 （１）システム環境仕様書 ・詳細フロー及び使用ＤＢ・ファイル一覧に入力ファイルとして附票データベース、出力ファイルとして中間ファイル（３０条の１２第１項）を追加 ・処理概要、機能体系に中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集に関する記述を追加 （２）本紙の処理内容 ・筆頭者、配偶者、その他の構成員が在外選挙人の場合の中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集・出力処理の追加 妻証書提出 （３）中間ファイル編集（３０条の１２第１項） ・筆頭者、配偶者、その他の構成員に関して新規追加	０２４ ０２４ ０２５ ０２６ ０４３ ０４４ ０４５	

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).27 (氏の変更届)	1.審査 (1)システム処理の概要説明 ・氏の変更業務処理範囲外の処理に無意味な記載があるため削除 (2)システム環境仕様書 ・未成年者の年齢計算の基準日を受領日とする 2.入力確認 (1)中間ファイル編集(更正者の身分事項) ・更正事項の編集処理の修正 XXの氏 → XXの氏名 (例:養父母の氏名)	001 002 036	

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).27 (氏の変更届)	1.審査 1.1 システム処理の概要説明 ・氏の変更業務処理範囲外の処理に追加 事件本人の成年後見人から届出がされた場合 1.2 単体チェック ・項番28, 30:「030:後見人」を「110:未成年後見人」に修正 (成年後見人は一律審査結果入力処理で実施するため) 1.3 関連チェック ・項番37, 38:届出人資格と届出人氏名のチェック修正 届出人資格が「110:未成年後見人」の場合に当該資格に対応する氏名は入力要 かつ 他方の資格・氏名は入力不可 1.4 審査 (1)審査3.1 ・届出人資格による処理の分岐 項番(1)(2):「030:後見人」→「110:未成年後見人」に修正 ・戸籍法32条第2項が廃止されることによる審査の削除 項番(3)～(5), (7)(8)削除 項番(17)～(19), (21)(22)削除 ・15歳以上の場合の届出人資格チェック内容修正 後見人有無チェックを実施していた個所を確認メッセージに修正 確認メッセージ「事件本人は15歳以上です。 法定代理人の届出でよろしいですか。」(新規) (2)審査3.2 ・届出人資格による処理の分岐 項番(1)(2):「030:後見人」を削除 (この場合の後見人は未成年者の後見人ではないため) ・戸籍法32条第2項が廃止されることによる審査の削除 項番(3)～(5), (7)(8)削除 項番(17)～(19), (21)(22)削除 ・届出人資格が「030:後見人」の場合の審査の削除 (この場合の後見人は未成年者の後見人ではないため) (3)審査3.3 ・戸籍法32条第2項が廃止されることによる審査の削除 項番(12)～(19)削除 項番(11)(11－1)審査3.0に制御を渡すよう修正 (4)審査3.4 ・届出人資格による処理の分岐 項番(1)(2):「030:後見人」→「110:未成年後見人」に修正 ・後見事項有無審査を未成年後見事項有無審査に修正	001 005 008 013, 014 013 013, 014 015, 016 015 015, 016 017 018, 019 018, 019	

標準仕様書修正履歴

平成１２年３月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 27 (氏の変更届)	(4)審査3. 4 ・未成年後見事項が存在しない場合のメッセージ修正 項番(9)(33)修正 エラーメッセージ「事件本人に未成年後見事項がありません。 未成年後見人は届出人にはなれません。」(新規) ・非本籍人の場合の未成年後見事項有無審査削除 項番(11)(35)削除 2. 入力確認 2. 1 戸籍事項(変動なし)編集 4. 1 (1)届出人資格編集の修正 「030:後見人」→「110:未成年後見人」に修正 (2)届出人氏名編集の修正 「030:後見人」→「110:未成年後見人」に修正	018, 019 035 035	

標準仕様書修正履歴

平成15年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).27 (107の1項届)	1.住所・世帯主関連チェック (1)2.0関連チェック No.19−1に住所・世帯主の関連チェックを追加	007	

標準仕様書修正履歴

平成16年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).27 (107の1項届)	1.9条2項通知判定チェック 備考欄に「除籍者に対する9条2項通知の作成は不要である」と記載する。	025	

標準仕様書修正履歴

平成17年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 27 (氏の変更届)	1. 確認 (1) 中間ファイル編集(仮受付) 「事件本人区分」「カナ氏名」「漢字氏名」「生年月日」備考欄の表現を、転籍届と同様の表現にした。	033	

標準仕様書修正履歴

平成19年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．27 (氏の変更届)	1．要件定義ワークシート (1)3.0審査 受理日と送付日が同一の場合の審査を追加。	010	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

平 成 22年 3 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．27 (氏の変更届)	1．システム処理の概要説明書 婚姻中の筆頭者が国籍喪失となっている戸籍の処理について 審査結果入力処理での対応とするため、 範囲外処理として、システム処理の概要説明書に追記	 001	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．27 (氏の変更届)	1.標準仕様書修正(氏変30) 届出人資格・氏名の編集内容欄に、親権者養父母を選択した場合は、 届出人資格を養父・養母で分け、入力された届出人氏名を移送する旨を追記	035	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

平成23年9月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).27 (氏の変更届)	民法改正によるシステムの対応 1.システム処理の概要説明 範囲外処理に”複数の未成年後見人から届出がされた 場合”を追加	001	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

平 成 29年 3 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．27 (氏の変更届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．関連チェック (氏変37) No.10のチェックを変更 処理日の入力について受領日と同一日付の場合エラーとする No.11のチェックを変更 処理日の入力について審判確定日と同一日付の場合エラーとする 2．審査 (氏変36) (3)の条件修正 年齢判定の書き方修正	 007 007 010	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

平 成 30年 3 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．27 (氏の変更届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．関連チェック (氏変39) No.16のチェックを削除 (筆頭者の住所と世帯主はNo.19-1、19-2でチェックを 実施するため) No.19-2,23-2,41⑩のチェックを追加 関連チェックにおいて、住所と世帯主のチェックに、 「住所＝スペースの時、世帯主＝スペースであること」を追加 No.20,23のチェックを修正 (配偶者の住所と世帯主はNo.23-1、23-2でチェックを 実施するため) No.23-1,41⑨のチェックを追加 関連チェックにおいて、住所と世帯主のチェックに、 「世帯主≠スペースの時、住所≠スペースであること」を追加 2．審査 (氏変38) 審査(0-1)のNOの分岐先に誤記があるため修正 審査(0-2)のYES,NO応答後の処理内容が逆になっているため修正 誤記を修正(本誌→本紙)	007～009 010 011 012	

第 2 3 (1)	システム処理の概要説明書	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日 付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成23年　9月　30日	14.1	1／1

1. 氏の変更業務処理範囲外の処理

(1)異籍の子の(養)父母欄の更正処理

(2)事件本人の成年後見人から届出がされた場合

(3)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

(4)複数の未成年後見人から届出がされた場合

2. 氏の変更届入力画面の意義

(1)その1画面:氏の変更を行う当事者(筆頭者及び配偶者)の各項目を入力する。

(2)その2画面:上記以外の構成員の各項目を入力する。

3. その他

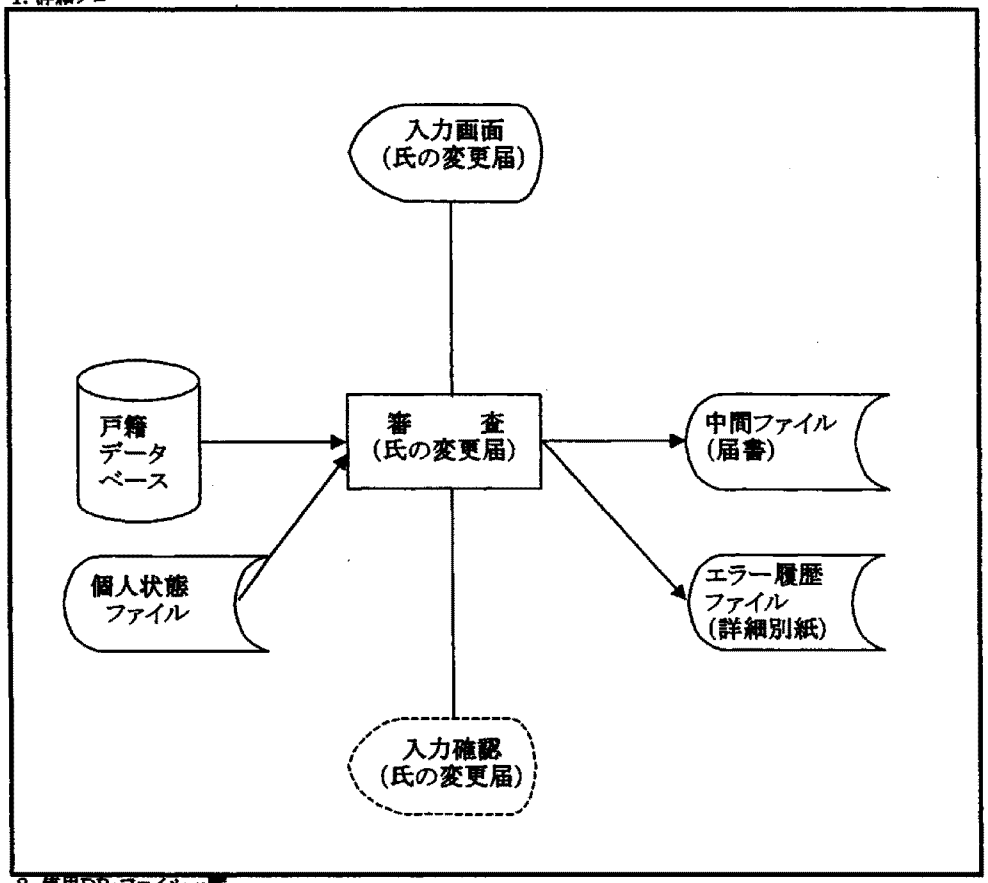
(1)除籍になっている者の氏名DB中の漢字氏名の氏(カナ氏名も含む)も変更後の氏に変更する。

(2)配偶者の9条2項ファイルに生年月日は設定されない。9条2項通知は運用にて対処する。

70011
001

第 2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	1/20

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
戸籍DB	入 力		
個人状態ファイル	入 力		
中間ファイル(届書)	出 力		
エラー履歴ファイル	出 力		

3. 処理概要

(1)氏の変更届の内容を画面入力する。
(2)氏の変更届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)氏の変更届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)氏の変更届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(氏の変更届)に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)
  - 2.0 データチェック(関連表)
  - 3.0 審査
    - 3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独)
    - 3.2 審査(届出人資格:配偶者単独)
    - 3.3 審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)
    - 3.4 審査(届出人資格:法定代理人)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／届書)

5. 備考(特記事項含む)

(1)未成年者の年齢計算について
・年齢計算基準日:受領日を基準として計算する。

002

第２３（３）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	2／20

| 処理名 | | |

第２３（５）	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	3／20

処理名	画面名	画面ＩＤ	コード入力項目の説明
１．０　単体チェック　　１／３	入力画面（氏の変更届　その１）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	（0:受理分，1:国内からの送付，2:在外公館の直接送付，3:在外公館の国内経由）であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	（1：本籍，2：非本籍）であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
11	筆頭者氏名	○	漢字				
12	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	筆頭者個人除区分	○	数字	（0：在籍者，1：除籍者）であること			
14	筆頭者－配偶者区分		数字	（0：未，1：夫，2：妻，3：生存配偶者）であること			
15	筆頭者本籍	○	漢字				
16	筆頭者住所		漢字				住基8・9II
17	筆頭者世帯主		漢字				
18	配偶者氏名		漢字				住基8・9II
19	配偶者外人区分		数字	（0：日本人，1：外国人）であること			
20	配偶者－配偶者区分		数字	（1：夫，2：妻，3：生存配偶者）であること			
21	配偶者住所		漢字				
22	配偶者世帯主		漢字				
23	変更前カナ氏	○	カナ				
24	変更前氏	○	漢字				

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	4/20

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表 2/3	入力画面(氏の変更届 その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
25	変更後カナ氏	○	カナ		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
26	変更後氏	○	漢字				
27	審判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			戸38Ⅱ
28	届出人資格1		数字	(008:筆頭者, 009:配偶者, 016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父, 020:親権者養母, 110:未成年後見人, 000:未入力) であること			戸107Ⅰ
29	届出人氏名1		漢字				
30	届出人資格2		数字	(008:筆頭者, 009:配偶者, 016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父, 020:親権者養母, 110:未成年後見人, 000:未入力) であること			戸107Ⅰ
31	届出人氏名2		漢字				
32	名義使用区分		数字	(0:未使用, 1:夫, 2;妻)であること			
33	構成員人数		数字				

第2(35)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／20

処理名	画面名	画面ID	コード入力項目の説明
1．0 単体チェック 3／3	入力画面（氏の変更届 その2）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	構成員n氏名		漢字		「項目エラーがあります。正しく		住基8・9II
33	構成員n父の氏名		漢字				
34	構成員n母の氏名		漢字		入力して下さい。」		
35	構成員n養父の氏名		漢字				
36	構成員n養母の氏名		漢字				住基8・9II
37	構成員n住所		漢字				
38	構成員nの世帯主		漢字				
39	構成員n更正区分		数字	（1：無，2：父，3：母，4：父母，5：養父，6：養母，7：養父母，8：父＋養母，9：母＋養父）であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	6／20

処　理　名	画　面　名	画　面　ＩＤ
2.0 関連チェック　　1／3	氏の変更届	

No	内　容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備　考
1	(No.3)受領日≧(No.27)審判確定日であること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.4)送付日≧(No.3)受領日であること			
3	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.5)発送元＝スペースであること			
4	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.5)発送元≠スペースであること			
5	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.4)送付日≧(No.27)審判確定日であること			
6	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.6)在外送付区分＝0:受理分であること			
7	(No.5)発送元≠スペースの時、(No.6)在外送付区分≠0:受理分であること			
8	(No.5)発送元≠スペースかつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分＝1:国内からの送付であること			
9	(No.5)発送元≠スペースかつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分＝2:在外公館の直接送付　または (No.6)在外送付区分＝3:在外公館の国内経由　であること			
10	(No.7)処理日≠スペースの時、(No.7)処理日＞(No.3)受領日であること			
11	(No.7)処理日≠スペースの時、(No.7)処理日＞(No.27)審判確定日であること			
12	(No.8)本非区分＝1:本籍の時、(No.15)筆頭者本籍＝本籍地であること			
13	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≦(No.3)受領日であること			
14	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≧(No.27)審判確定日であること			
15	(No.13)筆頭者一個人除区分＝0:在籍者の時、 (No.14)筆頭者一配偶者区分＝0:未婚，1:夫，2:妻，3:生存配偶者であること			
16				住所と世帯主はNo.19-1、19-2でチェックを実施するため削除
17	(No.13)筆頭者一個人除区分＝0:在籍者の時、 (No.20)配偶者一配偶者区分≠3:生存配偶者であること			
18	(No.13)筆頭者一個人除区分＝1:除籍者の時、 [　(No.14)筆頭者一配偶者区分，　(No.16)筆頭者住所， (No.17)筆頭者世帯主，(No.32)名義使用区分]＝スペースであること			
19	(No.13)筆頭者一個人除区分＝1:除籍者の時、 (No.20)配偶者一配偶者区分＝3:生存配偶者であること			
19-1	(No.17)筆頭者世帯主≠スペースの時、(No.16)筆頭者住所≠スペースであること			
19-2	(No.16)筆頭者住所＝スペースの時、(No.17)筆頭者世帯主＝スペースであること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	7／20

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表 2／3	氏の変更届		

No	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
20	(NO. 13) 筆頭者－個人除区分＝1:除籍者の時、 (NO. 18)配偶者氏名≠スペースであること	「関連エラーがあります。正しく 入力して下さい。」		
21	(NO. 14) 筆頭者－配偶者区分＝0:未婚の時、 [(NO. 19)配偶者外人区分, (NO. 20)配偶者－配偶者区分, (NO. 18)配偶者氏名, (NO. 21)配偶者住所, (NO. 22)配偶者世帯主, (NO. 32)名義使用区分]＝スペースであること			
22	(NO. 14) 筆頭者－配偶者区分＝3:生存配偶者の時、 [(NO. 19)配偶者外人区分, (NO. 20)配偶者－配偶者区分, (NO. 18)配偶者氏名, (NO. 21)配偶者住所, (NO. 22)配偶者世帯主, (NO. 32)名義使用区分]＝スペースであること			
23	(NO. 19) 配偶者外人区分＝0:日本人の時、 [(NO. 20)配偶者－配偶者区分, (NO. 18)配偶者氏名]≠スペースであること			
23－1	(NO. 19) 配偶者外人区分＝0:日本人かつ(NO. 22)配偶者世帯主≠スペースの時、 (NO. 21)配偶者住所≠スペースであること			
23－2	(NO. 19) 配偶者外人区分＝0:日本人かつ(NO. 21)配偶者住所＝スペースの時、 (NO. 22)配偶者世帯主＝スペースであること			
24	(NO. 19) 配偶者外人区分＝1:外国人の時、 [(NO. 18)配偶者氏名, (NO. 21)配偶者住所, (NO. 22)配偶者世帯主]＝スペースであること			
24－1	(NO. 19) 筆頭者－個人除区分＝0:在籍者かつ [(NO. 14)筆頭者－配偶者区分＝1:夫または2:妻]の時、 (NO. 19)配偶者外人区分≠スペースであること			
25	(NO. 28)届出人資格1≠(NO. 30)届出人資格2であること			
26	(NO. 33)構成員人数＝0の時、[氏の変更届 その2]は未表示であること			
27	(NO. 28)届出人資格1＝000(未入力)の時、(NO. 29)届出人氏名1＝スペースであること			
28	(NO. 30)届出人資格2＝000(未入力)の時、(NO. 31)届出人氏名2＝スペースであること			
29	(NO. 28)届出人資格1＝016(親権者父)の時、(NO. 29)届出人氏名1≠スペースであること			
30	(NO. 30)届出人資格2＝016(親権者父)の時、(NO. 31)届出人氏名2≠スペースであること			
31	(NO. 28)届出人資格1＝017(親権者母)の時、(NO. 29)届出人氏名1≠スペースであること			
32	(NO. 30)届出人資格2＝017(親権者母)の時、(NO. 31)届出人氏名2≠スペースであること			
33	(NO. 28)届出人資格1＝019(親権者養父)の時、(NO. 29)届出人氏名1≠スペースであること			
34	(NO. 30)届出人資格2＝019(親権者養父)の時、(NO. 31)届出人氏名2≠スペースであること			
35	(NO. 28)届出人資格1＝020(親権者養母)の時、(NO. 29)届出人氏名1≠スペースであること			
36	(NO. 30)届出人資格2＝020(親権者養母)の時、(NO. 31)届出人氏名2≠スペースであること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	8／20

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表 3／3	氏の変更届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
37	(NO. 28)届出人資格1＝110(未成年後見人)の時、(NO. 29)届出人氏名1≠スペース かつ (NO. 30)届出人資格2＝000(未入力) かつ (NO. 31)届出人氏名2＝スペースであること			
38	(NO. 30)届出人資格2＝110(未成年後見人)の時、(NO. 31)届出人氏名2≠スペース かつ (NO. 28)届出人資格1＝000(未入力) かつ (NO. 29)届出人氏名1＝スペースであること			
39	(NO. 29)届出人氏名1≠スペースの時、(NO. 29)届出人氏名1≠(NO. 31)届出人氏名2であること			
40	(NO. 24)変更前氏≠(NO. 26)変更後氏であること			
41	※構成員n共通関連チェック ①:構成員n更正区分＝2:父の時、構成員n父の氏名≠スペースであること ②:構成員n更正区分＝3:母の時、構成員n母の氏名≠スペースであること ③:構成員n更正区分＝4:父母の時、[構成員n父の氏名, 構成員n母の氏名]≠スペースであること ④:構成員n更正区分＝5:養父の時、構成員n養父の氏名≠スペースであること ⑤:構成員n更正区分＝6:養母の時、構成員n養母の氏名≠スペースであること ⑥:構成員n更正区分＝7:養父母の時、[構成員n養父の氏名, 構成員n養母の氏名]≠スペースであること ⑦:構成員n更正区分＝8:父＋養母の時、[構成員n父の氏名, 構成員n養母の氏名]≠スペースであること ⑧:構成員n更正区分＝9:母＋養父の時、[構成員n母の氏名, 構成員n養父の氏名]≠スペースであること ⑨:構成員nの世帯主≠スペースの時、構成員n住所≠スペースであること ⑩:構成員n住所＝スペースの時、構成員nの世帯主＝スペースであること			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	9／20

処理名				3.0 審査 1／3			備考
(0-1)受領日＝送付日である(YES, NO)							
	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか？」(YES, NO)						
YES	YES	(0-3)→(1)へ					
	NO	(0-4)→				(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(1)へ						
(1) 筆頭者－配偶者区分 (0:未, 1:夫, 2:妻, 3:生存配偶者)					／		
0	(2) 筆頭者－個人除区分(0:在籍, その他)				／		
	0	(3) 筆頭者の生年月日 ＋ 15年(15歳以上) ≦ 受領日 (YES, NO)			／		
		YES	(4) 審査(届出人資格:筆頭者単独)処理 [3. 1]		／		
			(5) → (49)		／		
		NO	(6-1) 審査(届出人資格:法定代理人)処理 [3. 4]		／		
			(6-2) → (49)		／		
	その他	(6-3) 配偶者－外人区分 (0 : 日本人, その他)			／		
		0	(6-4) 配偶者－配偶者区分＝3 : 生存配偶者 (YES, NO)		／		
			YES	(6-5) 名義使用区分 (0 : 未使用, その他)	／		
				0	(6-6) 審査(届出人資格 : 配偶者単独)処理 [3. 2]	／		
					(6-7) → (49)	／		
				その他	(6-8) エラーメッセージ 「名義使用区分は入力できません。」を表示する。		(6-9) 本紙へ	
			NO		(6-10) エラーメッセージ 「配偶者－配偶者区分には誤りがあります。」を表示する。			
		その他	(6-11) エラーメッセージ 「届出資格を有していません。」を表示する。					
1	(7) 配偶者－外人区分 (0 : 日本人, その他)				／		
	0	(8) 配偶者－配偶者区分＝2 : 妻 (YES, NO)			／		
		YES	(9) 名義使用区分 (1 : 夫, 2 : 妻, その他)		／		
			1	(10) 審査(届出人資格 : 筆頭者単独)処理 [3. 1]	／		昭和23. 4. 15 民事甲 926号回答
				(11) →(49)	／		昭和23. 5. 6 民事甲 1131号回答
			2	(13) 審査(届出人資格 : 配偶者単独)処理 [3. 2]	／		昭和23. 4. 15 民事甲 926号回答
				(14) →(49)	／		昭和23. 5. 6 民事甲 1131号回答

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	12-1／20

処理名				3.0 審査 2／3			備考
1	0	YES	その他	(16) 審査(届出人資格 : 筆頭者, 配偶者双方)処理 [3. 3]	／		
				(17) →(49)	／		
		NO		(18) エラーメッセージ 「配偶者－配偶者区分には誤りがあります。」		(15) 本紙へ	
	その他			(20) 審査(届出人資格 : 筆頭者単独)処理 [3. 1]	／		
				(21) →(49)	／		
2				(23) 配偶者－外人区分 (0 : 日本人, その他)	／		
	0			(24) 配偶者－配偶者区分＝1 : 夫 (YES, NO)	／		
		YES		(25) 名義使用区分 (1 :夫, 2 :妻, その他)	／		
			1	(26) 審査(届出人資格 : 配偶者単独)処理 [3. 2]	／		昭和23. 4. 15 民事甲 926号回答
				(27) →(49)	／		昭和23. 5. 6 民事甲 1131号回答
			2	(29) 審査(届出人資格 : 筆頭者単独)処理 [3. 1]	／		昭和23. 4. 15 民事甲 926号回答
				(30) →(49)	／		昭和23. 5. 6 民事甲 1131号回答
			その他	(32) 審査(届出人資格 : 筆頭者, 配偶者双方)処理 [3. 3]	／		
				(33) →(49)	／		
		NO		(34) エラーメッセージ 「配偶者－配偶者区分には誤りがあります。」を表示する。		(35) 本紙へ	
	その他			(36) 審査(届出人資格 : 筆頭者単独)処理 [3. 1]	／		
				(37) →(49)	／		
3				(38) 審査(届出人資格 : 筆頭者単独)処理 [3. 1]	／		
				(39) →(49)	／		NO. 40～48欠番
(49)構成員の更正区分審査処理 (構成員が無くなるまで繰り返す)					／		
(50)更正員の更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父+養母、9:母+養父							
	1			(51) →(49)	／		
	上記以外			(52)更正員の更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父+養母、9:母+養父			
		2, 4, 8		(53)更正員nの父氏名＝筆頭者漢字氏名 (YES, NO)	／		
			YES	(54) → (60)	／		
			NO	(55)更正員nの父氏名＝配偶者漢字氏名 (YES, NO)	／		
				YES (56) → (60)	／		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	12-1／20

処理名	3.0 審査 3／3					備考
上記以外	2, 4, 8	NO	NO	(57) エラーメッセージ 「更正員の更正区分に誤りがあります。」を表示	(58)本紙へ	
	上記以外	(59) → (60)				
	(60)更正員の更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父+養母、9:母+養父					
	3, 4, 9	(61)更正員nの母氏名＝筆頭者漢字氏名 (YES, NO)				
		YES	(62) → (68)			
		NO	(63)更正員nの母氏名＝配偶者漢字氏名 (YES, NO)			
			YES	(64) → (68)		
			NO	(57) エラーメッセージ 「更正員の更正区分に誤りがあります。」を表示	(66) 本紙へ	
	上記以外	(67) → (68)				
	(68)更正員の更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父+養母、9:母+養父					
	5, 7, 9	(69)更正員nの養父氏名＝筆頭者漢字氏名 (YES, NO)				
		YES	(70) → (76)			
		NO	(71)更正員nの養父氏名＝配偶者漢字氏名 (YES, NO)			
			YES	(72) → (76)		
			NO	(73) エラーメッセージ 「更正員の更正区分に誤りがあります。」を表示	(74) 本紙へ	
	上記以外	(75) → (76)				
	(76)更正員の更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父+養母、9:母+養父					
	6, 7, 8	(77)更正員nの養母氏名＝筆頭者漢字氏名 (YES, NO)				
		YES	(78) → (51)			
		NO	(79)更正員nの養母氏名＝配偶者漢字氏名 (YES, NO)			
			YES	(80) → (51)		
			NO	(81) エラーメッセージ 「更正員の更正区分に誤りがあります。」を表示	(82) 本紙へ	
	上記以外	(83) → (49)				

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	12-1／20

処理名	3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独) 1／2			備考
(1) 届出人資格1(000:未入力, 008:筆頭者, 110:未成年後見人, その他)		／		
000	(2) 届出人資格2(008:筆頭者, 110:未成年後見人, その他)	／		
008	(3) →	／		(3),(4),(5),(7),(8)は削除
	(4)	／		
	(5)		(6) 本紙へ	
	(7)	／		
	(8)	／		
110	(9)	／		(9),(10),(11),(12),(14)は削除
	(10)	／		
	(11)	／		
	(12)		(13) 本紙へ	
	(14)			
	(12-1) 確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」			「N」の時、不受理
その他	(15) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。			不受理
008	(16) 届出人資格2 (000:未入力, その他)	／		
000	(17) →	／		(17),(18),(19),(21),(22)は削除
	(18)	／		
	(19)		(20) 本紙へ	
	(21)	／		
	(22)	／		
その他	(23) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		(24) 本紙へ	不受理
110	(25) 届出人資格2 (000:未入力, その他)	／		
000	(26)	／		(26),(27)は削除
	(27)	／		

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	12-2／20

処理名		3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独) 2／2			備考
110	000	(28)	／		(28),(29),(31)は削除
		(29)		(30) 本紙へ	
		(31)			
		(29-1) 確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」			「N」の時、不受理
	その他	(32) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。			不受理
その他		(33) エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する。			不受理
(34) →					

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	13-1/20

処理名	3.2 審査(届出人資格:配偶者単独) 1/2		備考
(1) 届出人資格1(000:未入力, 009:配偶者, その他)			
000	(2) 届出人資格2(009:配偶者, その他)		
009	(3) →		(4),(5),(7),(8)は削除
	(4)		
	(5)	(6) 本紙へ	
	(7)		
	(8)		
	(9) →		(10),(11),(12),(14)は削除
	(10)		
	(11)		
	(12)	(13) 本紙へ	
	(14)		
その他	(15) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。を表示する。		不受理
009	(16) 届出人資格2 (000:未入力, その他)		
000	(17) →		(18),(19),(21),(22)は削除
	(18)		
	(19)	(20) 本紙へ	
	(21)		
	(22)		
その他	(23) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。を表示する。	(24) 本紙へ	不受理
	(25)		(25),(26),(27)は削除
	(26)		
	(27)		

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	13-2／20

処理名	3.2 審査(届出人資格:配偶者単独) 2／2			備考
	(28)	／		(28),(29),(31)(32)は削除
	(29)		(30) 本紙へ	
	(31)			
	(32)			不受理
その他	(33) エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する。			不受理
(34) →				

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	14/20

処理名	3.3 審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方) 1/1			備考
(1) 届出人資格1(000:未入力, 008:筆頭者, 009:配偶者, その他		／		
008	(2) 届出人資格2(009:配偶者, その他)	／		
009	(3) → (11)	／		戸108 I
その他	(4) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		(5) 本紙へ	
009	(6) 届出人資格2(008:筆頭者, その他)	／		
008	(7) → (11)	／		戸108 I
その他	(8) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		(10) 本紙へ	
その他	(9) エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する。			
(11) →		／	(11-1) 3.0審査へ	(12)～(19)は削除
	(12)	／		
	(13)		(14)	
	(15)	／		
	(16)	／		
	(17)		(18)	
			(19)	

017

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	15/20

処理名		3.4 審査(届出人資格:法定代理人) 1/2			備考
(1) 届出人資格1(000:未入力, 016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父, 020:親権者養母, 110:未成年後見人, その他)			／		
000	(2) 届出人資格2(016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父, 020:親権者養母, 110:未成年後見人, その他)		／		
	016,017, 019,020	(3) 確認メッセージ「単独親権ですか？」を表示する。		(4) 本紙へ	「N」の時、不受理
	110	(5) 本非区分(1:本籍, 2:非本籍)	／		
		1 (6) 事件本人の身分事項に未成年後見人事項がある(YES, NO)	／		
		YES (7) →		(8) 3.0審査へ	
		NO (9) エラーメッセージ「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する。		(10) 本紙へ	
		2 (11) →		(12) 3.0審査へ	
	その他	(13) エラーメッセージ「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		(14) 本紙へ	
016, 019	(15) 届出人資格2(000:未入力, 017:親権者母, 020:親権者養母, その他)		／		
	000	(16) 確認メッセージ「単独親権ですか？」を表示する。		(17) 本紙へ	「N」の時、不受理
	017, 020	(18) 確認メッセージ「共同親権ですか？」を表示する。			「N」の時、不受理
	その他	(19) エラーメッセージ「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。			
017, 020	(20) 届出人資格2(000:未入力, 016:親権者父, 019:親権者養父, その他)		／		
	000	(21) 確認メッセージ「単独親権ですか？」を表示する。		(22) 本紙へ	「N」の時、不受理
	016, 019	(23) 確認メッセージ「単独親権ですか？」を表示する。			「N」の時、不受理
	その他	(24) エラーメッセージ「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。			

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	16/20

処理名	3.4 審査(届出人資格:法定代理人) 2/2			備考
110	(25) 届出人資格2(000:未入力, その他)			
	000	(26) → (29)		
	その他	(27) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。	(28) 本紙へ	
	(29) 本非区分(1:本籍, 2:非本籍)			
	1	(30) 事件本人の身分事項に後見人事項がある(YES, NO)		
		YES (31) →	(32)3.0 審査へ	
		NO (33) エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。 未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する。	(34) 本紙へ	
	2	(35) →	(36) 3.0審査へ	
その他	(37) エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する。		(38) 本紙へ	

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	17／20

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 1/4	（受取側）中間ファイル（届書）／共通 ← （引渡側）入力画面（氏の変更届）

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル	受領番号		氏の変更届	受領No				
（届書）	選択事件コード		入力画面	――――				28を引き渡す
共通	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――				
	許可日			――――				
	受理送付区分			――――				在外送付区分＝0 の時、1 在外送付区分≠0 の時、2
	本非区分			本・非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――				ZERO（不要）
	届区分			――――				1（創設）
	渉外区分			――――				0：日本人
	同時決裁受領区分			――――				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者及び配偶者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2			――――				
	ロック戸籍番号3			――――				
	ロック戸籍番号4			――――				
	ロック戸籍番号5			――――				
	事件別内容			――――				3／4～4／4参照

70030

020

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	18／20

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 2/4	（受取側）中間ファイル（届書）／共通	←（引渡側）入力画面（氏の変更届）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻｰｷｭﾗﾌﾞﾙｰﾁﾝ	｢Z9.,｣	備考
中間ファイル （届書） 共通	不受理申処分区分		氏の変更届 入力画面	———				
	処分区分			———				審査の結果により、1＝受理または2＝不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分			———				何も設定されていない場合に 0：未決裁を設定
	届書排他区分							0：未，1：排他

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	19／20

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 3/4	（受取側）中間ファイル（届書）／事件別内容	←（引渡側）入力画面（氏の変更届）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰﾁﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル	筆頭者の個人番号							本籍人の場合、筆頭者の個人番号
（届書）	カナ氏名（筆頭者）		氏の変更届	筆頭者カナ氏名				
事件別内容	漢字氏名（筆頭者）		（その1）	筆頭者漢字氏名				
	生年月日（筆頭者）		入力画面	筆頭者生年月日				
	個人除区分（筆頭者）			筆頭者個人除区分				
	配偶者区分（筆頭者）			筆頭者－配偶者区分				
	本籍コード			筆頭者本籍				
	本籍（筆頭者）							
	住所コード			筆頭者住所				
	住所（筆頭者）							
	世帯主（筆頭者）			筆頭者世帯主				
	配偶者の個人番号							本籍人の場合、配偶者の個人番号
	氏名（配偶者）			配偶者氏名				
	外人区分（配偶者）			配偶者外人区分				
	配偶者区分（配偶者）			配偶者－配偶者区分				
	住所コード			配偶者住所				
	住所（配偶者）							
	世帯主（配偶者）			配偶者の世帯主				
	変更前カナ氏			変更前カナ氏				
	変更前漢字氏			変更前漢字氏				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	審判確定日			審判確定日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				

70033

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	１	２０／２０

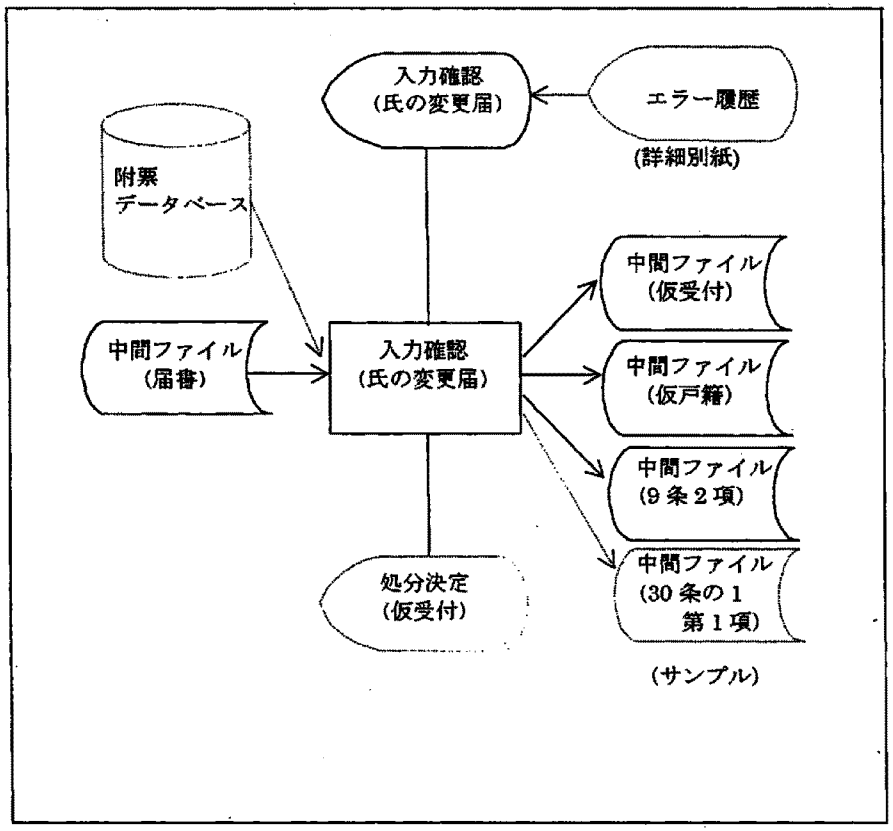
処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力　4/4	（受取側）中間ファイル（届書）／事件別内容	←（引渡側）入力画面（氏の変更届）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰﾁﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
中間ファイル（届書）事件別内容	届出人氏名２		氏の変更届（その１）入力画面	届出人氏名２				
	名義使用区分			名義使用区分				
	構成員人数			構成員人数				
	構成員ｎの個人番号		氏の変更届（その２）入力画面					本籍人の場合、構成員の個人番号
	構成員ｎの漢字氏名			構成員ｎ氏名				構成員の明細については、複数件（ｎ件）出力する。（入力されたデータ分）
	構成員ｎ父の氏名			構成員ｎ父の氏名				
	構成員ｎ母の氏名			構成員ｎ母の氏名				
	構成員ｎ養父の氏名			構成員ｎ養父の氏名				
	構成員ｎ養母の氏名			構成員ｎ養母の氏名				
	構成員ｎ住所コード			構成員ｎ住所				
	構成員ｎ住所							
	構成員ｎの世帯主			構成員ｎの世帯主				
	構成員ｎ更正区分			構成員ｎ更正区分				

023

第2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	1 19

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (届書)	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル (仮受付)	出力		
中間ファイル (仮戸籍)	出力		
中間ファイル (9条2項)	出力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2) 戸籍変動情報を確定する。
(3) 中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。
(4) 中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。
(5) 中間ファイル(9条2項)を編集・出力する。
(6) 中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する。……(サンプル提示)
(7) 処分決定処理にに制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル／仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍 [戸籍事項])
    - 4.1 戸籍事項(変動なし)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍 (更正者))
    - 5.1 個人特定(変動なし)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル／9条2項)
    - 6.1 筆頭者
    - 6.2 配偶者
    - 6.3 他の構成員
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル／30条の12第1項)…(サンプル提示)
    - 7.1 筆頭者
    - 7.2 配偶者
    - 7.3 他の構成員

5. 備考(特記事項含む)

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月1日	平成16年3月1日	8	2/19

処理名	0.0 本紙				備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する [1.0]				／	
(2)キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF5, PF7, PF8, PF11, その他)				／	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を確認する [2.0]			／	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]			／	
	(5)事件本人が本籍人である (YES, NO)			／	
	YES	(6)戸籍変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		／	
		戸籍変動(変動なし)	(7)氏の変更事項の編集 [4.1]	／	
		身分事項(変動なし)	(8)更正者の身分(更正)事項の編集 [5.1]	／	
		(8-1)在籍している筆頭者, 配偶者, 他の構成員全員について下記の処理を行う		／	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(8-1)～(8-4)
			(8-2)当該在籍者は在外選挙人である (YES, NO)	／	
			YES (8-3)当該在籍者について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する 筆頭者[7.1], 配偶者[7.2], 他の構成員[7.3]	／	
			NO (8-4)→(10)	／	
	NO	(9)→(10)		／	
	(10)在外送付区分＝0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付 である (YES, NO)			／	
	YES	(11)筆頭者個人除区分＝0:在籍者 である (YES, NO)		／	
		YES	(12)筆頭者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.1]	／	
		NO	(13)→(14)	／	
		(14)配偶者－配偶者区分＝1:夫, 2:妻 又は 3:生存配偶者 である (YES, NO)		／	
		YES	(15)配偶者外国人区分＝0:日本人 である (YES, NO)	／	
			YES (16)配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.2]	／	
			NO (17)→(18)	／	
			(18)構成員人数≠スペース(ZERO)である (YES, NO)	／	
			YES (19)構成員について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.3]	／	(20)処分決定に制御を渡す
			NO →	／	※除籍者に対する9条2項通知の作成は不要である
		NO	→	／	
	NO	→		／	

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	3 19

処理名	0.0 本紙	備考

PF1	→			(21)業務選択に制御を渡す
PF2	→			(22)届出選択に制御を渡す
PF5	→			(23)審査(氏の変更届)に制御を渡す
PF7	(24)前ページがあるか (ある, なし)		/	
	ある (25)前ページ分の「氏の変更届」画面を編集			(27)同画面を編集する
	なし (26)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(28)次ページがあるか (ある, なし)		/	
	ある (29) 次ページ分の「氏の変更届」画面を編集			(31)同画面を編集する
	なし (30)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF11	→			(32)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	→			(34)同画面を編集する

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	4／19

処理名　1.0 入力確認（氏の変更）表示　1／3　（受取側）氏の変更届確認画面（その１）　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰﾋﾞｽﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
氏の変更届確認画面（その１）	画面ＩＤ			画面ＩＤ				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル（届書）共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本・非本			本非区分				
	本・非本名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	筆頭者生年月日		中間ファイル（届書）事件別内容	生年月日（筆頭者）				
	筆頭者個人除区分			個人除区分（筆頭者）				
	筆頭者個人除区分名称					有		
	筆頭者－配偶者区分			配偶者区分（筆頭者）				
	筆頭者－配偶者区分名称					有		
	筆頭者本籍			本籍コード				
				本籍（筆頭者）				
	筆頭者カナ氏名			カナ氏名（筆頭者）				
	筆頭者漢字氏名			漢字氏名（筆頭者）				
	筆頭者住所			住所コード				
				住所（筆頭者）				
	筆頭者世帯主			世帯主（筆頭者）				
	配偶者外人区分			外人区分（配偶者）				
	配偶者外人区分名称					有		

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	5／19

処理名	1.0 入力確認（氏の変更）表示　2／3	（受取側）氏の変更届確認画面（その１）	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
氏の変更届確認画面（その１）	配偶者－配偶者区分		中間ファイル（届書） 事件別内容	配偶者区分（配偶者）				
	配偶者－配偶者区分名称					有		
	配偶者氏名			氏名（配偶者）				
	配偶者住所			住所コード				
				住所（配偶者）				
	配偶者の世帯主			世帯主（配偶者）				
	変更前カナ氏			変更前カナ氏				
	変更前漢字氏			変更前漢字氏				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	審判確定日			審判確定日				
	届出人資格１			届出人資格１				
	届出人資格１名称					有		
	届出人氏名１			届出人氏名１				
	届出人資格２			届出人資格２				
	届出人資格２名称					有		
	届出人氏名２			届出人氏名２				
	夫婦双方名義使用区分			名義使用区分				
	夫婦双方名義使用区分名称					有		
	構成員人数			構成員人数				

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	6／19

処理名	1.0 入力確認（氏の変更）表示　3／3	（受取側）氏の変更届確認画面（その２）	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰﾁﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．．	
氏の変更届確認画面（その２）	構成員ｎ氏名		中間ファイル（届書）事件別内容	構成員ｎの漢字氏名				構成員の明細については、複数件（ｎ件）含まれている。
	構成員ｎ父の氏名			構成員ｎ父の氏名				
	構成員ｎ母の氏名			構成員ｎ母の氏名				
	構成員ｎ養父の氏名			構成員ｎ養父の氏名				
	構成員ｎ養母の氏名			構成員ｎ養母の氏名				
	構成員ｎの住所			構成員ｎ住所				
	構成員ｎの世帯主			構成員ｎの世帯主				
	構成員ｎ更正区分			構成員ｎ更正区分				

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7／19

処理名　2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件				戸籍の変動
	氏変更者				氏変更者の戸籍
	本籍		構成員の更正区分 *2		変動 A.2 C.2 *1 D.2 なし
	本籍人	非本籍人	有 (2,3,4,5,6,7,8,9)	無 (1)	
1	○		○		戸籍事項編集 4.1
					更正者 5.1
2	○			○	戸籍事項編集 4.1
3		○	○		
4		○		○	

＊1：在籍者の人数分作成。

＊2：構成員の人数分それぞれ判定し、更正者の身分事項を作成する。（父母欄更正）

（注）・A．2（戸籍特定事項）は、筆頭者について更新を行う。

・D．2（氏名情報）は、カナ氏名と漢字氏名について変更後（氏の変更）氏名で作成する。

（筆頭者が除籍されている場合についても作成する。）

70041

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／19

処理名	3.0 中間ファイル（仮受付）編集・出力 1/3	（受取側）中間ファイル（仮受付）／共通	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾆﾀﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	備考
中間ファイル（仮受付） 共通	受領番号		中間ファイル（届書）	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード			――――				２８を移送
	受付日			送付日 受領日				送付日≠空白の時、送付日 送付日＝空白の時、受領日
	事件発生日			――――				
	事件発生時分			――――				ＺＥＲＯを移送
	事件発生日時			――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			――――				「０：日本人のみ」を移送
	証書提出日			――――				「０：届出」を移送
	発送日			――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――				移送データなし
	収日			――――				移送データなし
	指示日			――――				ＺＥＲＯを移送
	許可日			――――				
	関連受領番号			――――				移送データなし
	届出人資格１			届出人資格１				届出人資格＝008,009,000の場合は、未設定（資格1、2および氏名1、2） 上記以外の場合は、資格および氏名を移送する。 （但し、届出人資格１が000(未入力)の場合は、届出人資格２の内容を１へつめて移送する）
	届出人資格名称１					有		
	届出人氏名１			届出人氏名１				
	届出人資格２			届出人資格２				
	届出人資格名称２					有		
	届出人氏名２			届出人氏名２				
	届後本籍区分			――――				移送データなし

031

第2章 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／19

処理名	3.0 中間ファイル（仮受付）編集・出力 2/3	（受取側）中間ファイル（仮受付）／共通	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル（仮受付）共通	届後本籍コード		中間ファイル（届書）	――――				移送データなし
	届後本籍			――――				移送データなし
	届後戸籍の筆頭者			――――				移送データなし
	送達確認1			――――				「0：不要」を移送
	届書送付目録区分			――――				本非区分＝1（本籍）の場合、1（送付要）を設定。 上記以外は、0（送付不要）を設定 ＊本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成17年 3月 1日	9	10/19

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	(サブルーチン)	Z9..	
中間ファイル (仮受付)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号			———				
事件本人	事件本人区分			———				届出人資格1 又は2=008:44(筆頭者)で1件作成 届出人資格1 又は2=009:45(配偶者)で1件作成 届出人資格1 又は2=008又は009以外の時、44(筆頭者)で1件作成
	届出人区分			———				届出人資格1,2が008または009の場合 1(届出人)を設定。 上記以外は、0(届出人以外)を設定
	カナ氏名			———				事件本人区分 44の場合、筆頭者カナ氏名移送 45の場合、配偶者カナ氏名移送
	漢字氏名			———				事件本人区分 44の場合、筆頭者漢字氏名移送 45の場合、配偶者漢字氏名移送
	生年月日			———				事件本人区分 44の場合、筆頭者生年月日移送 45の場合、配偶者生年月日移送
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍(筆頭者)				
	筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	送達確認2			———				事件本人の現本籍が、 (本非区分=2) かつ (在外送付区分=0) の場合 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

033

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（氏の変更届）	システム化調査研究会	平成3年11月30日	平成　年　月　日	1	11／19

処理名	4.1 戸籍事項（変動なし）編集 1/2	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｷｰﾜｰﾄﾞﾌﾞﾚｰｸﾁｪﾝ	Z9.，	
中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項	戸籍番号		中間ファイル（届書）	———				
	行番号			———				
	出力区分			———				「0」を設定
	タイトルコード			———				2801：「氏の変更」を設定
	記録コード			———				2801：「107条1項の氏の変更者の氏の変更の記録」を設定
	管掌者コード			———				
	事件発生日			受領日				
	氏の変更 氏変更日			受領日				
	氏の変更 氏変更の事由			———				「戸籍法107条1項の届出」を設定
	届出人 資格			届出人資格1，2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する。 詳細編集内容は、次頁参照(2/2)
	届出人 資格名称							
	届出人 氏名							
	届出人 資格							
	届出人 資格名称							
	届出人 氏名							
	送付 送付を受けた日			送付日				送付日≠スペース：送付日を移送
	送付 受理者			発送元				発送元≠スペース：発送元を移送
	許可 許可日			———				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			———				
	許可 許可を受けた者			———				
	従前 従前の記録							
	従前 氏			変更前漢字氏				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	12／19

処理名	4.1 戸籍事項(変動なし)編集 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／戸籍事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	記録	記録日		中間ファイル (届書)					処理日≠スペース:処理日を移送
	特記	特記事項			――――――				名義使用区分が1又は2の場合「夫婦名義で届出」を設定

届出人資格・氏名の編集内容

(1)届出人資格

入力された届出人資格1，2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫または妻 ＊1	夫または妻 ＊1	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
008(筆頭者)	夫または妻 ＊1							
009(配偶者)	夫または妻 ＊1							
016(親権者父)	親権者父				親権者父母		親権者父，養母 ＊2	
017(親権者母)	親権者母			親権者父母		養父，親権者母 ＊2		
019(親権者養父)	親権者養父				養父，親権者母 ＊2		養父,養母 ＊2	
020(親権者養母)	親権者養母			親権者父，養母 ＊2		養父,養母 ＊2		
110(未成年後見人)	未成年後見人							

＊1:名義使用区分＝1のとき「夫」
名義使用区分＝2のとき「妻」 を設定する

＊2:届出人資格1，2にそれぞれ資格名称を設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)
EX. 親権者養父 と 親権者養母 の場合
【届出人1】親権者養父 甲野 義太郎
【届出人2】親権者養母 甲野 梅子

(2)届出人氏名

届出人資格1，2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	13/19

処理名	5.1 更正者の身分事項(変動なし)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)					決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							7001:「更正」を設定
	記録コード							7001:「更正事項の記録」を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	更正 更正日			処理日 送付日 受領日				処理日≠スペース:処理日を移送 送付日≠スペース:送付日を移送 上記以外 :受領日を移送
	更正 更正事項							氏更正区分に該当する〔(養)父,(養)母〕を移送
	更正 更正事由							氏更正区分に該当する〔(養)父,(養)母〕 ＋ 「氏変更」
	記載 従前の記録			構成員nの父、母 養父、養母氏名				該当項目を移送

(1)更正事項・更正事由について

更正区分	変換文字
2	「父」
3	「母」
4	「父母」
5	「養父」
6	「養母」
7	「養父母」
8	「父及び養母」
9	「養父及び母」

上記の表に従い、更正区分を判定し事項及び事由を作成する。
更正事項:変換文字＋の氏名　(例)養父母の氏名
更正事由:変換文字＋氏変更　(例)養父母氏変更

(2)従前の記録について
更正区分に従い、該当する従前の氏名を作成する。

更正区分	従前の記録	(移送する従前氏名)
2	【父】 KKK～KKK	←構成員nの父氏名
3	【母】 KKK～KKK	←構成員nの母氏名
4	【父】 KKK～KKK 【母】 KKK～KKK	←構成員nの父氏名 ←構成員nの母氏名
5	【養父】 KKK～KKK	←構成員nの養父氏名
6	【養母】 KKK～KKK	←構成員nの養母氏名
7	【養父】 KKK～KKK 【養母】 KKK～KKK	←構成員nの養父氏名 ←構成員nの養母氏名
8	【父】 KKK～KKK 【養母】 KKK～KKK	←構成員nの父氏名 ←構成員nの養母氏名
9	【母】 KKK～KKK 【養父】 KKK～KKK	←構成員nの母氏名 ←構成員nの養父氏名

(例)【従前の記録】
【養父】甲野義太郎
【養母】甲野梅子

第２３(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成６年12月１日	平成10年 2月27日	2	14／19

処理名	6.1筆頭者 編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル (9条２項) ／筆頭者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾆ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
筆頭者	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			―――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			―――				２８：氏の変更届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			筆頭者の個人番号				本籍人の場合
	新氏名			変更後漢字氏 ＋ 漢字氏名(筆頭者)の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日(筆頭者)				
	旧生年月日			生年月日(筆頭者)				
	新父母との続柄			―――				
	旧父母との続柄			―――				
	新本籍コード			―――				
	新本籍			―――				
	旧本籍コード			―――				
	旧本籍			―――				
	新筆頭者			変更後漢字氏 ＋ 漢字氏名(筆頭者)の名				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所(筆頭者)				
	方書			―――				
	住定日			―――				

第2章3節(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（氏の変更者）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１５／１９

処理名	6.1 筆頭者　編集・出力　2/2	（受取側）中間ファイル（9条2項）／筆頭者	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)	住民日		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	――――				
筆頭者	世帯主			世帯主（筆頭者）				
	世帯主との続柄			――――				

038

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	16／19

処理名	6.2 配偶者 編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル (9条2項) ／配偶者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 配偶者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――				２８：氏の変更届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			配偶者の個人番号				本籍人の場合
	新氏名			変更後漢字氏 ＋ 氏名(配偶者)の名				
	旧氏名			氏名(配偶者)				
	新生年月日			――――				
	旧生年月日			――――				
	新父母との続柄			――――				
	旧父母との続柄			――――				
	新本籍コード			――――				
	新本籍			――――				
	旧本籍コード			――――				
	旧本籍			――――				
	新筆頭者			変更後漢字氏 ＋ 氏名(筆頭者)の名				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード(配偶者)				
	住所			住所(配偶者)				
	方書			――――				
	住定日			――――				

第2章3節(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（氏の変更者）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１７／１９

処理名	6.2 配偶者　編集・出力　2/2	（受取側）中間ファイル（9条2項）／配偶者	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)	住民日		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	――――				
配偶者	世帯主			世帯主（配偶者）				
	世帯主との続柄			――――				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	18／19

処理名	6.3 他の構成員 編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル (9条2項) ／他の構成員	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項) 他の構成員	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			―――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			―――――				2 8 :氏の変更届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			構成員の個人番号				本籍人の場合
	新氏名			変更後漢字氏 + 構成員漢字氏名の名				
	旧氏名			構成員の漢字氏名				
	新生年月日			―――――				
	旧生年月日			―――――				
	新父母との続柄			―――――				
	旧父母との続柄			―――――				
	新本籍コード			―――――				
	新本籍			―――――				
	旧本籍コード			―――――				
	旧本籍			―――――				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 氏名(筆頭者)の名				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			構成員の住所コード				
	住所			構成員の住所				
	方書							
	住定日			―――――				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（氏の変更者）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１９／１９

処理名	6.3 他の構成員　編集・出力　2/2	（受取側）中間ファイル（9条2項）／他の構成員　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰﾁﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)	住民日		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	――――				
他の構成員	世帯主			構成員の世帯主				
	世帯主との続柄			――――				

042

70053

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	19-1 19

処理名	7.1 筆頭者 編集・出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)／筆頭者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書), 附票DB

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	サブルーチン	Z9.,	
中間ファイル (30条の12第1項) 筆頭者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					28:氏の変更届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			変更後漢字氏 + 漢字氏名(筆頭者)の名				
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	新生年月日			生年月日(筆頭者)				
	旧生年月日			生年月日(筆頭者)				
	新性別			———				
	旧性別			———				
	新本籍コード			———				
	新本籍			———				
	旧本籍コード			———				
	旧本籍			———				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 漢字氏名(筆頭者)の名				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード(筆頭者)				
	住所			住所(筆頭者)				
	方書			———				
	転入届出日			———				

043

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月1日	2.1	19-2 19

処理名	7.2 配偶者 編集・出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)／配偶者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書), 附票DB

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	サニサブルーチン	Z9.,	
中間ファイル (30条の12第1項) 配偶者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					28:氏の変更届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			変更後漢字氏 + 氏名(配偶者)の名				
	旧氏名			氏名(配偶者)				
	新生年月日			———				
	旧生年月日			———				
	新性別			———				
	旧性別			———				
	新本籍コード			———				
	新本籍			———				
	旧本籍コード			———				
	旧本籍			———				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 漢字氏名(筆頭者)の名				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード(配偶者)				
	住所			住所(配偶者)				
	方書			———				
	転入届出日			———				

70055

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月1日	2.1	19-3 19

処理名	7.3 他の構成員 編集・出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項) 他の構成員 ← (引渡側) 中間ファイル(届書), 附票DB

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 他の構成員	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					28:氏の変更届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			変更後漢字氏 + 構成員漢字氏名の名				
	旧氏名			構成員の漢字氏名				
	新生年月日			———				
	旧生年月日			———				
	新性別			———				
	旧性別			———				
	新本籍コード			———				
	新本籍			———				
	旧本籍コード			———				
	旧本籍			———				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 漢字氏名(筆頭者)の名				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			構成員の住所コード				
	住所			構成員の住所				
	方書			———				
	転入届出日			———				

945

70056

第7.2.(5)「異動」処理

28.１０７条２項届

標準仕様書修正履歴

平成１０年２月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).28 (107条2項届)	1．審査 （1）中間ファイル編集（届書）修正 ・指示日、許可日の編集を削除 3．入力確認 （1）中間ファイル編集（仮受付） ・許可日の編集を削除 ・筆頭者項目及び編集条件を追加 （2）氏の変更者の身分事項（除籍）の編集 ・許可日の編集条件を削除 （3）氏の変更者の身分事項（入籍）の編集 ・許可日の編集条件を削除 （4）氏の変更者の身分事項（変動なし）の編集 ・許可日の編集条件を削除 （3）中間ファイル編集（氏の変更者：9条2項） ・受理日編集条件修正	007 015 017 020 021 022 023	

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第 7. 2. (5). 28 (107条２項届)	公職選挙法改正によるシステムの対応（サンプル提示） １．入力確認 （１）システム環境仕様書 ・詳細フロー及び使用ＤＢ・ファイル一覧に入力ファイルとして附票データベース、出力ファイルとして中間ファイル（３０条の１２第１項）を追加 ・処理概要、機能体系に中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集に関する記述を追加 （２）本紙の処理内容 ・氏の変更者が在外選挙人の場合の中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集・出力処理の追加 （３）中間ファイル編集（３０条の１２第１項） ・氏の変更者に関して新規追加	010 011 025	

標準仕様書修正履歴

平成11年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).28 (107条2項届)	1.審査 (1)届出期間の審査要件修生 ・「≦」を「＜」に修正 ・備考欄に「民143」を追加	006	

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 28 (107条2項届)	1. 審査 (1)戸籍法32条第2項が廃止されることによる審査の削除 ・事件本人が棄治産者の場合の確認メッセージ削除 審査(7)～(13) ・審査(7)へ進む部分を削除して本紙へ進むよう修正 審査(3)修正, 審査(3－1)追加	006	

標準仕様書修正履歴

平成15年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).28 (107の2項届)	1.住所・世帯主関連チェック (1)2.0関連チェック No.17に住所・世帯主の関連チェックを追加	005	

標準仕様書修正履歴

平成19年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).28 (107条2項届)	1. 要件定義ワークシート (1) 3.0審査 受理日と送付日が同一の場合の審査を追加	006	

標準仕様書修正履歴

平成22年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．28 (107条2項届)	1．システム処理の概要説明書 婚姻中の筆頭者が国籍喪失となっている戸籍の処理について 審査結果入力処理での対応とするため、 範囲外処理として、システム処理の概要説明書に追記	001	

70062-2

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

平 成 26 年 3 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 28 (107条2項届)	1. 確認 (1)データ編集表4. 1　戸籍事項 ・戸籍事項と身分事項が存在する届出の戸籍事項中の記録日 については、処理日を移送しない。 (標準仕様書第6版の修正資料の加除漏れのため、再修正)	018	

70062-3

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:18 1／1
平 成 ２ ７ 年 ３ 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．28 (107の2項届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 (1)2．0関連チェック No.18に氏の同一確認のための関連チェックを追加	005	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

平 成 28 年 3 月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．28 (107条2項届)	1．　要件定義ワークシート (1)　3．0審査 審査(0-2)のYES,NOの判定が逆になっており、他届出と 差異があるため修正。	006	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:20　1／1
平 成 ２９年３月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．28 (107条2項届)	1．　要件定義ワークシート (1)2．0関連チェック (107-2の20) No.8のチェックを変更 処理日の入力について受領日と同一日付の場合エラーとする	005	
		(2)3．0審査 (107-2の17) 審査(1)の条件修正 日付判定の書き方修正	006	
		(107-2の18) 審査(0-2)のYES,NOの備考の内容が逆になっているため修正。	006	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:21　　1／1
平 成 ３０ 年 ３ 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．28 (107条2項届)	1．　要件定義ワークシート (1)2．0関連チェック (107-2の22) 関連チェックにおいて、住所と世帯主のチェックに、 「住所＝スペースの時、世帯主＝スペースであること」を追加	005	
		(2)3．0審査 (107-2の21) 審査(0-1)のNOの分岐先に誤記があるため修正 審査(0-4)の項番の順序が誤っているため修正	006	

第 2 3 (1)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条2項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	1／1

1. 107条2項届による氏の変更業務処理範囲外の処理

・氏を変更する者の子について、(養)父母欄の氏を更正する場合は、更正処理

・非本籍地に届出し、その管内に新戸籍編製する場合の個人特定(入籍)の編集は、移記処理

・変更後の氏に子に承継する部分が含まれているか否かの審査
　但し、上記についての外国法制の調査は実際に困難であるため、
　特段の事情がない限り届出の通り受理されることになる

・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

2. 107条2項届入力画面の意義

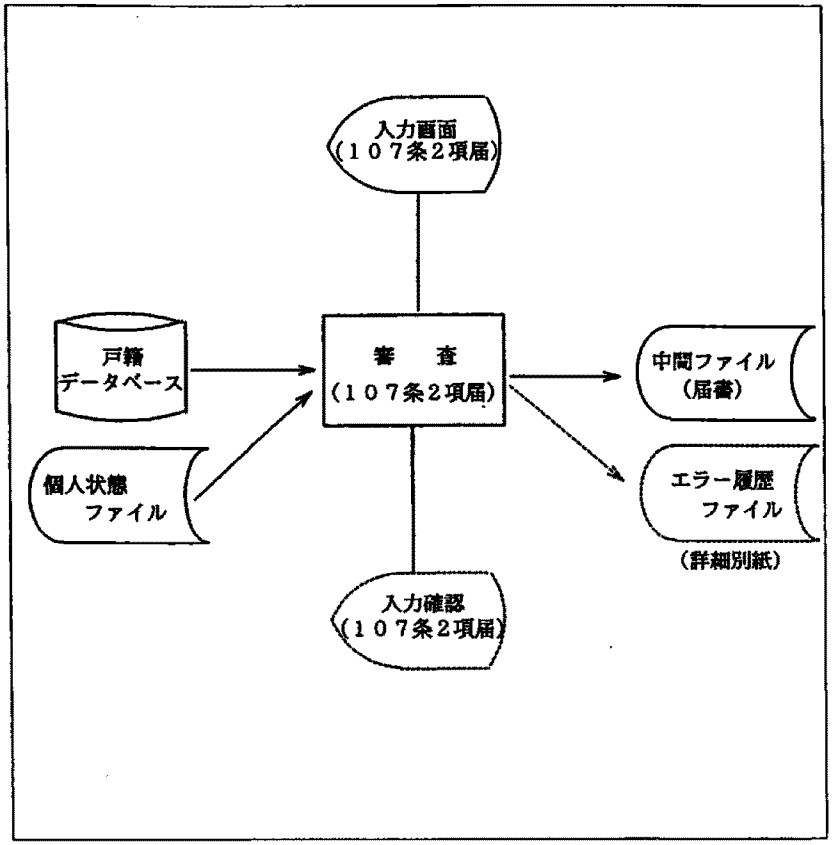
・氏の変更を行う当事者(筆頭者)の各項目を入力する。

3. その他

70063
100

第２３（２）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（１０７条２項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／8

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入　力		
個人状態ファイル	入　力		
中間ファイル（届書）	出　力		
エラー履歴ファイル	出　力		

3．処理概要

（1）１０７条２項届の内容を画面入力する。
（2）１０７条２項届で入力された項目の単体チェックを行う。
（3）１０７条２項届で入力された項目の関連チェックを行う。
（4）審査を行う。
（5）１０７条２項届から中間ファイル（届書）を編集し、出力する。
（6）入力確認（１０７条２項届）に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データチェック（単体表）
- 2.0 データチェック（関連表）
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表（中間ファイル／届書）

5．備考（特記事項含む）

（1）届出期間は、婚姻日～受領日で計算する。

70064
002

第2章(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（１０７条２項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	2／8

処理名	0．0　本紙							備考
（1）届書内容を画面入力する							／	「届出ﾒﾆｭｰ」で受領番号が入力された場合、届書ﾌｧｲﾙから画面編集をおこなう。
（2）キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF10，PF11，PF12，その他）							／	
実行キー	（3）入力項目の単体チェック（OK：YES，NG：NO）〔1．0〕						／	
	YES	（4）入力項目の関連チェック（OK：YES，NG：NO）〔2．0〕					／	
		YES	（5）画面の入力項目を全て入力禁止とする				／	
			（6）審査（OK：YES，NG：NO）〔3．0〕				／	
			YES	（7）中間ファイル（届書）編集出力〔4．0〕				（8）入力確認画面に制御を渡す
			NO	（9）メッセージの種類（審査ｴﾗｰ，確認）			／	
				審査ｴﾗｰ	（10）エラーメッセージを表示する			（12）同画面を編集する　メッセージをエラー履歴ファイルに出力する
				確認	（11）確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			確認と応答をエラー履歴ファイルに出力する
		NO	（13）エラーメッセージを表示する					
	NO	（14）エラーメッセージを表示する						
PF1	→　（15）業務選択に制御を渡す							
PF2	→　（16）届出選択に制御を渡す							
PF10	（17）画面の入力項目の入力禁止を解除する　（21）同画面を編集する							入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	（18）当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効
PF12	（19）入力画面を初期化する							
その他	（20）エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する							

第２３(５)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（１０７条２項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	３／８

処理名	画面名	画面ＩＤ	
１．０　単体チェック　　１／１	入力画面（１０７条２項届）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受帳No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	（０：受理分，１：国内からの送付，２：在外公館の直接送付，３：在外公館の国内経由）であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	（１：本籍，２：非本籍）であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
１０	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
１１	筆頭者漢字氏名	○	漢字				
１２	変更後カナ氏	○	カナ				
１３	変更後漢字氏	○	漢字				
１４	筆頭者本籍	○	漢字				
１５	筆頭者住所		漢字				
１６	筆頭者世帯主		漢字				
１７	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
１８	筆頭者婚姻年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
１９	筆頭者ー配偶者区分	○	数字	（１：夫，２：妻，３：生存配偶者）であること			
２０	配偶者氏	○	漢字				
２１	配偶者名	○	漢字				
２２	配偶者ー外人区分	○	数字	（１：外国人）であること			
２３	同籍者区分	○	数字	（０：無，３：他構成員のみ）であること			戸２０の２Ｉ
２４	新本籍		漢字				戸２０の２Ｉ

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日 付	版	頁
		審査(107の2項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	4／8

処　理　名	画　面　名	画　面　Ｉ Ｄ
2．0 関連チェック	入力画面(107の2項届)	

No	内　容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備　考
1	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.4)送付日≧(No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.5)発送元＝スペースであること			
3	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.5)発送元≠スペースであること			
4	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.6)在外送付区分＝0:受理分であること			
5	(No.5)発送元≠スペースの時、(No.6)在外送付区分≠0:受理分であること			
6	(No.5)発送元≠スペースかつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分＝1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元≠スペースかつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分＝2:在外公館の直接送付　または (No.6)在外送付区分＝3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日≠スペースの時、(No.7)処理日＞(No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.4)送付日＝スペースであること			
10	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≦(No.3)受領日であること			
11	(No.3)受領日≧(No.18)筆頭者婚姻年月日であること			
12	(No.8)本非区分＝1:本籍の時、(No.14)筆頭者本籍　又は　(No.24)　新本籍が管内であること			
13	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≧(No.18)筆頭者婚姻年月日であること			
14	(No.23)同籍者区分＝0:無の時、(No.24)新本籍　＝スペースであること			
15	(No.23)同籍者区分≠0:無の時、(No.24)新本籍　≠スペースであること			
16	(No.11)筆頭者漢字氏名の氏≠(No.13)変更後漢字氏であること			
17	(No.16)筆頭者世帯主≠スペースの時、(No.15)筆頭者住所≠スペースであること			
17-1	(No.15)筆頭者住所＝スペースの時、(No.16)筆頭者世帯主＝スペースであること			
18	(No.13)変更後漢字氏＝(No.21)配偶者氏であること			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条2項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	5／8

処理名			3.0 審査			備考
(0-1)受領日＝送付日である（ＹＥＳ，ＮＯ）						
ＹＥＳ	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか？」（ＹＥＳ，ＮＯ）					
	ＹＥＳ	(0-3)→(1)へ				
	ＮＯ	(0-4)→			(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
ＮＯ	(0-6)→(1)へ					
(1) 筆頭者婚姻年月日 ＋ 6箇月 ＞ 受領日である (YES, NO)				／		戸107Ⅱ, 戸43, 民143
YES	(2) 筆頭者－配偶者区分 (1:夫, 2:妻, 3:生存配偶者)			／		
	1, 2	(3) →			(3-1)本紙へ	
	3	(4) エラーメッセージ 「外国人配偶者が死亡しています。」を表示			(5) 本紙へ	不受理 昭和59. 11. 1 民二5500号通達
ＮＯ	(6) エラーメッセージ 「届出有効期間(6箇月以内)を経過しています。」を表示					不受理
(7)				／		(7)～(13)欠番
	(8)			／		
		(9)			(10)	
			(11)			
			(12)			
		(13)				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	6/8

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)／共通	←	(引渡側) 入力画面(107条2項届)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.，	
中間ファイル	受領番号		107条2項届	受領No				
(届書)	選択事件コード		入力画面	———				29 を引き渡す
共通	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			———				
	許可日			———				
	受理送付区分			———				在外送付区分＝0 の時、1 在外送付区分≠0 の時、2
	本非区分			本・非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			———				ZERO (不要)
	届区分			———				1 (創設)
	渉外区分			———				1 : 渉外
	同時決裁受領番号			———				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2			———				
	ロック戸籍番号3			———				
	ロック戸籍番号4			———				
	ロック戸籍番号5			———				
	事件別内容							3／3参照
	不受理申出処分区分			———				

第2章3節(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（１０７条２項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	7／8

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力　2/3	（受取側）中間ファイル（届書）／共通	←（引渡側）入力画面（１０７条２項届）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
中間ファイル（届書） 共通	処分区分		１０７条２項届 入力画面	――――				審査の結果により、１＝受理または２＝不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分			――――				何も設定されていない場合に ０：未決裁を設定
	届書排他区分			――――				再入力の場合に　１：排他　を設定

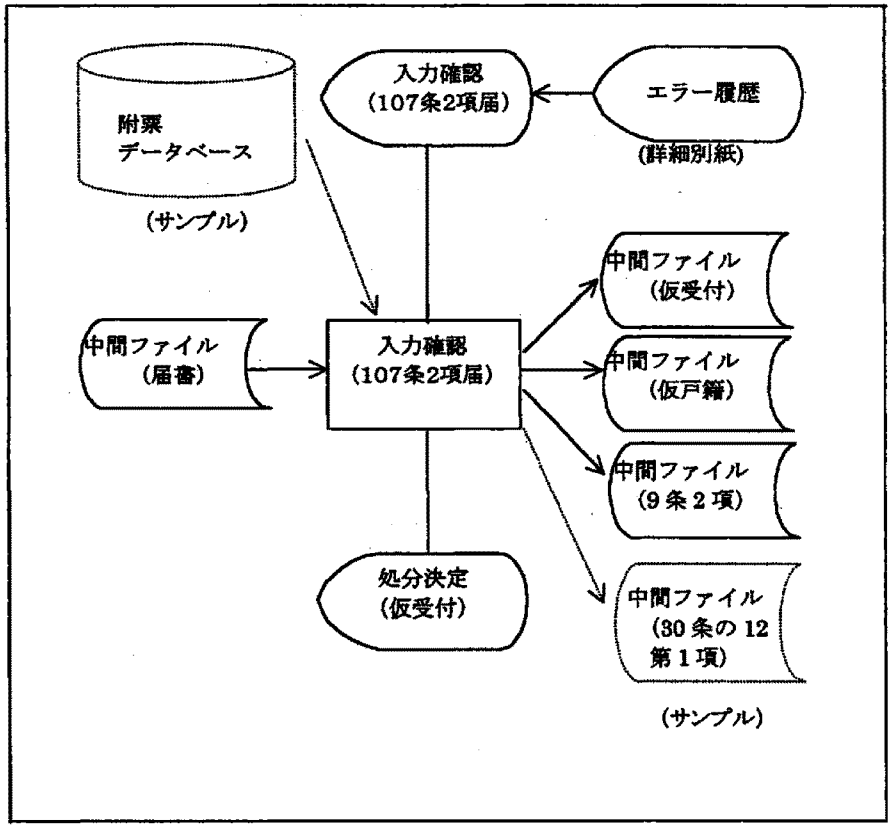
第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（１０７条２項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	8／8

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 3/3	（受取側）中間ファイル(届書)／事件別内容	←（引渡側）入力画面（１０７条２項届）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
中間ﾌｧｲﾙ（届書）	氏変更者個人番号		１０７条２項届	――――				本籍人のとき、個人番号を設定
事件別内容	カナ氏名（筆頭者）		入力画面	筆頭者カナ氏名				
	漢字氏名（筆頭者）			筆頭者漢字氏名				
	カナ氏（変更後）			変更後カナ氏				
	漢字氏（変更後）			変更後漢字氏				
	本籍コード			筆頭者本籍				
	本籍（筆頭者）							
	住所コード			筆頭者住所				
	住所（筆頭者）							
	世帯主（筆頭者）			筆頭者世帯主				
	生年月日（筆頭者）			筆頭者生年月日				
	婚姻年月日（筆頭者）			筆頭者婚姻年月日				
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者氏			配偶者氏				
	配偶者名			配偶者名				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				
	同籍者区分			同籍者区分				
	届後戸籍筆頭者カナ氏名			――――				新本籍≠スペース：「変更後カナ氏＋筆頭者カナ氏名の名」を移送
	届後戸籍筆頭者			――――				新本籍≠スペース：「変更後漢字氏＋筆頭者漢字氏名の名」を移送
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							

第23(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	1／15

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル（届書）	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル（仮受付）	出力		
中間ファイル（仮戸籍）	出力		
中間ファイル（9条2項）	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。

(2)戸籍変動情報を確定する。

(3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。

(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。

(5)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する。

(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する。……(サンプル提示)

(7)処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル／仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍［戸籍事項］)
    - 4.1 戸籍事項(107条2項)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍［個人特定］)
    - 5.1 個人特定(入籍)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍［身分事項］)
    - 6.1 身分事項(除籍)
    - 6.2 身分事項(入籍)
    - 6.3 身分事項(変動なし)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル／9条2項)
    - 7.1 氏の変更者
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル／30条の12第1項)…(サンプル提示)
    - 8.1 氏の変更者

5. 備考(特記事項含む)

戸籍事項(107条2項)［4.1］を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する。

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月 1日	2.1	2／15

処理名	0.0 本紙	備考

(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する			〔1.0〕	／		
(2)キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF5, PF11, その他)				／		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編成マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		〔2.0〕	／		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する		〔3.0〕	／		
	(5)事件本人が本籍人である (YES, NO)			／		
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		／		
		戸籍事項	(7)戸籍法107条2項届の編集 〔4.1〕	／		
		個人特定(入籍)	(8)事件本人の個人特定情報の編集 〔5.1〕	／		
		身分事項(除籍)	(9)事件本人の除籍事項の編集 〔6.1〕	／		
		身分事項(入籍)	(10)事件本人の入籍事項の編集 〔6.2〕	／		
		身分事項(変動なし)	(11)事件本人の変動なし事項の編集 〔6.3〕	／		
		(11-1) 氏変更者は在外選挙人である(YES, NO)		／	※サンプル提示	
		YES	(11-2) 氏変更者について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する 〔8.1〕	／	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理	
		NO	(12) → (13)	／	(11-1)(11-2)	
	NO					
	(13)在外送付区分=0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である (YES, NO)			／		
	YES	(14)氏変更者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔7.1〕			(15)処分決定に制御を渡す	
	NO	→				
PF1	→				(16)業務選択に制御を渡す	
PF2	→				(17)届出選択に制御を渡す	
PF5	→				(18)審査に制御を渡す	
PF11	→				(19)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(20)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する				(21)同画面を編集する	

110

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（107条2項届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／15

処理名	1.0 確認画面（107条2項届）表示 1／2	（受取側）107条2項届確認画面	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	備考
107条2項届 確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル（届書） 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本・非本			本非区分				
	本・非本名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	筆頭者カナ氏名		中間ファイル（届書） 事件別内容	カナ氏名（筆頭者）				
	筆頭者漢字氏名			漢字氏名（筆頭者				
	変更後カナ氏			カナ氏（変更後）				
	変更後漢字氏			漢字氏（変更後）				
	筆頭者本籍			本籍コード				
				本籍（筆頭者）				
	筆頭者住所			住所コード				
				住所（筆頭者）				
	筆頭者世帯主			世帯主（筆頭者）				
	筆頭者生年月日			生年月日（筆頭者）		有		
	筆頭者婚姻年月日			婚姻年月日（筆頭者）		有		
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者区分名称					有		
	配偶者氏			配偶者氏				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（１０７条２項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	4／15

処理名	1.0 確認画面（１０７条２項届）表示 2／2	（受取側）１０７条２項届確認画面	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
１０７条２項届 確認画面	配偶者外人区分		中間ファイル （届書） 事件別内容	配偶者外人区分				
	配偶者外人区分名称					有		
	配偶者名			配偶者名				
	同籍者区分			同籍者区分				
	同籍者区分名称					有		
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（戸籍法１０７条２項）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	5／15

処理名　2.0　戸籍編製マトリクス表

項番	条件						戸籍の変動		
	氏変更者						氏変更者の戸籍		新戸籍編製
	本籍		同籍者区分		新戸籍編製		一部除籍 A.2 C.2	変動なし A.2 4.1 D.2	A.1 4.1 B.1 5.1 D.1
	本籍人	非本籍人	無	他構成員のみ	管内	管外			
1	○		○					氏変更者（6.3）	
2	○			○	○		氏変更者（6.1）		氏変更者（6.2）
3	○			○		○	氏変更者（6.1）		
4		○		○	○				氏変更者（6.2）

（注）新戸籍編製の場合、B.1 は 4.1 編集後作成する。

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	6/15

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／共通	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
中間ファイル	受領番号		中間ファイル	受領番号				
(仮受付)	出張所番号		(届書)	出張所番号				
共通	受付事件コード			―――				2901(戸籍法107条2項)を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日＝空白の時、受領日 送付日≠空白の時、送付日
	事件発生日							
	事件発生時分			―――				
	事件発生日時			―――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			―――				「0:届出」を移送
	発送日			―――				
	郵送日			郵送日				
	発日			―――				
	収日			―――				
	指示日			―――				
	許可日			―――				
	関連受領番号			―――				
	届出人資格区分1			―――				本人であるので移送しない
	届出人資格名称1			―――				
	届出人氏名1			―――				
	届出人資格区分2			―――				
	届出人資格名称2			―――				
	届出人氏名2			―――				
	届後本籍区分			―――				新本籍≠スペースの時、2を移送

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（107条2項届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7／15

処理名	3.0 中間ファイル（仮受付）編集・出力 2/3	（受取側）中間ファイル（仮受付）／共通	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰﾁﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル（仮受付） 共通	届後本籍コード		中間ファイル（届書）	新本籍コード				新本籍≠スペースの時，移送
	届後本籍			新本籍				新本籍≠スペースの時，移送
	届後戸籍の筆頭者			――――				新本籍≠スペース：「漢字氏(変更後)＋漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	送達確認1			――――				(届後本籍が非本籍)かつ(在外送付区分＝0)の場合は、1(未到着)を設定。上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分			――――				本非区分＝1（本籍）の場合は、1（送付要）を設定。上記以外は、0（送付不要）を設定。＊本非区分は、共通部の項目を使用。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	8/15

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
中間ファイル	受領番号		中間ファイル	受領番号				
(仮受付)	行番号		(届書)	――――				
事件本人	事件本人区分			――――				53 :氏変更者 を設定
	届出人区分			――――				1 :事件本人 を設定
	カナ氏名			カナ氏名(筆頭者)				
	漢字氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	生年月日			生年月日(筆頭者)				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍(筆頭者)				
	筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	送達確認2			――――				事件本人の現本籍が、 (本非区分=2) かつ (在外送付区分=0) の場合は、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月1日	17	9／15

処理名	4.1戸籍事項(107条2項)編集・出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／戸籍事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称	記号名	(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ﾌｧｲﾙ (届書)	――――				
	行番号				――――				
	出力区分				――――				0:可を設定
	タイトルコード				――――				2901:を設定
	記録コード				――――				2901:を設定
	管掌者コード				――――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
	氏変更	氏変更の事由			――――				「戸籍法107条2項の届出」を設定
	許可	許可日			――――				
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			――――				
	許可	許可を受けた日			――――				
	従前記録	従前の記録			――――				新本籍＝スペースのとき、「漢字氏名(筆頭者)の氏」を移送 上記以外は移送しない。
	従前記録	氏							
	記録	記録日			――――				
	特記	特記事項			――――				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（107条2項届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10／15

処理名	5.1 個人特定（入籍）編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）個人特定	←（引渡側）中間ファイル（届書）、戸籍処理

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル（仮戸籍）個人特定	個人番号			――				決裁処理で設定
	戸籍番号			――				
	戸籍記録順位番号			――				
	入籍日		中間ファイル（届書）	処理日（または送付日または受領日）				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日			――				
	性別			――				配偶者区分より判定し、設定
	生年月日			生年月日（筆頭者）				
	筆頭者区分			――				1：筆頭者を設定
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			――				移記処理で設定
	母			――				
	父母との続柄			――				
	養父			――				
	養母			――				
	養父母との続柄			――				
	前個人番号			――				
	個人除区分			――				0：在籍者 を設定

70083

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	11／15

処理名	6.1 氏の変更者の記録(除籍)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	———				本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号			———				
	出力区分			———				0:可を設定
	タイトルコード			———				2901:「氏の変更」を設定
	記録コード			———				2901:「107条2項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード			———				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			———				「戸籍法107条2項の届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				送付日≠スペース:送付日を移送
	送付 受理者			発送元				送付日≠スペース:発送元を移送
	許可 許可日			———				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			———				
	許可 許可を受けた者			———				
	入籍 入籍日			———				除籍では不使用
	入戸籍 従前戸籍 本籍			———				除籍では不使用
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			———				除籍では不使用
	除籍 除籍日			処理日				
	除戸籍 新本籍			新本籍				該当項目を移送
	除戸籍 変更後の氏			漢字氏(変更後)				該当項目を移送
	記録 記録日			———				
	特記 特記事項			———				

020

70084

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	12／15

処理名	6.2 氏の変更者の記録(入籍)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――				本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号			――――				
	出力区分			――――				0:可を設定
	タイトルコード			――――				2901:「氏の変更」を設定
	記録コード			――――				2901:「107条2項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード			――――				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			――――				「戸籍法107条2項の届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				送付日≠スペース:送付日を移送
	送付 受理者			発送元				送付日≠スペース:発送元を移送
	許可 許可日			――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――				
	許可 許可を受けた者			――――				
	入籍 入籍日			処理日				
	入戸籍 従前戸籍 本籍			本籍(筆頭者)				該当項目を移送
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				該当項目を移送
	除籍 除籍日			――――				入籍では不使用
	除戸籍 新本籍			――――				入籍では不使用
	除戸籍 変更後の氏			――――				入籍では不使用
	記録 記録日			――――				
	特記 特記事項			――――				

021

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	13/15

処理名	6.3 氏の変更者の記録(変動なし)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 サ=サブルーチン	Z9.,	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――				本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号			――				
	出力区分			――				0:可を設定
	タイトルコード			――				2901:「氏の変更」を設定
	記録コード			――				2901:「107条2項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード			――				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			――				「戸籍法107条2項の届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				送付日≠スペース:送付日を移送
	送付 受理者			発送元				送付日≠スペース:発送元を移送
	許可 許可日			――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――				
	許可 許可を受けた者			――				
	入籍 入籍日			――				変動なしでは不使用
	入戸籍 従前戸籍 本籍			――				変動なしでは不使用
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			――				変動なしでは不使用
	除籍 除籍日			――				変動なしでは不使用
	除戸籍 新本籍			――				変動なしでは不使用
	除戸籍 変更後の氏			――				変動なしでは不使用
	記録 記録日			処理日				
	特記 特記事項			――				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	14／15

処理名	7.1 氏の変更者 編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)／氏の変更者	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.,	
中間ファイル(9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
氏の変更者	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――				29:107条2項届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			――――				「漢字氏(変更後)＋漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	新生年月日			生年月日(筆頭者)				
	旧生年月日			生年月日(筆頭者)				
	新父母との続柄			――――				
	旧父母との続柄			――――				
	新本籍コード			新本籍コード				新本籍≠スペースの時、移送
	新本籍			新本籍				新本籍≠スペースの時、移送
	旧本籍コード			本籍コード				新本籍≠スペースの時、移送
	旧本籍			本籍(筆頭者)				新本籍≠スペースの時、移送
	新筆頭者			――――				「漢字氏(変更後)＋漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			――――				
	住民日							

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（１０７条２項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１５／１５

処理名	7.1 氏の変更者　編集・出力　2/2	（受取側）中間ファイル（9条2項）／氏の変更者　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)	世帯主		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	筆頭者世帯主				
氏の変更者	世帯主との続柄			――――				

70087

70088

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月 1日	2.1	15-1／15

処理名	8.1 氏の変更者　編集・出力　1/1	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)／氏の変更者	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	サ=サブルーチン	Z9.，	
中間ファイル	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
(30条の12第1項)	出張所番号			出張所番号				
氏の変更者	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)	――――				29:107条2項届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			――――				「漢字氏(変更後)＋漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	新生年月日			生年月日(筆頭者)				
	旧生年月日			生年月日(筆頭者)				
	新父母との続柄			――――				
	旧父母との続柄			――――				
	新本籍コード			新本籍コード				新本籍≠スペースの時、移送
	新本籍			新本籍				新本籍≠スペースの時、移送
	旧本籍コード			本籍コード				新本籍≠スペースの時、移送
	旧本籍			本籍(筆頭者)				新本籍≠スペースの時、移送
	新筆頭者			――――				「漢字氏(変更後)＋漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							

025

70089

第7.2.(5)「異動」処理

29.１０７条３項届

標準仕様書修正履歴

平成１０年２月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).29 （107条3項届）	1．システム処理の概要説明 （1）１０７条３項業務処理範囲外の処理の修正 ・事件本人が当該届出前に日本人と婚姻している場合は「審査結果入力処理」にて対応する。 2．審査 （1）事件本人が当該届出前に日本人と婚姻している場合の判断を同籍者区分で行い、区分が1（配偶者のみ）または2（配偶者＋他構成員）の場合は審査結果入力を促すメッセージを表示するように審査を追加 （2）中間ファイル編集（届書）修正 ・指示日、許可日の編集を削除 3．入力確認 （1）システム環境仕様書の機能体系から配偶者の編集に関する箇所を削除 ・５．２　個人特定（入籍：配偶者）を削除 ・６．４　身分事項（除籍：配偶者）を削除 ・６．５　身分事項（入籍：配偶者）を削除 ・７．２　９条２項（配偶者）を削除 （2）本紙の配偶者の編集に関する箇所を削除 ・仮戸籍編集（個人特定、身分事項）を削除 (12)～(15)の処理を削除 ・9条2項編集 (19),(20)の処理を削除 （3）戸籍編製マトリクス表から配偶者の編集に関する箇所を審査結果入力処理で対応するように修正 （4）中間ファイル編集（仮受付） ・許可日の編集を削除 ・筆頭者項目及び編集条件を追加 （5）配偶者の編集に関する箇所を削除 ・個人特定（入籍：配偶者） ・身分事項（除籍：配偶者） ・身分事項（入籍：配偶者） ・中間ファイル編集（配偶者：9条2項） （6）氏の変更者の身分事項（除籍） ・許可日の編集条件を削除 （7）氏の変更者の身分事項（入籍） ・許可日の編集条件を削除 （8）氏の変更者の身分事項（変動なし） ・許可日の編集条件を削除 （9）中間ファイル編集（氏の変更者：9条2項） ・受理日編集条件修正	001 006,007 008 011 012 015 016 018 021 025 026 029,030 022 023 024 027	

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第 7. 2. (5). 29 （107条３項届）	公職選挙法改正によるシステムの対応（サンプル提示） １．入力確認 （１）システム環境仕様書 ・詳細フロー及び使用ＤＢ・ファイル一覧に入力ファイルとして附票データベース、出力ファイルとして中間ファイル（３０条の１２第１項）を追加 ・処理概要、機能体系に中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集に関する記述を追加 （２）本紙の処理内容 ・氏の変更者が在外選挙人の場合の中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集・出力処理の追加 （３）中間ファイル編集（３０条の１２第１項） ・氏の変更者に関して新規追加	 011 012 030-1	

70092

標準仕様書修正履歴

平成11年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).29 (107条3項届)	1.審査 (1)届出期間の審査要件修生 ・「≦」を「＜」に修正 ・備考欄に「民143」を追加	006	

標準仕様書修正履歴

平成１２年３月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 29 (107条3項届)	1. 審査 (1)戸籍法32条第2項が廃止されることによる審査の削除 ・事件本人が禁治産者の場合の確認メッセージ削除 審査(9)(10)(13)(14)削除	006	

標準仕様書修正履歴

平成14年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).29 (107条3項届)	1.確認 (1)データ編集表4.1 戸籍事項 ・戸籍事項と身分事項が存在する届出の戸籍事項中の記録日については、処理日を移送しない。	019	

標準仕様書修正履歴

平成15年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).29 (107の3項届)	1.住所・世帯主関連チェック (1)2.0関連チェック No.17に住所・世帯主の関連チェックを追加	005	

標準仕様書修正履歴

平成16年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 29 (107の3項届)	(1)2. 0関連チェック No.16の「筆頭者漢字氏名」を「筆頭者漢字氏名の氏」に変更	005	

標準仕様書修正履歴

平成１８年３月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 29 (107条3項届)	(1)データ編集表5. 1 個人特定 配偶者区分の備考欄に「0:未 を設定」と記述する。	020	

標準仕様書修正履歴

平成１９年３月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．29 (107条3項届)	1．要件定義ワークシート (1) 3．0審査 受理日と送付日が同一の場合の審査を追加	006	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

平 成22年 3 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．29 (107条3項届)	1．システム処理の概要説明書 婚姻中の筆頭者が国籍喪失となっている戸籍の処理について 審査結果入力処理での対応とするため、 範囲外処理として、システム処理の概要説明書に追記	001	

70099-2

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:18　　1／1
平 成 ２７ 年 ３ 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．29 (107の3項届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 (1)2．0関連チェック No.18に氏の同一確認のための関連チェックを追加	005	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:20　　1／1
平 成 ２９ 年 ３ 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．29 (107の3項届)	(1)2．0関連チェック (107条3項15) No.8のチェックを変更 処理日の入力について受領日と同一日付の場合エラーとする	005	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:21　　1／1
平 成 ３０ 年 ３ 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．29 (107の3項届)	(1)2．0関連チェック (107条3項17) 関連チェックにおいて、住所と世帯主のチェックに、 「住所＝スペースの時、世帯主＝スペースであること」を追加 (2)3．0審査 (107条3項16) 審査(0-1)のNOの分岐先に誤記があるため修正 審査(0-2)のYES,NO応答後の処理内容が逆になっているため修正 誤記を修正（本誌→本紙） 審査(1-1)～(1-4)の項番を(0-7)～(0-10)に修正	005 006	

第 2 3 (1)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条3項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	1／1

70100

1. 107条3項届による氏の変更業務処理範囲外の処理

・氏を変更する者の子について、(養)父母欄の氏を更正する場合(更正処理)

・事件本人が当該届出前に婚姻していた場合は審査結果入力処理で対応する。

・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

2. 107条3項届入力画面の意義

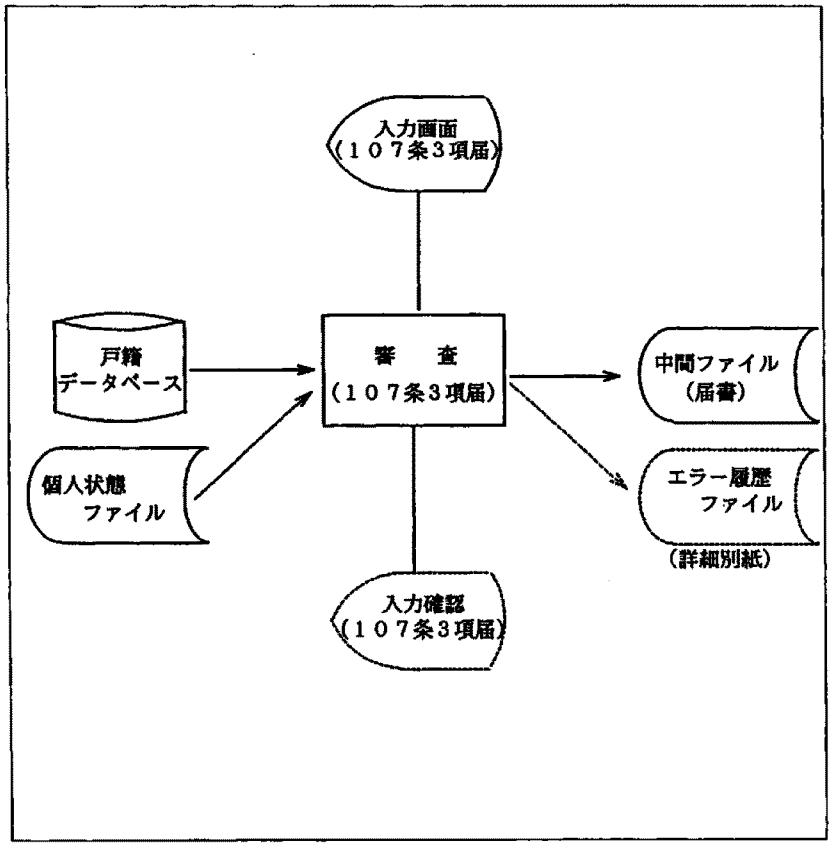
・氏の変更を行う当事者(筆頭者)の各項目を入力する。

3. その他

001

第２３（２）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（１０７条３項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／9

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入　力		
個人状態ファイル	入　力		
中間ファイル（届書）	出　力		
エラー履歴ファイル	出　力		

3．処理概要

（1）１０７条３項届の内容を画面入力する。
（2）１０７条３項届で入力された項目の単体チェックを行う。
（3）１０７条３項届で入力された項目の関連チェックを行う。
（4）審査を行う。
（5）１０７条３項届から中間ファイル（届書）を編集し、出力する。
（6）入力確認（１０７条３項届）に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データチェック（単体表）
- 2.0 データチェック（関連表）
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表（中間ファイル／届書）

5．備考（特記事項含む）

701
002

70102

第２３（３）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（１０７条３項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	~~平成６年１１月　１日~~	3	2／9

処理名								0．0　本紙		備考
（1）届書内容を画面入力する									／	「届出ﾒﾆｭｰ」で受領番号が入力された場合、届書ﾌｧｲﾙから画面編集をおこなう。
（2）キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF10，PF11，PF12，その他）									／	
実行キー	（3）入力項目の単体チェック（OK：YES，NG：NO）							〔1.0〕	／	
	YES	（4）入力項目の関連チェック（OK：YES，NG：NO）						〔2.0〕	／	
		YES	（5）画面の入力項目を全て入力禁止とする						／	
			（6）審査（OK：YES，NG：NO）					〔3.0〕	／	
			YES	（7）中間ファイル（届書）編集出力				〔4.0〕		（8）入力確認画面に制御を渡す
			N　O	（9）メッセージの種類（審査ｴﾗｰ，確認）					／	
				審査ｴﾗｰ	（10）エラーメッセージを表示する					（13）同画面を編集する　メッセージをエラー履歴ファイルに出力する
				確　認	（11）確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					確認と応答をエラー履歴ファイルに出力する
		N　O	（12）エラーメッセージを表示する							
	N　O									
PF1	→　（14）業務選択に制御を渡す									
PF2	→　（15）届出選択に制御を渡す									
PF10	（16）画面の入力項目の入力禁止を解除する　（20）同画面を編集する　入力項目が入力禁止のときのみ有効									
PF11	（17）当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する　審査エラー発生時のみ有効									
PF12	（18）入力画面を初期化する									
その他	（19）エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する									

003

第23(5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（１０７条３項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	3／9

処理名	画面名	画面ＩＤ	
１．０　単体チェック	入力画面（１０７条３項届）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	（０:受理分，１:国内からの送付，２:在外公館の直接送付，３:在外公館の国内経由）であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	（１：本籍，２：非本籍）であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
１０	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
１１	筆頭者漢字氏名	○	漢字				
１２	変更後カナ氏	○	カナ				
１３	変更後漢字氏	○	漢字				
１４	筆頭者本籍	○	漢字				
１５	筆頭者住所		漢字				
１６	筆頭者世帯主		漢字				
１７	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
１８	筆頭者婚姻解消日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
１９	１０７条３項原因	○	数字	（１：離婚，２：婚姻取消，３：配偶者死亡）であること			
２０	外人配偶者氏名	○	漢字				
２１	同籍者区分	○	数字	（０：無，１：配偶者のみ，２：配偶者＋他構成員，３：他構成員のみ）であること			戸２０の２Ｉ
２２	新本籍		漢字				戸２０の２Ｉ

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(107の3項届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成30年　3月31日	21	4／9

処　理　名	画　面　名	画　面　ＩＤ
2．0　関連チェック	入力画面(107の3項届)	

No	内　容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備　考
1	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.4)送付日≧(No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.5)発送元＝スペースであること			
3	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.5)発送元≠スペースであること			
4	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.6)在外送付区分＝0:受理分であること			
5	(No.5)発送元≠スペースの時、(No.6)在外送付区分≠0:受理分であること			
6	(No.5)発送元≠スペースかつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分＝1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元≠スペースかつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分＝2:在外公館の直接送付　または (No.6)在外送付区分＝3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日≠スペースの時、(No.7)処理日＞(No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≦(No.3)受領日であること			
10	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.4)送付日＝スペースであること			
11	(No.3)受領日≧(No.17)筆頭者婚姻解消年月日であること			
12	(No.8)本非区分＝1:本籍の時、(No.14)筆頭者本籍　又は　(No.22)　新本籍が管内であること			
13	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≧(No.19)筆頭者婚姻解消日であること			
14	(No.21)同籍者区分≠0:の時、(No.22)新本籍　≠スペースであること			戸20の2Ｉ
15	(No.21)同籍者区分＝0:の時、(No.22)新本籍　＝スペースであること			戸20の2Ｉ
16	(No.11)筆頭者漢字氏名の氏≠(No.13)変更後漢字氏であること			
17	(No.16)筆頭者世帯主≠スペースの時、(No.15)筆頭者住所≠スペースであること			
17-1	(No.15)筆頭者住所＝スペースの時、(No.16)筆頭者世帯主＝スペースであること			
18	(No.11)筆頭者漢字氏名の氏＝(No.20)外国人配偶者氏名の氏であること			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(107条3項届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成30年　3月31日	21	5／9

処　理　名	3.0 審査			備　考
(0-1)受領日＝送付日である（ＹＥＳ，ＮＯ）				
ＹＥＳ	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか？」（ＹＥＳ，ＮＯ）			
	ＹＥＳ	(0-3)→(0-7)へ		
	ＮＯ	(0-4)→	(0-5) 本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
ＮＯ	(0-6)→(0-7)へ			
(0-7) 同籍者区分 （1:配偶者のみ, 2:配偶者＋他構成員, その他）		／		
1, 2	(0-8) エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-10) 本紙へ	
その他	(0-9) → (1)			
(1) 本非区分 （1:本籍, 2:非本籍）		／		
1	(2) 戸籍事項に107条2項届の記録がある （YES, NO）	／		戸107Ⅲ
	YES	(3) 確認メッセージ （YES, NO） 「変更後の氏は当該届書で変更可能な氏ですか？」を表示	(4) 本紙へ	戸107Ⅲ
		YES (5) → (8)		
		Ｎ Ｏ (6) エラーメッセージ 「当該届書は受理できません。」を表示	(7) 本紙へ	不受理
	(8) 筆頭者婚姻解消日＋3箇月＞受領日である （YES, NO）		／	戸43, 戸107Ⅲ, 民143
	YES	(9) →	／	(10),(13),(14)欠番
		(10)	(11) 本紙へ	
		(12)		受理
		(13)		
		(14)		
	Ｎ Ｏ	(15) エラーメッセージ 「届出有効期間(3箇月以内)を経過しています。」を表示		不受理　16, 17欠番
	Ｎ Ｏ	(18) エラーメッセージ 「当該届書は受理できません。」を表示		不受理
2	(19) 筆頭者婚姻解消日＋3箇月＞受領日である （YES, NO）			戸43, 戸107Ⅲ, 民143

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条3項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	6/9

処理名		3.0 審査 2/2			備考
2	YES	(20) 確認メッセージ (YES, NO) 「戸籍法107条2項届で氏の変更をしていますか？」を表示		(21) 本紙へ	戸107Ⅲ
		YES (22) → (25)			
		N O (23) エラーメッセージ 「当該届書は受理できません。」を表示		(24) 本紙へ	不受理
		(25) 確認メッセージ(YES,NO) 「変更後の氏は当該届書で変更可能な氏ですか？」を表示		(30) 本紙へ	戸107
		YES (26) →			受理 27欠番
		NO (28) エラーメッセージ 「当該届は受理できません。」を表示			不受理
	NO	(29) エラーメッセージ 「届出有効期間(3箇月)を経過しています。」を表示			不受理

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	7/9

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)／共通	←	(引渡側) 入力画面(107条3項届)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル	受領番号		107条3項届	受領No				
(届書)	選択事件コード		入力画面	———				30 を引き渡す
共通	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			———				
	許可日			———				
	受理送付区分			———				在外送付区分＝0 の時、1 在外送付区分≠0 の時、2
	本非区分			本・非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			———				ZERO (不要)
	届区分			———				1 (創設)
	渉外区分			———				1 :渉外
	同時決裁受領番号			———				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2			———				
	ロック戸籍番号3			———				
	ロック戸籍番号4			———				
	ロック戸籍番号5			———				
	事件別内容							3／3参照
	不受理申出処分区分			———				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（１０７条３項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	8／9

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力　2/3	（受取側）中間ファイル（届書）／共通	←（引渡側）入力画面（１０７条３項届）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
中間ファイル（届書）共通	処分区分		１０７条３項届入力画面	――――				審査の結果により、１＝受理または２＝不受理をセットする。審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分			――――				何も設定されていない場合に０：未決裁を設定
	届書排他区分			――――				再入力の場合に １：排他 を設定

70109

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（１０７条３項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	9／9

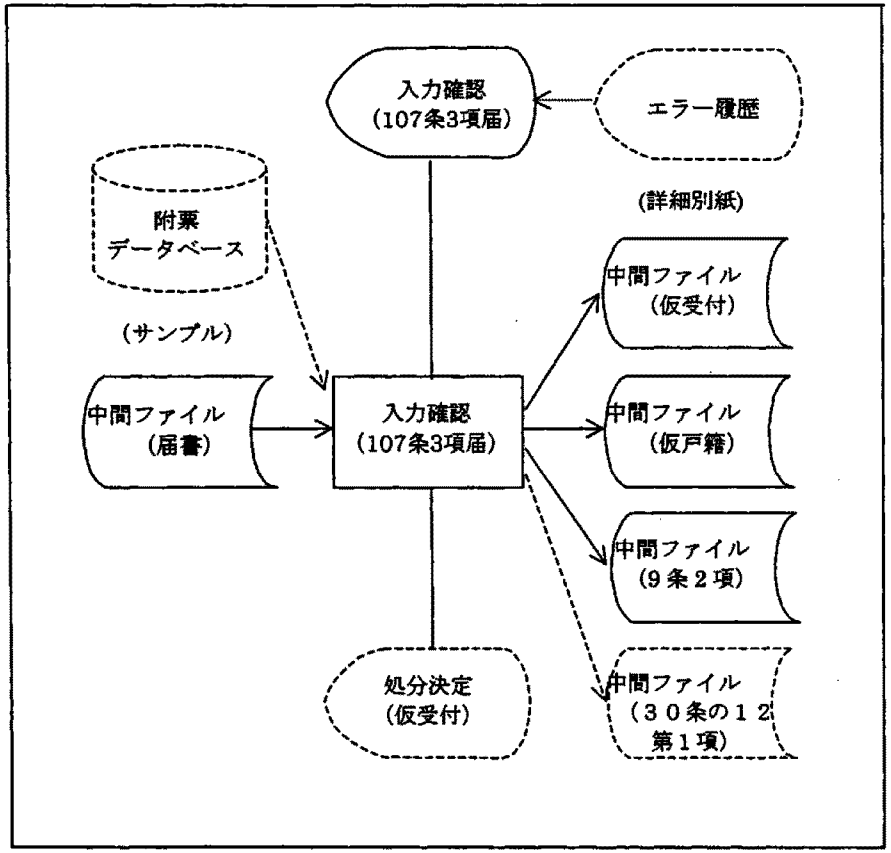
処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力　3/3	（受取側）中間ファイル(届書)／事件別内容	←（引渡側）入力画面（１０７条３項届）

受取側			引渡側			コード変換有無 サブルーチン	出力形態 Ｚ９．．	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ﾌｧｲﾙ（届書） 事件別内容	氏変更者個人番号		１０７条３項届 入力画面	――――				本籍人のとき、個人番号を設定
	カナ氏名（筆頭者）			筆頭者カナ氏名				
	漢字氏名（筆頭者）			筆頭者漢字氏名				
	カナ氏（変更後）			変更後カナ氏				
	漢字氏（変更後）			変更後漢字氏				
	本籍コード			筆頭者本籍				
	本籍（筆頭者）							
	住所コード			筆頭者住所				
	住所（筆頭者）							
	世帯主（筆頭者）			筆頭者世帯主				
	生年月日（筆頭者）			筆頭者生年月日				
	婚姻解消日（筆頭者）			筆頭者婚姻解消日				
	１０７条３項原因			１０７条３項原因				
	配偶者氏名			配偶者氏名				
	同籍者区分			同籍者区分				
	届後戸籍筆頭者カナ氏名			――――				新本籍≠スペース：「変更後カナ氏＋筆頭者カナ氏名の名」を移送
	届後戸籍筆頭者氏名			――――				新本籍≠スペース：「変更後漢字氏＋筆頭者漢字氏名の名」を移送
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							

010

第2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月1日	2.1	1/20

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (届書)	入 力	中間ファイル (30条の12第1項)	出 力 (サンプル)
附票データベース	入 力 (サンプル)		
中間ファイル (仮受付)	出 力		
中間ファイル (仮戸籍)	出 力		
中間ファイル (9条2項)	出 力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2) 戸籍変動情報を確定する。
(3) 中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。
(4) 中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。
(5) 中間ファイル(9条2項)を編集・出力する。
(6) 中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する。……(サンプル提示)
(7) 処分決定処理にに制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル／仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍［戸籍事項］)
    - 4.1 戸籍事項(107条3項)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍［個人特定］)
    - 5.1 個人特定(入籍:氏の変更者)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍［身分事項］)
    - 6.1 身分事項(除籍:氏の変更者)
    - 6.2 身分事項(入籍:氏の変更者)
    - 6.3 身分事項(変動なし:氏の変更者)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル／9条2項)
    - 7.1 氏の変更者
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル／30条の12第1項)…(サンプル提示)
    - 8.1 氏の変更者

5. 備考(特記事項含む)

戸籍事項(107条3項) [4.1]を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する。

70111

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月1日	2.1	2/20

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する		〔1.0〕	／	
(2)キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF5, PF11, その他)			／	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編成マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する	〔2.0〕	／	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する	〔3.0〕	／	
	(5)事件本人が本籍人である (YES, NO)		／	
	YES (6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		／	
	戸籍事項 (7)戸籍法107条3項届の編集	〔4.1〕	／	
	個人特定(入籍) (8)事件本人の個人特定情報の編集	〔5.1〕	／	
	身分事項(除籍) (9)事件本人の除籍事項の編集	〔6.1〕	／	
	身分事項(入籍) (10)事件本人の入籍事項の編集	〔6.2〕	／	
	身分事項(変動なし) (11)事件本人の変動なし事項の編集	〔6.3〕	／	
	(11-1)事件本人は在外選挙人である (YES, NO)			※サンプル提示
	YES (11-2)事件本人について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する	〔8.1〕	／	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理
	N O		／	(11-1) (11-2) No.12～15 欠番
	N O (16) → (17)			
	(17)在外送付区分=0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である (YES, NO)		／	
	YES (18)氏変更者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する	〔7.1〕		(21)処分決定に制御を渡す No.19,20 欠番
	N O →			
PF1	→			(22)業務選択に制御を渡す
PF2	→			(23)届出選択に制御を渡す
PF5	→			(24)審査に制御を渡す
PF11	→			(25)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(26)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(27)同画面を編集する

012

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（107条3項届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／20

処理名	1.0 確認画面（107条3項届）表示 1／2	（受取側）107条3項届確認画面	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
107条3項届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル（届書）共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本・非本			本非区分				
	本・非本名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	筆頭者カナ氏名		中間ファイル（届書）事件別内容	カナ氏名（筆頭者）				
	筆頭者漢字氏名			漢字氏名（筆頭者）				
	変更後カナ氏			カナ氏（変更後）				
	変更後漢字氏			漢字氏（変更後）				
	筆頭者本籍			本籍コード				
				本籍（筆頭者）				
	筆頭者住所			住所コード				
				住所（筆頭者）				
	筆頭者世帯主			世帯主（筆頭者）				
	筆頭者生年月日			生年月日（筆頭者）		有		
	筆頭者婚姻解消日			婚姻解消日（筆頭者）		有		
	107条3項原因			107条3項原因				
	107条3項原因名称					有		
	配偶者氏名			配偶者氏名				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（107条3項届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／20

処理名	1.0 確認画面（107条3項届）表示 2／2	（受取側）107条3項届確認画面	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰﾁﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
107条3項届 確認画面	同籍者区分		中間ファイル（届書）	同籍者区分				
	同籍者区分名称					有		
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				

70113

014

第23(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（戸籍法107条3項）	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	5/20

処理名　2.0　戸籍編製マトリクス表

項番	条件									戸籍の変動			
	氏変更者									氏変更者の戸籍			新戸籍編製 A.1 4.1 B.1 D.1
	本籍		同籍者区分					新戸籍編製		一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし A.2 4.1 D.2	
	本籍人	非本籍人	無	配偶者 有	配偶者 無	他構成員 有	他構成員 無	管内	管外				
1	○		○									氏変更者(6.3)	
2	○			○		○		○		*審査結果入力			*審査結果入力
3	○			○		○			○	*審査結果入力			
4	○			○			○	○			*審査結果入力		*審査結果入力
5	○			○			○		○		*審査結果入力		
6	○				○	○		○		氏変更者(6.1)			氏変更者 (6.2) (5.1)
7	○				○	○			○	氏変更者(6.1)			
8		○		○		○		○					*審査結果入力
9		○		○			○	○					*審査結果入力
10		○			○	○		○					氏変更者 (6.2) (5.1)

（注）新戸籍編製の場合、B. 1 は 4. 1 編集後作成する。

70115

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	6/20

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／共通	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
中間ファイル	受領番号		中間ファイル	受領番号				
(仮受付)	支所番号		(届書)	支所番号				
共通	受付事件コード			———				３００１を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日≠空白の時、送付日 送付日＝空白の時、受領日
	事件発生日							
	事件発生時分			———				ZEROを移送
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			———				「0:届出」を移送
	発送日			———				
	郵送日			郵送日				
	発日			———				
	収日			———				
	指示日			———				
	許可日			———				
	関連受領番号			———				移送データなし
	届出人資格区分1			———				本人であるので移送しない
	届出人資格名称1			———				
	届出人氏名1			———				
	届出人資格区分2			———				
	届出人資格名称2			———				
	届出人氏名2			———				

016

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（107条3項届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7／20

処理名	3.0 中間ファイル（仮受付）編集・出力 2/3	（受取側）中間ファイル（仮受付）／共通	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル（仮受付） 共通	届後本籍区分		中間ファイル（届書）	――――				新本籍≠スペースの時（2：新戸籍編製）を移送 上記以外、移送しない
	届後本籍コード			新本籍コード				新本籍≠スペースの時、移送
	届後本籍			新本籍				新本籍≠スペースの時、移送
	届後戸籍の筆頭者			――――				新本籍≠スペースの時、 「筆頭者の変更後氏＋筆頭者の名」 を移送。上記以外、移送しない。
	送達確認1			――――				（届後本籍が非本籍）かつ （在外送付区分＝0）の場合は、 1（未到着）を設定。 上記以外は、0（不要）を設定。
	届書送付目録区分			――――				本非区分＝1（本籍）の場合は、 1（送付要）を設定。 上記以外は、0（送付不要）を設定。 ＊本非区分は、共通部の項目を使用。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	8/20

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／事件本人	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル	受領番号		中間ファイル	受領番号				
(仮受付)	行番号		(届書)	――――				
事件本人	事件本人区分			――――				53 :氏変更者 を設定
	届出人区分			――――				1 :事件本人 を設定
	カナ氏名			カナ氏名(筆頭者)				
	漢字氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	生年月日			生年月日(筆頭者)				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍(筆頭者)				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2			――――				事件本人の現本籍が (本非区分＝2) かつ (在外送付区分＝0) の場合は、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月1日	6	9/20

処理名	4.1戸籍事項(107条3項)編集・出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／戸籍事項 ←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	サーチブルーチン	Z9.,	
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル (届書)	――――				
	行番号				――――				
	出力区分				――――				0:可を設定
	タイトルコード				――――				3001:を設定
	記録コード				――――				3001:を設定
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由			――――				「戸籍法107条3項の届出」を移送
	許可	許可日			――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――				
		許可を受けた日			――――				
	従前記録	従前の記録			――――				新本籍＝スペースのとき、 「漢字氏名(筆頭者)の氏」を移送 上記以外は移送しない。
		氏							
	記録	記録日			――――				
	特記	特記事項			――――				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月1日	10	10/20

処理名	5.1 個人特定(入籍:氏の変更者)編集・出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)個人特定 ←	(引渡側)中間ファイル(届書)、戸籍処理

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9., Z9.	備考
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号			――――				決裁処理で設定
	戸籍番号			――――				
	戸籍記録順位番号			――――				
	入籍日		中間ファイル (届書)	処理日 (又は送付日又は受領日)				処理日＝ｽﾍﾟｰｽの時、送付日 設定 送付日＝ｽﾍﾟｰｽの時、受領日 設定
	除籍日			――――				
	性別			――――				移記処理で設定
	生年月日			生年月日(筆頭者)				
	筆頭者区分			――――				1:筆頭者 を設定
	配偶者区分			――――				0:未 を設定
	父			――――				移記処理で設定
	母			――――				
	父母との続柄			――――				
	養父			――――				
	養母			――――				
	養父母との続柄			――――				
	前個人番号			――――				
	個人除区分			――――				0:在籍者 を設定

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	11/20

処理名		(受取側)	← (引渡側)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	

空白ページです

70121

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	12／20

処理名	6.1 氏の変更者の記録（除籍）	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項 ← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9..	
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）	———				本籍人のときは、個人番号を設定
	行番号			———				
	出力区分			———				0：可 を設定
	タイトルコード			———				3001:「氏の変更」を設定
	記録コード			———				3001:「107条3項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード			———				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			———				「戸籍法107条3項の届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				送付日≠スペース:送付日を移送
	送付 受理者			発送元				送付日≠スペース:発送元を移送
	許可 許可日			———				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			———				
	許可 許可を受けた者			———				
	入籍 入籍日			———				除籍では不使用
	入戸籍 従前戸籍 本籍			———				除籍では不使用
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			———				除籍では不使用
	除籍 除籍日			処理日				
	除戸籍 新本籍			新本籍				該当項目を移送
	除戸籍 変更後の氏			漢字氏（変更後）				該当項目を移送
	記録 記録日			———				
	特記 特記事項			———				

022

第２３(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成６年12月１日	平成10年 2月27日	2	13/20

処理名	6.2 氏の変更者の記録（入籍）	(受取側) 中間ファイル（仮戸籍）身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号			中間ファイル（届書）	――――				本籍人のときは、個人番号を設定
	行番号				――――				
	出力区分				――――				０：可 を設定
	タイトルコード				――――				３００１：「氏の変更」を設定
	記録コード				――――				３００１：「１０７条3項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード				――――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由			――――				「戸籍法１０７条3項の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日≠スペース：送付日を移送
		受理者			発送元				送付日≠スペース：発送元を移送
	許可	許可日			――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――				
		許可を受けた者			――――				
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍				該当項目を移送
		筆頭者			漢字氏名（筆頭者）				該当項目を移送
	除籍	除籍日			――――				入籍では不使用
	除戸籍	新本籍			――――				入籍では不使用
		変更後の氏			――――				入籍では不使用
	記録	記録日			――――				
	特記	特記事項			――――				

70122

023

70123

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	14/20

処理名	6.3 氏の変更者の記録（変動なし）	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項 ← （引渡側）中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項	個人番号			中間ファイル（届書）	――				本籍人のときは、個人番号を設定
	行番号				――				
	出力区分				――				0：可 を設定
	タイトルコード				――				3001：「氏の変更」を設定
	記録コード				――				3001：「107条3項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード				――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
	氏変更	氏変更の事由			――				「戸籍法107条3項の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日≠スペース：送付日を移送
	送付	受理者			発送元				送付日≠スペース：発送元を移送
	許可	許可日			――				
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			――				
	許可	許可を受けた者			――				
	入籍	入籍日			――				変動なしでは不使用
	入戸籍	従前戸籍 本籍			――				変動なしでは不使用
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			――				変動なしでは不使用
	除籍	除籍日			――				変動なしでは不使用
	除戸籍	新本籍			――				変動なしでは不使用
	除戸籍	変更後の氏			――				変動なしでは不使用
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			――				

024

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	15/20

処理名		(受取側) ← (引渡側)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	

空白ページです

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	16/20

処理名		(受取側)	← (引渡側)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	

空白ページです

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	17／20

処理名	7.1 氏の変更者 編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)／氏の変更者	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	サ=サブルーチン	Z9..	
中間ファイル(9条2項) 氏の変更者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			―――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							30:107条3項届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			―――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			―――――				「漢字氏(変更後)＋漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	新生年月日			筆頭者生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日				
	新父母との続柄			―――――				
	旧父母との続柄			―――――				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍(筆頭者)				
	新筆頭者			―――――				「漢字氏(変更後)＋漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			―――――				
	住民日			―――――				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（107条3項届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	18／20

処理名	7.1 氏の変更者 編集・出力 2/2	（受取側）中間ファイル（9条2項）／氏の変更者 ←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)	世帯主		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	筆頭者世帯主				
氏の変更者	世帯主との続柄			———				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	19／20

処理名		(受取側) ← (引渡側)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	

空白ページです

第２３(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成６年12月１日	平成10年 2月27日	2	20／20

処理名		(受取側)	← (引渡側)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	

空白ページです

70129

030

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月1日	2.1	20-1/20

処理名	8.1 氏の変更者　編集・出力	(受取側) 中間ファイル(30条12第1項)／氏の変更者	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
(30条の12第1項)	出張所番号			出張所番号				
氏の変更者	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿				市区町村部分だけのコード
				登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ﾌｧｲﾙ(届書)					30:107条3項届
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			――――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			――――――				「漢字氏(変更後)＋漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	新生年月日			――――――				
	旧生年月日			筆頭者生年月日				
	新性別			――――――				筆頭者の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍(筆頭者)				
	新筆頭者			――――――				「漢字氏(変更後)＋漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

70130

030-1

70131

第7.2.(5)「異動」処理

30.１０７条４項届

標準仕様書修正履歴

平成１０年２月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).30 (107条4項届)	1．審査 （1）氏の変更者が１５歳未満の場合に筆頭者か否かの審査を追加 （2）中間ファイル編集（届書）修正 ・指示日、許可日の編集を削除 2．入力確認 （1）中間ファイル編集（仮受付） ・許可日の編集を削除 ・筆頭者項目及び編集条件を追加 （2）氏の変更者の身分事項（除籍）の編集 ・許可日の編集条件を削除 （3）氏の変更者の身分事項（入籍）の編集 ・許可日の編集条件を削除	008 012 020 022 025 026	

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).30 (107条4項届)	成年後見制度による見直し 1.審査 1.1 システム処理の概要説明 ・107条4項届による氏の変更業務処理範囲外の処理に追加 事件本人の成年後見人から届出がされた場合 1.2 単体チェック ・項番25,26:「030:後見人」を「110:未成年後見人」に修正 (成年後見人は一律審査結果入力処理で実施するため) 1.3 関連チェック ・項番23,24:届出人資格と届出人氏名のチェック追加 届出人資格が「110:未成年後見人」の場合に当該資格に対応する氏名は入力要 かつ 他方の資格・氏名は入力不可 1.4 審査 (1)審査3.1 ・届出人資格による処理の分岐 項番(1)(2):「110:未成年後見人」を追加 ・処理分岐に伴い15歳以上の場合の届出人資格審査追加 エラーメッセージ,確認メッセージを追加 確認メッセージ「事件本人は15歳以上です。 法定代理人の届出でよろしいですか。」(新規) 項番(3−1)(9−1)～(9−4) ・戸籍法32条第2項が廃止されることによる審査の削除 項番(12)～(18)削除 項番(11)(11−1)審査3.0に制御を渡すよう修正 (2)審査3.2 ・届出人資格による処理の分岐 項番(1)(2):「030:後見人」→「110:未成年後見人」に修正 ・後見事項有無審査を未成年後見事項有無審査に修正 項番(34) ・未成年後見事項が存在しない場合のメッセージ修正 項番(37)修正 エラーメッセージ「事件本人に未成年後見事項がありません。 未成年後見人は届出人にはなれません。」(新規) 2.入力確認 2.1 届出人資格・氏名の編集内容 (1)届出人資格編集の修正 ・「030:後見人」→「110:未成年後見人」に修正 (2)届出人氏名編集の修正 「030:後見人」→「110:未成年後見人」に修正 成年後見制度以外の見直し 2.入力確認 2.1 届出人資格・氏名の編集内容 (1)届出人資格編集の修正 ・資格1=親権者父、資格2=養母の場合の資格欄に 注意書き(*1)を追加	001 005 007 009 010 011 011 027 027	

70134

標準仕様書修正履歴

平成14年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).30 (107条4項届)	1.確認 (1)データ編集表4.1 戸籍事項 ・戸籍事項と身分事項が存在する届出の戸籍事項中の記録日については、処理日を移送しない。	023	

標準仕様書修正履歴

平成15年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).30 (107の4項届)	1.住所・世帯主関連チェック (1)2.0関連チェック No.13−1に住所・世帯主の関連チェックを追加	006	

標準仕様書修正履歴

平成19年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).30 (107の4項届)	1. 要件定義ワークシート (1) 3.0審査 受理日と送付日が同一の場合の審査を追加	008	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

平成２３年３月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．30 (107条4項届)	1.標準仕様書修正(107条4項15) 届出人資格・氏名の編集内容欄に、親権者養父母を選択した場合は、 届出人資格を養父・養母で分け、入力された届出人氏名を移送する旨を追記	027	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:14.1　　1／1
平成２３年９月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).30 (107条4項届)	民法改正によるシステムの対応 1.システム処理の概要説明 範囲外処理に”複数の未成年後見人から届出がされた場合”を追加	001	

70136-3

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:18　1／1
平 成 ２ 7年 ３ 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．30 (107条4項届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 2．0　関連チェック表 No.25に氏の同一確認のための関連チェックを追加	007	

70136-4

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:20　1／1
平 成 ２ 9年 ３ 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．30 (107条4項届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 (1)2．0　関連チェック表 (107条4項19) No.8のチェックを変更 処理日の入力について受領日と同一日付の場合エラーとする (2)3．0　審査 (107条4項20) 審査(1)の条件修正 年齢判定の書き方修正	006 008	

70136-5

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:21　1／1
平 成 ３０年 ３ 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．30 (107条4項届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 (1)2．0　関連チェック表 (107条4項22) 関連チェックにおいて、住所と世帯主のチェックに、 「住所＝スペースの時、世帯主＝スペースであること」を追加 (2)3．0　審査 (107条4項21) 審査(0-1)のNOの分岐先に誤記があるため修正 審査(0-2)のYES,NO応答後の処理内容が逆になっているため修正 誤記を修正（本誌→本紙）	006 008	

70136-6

第 2 3 (1)	システム処理の概要説明書	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日 付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成23年　9月　30日	14.1	1／1

1. 107条4項届による氏の変更業務処理範囲外の処理

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合
・複数の未成年後見人から届出がされた場合

2. 107条4項届入力画面の意義

・氏の変更を行う当事者(氏変更人)の各項目を入力する。

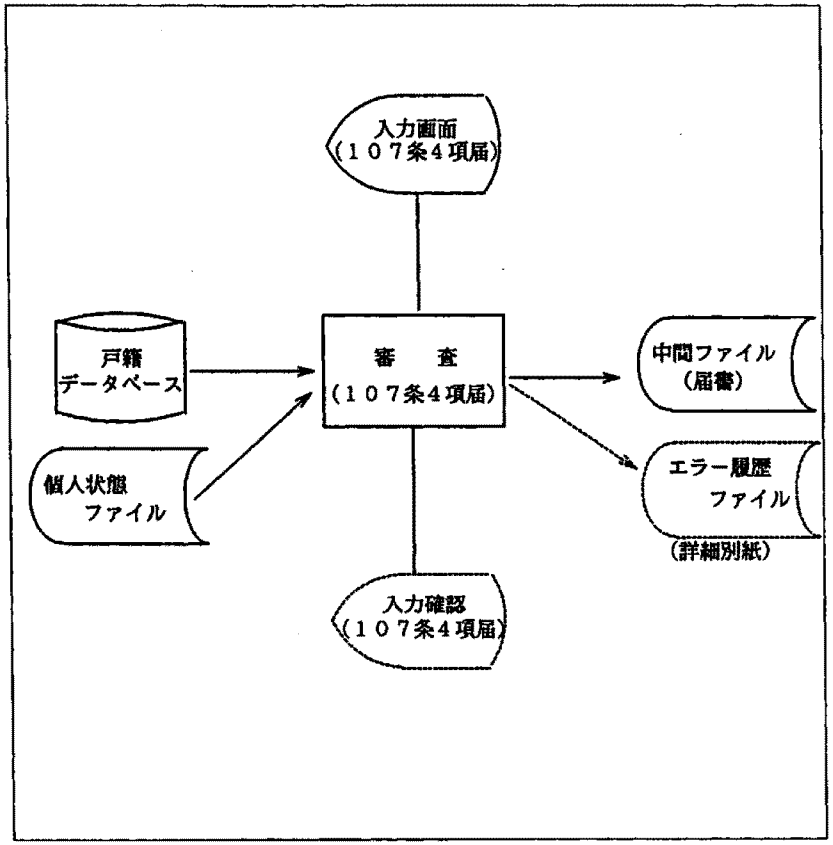
3. その他

・添付資料
　氏変更許可の審判書の謄本および審判確定証明書

70137
001

第2章（2）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（１０７条４項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／12

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入　力		
個人状態ファイル	入　力		
中間ファイル（届書）	出　力		
エラー履歴ファイル	出　力		

3．処理概要

（1）１０７条４項届の内容を画面入力する。
（2）１０７条４項届で入力された項目の単体チェックを行う。
（3）１０７条４項届で入力された項目の関連チェックを行う。
（4）審査を行う。
（5）１０７条４項届から中間ファイル（届書）を編集し、出力する。
（6）入力確認（１０７条４項届）に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック（単体表）
  - 2.0 データチェック（関連表）
  - 3.0 審査
    - 3.1 審査（届出人資格：事件本人１５歳以上）
    - 3.2 審査（届出人資格：事件本人１５歳未満）（法定代理人）
  - 4.0 データ編集表（中間ファイル／届書）

5．備考（特記事項含む）

（1）未成年者の年齢計算について

・年齢計算基準日：受領日を基準日として計算する。

70139

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（１０７条４項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	2／12

処理名	0．0　本紙				備考
（1）届書内容を画面入力する				／	「届出ﾒﾆｭｰ」で受領番号が入力された場合、届書ﾌｧｲﾙから画面編集をおこなう。
（2）キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF10，PF11，PF12，その他）				／	
実行キー	（3）入力項目の単体チェック（OK：YES，NG：NO）		〔1.0〕	／	
	ＹＥＳ	（4）入力項目の関連チェック（OK：YES，NG：NO）	〔2.0〕	／	
		ＹＥＳ	（5）画面の入力項目を全て入力禁止とする	／	
			（6）審査（OK：YES，NG：NO） 〔3.0〕	／	
			ＹＥＳ （7）中間ファイル（届書）編集出力 〔4.0〕		（8）入力確認画面に制御を渡す
			ＮＯ （9）メッセージの種類（審査ｴﾗｰ，確認）	／	
			審査ｴﾗｰ （10）エラーメッセージを表示する		（13）同画面を編集する　メッセージをエラー履歴ファイルに出力する
			確　認 （11）確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する		確認と応答をエラー履歴ファイルに出力する
		ＮＯ	（12）エラーメッセージを表示する		
	ＮＯ				
ＰＦ1	→　（14）業務選択に制御を渡す				
ＰＦ2	→　（15）届出選択に制御を渡す				
ＰＦ10	（16）画面の入力項目の入力禁止を解除する				（20）同画面を編集する　入力項目が入力禁止のときのみ有効
ＰＦ11	（17）当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する				審査エラー発生時のみ有効
ＰＦ12	（18）入力画面を初期化する				
その他	（19）エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する				

003

第２３（５）	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（１０７条４項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	３／１２

処理名	画面名	画面ＩＤ	
１．０　単体チェック　１／２	入力画面（１０７条４項届）		

Ｎｏ	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
１	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
２	受領No		数字				
３	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
４	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
５	発送元		漢字				
６	在外送付区分	○	数字	（０：受理分，１：国内からの送付，２：在外公館の直接送付，３：在外公館の国内経由）であること			
７	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
８	本非区分	○	数字	（１：本籍，２：非本籍）であること			
９	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
１０	氏変更人カナ氏名	○	カナ				
１１	氏変更人漢字氏名	○	漢字				
１２	変更後カナ氏	○	カナ				
１３	変更後漢字氏	○	漢字				
１４	氏変更人住所		漢字				
１５	氏変更人世帯主		漢字				
１６	氏変更人本籍	○	漢字				
１７	氏変更人筆頭者	○	漢字				
１８	氏変更人筆頭者区分	○	数字	（０：構成員，１：筆頭者）であること			
１９	氏変更人配偶者区分	○	数字	（０：未，１：夫，２：妻，３：生存配偶者）であること			
２０	氏変更人生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
２１	審判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
２２	外国人父母区分	○	数字	（０：父，１：母，２：養父，３：養母）であること			
２３	外国人父母氏名	○	漢字				
２４	新本籍	○	漢字				戸２０の２II

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	4/12

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表 2/2	入力画面(107条4項届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
25	届出人資格1		数字	(000:未入力, 016:親権者父, 019:親権者養父, 110:未成年後見人, 017:親権者母, 020:親権者養母, 098:事件本人)であること			
26	届出人資格2		数字	(000:未入力, 016:親権者父, 019:親権者養父, 110:未成年後見人, 017:親権者母, 020:親権者養母, 098:事件本人)であること			
27	届出人氏名1		漢字				
28	届出人氏名2		漢字				

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(107の4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	5-1／12

処　理　名	画　面　名	画　面　Ｉ Ｄ
2.0 関連チェック　　1/2	入力画面(107の4項届)	

No	内　　容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備　考
1	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.4)送付日≧(No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.5)発送元＝スペースであること			
3	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.5)発送元≠スペースであること			
4	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.6)在外送付区分＝0:受理分であること			
5	(No.5)発送元≠スペースの時、(No.6)在外送付区分≠0:受理分であること			
6	(No.5)発送元≠スペースかつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分＝1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元≠スペースかつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分＝2:在外公館の直接送付　または (No.6)在外送付区分＝3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日≠スペースの時、(No.7)処理日＞(No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≦(No.3)受領日であること			
10	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.4)送付日＝スペースであること			
11	(No.3)受領日≧(No.21)審判確定日であること			
12	(No.8)本非区分＝1:本籍の時、(No.16)氏変更人本籍　又は　(No.24)　新本籍が管内であること			
13	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≧(No.21)審判確定日であること			
13-1	(No.15)氏変更人世帯主≠スペースの時、(No.14)氏変更人住所≠スペースであること			
13-2	(No.14)氏変更人住所＝スペースの時、(No.15)氏変更人世帯主＝スペースであること			
14	(No.25)届出人資格1≠(No.26)届出人資格2であること			
15	(No.25)届出人資格1≠000:未入力の時、(No.27)届出人氏名1≠スペースであること			
16	(No.25)届出人資格1＝000:未入力の時、(No.27)届出人氏名1＝スペースであること			
17	(No.27)届出人資格1≠スペースの時、(No.27)届出人氏名1≠(No.28)届出人氏名2であること			
18	(No.25)届出人資格1＝098:事件本人の時、 (No.27)届出人氏名1＝(No.11)氏変更人漢字氏名であること			
19	(No.26)届出人資格2≠000:未入力の時、(No.28)届出人氏名2≠スペースであること			
20	(No.26)届出人資格2＝000:未入力の時、(No.28)届出人氏名2＝スペースであること			
21	(No.26)届出人資格2＝098:事件本人の時、 (No.28)届出人氏名2＝(No.11)氏変更人漢字氏名であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18	5-2／12

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表 2／2	入力画面(107条4項届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
22	(№11) 氏変更人漢字氏名の氏≠(№13) 変更後の漢字氏であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
23	(№25) 届出人資格1＝110:未成年後見人の時,(№27) 届出人氏名1≠スペース かつ (№26) 届出人資格2＝000:未入力 かつ (№28) 届出人氏名2＝スペース であること			
24	(№26) 届出人資格2＝110:未成年後見人の時,(№28) 届出人氏名2≠スペース かつ (№25) 届出人資格1＝000:未入力 かつ (№27) 届出人氏名1＝スペース であること			
25	(№13) 変更後漢字氏＝(№23) 外国人父母氏名の「氏」であること			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査（１０７条の４届）	システム化調査研究会	平成　６年１２月　１日	平成３０年　３月３１日	21	6／１２

処理名	3．0　審査　1／4			備考
(0-1)受領日＝送付日である（ＹＥＳ，ＮＯ）				
ＹＥＳ	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか？」（ＹＥＳ，ＮＯ）			
ＹＥＳ	ＹＥＳ	(0-3)→(1)へ			
ＹＥＳ	ＮＯ	(0-4)→		(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
ＮＯ	(0-6)→(1)へ				
(1)氏の変更者の生年月日 ＋ １５年（１５歳以上）　≦　受領日（ＹＥＳ，ＮＯ）			／		昭和59.11.1民事5500号通達第2の4の(3)のウ
ＹＥＳ	(2)氏変更人筆頭者区分（0：構成員，1：筆頭者）		／		
ＹＥＳ	0	(3)氏変更人配偶者区分（0：未，1：夫，2：妻，3：生存配偶者）	／		
ＹＥＳ	0	0	(4)審査(届出人資格：事件本人15歳以上) 処理[3.1]	／		
ＹＥＳ	0	0	(5) →		(6)本紙へ	
ＹＥＳ	0	１，２	(7)エラーメッセージ 「配偶者は届出できません。」を表示			不受理
ＹＥＳ	0	3	(8)エラーメッセージ 「生存配偶者は届出できません。」を表示			不受理
ＹＥＳ	1		(9)エラーメッセージ 「筆頭者は届出できません。」を表示			不受理
ＮＯ	(9-1)氏変更人筆頭者区分(0：構成員，1：筆頭者)			／		
ＮＯ	0	(10)審査(届出人資格：事件本人15歳未満) 処理[3.2]		／		
ＮＯ	0	(11) →			(12)本紙へ	
ＮＯ	1	(11-1)エラーメッセージ 「筆頭者は届出できません。」を表示				

70145

800

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	7/12

処理名		3.1 審査(届出人資格:事件本人15歳以上) 2/4			備考
(1) 届出人資格1(000:未入力, 098:事件本人, 110:未成年後見人, その他)			／		
000	(2) 届出人資格2(098:事件本人, 110:未成年後見人, その他)		／		
	098	(3) → (11)	／		
	110	(3-1) 確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示		(5) 3.0審査へ	「N」のとき不受理
	その他	(4) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
098	(6) 届出人資格2(000:未入力, その他)		／		
	000	(7) → (11)	／		
	その他	(8) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		(9) 3.0審査へ	不受理
110	(9-1) 届出人資格2(000:未入力, その他)		／		
	000	(9-2) 確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示		(9-4) 3.0審査へ	「N」のとき不受理
	その他	(9-3) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
その他	(10) エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示				不受理
(11) →				(11-1) 3.0審査へ	
	(12)		／		(12)～(18)は削除
		(13)		(14)	
		(15)			
		(16)			
		(17)			
	(18)				

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	8/12

処理名	3.2 審査(届出人資格:事件本人15歳未満) 3/4			備考
(1) 届出人資格1(000:未入力, 016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父, 020:親権者養母, 110:未成年後見人, その他)		／		
000	(2) 届出人資格2(016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父, 020:親権者養母, 110:未成年後見人, その他)	／		
016,017,019,020	(3)確認メッセージ(YES, NO)「単独親権ですか？」を表示		(4) 3.0審査へ	
YES	(5) →			受理
NO	(6) →			不受理
110	(7) → (33)	／		
その他	(8) エラーメッセージ「届出人資格2の入力に誤りがあります。」と表示		(9) 3.0審査へ	不受理
016,019	(10) 届出人資格2(000:未入力, 017:親権者母, 020:親権者養母, その他)			
000	(11) 確認メッセージ(YES, NO)「単独親権ですか？」を表示		(12) 3.0審査へ	
YES	(13) →			受理
NO	(14) →			不受理
017, 020	(15) 確認メッセージ(YES, NO)「共同親権ですか？」を表示			
YES	(16) →			受理
NO	(17) →			不受理
その他	(18) エラーメッセージ「届出人資格2の入力に誤りがあります。」と表示			不受理
017, 020	(19) 届出人資格2(000:未入力, 016:親権者父, 019:親権者養父, その他)	／		
000	(20) 確認メッセージ(YES, NO)「単独親権ですか？」を表示		(21) 3.0審査へ	
YES	(22) →			受理
NO	(23) →			不受理
016,019	(24) 確認メッセージ「共同親権ですか？」を表示			

010

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	9/12

処理名		3.2 審査(届出人資格:事件本人15歳未満) 4/4			備考
017,020	016,019	YES (25) →			受理
		NO (26) →			不受理
	その他	(27) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
110	(28) 届出人資格2(000:未入力, その他)		/		
	000	(29) → (33)	/		
	その他	(30) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		(31) 3.0審査へ	不受理
その他	(32) エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示				不受理
(33) 氏の変更者は本籍人である(YES, NO)			/		
YES	(34) 氏の変更者の身分事項に未成年後見人事項がある(YES, NO)		/		
	YES	(35) →		(36) 3.0審査へ	受理
	NO	(37) エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。 未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示			不受理
NO	(38) →				受理

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	10／12

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)／共通	←	(引渡側) 入力画面(107条4項届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		107条4項届 入力画面	受領No				
	選択事件コード			――――				31を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――				
	許可日			――――				
	受理送付区分			――――				在外送付区分＝0の時、1 在外送付区分≠0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――				ZERO(不要)
	届区分			――――				1:(創設)
	渉外区分			――――				1:渉外
	同時決裁受領番号			――――				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、氏の変更者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2			――――				
	ロック戸籍番号3			――――				
	ロック戸籍番号4			――――				
	ロック戸籍番号5			――――				
	事件別内容							3／3参照
	不受理申出処分区分			――――				

70149

012

70150

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（107条4項届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11／12

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 2/3	（受取側）中間ファイル（届書）／共通	←（引渡側）入力画面（107条4項届）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル （届書） 共通	処分区分		107条4項届 入力画面	———				審査の結果により、1＝受理または2＝不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分			———				何も設定されていない場合に0：未決裁を設定
	届書排他区分			———				再入力の場合に1：排他 を設定

013

70151

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（107条4項届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	12／12

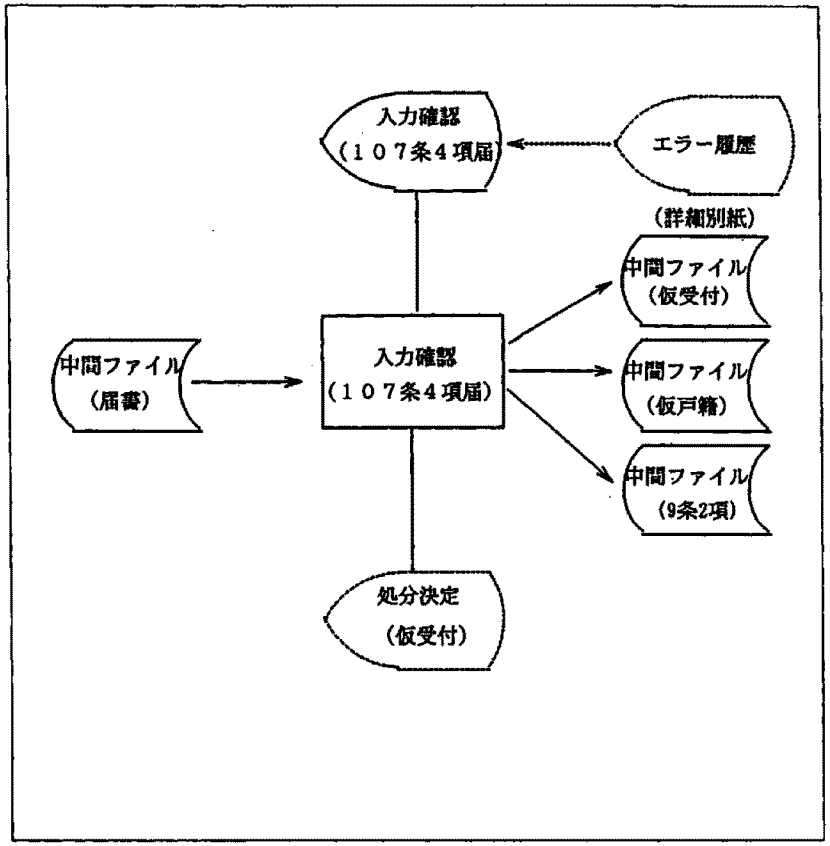
処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(届書)／事件別内容	←（引渡側）入力画面（107条4項届）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
中間ファイル	氏変更者個人番号		107条4項届	――――				本籍人のときは、個人番号を設定
（届書）	カナ氏名（氏変更者）		入力画面	氏変更人カナ氏名				
事件別内容	漢字氏名（氏変更者）			氏変更人漢字氏名				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	住所コード			氏変更人住所				
	住所（氏変更者）							
	世帯主			氏変更人世帯主				
	本籍コード			氏変更人本籍				
	本籍（氏変更者）							
	筆頭者			氏変更人筆頭者				
	筆頭者区分			氏変更人筆頭者区分				
	配偶者区分			氏変更人配偶者区分				
	生年月日			氏変更人生年月日				
	審判確定日			審判確定日				
	外国人父母区分			外国人父母区分				
	外国人父母氏名			外国人父母氏名				
	届後戸籍筆頭者カナ氏名			――――				新本籍≠スペース：「変更後カナ氏＋氏変更人カナ氏名の名」を移送
	届後戸籍筆頭者			――――				新本籍≠スペース：「変更後漢字氏＋氏変更人漢字氏名の名」を移送
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍（氏変更者）							
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

014

第2(3)(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（１０７条４項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／14

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　　称	入出力区分	名　　称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入　力		
中間ファイル(仮受付)	出　力		
中間ファイル(仮戸籍)	出　力		
中間ファイル(9条2項)	出　力		

3．処理概要

（１）中間ファイル（届書）の内容を画面表示する。
（２）戸籍変動情報を確定する。
（３）中間ファイル（仮受付）を編集・出力する。
（４）中間ファイル（仮戸籍）を編集・出力する。
（５）中間ファイル（9条2項）を編集・出力する。
（６）処分決定処理にに制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表（入力確認画面）
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表（中間ファイル／仮受付）
  - 4.0 データ編集表（中間ファイル／仮戸籍〔戸籍事項〕）
    - 4.1 戸籍事項（１０７条４項）
  - 5.0 データ編集表（中間ファイル／仮戸籍〔個人特定〕）
    - 5.1 個人特定（入籍）
  - 6.0 データ編集表（中間ファイル／仮戸籍〔身分事項〕）
    - 6.1 身分事項（除籍）
    - 6.2 身分事項（入籍）
  - 7.0 データ編集表（中間ファイル／9条2項）
    - 7.1 氏の変更者

5．備考（特記事項含む）

戸籍事項（１０７条４項）［4.1］を編集した場合は、その後に戸籍事項（編製）B.1を作成する。

第2(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（107条4項届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／14

処理名	0．0 本紙			備考
（1）中間ファイル（届書）の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する		〔1．0〕	／	
（2）キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF5，PF11，その他）			／	
実行キー	（3）中間ファイル（届書）の内容から戸籍編成マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する	〔2．0〕	／	
	（4）中間ファイル（仮受付）を編集・出力する	〔3．0〕	／	
	（5）事件本人が本籍人である（YES，NO）		／	
	YES （6）戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		／	
	戸籍事項 （7）戸籍法107条4項届の編集	〔4．1〕	／	
	個人特定（入籍） （8）氏変更人の個人特定情報の編集	〔5．1〕	／	
	身分事項（除籍） （9）氏変更人の除籍事項の編集	〔6．1〕	／	
	身分事項（入籍） （10）氏変更人の入籍事項の編集	〔6．2〕	／	
	NO （11）→（12）		／	
	（12）在外送付区分＝0：受理分 又は 2：在外公館の直接送付 である（YES，NO）		／	
	YES （13）氏の変更者について中間ファイル（9条2項）を編集・出力する	〔7．1〕		(14)処分決定に制御を渡す
	NO →			
PF1	→			(15)業務選択に制御を渡す
PF2	→			(16)届出選択に制御を渡す
PF5	→			(17)審査に制御を渡す
PF11	→			(18)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	（19）エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(20)同画面を編集する

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（107条4項届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／14

処理名	1.0 確認画面（107条4項届）表示 1／2	（受取側）107条4項届確認画面	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z9., Z9.	
107条4項届 確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル （届書） 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本・非本			本非区分				
	本・非本名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	氏変更人カナ氏名		中間ファイル （届書） 事件別内容	カナ氏名（氏変更人）				
	氏変更人漢字氏名			漢字氏名（氏変更人）				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	氏変更人住所			住所コード				
				住所（氏変更人）				
	氏変更人世帯主			世帯主				
	氏変更人本籍			本籍コード				
				本籍（氏変更人）				
	氏変更人筆頭者			筆頭者				
	氏変更人筆頭者区分			筆頭者区分				
	氏変更人筆頭者区分名称					有		
	氏変更人配偶者区分			配偶者区分				
	氏変更人配偶者区分名称					有		

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（107条4項届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／14

処理名	1.0 確認画面（１０７条4項届）表示 2／2	（受取側）１０７条4項届確認画面	（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
１０７条4項届確認画面	氏変更人生年月日		中間ファイル（届書） 事件別内容	生年月日		有		
	審判確定日			審判確定日		有		
	外国人父母区分			外国人父母区分				
	外国人父母区分名称					有		
	外国人父母氏名			外国人父母氏名		有		
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍（氏変更人）				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

70155

018

第2(37)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（戸籍法107条4項）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／14

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件						戸籍の変動		
	氏変更者						氏変更者の戸籍		新
	本籍		他の在籍者		新戸籍編製		一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	戸籍編製 A.1 4.1 B.1 5.1 D.1
	本籍人	非本籍人	有	無	管内	管外			
1	○		○		○		氏変更者 6.1		氏変更者 6.2
2	○		○			○	氏変更者 6.1		
3	○			○	○			氏変更者 6.1	氏変更者 6.2
4	○			○		○		氏変更者 6.1	
5		○	○		○				氏変更者 6.2
6		○		○	○				氏変更者 6.2

（注）新戸籍編製の場合、B.1 は 4.1 編集後作成する。

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	6／14

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／共通	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.，	
中間ファイル	受領番号		中間ファイル	受領番号				
(仮受付)	支所番号		(届書)	支所番号				
共通	受付事件コード			―――				3101を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日＝スペースのとき 受領日 送付日≠スペースのとき 送付日
	事件発生日							
	事件発生時分			―――				
	事件発生日時			―――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			―――				「0:届出」を移送
	発送日			―――				
	郵送日			郵送日				
	発日			―――				
	収日			―――				
	指示日			―――				
	許可日			―――				
	関連受領番号			―――				
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格＝098 のときは、未設定。 その他は資格及び氏名を移送する。 (但し、届出人資格1が 000(未入力) の場合は、届出人資格2の内容を1 へつめて移送する。)
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			―――				2:新戸籍編製

020

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（107条4項届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7／14

処理名	3.0 中間ファイル（仮受付）編集・出力 2/3	（受取側）中間ファイル（仮受付）／共通	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9., Z9.，	備考
中間ファイル （仮受付） 共通	届後本籍コード		中間ファイル （届書）	新本籍コード				
	届後本籍			新本籍（氏変更人）				
	届後戸籍の筆頭者			――――				変更後漢字氏＋漢字氏名の名を移送
	送達確認1			――――				（届後本籍が非本籍）かつ （在外送付区分＝0）の場合は、 1（未到着）を設定。 上記以外は、0（不要）を設定。
	届書送付目録区分			――――				本非区分＝1（本籍）の場合は、 1（送付要）を設定。 上記以外は、0（送付不要）を設定。 ＊本非区分は、共通部の項目を使用。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	8／14

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／事件本人	←	(引渡側) 中間ファイル

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号			――――				
	事件本人区分			――――				53:氏変更者 を設定
	届出人区分			――――				届出人資格1又は2＝098:1を設定 それ以外 :0を設定
	カナ氏名			カナ氏名(氏変更人)				
	漢字氏名			漢字氏名(氏変更人)				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍(氏変更人)				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2			――――				事件本人の現本籍が (本非区分＝2)かつ (在外送付区分＝0)の場合は、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

220

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月1日	6	9/14

処理名	4.1戸籍事項(107条4項)編集・出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サーチブルーチン	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル (届書)	――――				
	行番号				――――				
	出力区分				――――				0:可を設定
	タイトルコード				――――				3101:を設定
	記録コード				――――				3101:を設定
	管掌者コード				――――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由			――――				「戸籍法107条4項の届出」を移送
	許可	許可日			――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――				
		許可を受けた日			――――				
	従前記録	従前の記録			――――				
		氏							
	記録	記録日			――――				
	特記	特記事項			――――				

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（１０７条４項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１０／１４

処理名　5.1　個人特定（入籍）編集・出力　（受取側）中間ファイル（仮戸籍）個人特定　←（引渡側）中間ファイル（届書）、戸籍処理

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル（仮戸籍）個人特定	個人番号			――				決裁処理で設定
	戸籍番号			――				
	戸籍記録順位番号			――				
	入籍日		中間ファイル（届書）	処理日（又は送付日又は受領日）				処理日＝ｽﾍﾟｰｽ の時、送付日 を設定 送付日＝ｽﾍﾟｰｽ の時、受領日 を設定
	除籍日			――				
	性別			――				移記処理で設定
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			――				１：筆頭者 を設定
	配偶者区分			――				０：未 を設定
	父			――				移記処理で設定
	母			――				
	父母との続柄			――				
	養父			――				
	養母			――				
	養父母との続柄			――				
	前個人番号			――				
	個人除区分			――				０：在籍者 を設定

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	11／14

処理名	6.1 氏の変更者の記録(除籍)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	――――				本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号				――――				
	出力区分				――――				0:可 を設定
	タイトルコード				――――				3101:「氏の変更」を設定
	記録コード				――――				3101: 「107条4項の氏の変更者の記録」 を設定
	管掌者コード				――――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
	氏変更	氏変更の事由			――――				「戸籍法107条4項の届出」を移送
	届出	届出人 届出人資格			届出人資格1・2				届出人資格1・2の何れかが、098 (事件本人)の場合は、移送しない。 上記以外は、*1を参照。
	届出	届出人 届出人氏名			届出人氏名1・2				
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日≠スペース:送付日を移送
	送付	受理者			発送元				送付日≠スペース:発送元を移送
	許可	許可日			――――				
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			――――				
	許可	許可を受けた者			――――				
	入籍	入籍日			――――				除籍では不使用
	入戸籍	従前戸籍 本籍			――――				除籍では不使用
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			――――				除籍では不使用
	除籍	除籍日			処理日				
	除籍	新本籍			新本籍(氏変更人)				該当項目を移送
	除籍	変更後の氏			変更後漢字氏				該当項目を移送
	記録	記録日			――――				
	特記	特記事項			――――				

70163

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	12／14

処理名	6.2 氏の変更者の記録(入籍)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	――				本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号				――				
	出力区分				――				0:可を設定
	タイトルコード				――				3101:「氏の変更」を設定
	記録コード				――				3101: 「107条4項の氏の変更者の記録」 を設定
	管掌者コード				――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
	氏変更	氏変更の事由			――				「戸籍法107条4項の届出」を移送
	届出	届出人 届出人資格			届出人資格1・2				届出人資格1・2の何れかが、098(事件本人)の場合は、移送しない。 上記以外は、*1を参照。
	届出	届出人 届出人氏名			届出人氏名1・2				
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日≠スペース:送付日を移送
	送付	受理者			発送元				送付日≠スペース:発送元を移送
	許可	許可日			――				
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			――				
	許可	許可を受けた者			――				
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍(氏変更人)				該当項目を移送
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			筆頭者				該当項目を移送
	除籍	除籍日			――				入籍では不使用
	除戸籍	新本籍			――				入籍では不使用
	除戸籍	変更後の氏			――				入籍では不使用
	記録	記録日			――				
	特記	特記事項			――				

026

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	13／14

処理名	＊1 届出人資格・氏名の編集内容	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		Z9.，	

(1)届出人資格

入力された届出人資格1，2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父，養母 ＊1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		養父，親権者母 ＊1		
019(親権者養父)	親権者養父		養父，親権者母 ＊1		養父,養母 ＊1	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父，養母 ＊1		養父,養母 ＊1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

＊1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)
EX. 親権者養父 と 親権者養母 の場合
【届出人1】親権者養父 甲野 義太郎
【届出人2】親権者養母 甲野 梅子

(2)届出人氏名

届出人資格1，2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（１０７条４項届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１４／１４

処理名　7.1 氏の変更者　編集・出力 1/1　（受取側）中間ファイル（9条2項）／氏の変更者　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｷｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項) 氏の変更者	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――				３１：１０７条４項届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がなければ受領日
	個人番号			――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			届後戸籍筆頭者				
	旧氏名			漢字氏名(氏変更者)				
	新生年月日			氏変更人生年月日				
	旧生年月日			氏変更人生年月日				
	新父母との続柄			――――				
	旧父母との続柄			――――				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍(氏変更者)				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍(氏変更者)				
	新筆頭者			届後戸籍筆頭者				
	旧筆頭者			氏変更人筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			――――				
	住民日			――――				
	世帯主			氏変更人世帯主				
	世帯主との続柄			――――				

70166

第7.2.(5)「異動」処理

31.名の変更届

標準仕様書修正履歴

平成１０年２月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).31 （名の変更届）	1．審査 （1）中間ファイル編集（届書）修正 ・指示日、許可日の編集を削除 2．入力確認 （1）システム環境仕様書（機能体系） ・中間ファイル（9条2項）の処理名修正 父母欄更正者 → 更正者・構成員 （2）本紙：中間ファイル（9条2項）作成条件の修正 ・事件本人について作成する ・事件本人が筆頭者で本籍人の場合は構成員全員分作成する ・事件本人が筆頭者で非本籍人の場合は入力した構成員分作成する （更正の有無に係わらず作成する） （3）本紙 ・誤植修正 「戸籍編成」→「戸籍編製」 （4）中間ファイル編集（仮受付） ・指示日、許可日の編集条件を削除 ・筆頭者項目及び編集条件を追加 （5）更正者の身分事項（変動なし）の編集 ・処理名の誤記 名変更者 → 更正者 に修正 ・更正事項の編集条件修正 変換文字＋の名 → 変換文字＋の氏名 に修正 （6）中間ファイル編集（名変更者：9条2項） ・受理日編集条件修正 （7）中間ファイル編集（更正者・構成員：9条2項） ・ファイル名の修正 更正者 → 更正者・構成員 ・受理日編集条件修正	012 016 017 017 022 024 027 028 030,031 030	

70168

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第 7. 2. (5). 31 (名の変更届)	公職選挙法改正によるシステムの対応（サンプル提示） 1．入力確認 （1）システム環境仕様書 ・詳細フロー及び使用ＤＢ・ファイル一覧に入力ファイルとして附票データベース、出力ファイルとして中間ファイル（３０条の１２第１項）を追加 ・処理概要、機能体系に中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集に関する記述を追加 （2）本紙の処理内容 ・事件本人が在外選挙人の場合の中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集・出力処理の追加 （3）中間ファイル編集（３０条の１２第１項） ・事件本人に関して新規追加	016 017 031-1	

70169

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (5). 31 (名の変更届)	成年後見制度による見直し 1. 審査 1. 1 システム処理の概要説明 ・名の変更業務処理範囲外の処理に追加 事件本人の成年後見人から届出がされた場合 1. 2 単体チェック ・項番20, 22:「030:後見人」を「110:未成年後見人」に修正 (成年後見人は一律審査結果入力処理で実施するため) 1. 3 関連チェック ・項番25, 26, 31, 32:「030:後見人」を 「110:未成年後見人」に修正 1. 4 審査 (1)届出人資格による処理の分岐 項番(1)(2)(34)(35):「030:後見人」を 「110:未成年後見人」に修正 (2)戸籍法32条第2項が廃止されることによる審査の削除 項番(4)～(6), (8)(9)削除 項番(26)～(28), (30)(31)削除 (3)15歳以上の場合の届出人資格チェック内容修正 後見人有無チェックを実施していた個所を確認メッセージに 修正 確認メッセージ「事件本人は15歳以上です。 法定代理人の届出でよろしいですか。」(新規) (4)未成年後見事項が存在しない場合のメッセージ修正 項番(42)(61)修正 エラーメッセージ「事件本人に未成年後見事項がありません。 未成年後見人は届出人にはなれません。」(新規) (5)後見事項有無審査を未成年後見事項有無審査に修正 項番(39)(58)修正 (6)非本籍人の場合の未成年後見事項有無審査削除 項番(43)(62)削除 2. 入力確認 2. 1 届出人資格・氏名の編集 (1)届出人資格編集の修正 「030:後見人」→「110:未成年後見人」に修正 (2)届出人氏名編集の修正 「030:後見人」→「110:未成年後見人」に修正 成年後見制度以外の見直し 2. 入力確認 2. 1 届出人資格・氏名の編集内容 (1)届出人資格編集の修正 ・資格1＝親権者父、資格2＝養母の場合の資格欄に 注意書き(＊1)を追加	001 004 007 009, 010 009, 010 009 010, 011 010, 011 010, 011 026 026	

70170

標準仕様書修正履歴

平成~~12~~年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).31 (名の変更届)	1.システム処理の概要説明書 (1) 3.その他 配偶者の9条2項通知は、9条2項ファイルメンテで作成する旨を記述 2.要件定義ワークシート (1)3.0審査 受理日と送付日が同一の場合の審査を追加	 001 009	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．31 (名の変更届)	1.標準仕様書修正(名変12) 届出人資格・氏名の編集内容欄に、親権者養父母を選択した場合は、 届出人資格を養父・養母で分け、入力された届出人氏名を移送する旨を追記	026	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

版数:14.1　　1／1
平成２３年９月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).31 (名の変更届)	民法改正によるシステムの対応 1.システム処理の概要説明 範囲外処理に”複数の未成年後見人から届出がされた場合”を追加	001	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

平 成 ２ ９ 年 ３ 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．31 (名の変更届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 (1)2．0関連チェック (名変18) No.8のチェックを変更 処理日の入力について受領日と同一日付の場合エラーとする	006	
		No.14のチェックを変更 処理日の入力について審判日と同一日付の場合エラーとする	006	
		(2)3．0　審査 (名変17) 審査(1)の条件修正 年齢判定の書き方修正	009	

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

平成３０年３月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．31 (名の変更届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 (1)1．0単体チェック (名変20) No.14,No.15の必須欄を削除	004	
		(2)2．0関連チェック (名変20) No.35-1,36(D)のチェックを追加	007	
		関連チェックにおいて、住所と世帯主のチェックに、 「世帯主≠スペースの時、住所≠スペースであること」を追加	008	
		No.35-2,36(E)のチェックを追加 関連チェックにおいて、住所と世帯主のチェックに、 「住所＝スペースの時、世帯主＝スペースであること」を追加		
		(3)3．0　審査 (名変19) 審査(0-1)のNOの分岐先に誤記があるため修正	009	
		審査(0-2)のYES,NO応答後の処理内容が逆になっているため修正 誤記を修正(本誌→本紙)		

標 準 仕 様 書 修 正 履 歴

平 成 ３１ 年 ３ 月

項番	業務(届書)名	修　　正　　内　　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(5)．31 (名の変更届)	1．標準仕様書見直しによるシステムの対応 (1)2．0関連チェック (名変21) No.36(D)のチェックが通らないため、No.36⑨,(A)のチェックを削除	008	

第 2 3 (1)	システム処理の概要説明書	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日 付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月 30日	14.1	1／1

70172

1. 名の変更業務処理範囲外の処理

(1)名の変更に伴う異籍者の父母、または養父母欄の更正

(2)同一戸籍内において、事件本人と構成員の(養)父母欄が一致していない場合の(養)父母欄更正処理

(3)事件本人の成年後見人から届出がされた場合

(4)複数の未成年後見人から届出がされた場合

上記(1)(2)は更正処理で行い、(3)(4)は審査結果入力処理で行う。

2. 名の変更届入力画面の意義

（１）その１画面：名の変更届を行う事件本人の各項目を入力する画面である。

（２）その２画面：同籍する筆頭者、配偶者および除籍者以外の構成員を画面表示し、筆頭者または配偶者の名の変更に伴う父母または養父母欄の更正を行う。

起動条件　下記の条件が全て成立した場合のみ画面表示し、それ以外は表示しない。

・名の変更者が本籍人　：（１）名の変更者は筆頭者区分が１（筆頭者）であるか、または配偶者区分が０（未）以外であること。

（２）（１）以外の者でかつ除籍者以外の同籍者が存在すること。

・名の変更者が非本籍人　：名の変更者は筆頭者であること（９条２項ファイルを出力するために画面を表示する）

表示内容　名の変更者が本籍人の場合、下記の条件が成立する同籍者構成員の内容を画面表示する。

（１）筆頭者区分が０（構成員）であり、かつ配偶者区分が０（未）の者

（２）除籍されていない者

住所欄、世帯主欄について

名の変更者が筆頭者の場合、入力必須。それ以外は入力されても無視する。

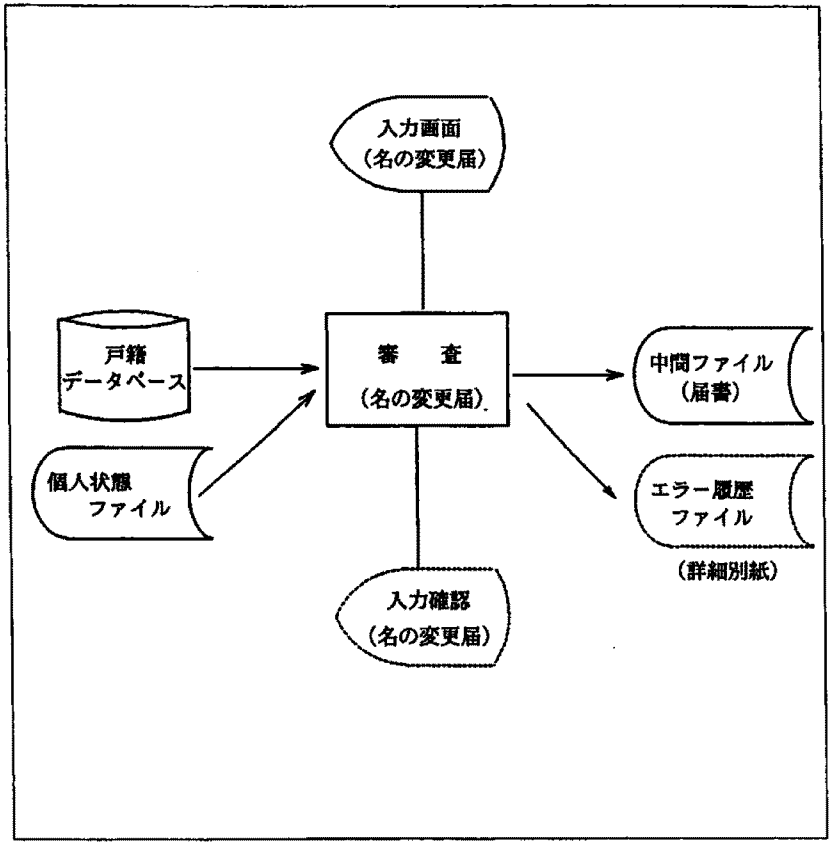
3. その他

筆頭者が名の変更者で配偶者が在籍する場合、入力画面に配偶者の入力項目が存在しないため、配偶者の9条2項ファイルは作成されない。配偶者の9条2項ファイルは9条2項メンテナンスで作成する。

100

第２３（２）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（名の変更届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／13

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入　力		
附票ＤＢ	入　力		
個人状態ファイル	入　力		
中間ファイル（届書）	出　力		
エラー履歴ファイル	出　力		

3．処理概要

（1）名の変更届の内容を画面入力する。
（2）名の変更届で入力された項目の単体チェックを行う。
（3）名の変更届で入力された項目の関連チェックを行う。
（4）審査を行う。
（5）名の変更届から中間ファイル（届出書）を編集し、出力する。
（6）確認画面（名の変更届）に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査（名の変更）
- 4.0 データ編集表（中間ファイル（届書））

5．備考（特記事項含む）

第２３（３）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（名の変更届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	2／13

処理名							備考
０．０　本紙							
（１）届書内容を画面入力する						／	「届出ﾒﾆｭｰ」で受領番号が入力された場合、届書ﾌｧｲﾙから画面編集をおこなう。
（２）キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF7，PF8，PF10，PF11，PF12，その他）						／	
実行キー	（３）入力項目の単体チェック（OK：YES，NG：NO）〔１．０〕					／	
	ＹＥＳ	（４）入力項目の関連チェック（OK：YES，NG：NO）〔２．０〕				／	
		ＹＥＳ	（５）画面の入力項目を全て入力禁止とする			／	
			（６）審査（名の変更）（ＯＫ：ＹＥＳ，ＮＧ：ＮＯ）〔３．０〕			／	
			ＹＥＳ	（７）中間ファイル（届書）編集出力〔４．０〕			(8)入力確認画面に制御を渡す
			ＮＯ	（９）メッセージの種類（審査ｴﾗｰ，確認）		／	
				審査ｴﾗｰ	（10）エラーメッセージを表示する		(14)同画面を編集する
				確　認	（11）確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する		
		ＮＯ	（12）エラーメッセージを表示する				
	ＮＯ	（13）エラーメッセージを表示する					
ＰＦ１	→　(15)業務選択に制御を渡す						
ＰＦ２	→　(16)届出選択に制御を渡す						
ＰＦ７	（17）前のページがあるか（ある，なし）					／	
	あ　る	（18）前のページ「名の変更届（その１）」画面を編集					(20)同画面を編集する
	な　し	（19）エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する					
ＰＦ８	（21）次のページがあるか（ある，なし）					／	
	あ　る	（22）次のページ「名の変更届（その２）」画面を編集					(24)同画面を編集する
	な　し	（23）エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する					
ＰＦ10	（25）画面の入力項目の入力禁止を解除する						(29)同画面を編集する　入力項目が入力禁止のときのみ有効
ＰＦ11	（26）当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する						審査エラー発生時のみ有効
ＰＦ12	（27）入力画面を初期化する						
その他	（28）エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する						

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成30年　3月31日	21	3／13

処　理　名	画　面　名	画 面 ＩＤ	
1．0単体チェック表　1／2	入力画面(名の変更届　その1)		

No	項　目　名	必須	属性	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく 入力して下さい。」		
2	受領NO		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分，1:国内からの送付， 2:在外公館の直接送付，3:在外公館の国内経由) であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍，2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	名の変更者カナ氏名	○	カナ				
11	名の変更者漢字氏名	○	漢字				
12	変更後のカナ名	○	カナ				戸50，戸規60
13	変更後の漢字名	○	漢字				戸50，戸規60
14	住所		漢字				住基8・9Ⅱ
15	世帯主		漢字				
16	本籍	○	漢字				
17	筆頭者	○	漢字				
18	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	審判日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			戸38Ⅱ
20	届出人資格1		数字	(000:未入力,016:親権者父，017:親権者母， 019:親権者養父，020:親権者養母，110:未成年後見人， 098:事件本人　) であること			戸107の2
21	届出人氏名1		漢字				
22	届出人資格2		数字	(000:未入力,016:親権者父，017:親権者母， 019:親権者養父，020:親権者養母，110:未成年後見人， 098:事件本人　) であること			戸107の2
23	届出人氏名2		漢字				

第23(5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（名の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／13

処理名	画面名	画面ID	
1．0 単体チェック 2／2	入力画面（名の変更届 その2）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	構成員n氏名		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
25	構成員n父の氏名		漢字				
26	構成員n母の氏名		漢字				
27	構成員n養父の氏名		漢字				
28	構成員n養母の氏名		漢字				
29	構成員n住所		漢字				住基8・9II
30	構成員n世帯主		漢字				住基8・9II
31	構成員n更正区分		数字	（1：無，2：父，3：母，5：養父，6：養母）であること			

70176

005

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	5／13

処　理　名	画　面　名	画　面　ＩＤ
2．0 関連チェック　　1／3	名の変更届	

No	内　容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備　考
1	(No.4) 送付日＝スペースの時、(No.5) 発送元＝スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4) 送付日≠スペースの時、(No.5) 発送元≠スペースであること			
3	(No.4) 送付日≠スペースの時、(No.4) 送付日≧(No.3)受領日であること			
4	(No.4) 送付日＝スペースの時、(No.6) 在外送付区分＝0:（受理分）であること			
5	(No.5) 発送元≠スペースの時、(No.6) 在外送付区分≠0:（受理分）であること			
6	(No.5) 発送元≠スペースかつ (No.5) 発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」のとき (No.6) 在外送付区分＝1（国内からの送付）であること			
7	(No.5) 発送元≠スペースかつ (No.5) 発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外のとき (No.6) 在外送付区分＝2（在外公館の直接送付）または (No.6) 在外送付区分＝3（在外公館の国内経由）であること			
8	(No.7) 処理日≠スペースの時、(No.7) 処理日＞(No.3) 受領日であること			
9	(No.9) 郵送日≠スペースの時、(No.4) 送付日＝スペースであること			
10	(No.9) 郵送日≠スペースの時、(No.9) 郵送日≦(No.3) 受領日であること			
11	(No.11) 名の変更者の漢字名≠(No.13)変更後の漢字名であること			
12	(No.3) 受領日≧(No.19)審判日であること			
13	(No.4) 送付日≠スペースの時、(No.4) 送付日≧(No.19) 審判日であること			
14	(No.7) 処理日≠スペースの時、(No.7) 処理日＞(No.19) 審判日であること			
15	(No.20) 届出人資格1＝000:(未入力)の時、(No.21) 届出人氏名1＝スペースであること			
16	(No.22) 届出人資格2＝000:(未入力)の時、(No.23) 届出人氏名2＝スペースであること			
17	(No.20) 届出人資格1＝016(親権者父)の時、(No.21) 届出人氏名1≠スペースであること			
18	(No.22) 届出人資格2＝016(親権者父)の時、(No.23) 届出人氏名2≠スペースであること			
19	(No.20) 届出人資格1＝017(親権者母)の時、(No.21) 届出人氏名1≠スペースであること			
20	(No.22) 届出人資格2＝017(親権者母)の時、(No.23) 届出人氏名2≠スペースであること			
21	(No.20) 届出人資格1＝019(親権者養父)の時、(No.21) 届出人氏名1≠スペースであること			
22	(No.22) 届出人資格2＝019(親権者養父)の時、(No.23) 届出人氏名2≠スペースであること			
23	(No.20) 届出人資格1＝020(親権者養母)の時、(No.21) 届出人氏名1≠スペースであること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成30年　3月31日	21	6／13

処　理　名	画　面　名	画 面 I D	
2. 0関連チェック表　2／3	名の変更届		

No	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
24	(NO. 22)届出人資格2＝020(親権者養母)の時、(NO. 23)届出人氏名2≠スペースであること	「関連エラーがあります。正しく		
25	(NO. 20)届出人資格1＝110(未成年後見人)の時、(NO. 21)届出人氏名1≠スペース　であること	入力して下さい。」		
26	(NO. 22)届出人資格2＝110(未成年後見人)の時、(NO. 23)届出人氏名2≠スペース　であること			
27	(NO. 20)届出人資格1＝098(事件本人)の時、(NO. 21)届出人氏名1＝スペース　であること			
28	(NO. 22)届出人資格2＝098(事件本人)の時、(NO. 23)届出人氏名2＝スペース　であること			
29	(NO. 20)届出人資格1＝098(事件本人)の時、(NO. 22)届出人資格2＝スペース　であること			
30	(NO. 22)届出人資格2＝098(事件本人)の時、(NO. 20)届出人資格1＝スペース　であること			
31	(NO. 20)届出人資格1＝110(未成年後見人)の時、(NO. 22)届出人資格2＝スペース　であること			
32	(NO. 22)届出人資格2＝110(未成年後見人)の時、(NO. 20)届出人資格1＝スペース　であること			
33	(NO. 20)届出人資格1≠(NO. 22)届出人資格2　であること			
34	(NO. 21)届出人氏名1≠スペースの時、(NO. 21)届出人氏名1≠(NO. 23)届出人氏名2　であること			
35	(NO. 11)名の変更者漢字氏名(氏のみ)＝(NO. 17)筆頭者(氏のみ)であること			
35-1	(NO. 15)世帯主氏名≠スペースの時、(NO. 14)住所≠スペース　であること			
35-2	(NO. 14)住所＝スペースの時、(NO. 15)世帯主氏名＝スペース　であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	7／13

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表 3／3	名の変更届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
36	※構成員n共通関連チェック ①:(No.31)構成員n更正区分＝2:父の時、(No.25)構成員n父の氏名≠スペースであること ②:(No.31)構成員n更正区分＝2:父の時、(No.25)構成員n父の氏名 ＝(No.11)名の変更者の漢字氏名であること ③:(No.31)構成員n更正区分＝3:母の時、(No.26)構成員n母の氏名≠スペースであること ④:(No.31)構成員n更正区分＝3:母の時、(No.26)構成員n母の氏名 ＝(No.11)名の変更者の漢字氏名であること ⑤:(No.31)構成員n更正区分＝5:養父の時、(No.27)構成員n養父の氏名≠スペースであること ⑥:(No.31)構成員n更正区分＝5:養父の時、(No.27)構成員n養父の氏名 ＝(No.11)名の変更者の漢字氏名であること ⑦:(No.31)構成員n更正区分＝6:養母の時、(No.28)構成員n養母の氏名≠スペースであること ⑧:(No.31)構成員n更正区分＝6:養母の時、(No.28)構成員n養母の氏名 ＝(No.11)名の変更者の漢字氏名であること ⑨:(削除) (A):(削除) (B):(No.24)構成員nの氏名＝スペースの時、 (No.25)構成員nの父の氏名～(No.31)構成員nの更正区分＝スペースであること (C):(No.24)構成員nの氏名≠スペースの時、(No.31)構成員nの更正区分≠スペースであること (D):(No.30)構成員n世帯主≠スペースの時、(No.29)構成員n住所≠スペースであること (E):(No.29)構成員n住所＝スペースの時、(No.30)構成員n世帯主＝スペースであること	「関連エラーがあります。正しく 入力して下さい。」		

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	8／13

処理名	3.0 審査(名の変更) 1／3			備考
(0-1)受領日＝送付日である(YES, NO)				
	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか？」(YES, NO)			
YES	YES (0-3)→(1)へ			
	NO (0-4)→		(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(1)へ			
(1) 事件本人の生年月日 ＋ 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES, NO)		／		戸32
YES	(2) 届出人資格1(000:未入力, 098:事件本人, 110:未成年後見人, その他)	／		
	000 (3) 届出人資格2(098:事件本人, 110:未成年後見人, その他)	／		
	098 (4) →	／		(5),(6),(8),(9)欠番
	(5)	／		
	(6)		(7) 本紙へ	
	(8)			
	(9)			
	110 (10)	／		(10),(11),(12),(14),(15)欠番
	(11)	／		
	(12)		(13) 本紙へ	
	(14)			
	(15)			
	(12-1) 確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示			「N]の場合、不受理
	その他 (16) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。			不受理
	110 (17) 届出人資格2 (000:未入力, その他)	／		不受理
	000 (18)	／		(18),(19),(20),(22),(23)欠番
	(19)	／		
	(20)		(21) 本紙へ	
	(22)			
	(23)			
	(20-1) 確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示			「N]の場合、不受理
	その他 (24) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。			不受理

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	9-1/13

処理名		3.0 審査(名の変更) 2/3			備考
YES	098	(25) 届出人資格2(000:未入力, その他)	／		
		000 (26) →	／		(27),(28),(30),(31)は削除
		(27)	／		
		(28)		(29) 本紙へ	
		(30)			
		(31)			
		その他 (32) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。			
	その他	(33) エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する。			
NO		(34) 届出人資格1(000:未入力, 016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父, 020:親権者養母, 110:未成年後見人, その他)	／		
	000	(35) 届出人資格2(016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父, 020:親権者養母, 110:未成年後見人, その他)	／		
		016,017, 019,020 (36) 確認メッセージ 「単独親権ですか？」を表示する。		(37) 本紙へ	「N」の場合、不受理
		110 (38) 本非区分(1:本籍, 2:非本籍)	／		
		1 (39) 事件本人の身分事項に未成年後見人事項 がある(YES, NO)	／		
		YES (40) →		(41) 本紙へ	
		NO (42) エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。 未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する。			
		2 (43) →			
		その他 (44) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。			
	016,019	(45) 届出人資格2(000:未入力, 017:親権者母, 020:親権者養母, その他)	／		
		000 (46) 確認メッセージ 「単独親権ですか？」を表示する。		(47) 本紙へ	「N」の場合、不受理

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	9-2／13

処理名			3.0 審査(名の変更) 3／3			備考
NO	016,019	017,020	(48) 確認メッセージ 「共同親権ですか？」を表示する。		(49) 本紙へ	「N」の場合、不受理
		その他	(50) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。			不受理
	017,020		(51) 届出人資格2(000:未入力, 016:親権者父, 019:親権者養父, その他)	／		
		000	(52) 確認メッセージ 「単独親権ですか？」を表示する。		(53) 本紙へ	「N」の場合、不受理
		016,019	(54) 確認メッセージ 「共同親権ですか？」を表示する。			「N」の場合、不受理
		その他	(55) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。			不受理
	110		(56) 届出人資格2(000:未入力, その他)	／		
		000	(57) 本非区分(1:本籍, 2:非本籍)	／		
			1 (58) 事件本人の身分事項に未成年後見人事項がある(YES, NO)	／		
			YES (59) →		(60) 本紙へ	
			NO (61) エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。 未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する。			不受理
			2 (62) →			
		その他	(63) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。			不受理
	その他		(64) エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する。			不受理

011

70183

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	10／13

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1/4	(受取側) 中間ファイル(届書)／共通	←	(引渡側) 入力画面(名の変更届)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.,	
中間ファイル(届書)	受領番号		名の変更届	受領No				
共通	選択事件コード		(その1)	———				32:名の変更届
	出張所番号		入力画面	支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			———				
	許可日			———				
	受理送付区分			———				在外送付区分＝0の時、1 在外送付区分≠0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			———				ZERO(不要)
	届区分			———				1(創設)
	渉外区分			———				0:日本人のみ
	同時決裁受領番号			———				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、名の変更者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2			———				
	ロック戸籍番号3			———				
	ロック戸籍番号4			———				
	ロック戸籍番号5			———				
	事件別内容			———				3／4, 4／4参照
	不受理申出処分区分			———				

012

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（名の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11／13

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 2/4	（受取側）中間ファイル（届書）／共通	←（引渡側）入力画面（名の変更届）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ（届書）共通	処分区分		名の変更届（その1）入力画面					審査の結果により、1＝受理または2＝不受理をセットする。審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0：未決裁を設定
	届書排他区分							0：未，1：排他

70184

013

70185

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（名の変更届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１２／１３

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力　3/4	（受取側）中間ファイル（届書）／事件別内容	←（引渡側）入力画面（名の変更届）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ（届書）	名の変更者個人番号							本籍人のとき、個人番号を設定
事件別内容	名の変更者カナ氏名		名の変更届	名の変更者カナ氏名				
	名の変更者漢字氏名		（その１）	名の変更者漢字氏名				
	変更後のカナ名		入力画面	変更後のカナ名				
	変更後の漢字名			変更後の漢字名				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日				
	審判日			審判日				
	届出人資格１			届出人資格１				
	届出人氏名１			届出人氏名１				
	届出人資格２			届出人資格２				
	届出人氏名２			届出人氏名２				
	筆頭者区分			――――				本籍人の場合のみ 変更前氏名＝筆頭者のとき、 １：筆頭者をセットする 変更前氏名≠筆頭者のとき、 ０：構成員をセットする

014

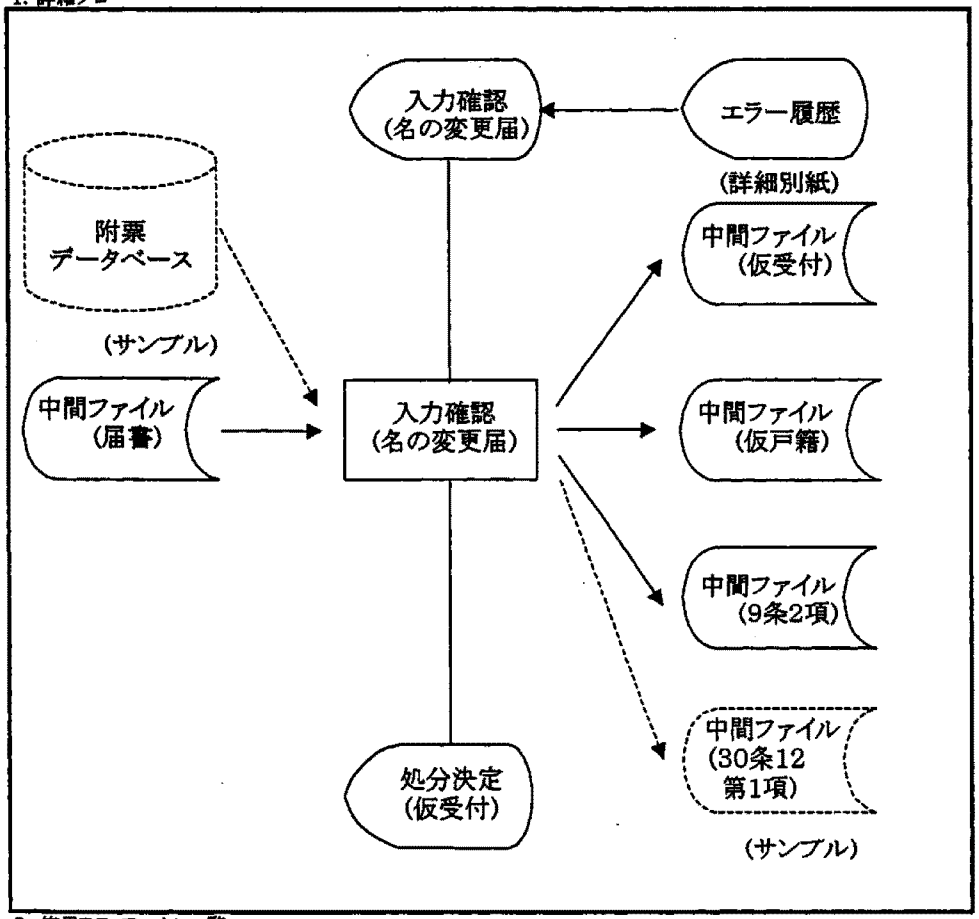
第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（名の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	13／13

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 4/4	（受取側）中間ファイル（届書）／事件別内容	←（引渡側）入力画面（名の変更届）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｷｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9,,	
中間ﾌｧｲﾙ（届書） 事件別内容	構成員n漢字氏名		名の変更届 （その2） 入力画面	構成員n氏名				
	構成員n父の氏名			構成員n父の氏名				構成員の明細については、複数件（n件）出力する。
	構成員n母の氏名			構成員n母の氏名				
	構成員n養父の氏名			構成員n養父の氏名				
	構成員n養母の氏名			構成員n養母の氏名				
	構成員n住所コード			構成員n住所				
	構成員n住所							
	構成員nの世帯主			構成員nの世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

第 2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	1/15

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入 力	中間ファイル(30条の12第1項)	出 力(サンプル)
附票データベース	入 力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出 力		
中間ファイル(仮戸籍)	出 力		
中間ファイル(9条2項)	出 力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2) 戸籍変動状況を確定する。
(3) 中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。
(4) 中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。
(5) 中間ファイル(9条2項)を編集・出力する。
(6) 中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する。---------- (サンプル提示)
(7) 処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル／仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍)
    - 4.1 身分事項(事件本人)
    - 4.2 身分事項(父母欄更生者)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル／9条2項)
    - 5.1 事件本人
    - 5.2 更生者・構成員
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル／30条12第1項)
    - 6.1 事件本人 ---------- (サンプル提示)

5. 備考(特記事項含む)

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2	2/15

処理名	0.0 本紙				備考
(1) 中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]				／	
(2) キー選択(実行キー、 PF1、 PF2、 PF5、PF7、PF8、 PF11、 その他)				／	
実行キー	(3) 中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]			／	
	(4) 中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]			／	
	(5) 事件本人が本籍人である(YES, NO)			／	
	YES	(6) 戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する [4.0]		／	
		身分事項(変動なし)	(7) 事件本人の身分事項の編集 [4.1]	／	
		身分事項(変動なし)	(8) 更正者の身分事項の編集 [4.2]		
		(8－1)事件本人は在外選挙人である(YES, NO)		／	※サンプル提示
		YES	(8－2)事件本について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [6.1]	／	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理 (8-1) (8-2)
		NO	(9)→(10)		
	NO			／	
	(10)在外送付区分＝0:受領分 2:在外公館の直接送付である(YES, NO)			／	
	YES	(11) 事件本人について中間ファイル(9条2項)を編集出力する [5.1]			(13) 処分決定に制御を渡す
		(12) 事件本人は筆頭者である(YES, NO)		／	
		YES	(12-1) 事件本人は本籍人である(YES, NO)		
			YES (12-2)構成員全員の中間ファイル(9条2項)を編集・出力する[5.2]	／	配偶者に関しても処理する
			NO (12-3)更正者についての中間ファイル(9条2項)を編集・出力する[5.2]		更正の有無に係わらず入力者全員分処理する
		NO	→	／	
	NO				
PF1	→				(14) 業務選択に制御を渡す
PF2	→				(15) 届出選択に制御を渡す
PF5	→				(16) 審査に制御を渡す
PF7	(17) 前ページがあるか(ある、なし)			／	
	ある	(18) 前ページの「名の変更届(その1)を編集」			(20) 同画面を編集する
	なし	(19) エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(21) 次ページがあるか(ある、なし)			／	
	ある	(22) 前ページの「名の変更届(その2)を編集」			(24) 同画面を編集する
	なし	(23) エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF11	→				(25) エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(26) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する				(27) 同画面を編集する

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（名の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／15

処理名	1.0 確認画面（名の変更届）表示 1／3	（受取側）名の変更届確認画面（その1）	← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	備考
名の変更届 確認画面	画面ＩＤ			画面ＩＤ				
	システム日付			システム日付				
共通	支所No		中間ファイル （届書）	出張所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日		共通	受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	処理日			処理日		有		
	在外送付区分			在外送付区分				
	本非区分コード			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（名の変更届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	4／15

処理名	1.0 確認画面（名の変更届）表示　2／3	（受取側）名の変更届確認画面（その１）	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾆﾀﾗﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
名の変更届	名の変更者カナ氏名		中間ファイル	名の変更者カナ氏名				
確認画面	名の変更者カナ氏名		（届書）	名の変更者カナ氏名				
その１	変更後のカナ氏名		事件別内容	変更後のカナ氏名				
	変更後の漢字氏名			変更後の漢字氏名				
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日		有		
	審判日			審判日		有		
	届出人資格１			届出人資格１		有		
	届出人資格２			届出人資格２		有		
	届出人氏名１			届出人氏名１				
	届出人氏名２			届出人氏名２				

70190

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（名の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／15

処理名	1.0 確認画面（名の変更届）表示 3／3	（受取側）名の変更届確認画面（その2）	← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
名の変更届	構成員n項番		中間ファイル	――――――				1～n
確認画面	構成員n氏名		（届書）	構成員n漢字氏名				
その2	構成員n父の氏名		事件別内容	構成員n父の氏名				構成員の明細については、複数件（n件）含まれている。
	構成員n母の氏名			構成員n母の氏名				
	構成員n養父の氏名			構成員n養父の氏名				
	構成員n養母の氏名			構成員n養母の氏名				
	構成員n住所			構成員n住所コード		有		
				構成員n住所				
	構成員n世帯主			構成員n世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

70191

020

項番	条件						名の変更者の戸籍	
	本籍人	非本籍人	筆頭者区分		構成員の更正区分 *1		変動なし A.2 C.2 D.2	変動なし C.2 D.2
			筆頭者	構成員	有 (2,3,5,6)	無 (1)		
1	○		○		○		本人 (4.1) 更正者(4.2)	
2	○		○			○	本人 (4.1)	
3	○			○	○			本人 (4.1) 更正者(4.2)
4	○			○		○		本人 (4.1)
5		○	○		○			
6		○	○			○		
7		○		○	○			
8		○		○		○		

＊1：構成員の人数分それぞれ判定し、更正者の身分事項を作成する。（父母欄更正）

20192

70193

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	7／15

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／共通	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル	受領番号		中間ファイル	受領番号				
(仮受付)	出張所番号		(届書)	出張所番号				
共通	受付事件コード			――――				3201 (名の変更) を設定
	受付日			受領日、送付日				送付日≠スペースのときのみ送付日
	事件発生日			――――				
	事件発生時分			――――				
	事件発生日時			――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			――――				「0:届出」を移送
	発送日			――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――				
	収日			――――				
	指示日			――――				
	許可日			――――				
	関連受領番号			――――				
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格＝098のときは、未設定
	届出人資格名称1					有		その他は、資格および氏名を移送する
	届出人氏名1			届出人氏名1				(但し、届出人資格1が000 (未入力)
	届出人資格区分2			届出人資格2				の場合は、届出人資格2の内容を
	届出人資格名称2					有		1へつめて移送する)
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			――――				

022

70194

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（名の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／15

処理名	3.0 中間ファイル（仮受付）編集・出力 2/3	（受取側）中間ファイル（仮受付）／共通	← （引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル（仮受付）共通	届後本籍コード		中間ファイル（届書）	――――				
	届後本籍			――――				
	届後戸籍の筆頭者			――――				
	送達確認1			――――				「0：不要」を移送
	届書送付目録区分			――――				本非区分＝1（本籍）の場合、1（送付要）を設定。 上記以外は、0（送付不要）を設定 ＊本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

023

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	9/15

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／事件本人	←	(引渡側) 中間ファイル

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル	受領番号		中間ファイル	受領番号				
(仮受付)	行番号		(届書)	――――				
事件本人	事件本人区分			――――				43:名の変更者を設定
	届出人区分			――――				届出人資格1又は2＝098:1を設定 上記以外 :0を設定
	カナ氏名			名の変更者カナ氏名				
	漢字氏名			名の変更者漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2			――――				事件本人の現本籍が (本非区分＝2)かつ (在外送付区分＝0)の場合 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（名の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10／15

処理名：4.1 名変更者の記録（変動なし）　（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項　←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9,,	備考
中間ファイル（仮戸籍） 事件本人身分事項	個人番号		中間ファイル（届書）	――――				決裁処理で設定
	行番号			――――				
	出力区分			――――				0：（可）を設定
	タイトルコード			――――				3201：「名の変更」を設定
	記録コード			――――				3201： 「名の変更者の記録」を設定
	管掌者コード			――――				
	事件発生日			受領日				
	名の変更 名の変更日			受領日				受領日を移送
	届出人 資格			届出人資格1，2				届出人資格1，2のいずれかが、098（事件本人）の場合は、移送しない。 上記以外は、次頁（＊1）参照。
	届出人 資格名称							
	届出人 氏名							
	届出人 資格							
	届出人 資格名称							
	届出人 氏名							
	送付 送付を受けた日			送付日				
	送付 受理者			発送元				
	従前の記録 従前の記録			名の変更者の氏名				氏名から名のみを移送する。
	従前の記録 名							
	特記 特記事項			――――				

＊1:届出人資格・氏名の編集内容

(1)届出人資格

入力された届出人資格1，2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000（未入力）	016（親権者父）	017（親権者母）	019（親権者養父）	020（親権者養母）	110（未成年後見人）
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父，養母 ＊1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		養父，親権者母 ＊1		
019(親権者養父)	親権者養父		養父，親権者母 ＊1		養父,養母 ＊1	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父，養母 ＊1		養父,養母 ＊1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

＊1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
（届出人資格名称の統合は行わない）

EX.　親権者養父 と 親権者養母 の場合
【届出人1】親権者養父　甲野 義太郎
【届出人2】親権者養母　甲野 梅子

(2)届出人氏名

届出人資格1，2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	12／15

処理名	4.2 更正者の記録（変動なし）	(受取側) 中間ファイル（仮戸籍）身分事項	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル (仮戸籍) 更正者身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――				決裁処理で設定
	行番号			――――				
	出力区分			――――				0 ： 可を設定
	タイトルコード			――――				7001 ：「更正」を設定
	記録コード			――――				7001 ：「更正」を設定
	管掌者コード			――――				
	事件発生日			受領日				
	更正 更正日			送付日 受領日				送付日≠スペース ： 送付日を移送 送付日＝スペース ： 受領日を移送
	更正 更正事項			――――				名更正区分に該当する〔（養）父、（養）母〕を移送
	更正 更正事由			――――				名更正区分に該当する〔（養）父、（養）母〕+「名変更」
	記録 従前の記録			構成員nの 父、母、養父、養母 氏名				該当項目を移送

(1)更正事項・更正事由について

更正区分	変換文字
2	「父」
3	「母」
5	「養父」
6	「養母」

上記の表に従い、更正区分を判定し事項及び事由を作成する。

更正事項 ： 変換文字＋の氏名 （例）養父の氏名

更正事由 ： 変換文字＋名変更 （例）養父名変更

(2) 従前の記録について

更正区分に従い該当する従前の氏名を作成する。

更正区分	従前の記録		移送する従前氏名
2	【父】	KKK～KKK	←構成員nの父氏名
3	【母】	KKK～KKK	←構成員nの母氏名
5	【養父】	KKK～KKK	←構成員nの養父氏名
6	【養母】	KKK～KKK	←構成員nの養母氏名

（例）【従前の記録】

【養父】 甲野義太郎

070

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	13/15

処理名	5.1 中間ファイル(9条2項) 編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項) /事件本人	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――				32 (名の変更届)
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			筆頭者の氏 + 変更後の漢字名				
	旧氏名			名の変更者漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			――――				
	旧父母との続柄			――――				
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者 (変更後の漢字名)				名の変更者漢字氏名＝筆頭者のとき 筆頭者の氏 + 変更後の漢字名を移送する 上記以外は、筆頭者を移送する
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			――――				

第2章 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（名の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	14／15

処理名	5.1 中間ﾌｧｲﾙ(9条2項) 編集・出力 2/2	（受取側）中間ファイル（9条2項）／事件本人	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)	住民日		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	――――				
事件本人	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			――――				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（名の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	15-1／15

処理名	5.2 中間ファイル(9条2項) 編集・出力 1／2	（受取側）中間ファイル(9条2項)／更正者	←	（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.,	
中間ファイル(9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
更正者・構成員	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			———				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			———				32(名の変更届)
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			———				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			構成員の漢字氏名				
	旧氏名			構成員の漢字氏名				
	新生年月日			———				
	旧生年月日			———				
	新父母との続柄			———				
	旧父母との続柄			———				
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者				名の変更者漢字氏名＝筆頭者のとき筆頭者の氏＋変更後の漢字名を移送する。 上記以外は、筆頭者を移送する
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			———				
	住民日			———				

T0207

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（名の変更届）	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	15-2／15

処理名	5.2 中間ﾌｧｲﾙ(9条2項) 編集・出力 2／2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)／更正者	←	(引渡側) 中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)	世帯主		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	世帯主				
更正者・構成員	世帯主との続柄			――――				

70202

021

第2 3 (4)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	15-3/15

処理名	6.1 事件本人 編集・出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)／(事件本人) ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					32(名の変更届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			筆頭者の氏 ＋ 変更後の漢字名				
	旧氏名			名の変更者漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							名の変更者漢字氏名＝筆頭者のとき筆頭者の氏 ＋ 変更後の漢字名 を移送する
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

70203

031－1

70204

第7.2.(5)「異動」処理

32.転籍届

標準仕様書修正履歴

平成１０年２月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).32 （転籍届）	1．審査 （1）関連チェック ・NO.16　削除 筆頭者が除籍の場合にエラーになってしまうため (NO.15でチェックは行っているため、NO.16は不要) ・NO.17-1　追加 配偶者が生存配偶者の時、筆頭者は除籍であること ・NO.34,35,36,37　修正 カナ氏のチェックを削除し漢字氏のみのチェックとする (カナ氏のチェックは確認メッセージで対応する) （2）3．0審査 ・(8-2)(8-8)を削除 ・構成員のカナ氏と筆頭者のカナ氏の審査追加 メッセージ追加「構成員のカナ氏が筆頭者のカナ氏と異なりますがよろしいですか？」 ・名義使用区分の入力審査を追加 （3）中間ファイル編集（届書）修正 ・許可日の編集を削除 2．入力確認 （1）中間ファイル編集（仮受付） ・筆頭者項目及び編集条件を追加 （2）戸籍事項（記録）の編集 ・従前の記録中本籍の編集条件修正 備考欄削除 （3）戸籍事項（消除）の編集 ・従前の記録中本籍の編集条件修正 備考欄削除 （4）中間ファイル編集（転籍者：9条2項） ・受理日編集条件修正	007 008 009,010 011 011 012 020 033 038 040 045	

70206

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第 7. 2. (5). 32 （転籍届）	公職選挙法改正によるシステムの対応（サンプル提示） １．入力確認 （１）システム環境仕様書 ・詳細フロー及び使用ＤＢ・ファイル一覧に入力ファイルとして附票データベース、出力ファイルとして中間ファイル（３０条の１２第１項）を追加 ・処理概要、機能体系に中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集に関する記述を追加 （２）本紙の処理内容 ・転籍者が在外選挙人の場合の中間ファイル（３０条の１２第１項）の編集・出力処理の追加 ・妻証書提出 （３）中間ファイル編集（３０条の１２第１項） ・転籍者に関して新規追加	024 025 026 046-1 046-2	

70207

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).32 (転籍届)	成年後見法施行によるシステム対応 1. システム処理の概要説明 (1)業務処理範囲外の処理 ・成年後見人による届出の場合を追加	001	
		2. 審査 (1)単体チェック ・届出人資格である「030:後見人」を「110:未成年後見人」に変更(No. 26, 27)	005	
		(2)関連チェック ・届出人資格である「030:後見人」を「110:未成年後見人」に変更(No. 24, 25)	008	
		(3)3. 1審査(届出人資格:筆頭者単独) ・届出人資格である「030:後見人」を「110:未成年後見人」に変更	013, 014	
		・戸籍法32条第2項が削除されることによる審査の削除(審査(3)～(8), (17)～(22))	013	
		・後見事項の有無審査を確認メッセージに変更	013, 014	
		(4)3. 2審査(届出人資格:配偶者単独) ・届出人資格が「030:後見人」の場合の審査の削除(この場合の後見人は未成年者の後見人ではないため)(審査(9)～(14), (25)～(32))	015, 016	
		・戸籍法32条第2項が削除されることによる審査の削除(審査(3)～(8), (18)～(22))	015	
		・後見事項の有無審査を確認メッセージに変更	015, 016	
		(5)3. 3審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方) ・戸籍法32条第2項が削除されることによる審査の削除	017	
		(6)3. 4審査(届出人資格:筆頭者15歳未満) ・届出人資格である「030:後見人」を「110:未成年後見人」に変更	018, 019	
		・後見事項の有無審査は未成年者の後見事項に変更	018, 019	
		3. 入力確認 (1)4. 2. 1戸籍事項(編製)編集・出力 ・届出人氏名の編集条件である届出人資格「030:後見人」を「110:未成年後見人」に変更	036, 037	
		(2)4. 2. 2戸籍事項(記録)編集・出力 ・届出人氏名の編集条件である届出人資格「030:後見人」を「110:未成年後見人」に変更	038, 039	
		(3)4. 2. 3戸籍事項(消除)編集・出力 ・届出人氏名の編集条件である届出人資格「030:後見人」を「110:未成年後見人」に変更	040	

標準仕様書修正履歴

平成13年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).32 (転籍届)	※ 修正なし		

標準仕様書修正履歴

平成19年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).32 (転籍届)	標準仕様書修正 1. システム処理の概要説明 1. 転籍業務処理範囲外の処理 2. 要件定義ワークシート 3.0 審査　1／7 ・受領日と送付日が同日のチェックを追加	001 011	

70210

標準仕様書修正履歴

平成22年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).32 (転籍届)	標準仕様書修正 1. 要件定義ワークシート 3．0　審査　　1／7 ・第11版修正時の記載漏れ (0-7)から(0-11)の内容を追加	 011-1 011-2	

標準仕様書修正履歴

平成23年9月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).32 (転籍届)	民法改正によるシステムの対応 1．システム処理の概要説明 範囲外処理に届出人が”複数の未成年後見人” の場合を記述	001	

標準仕様書修正履歴

平成26年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).32 (転籍届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．中間ファイル(仮受付)編集・出力 夫婦名義で届出をした場合における受附帳の事件本人の記載について誤りがあった為修正 (転籍:45)	033	

標準仕様書修正履歴

平成28年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).32 (転籍届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1. 戸籍事項(編製)編集・出力 親権者養父母が届出する場合、資格と氏名を別々に記載する必要がある為修正 (平成22年11月18日研究会決定事項での対応漏れ) (転籍:45)	036～040	

標準仕様書修正履歴

平成29年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).32 (転籍届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応		
	転籍50	1. 年齢の審査 年齢の起算日に関しては、創設的届出、報告的届出による違い等が過去にも議題となった。 研究員の入替もあることから、年齢の起算日に関して補助的記載を追加する 審査 2	011-1	
	転籍51	2.「受領日」と「届出日」同一日付のチェック 同一日付は認めない方向で統一する 関連チェック 8	007	
	転籍52	3.17版の改版により、「名義使用区分=夫or妻かつ届出人＝未成年後見人」の場合、審査を通過してしまい、事件本人が記載されない。 上記条件をチェックするよう関連チェックに追加 関連チェック 38	010	
	転籍54	4. 備考欄に「不受理」の記載が無い箇所があるため追加	017 018 019	

標準仕様書修正履歴

平成30年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).32 (転籍届) 転籍55	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．データチェック(関連表) 住所、世帯主の関連チェックの表記を統一する修正	010	

第 2 3 (1)	システム処理の概要説明	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日 付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成23年　9月30日	14.1	1／1

1. 転籍業務処理範囲外の処理

（1） 複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

2. 転籍届入力画面の意義

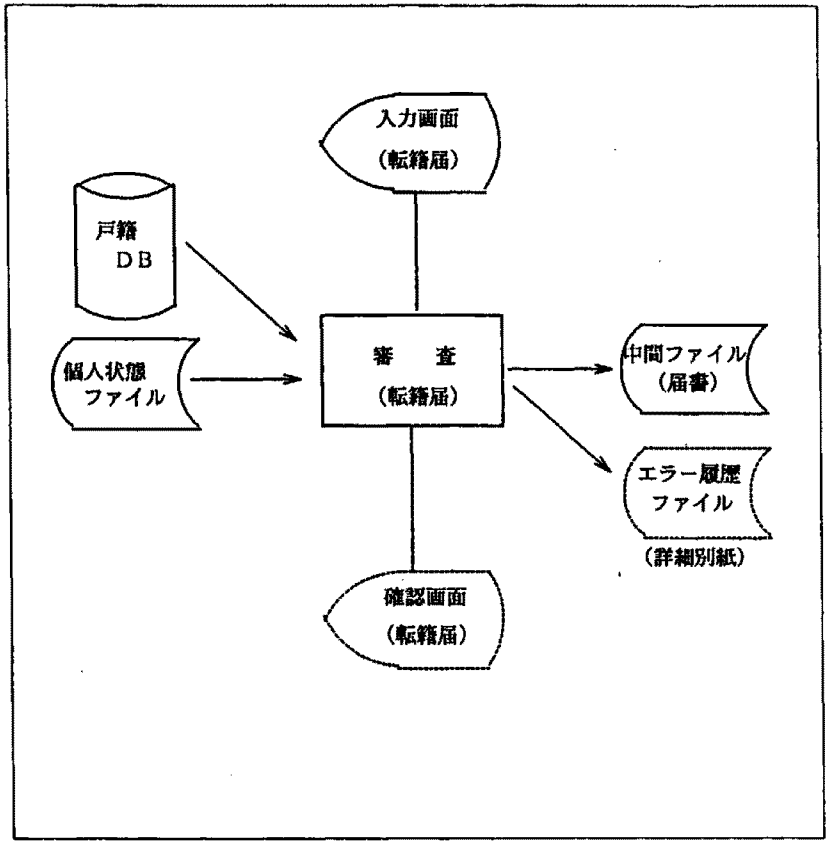
（1） その1画面. 転籍を行う当事者(筆頭者又は配偶者)の各項目を入力する。

（2） その2画面. 転籍を行う上記以外の構成員の各項目を入力する。

3. その他

第２３（２）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（転籍届）	システム化調査研究会	平成３月１１月３０日	平成　年　月　日	1	1／19

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入　力		
個人状態ファイル	入　力		
中間ファイル（届書）	出　力		
エラー履歴ファイル	出　力		

3．処理概要

（１）転籍届の内容を画面入力する。
（２）転籍届で入力された項目の単体チェックを行う。
（３）転籍届で入力された項目の関連チェックを行う。
（４）審査を行う。
（５）転籍届から中間ファイル（届書）を編集・出力する。
（６）入力確認（転籍届）に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック（単体表）
  - 2.0 データチェック（関連表）
  - 3.0 審査
    - 3.1 審査（届出人資格：筆頭者単独）
    - 3.2 審査（届出人資格：配偶者単独）
    - 3.3 審査（届出人資格：筆頭者、配偶者双方）
    - 3.4 審査（届出人資格：筆頭者１５歳未満）
  - 4.0 データ編集表（中間ファイル／届書）

5．備考（特記事項含む）

（１）筆頭者の年齢計算について
　　・受領日を基準日として計算する。

70212
002

第2章 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／19

処理名	0．0 本紙				備考
（1）届書内容を画面入力する				／	「届出ﾒﾆｭｰ」で受領番号が入力された場合、届書ﾌｧｲﾙから画面編集をおこなう。
（2）キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF7，PF8，PF10，PF11，PF12，その他）				／	
実行キー	（3）入力項目の単体チェック（OK：YES，NG：NO）		〔1．0〕	／	
	YES	（4）入力項目の関連チェック（OK：YES，NG：NO）	〔2．0〕	／	
		YES	（5）画面の入力項目を全て入力禁止とする	／	
			（6）審査（OK：YES，NG：NO） 〔3．0〕	／	
			YES （7）中間ファイル（届書）編集出力 〔4．0〕		(8)入力確認画面に制御を渡す
			NO （9）メッセージの種類（審査ｴﾗｰ，確認）	／	
			審査ｴﾗｰ （10）エラーメッセージを表示する		(12)同画面を編集する メッセージをエラー履歴に出力する
			確認 （11）確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する		メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	（13）エラーメッセージを表示する		
	NO				
PF1	→				(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→				(15)届出選択に制御を渡す
PF7	（16）前ページがあるか（ある：YES，なし：NO）			／	
	ある	（17）前ページ分の「転籍届」画面を編集			(19)同画面を編集する
	なし	（18）エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	（20）次ページがあるか（ある：YES，なし：NO）			／	
	ある	（21）次ページ分の「転籍届」画面を編集			(23)同画面を編集する
	なし	（22）エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF10	（24）画面の入力項目の入力禁止を解除する				入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	（25）当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する				審査エラー発生時のみ有効
PF12	（26）入力画面を初期化する				
その他	（27）エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する				

第2 3 (5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／19

処理名	画面名	画面ID	
1．0 単体チェック 1／3	転籍届（その1）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	（0：受理分，1：国内からの送付，2：在外公館の直接送付，3：在外公館の国内経由）であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	（1：本籍，2：非本籍）であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	本籍	○	漢字				
11	新本籍	○	漢字				
12	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
13	筆頭者漢字氏名	○	漢字				
14	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	筆頭者個人除区分	○	数字	（0：在籍者，1：除籍者）であること			
16	筆頭者ー配偶者区分		漢字	（0：未，1：夫，2：妻，3：生存配偶者）であること			
17	筆頭者住所		漢字				
18	筆頭者世帯主		漢字				
19	配偶者ー配偶者区分		数字	（1：夫，2：妻，3：生存配偶者）であること			
20	配偶者外人区分		数字	（0：日本人，1：外国人）であること			
21	配偶者カナ氏名		カナ				
22	配偶者漢字氏名		漢字				
23	配偶者住所		漢字				
24	配偶者世帯主		漢字				
25	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			

70214
004

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	4/19

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表 2/3	転籍届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
26	届出人資格1		数字	(000:未入力, 008:筆頭者, 009:配偶者, 016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父, 020:親権者養母, 110:未成年後見人)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
27	届出人資格2		数字	(000:未入力, 008:筆頭者, 009:配偶者, 016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父, 020:親権者養母, 110:未成年後見人)であること			
28	届出人氏名1		漢字				
29	届出人氏名2		漢字				
30	名義使用区分		数字	(0:未使用, 1:夫, 2:妻)であること			
31	構成員人数		数字				

第32(53)(5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／19

処理名	画面名	画面ID	
1．0 単体チェック 3／3	転籍届（その2）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	構成員カナ氏名（その1）		カナ		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
33	構成員漢字氏名（その1）		漢字				
34	構成員住所（その1）		漢字				
35	構成員世帯主（その1）		漢字				
36	構成員生年月日（その1）		英数	「日付チェックサブルーチン」			
37	構成員カナ氏名（その2）		カナ				
38	構成員漢字氏名（その2）		漢字				
39	構成員住所（その2）		漢字				
40	構成員世帯主（その2）		漢字				
41	構成員生年月日（その2）		英数	「日付チェックサブルーチン」			
42	構成員カナ氏名（その3）		カナ				
43	構成員漢字氏名（その3）		漢字				
44	構成員住所（その3）		漢字				
45	構成員世帯主（その3）		漢字				
46	構成員生年月日（その3）		英数	「日付チェックサブルーチン」			
47	構成員カナ氏名（その4）		カナ				
48	構成員漢字氏名（その4）		漢字				
49	構成員住所（その4）		漢字				
50	構成員世帯主（その4）		漢字				
51	構成員生年月日（その4）		英数	「日付チェックサブルーチン」			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　定　日　付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成29年　3月31日	20	6／19

処　理　名	画　面　名	画　面　Ｉ　Ｄ	
2.0 関連チェック　1／4	転籍届		

No	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)送付元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)送付元 ≠ スペースであること	入力して下さい。」		
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:(受理分)であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:(受理分)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の とき (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)または (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.10)本籍 ＝ 本籍地又は(No.11)新本籍 ＝ 本籍地であること			
12	(No.10)本籍 ≠ (No.11)新本籍であること			
13	(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 0(在籍)の時、 (No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0(未)、1(夫)、2(妻)、3(生存配偶者)であること			
14	(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 1(除籍)の時、(No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0(未)かつ (No.17)筆頭者-住所、(No.18)筆頭者-世帯主 ＝ スペースであること			
15	(No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0(未)の時、 (No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)またはスペース(未入力)であること			
16	【空白】			(No. 16)欠番
17	(No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)の時、 (No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ スペース(未入力)または0(未)であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	7/19

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック 2/4	転籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
17-1	(No.19)配偶者－配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)の時、 (No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 1(除籍) であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
18	(No.19)配偶者－配偶者区分 ＝ スペース(未入力)の時、(No.20)配偶者－外人区分、 (No.21)配偶者－カナ氏名、(No.22)配偶者－漢字氏名、(No.23)配偶者－住所、 (No.24)配偶者－世帯主、(No.25)配偶者－生年月日全て ＝ スペース(未入力) であること			
19	(No.19)配偶者－配偶者区分 ≠ スペース(未入力) かつ (No.20)配偶者－外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.21)配偶者－カナ氏名、(No.22)配偶者－漢字氏名、(No.25)配偶者－生年月日全て ≠ スペース(未入力) であること			
19-1	(No.19)配偶者－配偶者区分 ≠ スペース(未入力) かつ (No.20)配偶者－外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.21)配偶者－カナ氏名～(No.25)配偶者－生年月日全て ＝ スペース(未入力) であること			
20	(No.19)配偶者－配偶者区分 ≠ スペース(未入力) かつ (No.20)配偶者－外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.12)筆頭者－カナ氏名(氏) ＝ (No.21)配偶者－カナ氏名(氏)、かつ (No.13)筆頭者－漢字氏名(氏) ＝ (No.22)配偶者－漢字氏名(氏) であること			
21	(No.20)配偶者－外人区分 ＝ スペース(未入力)の時、 (No.30)名義使用区分 ＝ 0(未使用) であること			
22	(No.20)配偶者－外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.30)名義使用区分 ＝ 0(未使用) であること			
23	(No.26)届出人資格1 ≠ 000(未入力) 又は (No.27)届出人資格2 ≠ 000(未入力) であること			
24	(No.26)届出人資格1 ＝ 016、017、019、020、110の時、 (No.28)届出人氏名1 ≠ スペース(未入力) であること			
25	(No.27)届出人資格2 ＝ 016、017、019、020、110の時、 (No.29)届出人氏名2 ≠ スペース(未入力) であること			
26	構成員番号(その1) ＝ スペースの時、(No.32)構成員カナ氏名(その1)、 (No.33)構成員漢字氏名(その1)、(No.34)構成員住所(その1)、(No.35)構成員世帯主(その1)、 (No.36)構成員生年月日(その1)が全て ＝ スペース であること			

第23(6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	8-1／19

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック 3／4	転籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
27	構成員番号(その1)≠スペースの時、(No.32)構成員カナ氏名(その1)、(No.33)構成員漢字氏名(その1)、(No.36)構成員生年月日(その1)が全て ≠ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
28	構成員番号(その2)＝スペースの時、(No. 37)構成員カナ氏名(その2)、(No. 38)構成員漢字氏名(その2)、(No. 39)構成員住所(その2)、(No. 40)構成員世帯主(その2)、(No. 41)構成員生年月日(その2)が全て＝スペースであること			
29	構成員番号(その2)≠スペースの時、(No. 37)構成員カナ氏名(その2)、(No. 38)構成員漢字氏名(その2)、(No. 41)構成員生年月日(その2)が全て≠スペースであること			
30	構成員番号(その3)＝スペースの時、(No. 42)構成員カナ氏名(その3)、(No. 43)構成員漢字氏名(その3)、(No. 44)構成員住所(その3)、(No. 45)構成員世帯主(その3)、(No. 46)構成員生年月日(その3)が全て＝スペースであること			
31	構成員番号(その3)≠スペースの時、(No. 42)構成員カナ氏名(その3)、(No. 43)構成員漢字氏名(その3)、(No. 46)構成員生年月日(その3)が全て≠スペースであること			
32	構成員番号(その4)＝スペースの時、(No. 47)構成員カナ氏名(その4)、(No. 48)構成員漢字氏名(その4)、(No. 49)構成員住所(その4)、(No. 50)構成員世帯主(その4)、(No. 51)構成員生年月日(その4)が全て＝スペースであること			
33	構成員番号(その4)≠スペースの時、(No. 4 7)構成員カナ氏名(その4)、(No. 48)構成員漢字氏名(その4)、(No. 51)構成員生年月日(その4)が全て≠スペースであること			
34	構成員番号(その1)≠スペースの時、(No. 12)筆頭者－漢字氏名(氏)＝(No. 33)構成員漢字氏名(その1)(氏)であること			
35	構成員番号(その2)≠スペースの時、(No. 12)筆頭者－漢字氏名(氏)＝(No. 38)構成員漢字氏名(その2)(氏)であること			
36	構成員番号(その3)≠スペースの時、(No. 12)筆頭者－漢字氏名(氏)＝(No. 43)構成員漢字氏名(その3)(氏)であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	8-2／19

処理名	画面名	画面ＩＤ	
2.0 関連チェック 4／4	転籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
37	構成員番号(その4) ≠ スペースの時、 (No.12)筆頭者ー漢字氏名(氏)＝(No.48)構成員漢字氏名(その4)(氏)、であること	「関連エラーがあります。正しく 入力して下さい。」		
38	(No.30)名義使用区分 ≠ 0(未使用)の時、 (No.26)届出人資格1 ≠ 110(未成年後見人)、かつ (No.27)届出人資格2 ≠ 110(未成年後見人) であること			
39	(No.17)筆頭者住所=スペースの時、(No.18)筆頭者世帯主=スペースであること			
40	(No.18)筆頭者世帯主≠スペースの時、(No.17)筆頭者住所≠スペースであること			
41	(No.23)配偶者住所=スペースの時、(No.24)配偶者世帯主=スペースであること			
42	(No.24)配偶者世帯主≠スペースの時、(No.23)配偶者住所≠スペースであること			
43	(No.34)構成員住所(その1)=スペースの時、(No.35)構成員世帯主(その1)=スペースであること			
44	(No.35)構成員世帯主(その1)≠スペースの時、(No.34)構成員住所(その1)≠スペースであること			
45	(No.39)構成員住所(その2)=スペースの時、(No.40)構成員世帯主(その2)=スペースであること			
46	(No.40)構成員世帯主(その2)≠スペースの時、(No.39)構成員住所(その2)≠スペースであること			
47	(No.44)構成員住所(その3)=スペースの時、(No.45)構成員世帯主(その3)=スペースであること			
48	(No.45)構成員世帯主(その3)≠スペースの時、(No.44)構成員住所(その3)≠スペースであること			
49	(No.49)構成員住所(その4)=スペースの時、(No.50)構成員世帯主(その4)=スペースであること			
50	(No.50)構成員世帯主(その4)≠スペースの時、(No.49)構成員住所(その4)≠スペースであること			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成16年12月 1日	平成29年 3月31日	20	9-1／19

処理名	3.0 審査	1／7		
(0-1) 受領日＝送付日である		／		
YES	(0-2) 確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか？」(YES,NO)	／		
	YES (0-3)→(0-7)			
	N O (0-4)→		(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
N O	(0-6)→(0-7)			
(0-7) 構成員カナ氏審査処理(構成員が無くなるまで繰り返す)		／		
	(0-8) 筆頭者－カナ氏名の氏≠構成員カナ氏名の氏(YES, NO)	／		
	YES (0-9)メッセージ「構成員のカナ氏が筆頭者のカナ氏と異なりますがよろしいですか？」			
	N O (0-11) → (0-7)	／		
(1)筆頭者 － 配偶者区分 (0:未婚, 1:夫, 2:妻, 3:生存配偶者, その他)		／		
0	(1-1) 筆頭者 － 個人除区分 (0:在籍, その他)	／		
	0 (2) 筆頭者の生年月日＋15年(15歳以上) ≦ 受領日 である (YES, NO)	／		
	YES (3) 審査 (届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]	／		
	(4) →		(5) 本紙へ	
	N O (6) 審査 (届出人資格:筆頭者15歳未満)処理[3.4]	／		
	(7) →		(8) 本紙へ	
	その他 (8-1) 配偶者 － 外人区分 (0:日本人, その他)	／		
	0 (8-2) 配偶者 － 配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者 (YES, NO)	／		
	YES (8-3) 名義使用外区分 (0:未使用, その他)	／		
	0 (8-4) 審査 (届出人資格:配偶者単独)処理[3.2]	／		
	(8-5) →		(8-6) 本紙へ	
	その他 (8-7) エラーメッセージ「名義使用区分は入力できません。」を表示する。	／		
	N O (8-8) エラーメッセージ「配偶者－配偶者区分には誤りがあります。」を表示する。	／		
	その他 (8-9) エラーメッセージ「届出資格を有していません。」を表示する。	／		
1	(9) 配偶者 － 外人区分 (0:日本人, その他)	／		
	0 (10) 配偶者 － 配偶者区分 ＝ 2:妻 (YES, NO)	／		
	YES (11) 名義使用区分 (1:夫, 2:妻, その他)	／		
	1 (12) 審査 (届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]	／		昭和23. 4. 15 民事甲 926号回答
	(13) →		(14) 本紙へ	昭和23. 5. 6 民事甲 1131号回答
	2 (15) 審査 (届出人資格:配偶者単独)処理[3.2]	／		昭和23. 4. 15 民事甲 926号回答
	(16) →		(17) 本紙へ	昭和23. 5. 6 民事甲 1131号回答
	その他 (18) 審査 (届出人資格:筆頭者、配偶者双方)処理[3.3]	／		

70221

011-1

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成16年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	9-2／19

処理名	3.0 審査	1／7		
	(19) →		(21) 本紙へ	
ＮＯ	(20) エラーメッセージ 「配偶者－配偶者区分には誤りがあります。」を表示する。	／		

70221-2

011-2

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	10／19

処理名						3.0 審査 2／7		備考
0	その他				(22)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理 [3.1]	／		
					(23)→		(24)本紙へ	
2	(25)配偶者ー外人区分(0:日本人, その他)							
	0				(26)配偶者ー配偶者区分＝1:夫(YES, NO)	／		
		YES			(27)名義使用区分(1:夫, 2:妻, その他)	／		
			1		(28)審査(届出人資格:配偶者単独)処理[3.2]	／		昭和23. 4.15 民事甲 926号回答
					(29)→		(30)本紙へ	昭和23. 5.6 民事甲 1131号回答
			2		(31)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]	／		昭和23. 4.15 民事甲 926号回答
					(32)→		(33)本紙へ	昭和23. 5.6 民事甲 1131号回答
			その他		(34)審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)処理[3.3]	／		
					(35)→		(36)本紙へ	
		NO			(37)エラーメッセージ 「配偶者ー配偶者区分には誤りがあります。」			NO. 38 欠番
	その他				(39)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]	／		
					(40)→		(41)本紙へ	
(1)筆頭者ー配偶者区分(0:未婚, 1:夫, 2:妻, 3:生存配偶者)						／		
3	(42-1)名義使用区分(0:未使用, その他)					／		
	0				(42-2)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]	／		
					(43)→		(44)本紙へ	
	その他				(45)エラーメッセージ 「名義使用区分は入力できません。」を表示する。			

012

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	11-1/19

処理名	3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独) 1/2	3-1/7		備考
(1) 届出人資格1(000:未入力, 008:筆頭者, 110:未成年後見人, その他)		／		
000	(2) 届出人資格2(008:筆頭者, 110:未成年後見人, その他)	／		
	008 (3) → (34)			(4)～(8)削除
	110 (9) 確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか？」	／		
	YES (10) →		(11)3.0審査へ	
	N O (12) →			不受理 (13), (14)削除
	その他 (15) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」			不受理
008	(16) 届出人資格2(000:未入力, その他)	／		
	000 (17) → (34)			(18)～(22)削除
	その他 (23) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」		(24)3.0審査へ	不受理
110	(25) 届出人資格2(000:未入力, その他)	／		
	000 (26) 確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか？」	／		

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	11-2／19

処理名		3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独) 2／2 3-2／7			備考
110	000	YES	(27) →		(28)3.0審査へ
		N O	(29) →		不受理
					(30), (31)削除
	その他	(32) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」			不受理
その他		(33) エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」			不受理
(34) →					

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	12-1/19

処理名		3.2 審査(届出人資格:配偶者単独) 1/2 4-1/7			備考
(1) 届出人資格1(000:未入力, 009:配偶者, その他)			/		
000	(2) 届出人資格2(009:配偶者, その他)		/		
	009	(3) → (34)			(4)～(14)削除
	その他	(15) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」		(15-1)3.0審査へ	不受理
009	(16) 届出人資格2(000:未入力, その他)		/		
	000	(17) → (34)			(18)～(22)削除
	その他	(23) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」		(24)3.0審査へ	不受理
					(25)～(32)削除

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	12-2／19

処理名	3.2 審査(届出人資格:配偶者単独) 2／2	4-2／7	備考
			(25)～(32)削除
その他	(33) エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」	(33-1)3.0審査へ	不受理
(34) →			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	13／19

処　理　名	3.3 審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)	5／7		備　考
(1) 届出人資格1(000:未入力, 008:筆頭者, 009:配偶者, その他)		／		
008	(2) 届出人資格2(009:配偶者, その他)	／		
009	(3) →			戸108Ⅰ
その他	(4) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」		(5)3.0審査へ	不受理
009	(6) 届出人資格2(008:筆頭者, その他)	／		
008	(7) →			戸108Ⅰ
その他	(8) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」		(10)3.0審査へ	不受理
その他	(9) エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」			不受理
				(11)～(18)削除

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	14／19

処理名	3.4 審査(届出人資格:筆頭者15歳未満) 1／2 6／7			備考
(1) 届出人資格1(000:未入力, 016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父, 020:親権者養母, 110:未成年後見人, その他)		／		昭和23. 10. 15 民事甲 660号通達
000	(2) 届出人資格2(016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父, 020:親権者養母, 110:未成年後見人, その他)	／		
016,017, 019,020	(3) 確認メッセージ 「単独親権ですか？」		(4)3. 0審査へ	Nのとき、不受理
110	(5) 筆頭者は本籍人である(YES, NO)	／		
YES	(6) 筆頭者の身分事項に未成年後見事項がある(YES, NO)	／		
YES	→		(8)3. 0審査へ	
N O	(7) エラーメッセージ「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」			
N O	→			
その他	(8-1) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」			不受理
016,019	(9) 届出人資格2(000:未入力, 017:親権者母, 020:親権者養母, その他)	／		
000	(10) 確認メッセージ 「単独親権ですか？」		(13)3. 0審査へ	Nのとき、不受理
017,020	(11) 確認メッセージ 「共同親権ですか？」			Nのとき、不受理
その他	(12) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」			不受理
017,020	(14) 届出人資格2(000:未入力, 016:親権者父, 019:親権者養父, その他)	／		
000	(15) 確認メッセージ 「単独親権ですか？」		(18)3. 0審査へ	Nのとき、不受理
016,019	(16) 確認メッセージ 「共同親権ですか？」			Nのとき、不受理
その他	(17) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」			不受理

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	15／19

処理名	3.4 審査(届出人資格:筆頭者15歳未満) 2／2 7／7					備考
110	(19) 届出人資格2(000:未入力, その他)				／	
	000	(20) 筆頭者は本籍人である(YES, NO)			／	
		YES	(21) 筆頭者の身分事項に未成年後見事項がある(YES, NO)		／	
			YES	→		(25)3.0審査へ
			N O	(22) エラーメッセージ「事件本人に未成年後見事項がありません。 未成年後見人は届出人にはなれません。」		
		N O	→			
	その他	(23) エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」				不受理
その他	(24) エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」					不受理

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	16／19

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1/4	(受取側)中間ファイル(届書)	←	(引渡側)転籍届画面 入力

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		転籍届画面 入力	受領NO				
	選択事件コード			———				「3 3」をセット
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			———				
	許可日							
	受理送付区分			———				在外送付区分＝0の時、1 在外送付区分≠0の時、2
	本非区分			本・非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			———				「0:不要」をセット
	届区分			———				「1:創設」をセット
	渉外区分			———				「0」をセット
	同時決裁受領番号			———				
	ロック戸籍番号1			———				本籍人の時、転籍者の戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号2			———				
	ロック戸籍番号3			———				
	ロック戸籍番号4			———				
	ロック戸籍番号5			———				
	事件別内容			———				3／4～4／4参照
	不受理申出処分区分			———				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（転籍届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	１７／１９

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 2／4	（受取側）中間ファイル（届書）	← （引渡側）転籍届画面　入力

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．，	
中間ファイル（届書） 共通	処分区分		転籍届画面　入力	――――				審査の結果により、１＝受理または２＝不受理をセットする。＊
	決裁区分			――――				ＺＥＲＯ
	届書排他区分			――――				０：未、１：排他

＊審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

70231

021

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	18／19

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 3／4	（受取側）中間ファイル（届書）	（引渡側）転籍届画面 入力

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル	本籍コード		転籍届画面 入力	本籍				
（届書）	本籍							
事件別内容	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	筆頭者の個人番号							本籍人の時、筆頭者の個人番号をｾｯﾄ
	カナ氏名（筆頭者）			筆頭者のカナ氏名				
	漢字氏名（筆頭者）			筆頭者の漢字氏名				
	生年月日（筆頭者）			筆頭者の生年月日				
	個人除区分（筆頭者）			筆頭者の個人除区分				
	配偶者入力区分（筆頭者）			筆頭者の配偶者入力区分				
	住所コード（筆頭者）			筆頭者の住所				
	住所（筆頭者）							
	世帯主（筆頭者）			筆頭者の世帯主				
	配偶者入力区分（配偶者）			配偶者の配偶者入力区分				
	外人区分（配偶者）			配偶者の外人区分				
	配偶者の個人番号							本籍人の時、配偶者の個人番号をｾｯﾄ
	カナ氏名（配偶者）			配偶者のカナ氏名				
	漢字氏名（配偶者）			配偶者の漢字氏名				
	生年月日（配偶者）			配偶者の生年月日				
	住所コード（配偶者）			配偶者の住所				
	住所（配偶者）							
	世帯主（配偶者）			配偶者の世帯主				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

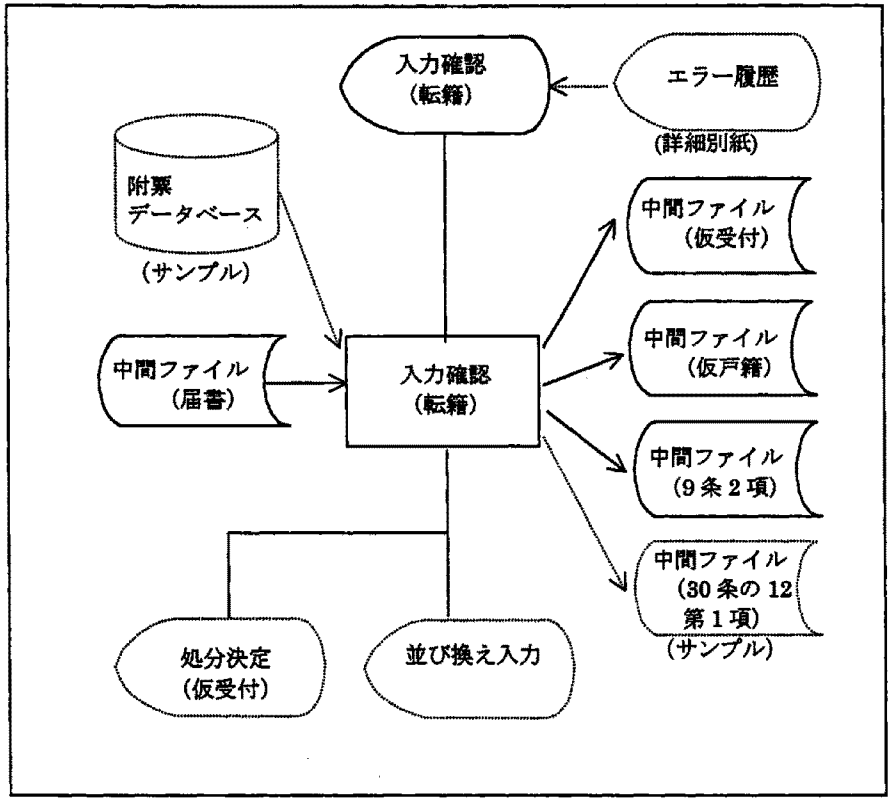
第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	19／19

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 4／4	（受取側）中間ファイル（届書）	（引渡側）転籍届画面 入力

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z9,,	
中間ファイル（届書）	名義使用区分		転籍届画面 入力	名義使用区分				
	構成員人数			構成員人数				
事件別内容	構成員の個人番号							本籍人の時、構成員の個人番号をｾｯﾄ
	カナ氏名（構成員）			構成員のカナ氏名				
	漢字氏名（構成員）			構成員の漢字氏名				構成員の明細について
	住所コード（構成員）			構成員の住所				画面では、4人／画面
	住所（構成員）							ﾌｧｲﾙでは、3人／ﾚｺｰﾄﾞです
	世帯主（構成員）			構成員の世帯主				
	生年月日（構成員）			構成員の生年月日				

第2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	1/23

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動情報を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する。……(サンプル提示)
(7)下記に制御を渡す。
　処分決定処理
　並び換え処理

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル／仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル／仮戸籍[戸籍事項])
    - 4.1 戸籍特定情報
      - 4.1.1 戸籍特定(新戸)
      - 4.2.1 戸籍特定(記録)
    - 4.2 戸籍事項情報
      - 4.2.1 戸籍事項(編製)
      - 4.2.2 戸籍事項(記録)
      - 4.2.3 戸籍事項(消除)
    - 4.3 個人特定情報
      - 4.3.1 個人特定(入籍)
      - 4.3.2 個人特定(記録)
    - 4.4 氏名情報
      - 4.4.1 氏名(入籍)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル／9条2項)
    - 5.1 転籍者
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル／30条の12第1項) ……(サンプル提示)
    - 6.1 転籍者

5. 備考(特記事項含む)

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月 1日	2.1	2／23

処理名	0.0 本紙 1/2		備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、 メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する 〔1.0〕		／	
(2)キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF5, PF7, PF8, PF11, その他)		／	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編成マトリックス表を参照し、事件本人の 戸籍変動状況を決定する 〔2.0〕	／	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する 〔3.0〕	／	
	(5)事件本人が本籍人である (YES, NO)	／	
	YES (6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する 〔4.0〕	／	
	(7)戸籍特定情報	／	
	戸籍特定(新戸) (8)戸籍特定(新戸)の編集 〔4.1.1〕	／	
	戸籍特定(記録) (9)戸籍特定(記録)の編集 〔4.1.2〕	／	
	(10)戸籍事項情報	／	
	戸籍事項(編製) (11)戸籍事項(編製)の編集 〔4.2.1〕	／	
	戸籍事項(記録) (12)戸籍事項(記録)の編集 〔4.2.2〕	／	
	戸籍事項(消除) (13)戸籍事項(消除)の編集 〔4.2.3〕	／	
	(14)個人特定情報	／	転籍人数分行う
	個人特定(入籍) (15)個人特定(入籍)の編集 〔4.3.1〕	／	
	個人特定(記録) (16)個人特定(記録)の編集 〔4.3.2〕	／	
	(17)氏名情報	／	転籍人数分行う
	氏名(入籍) (18)氏名(入籍)の編集 〔4.4.1〕	／	
	(17-1)事件本人は在外選挙人である (YES, NO)	／	転籍人数分行う, ※サンプル提示
	YES (17-2)事件本人について中間ファイル(30条の12第1項)を 編集・出力する 〔6.1〕	／	附票情報との連動により在外選挙人関連の 対応が戸籍システムで可能な場合
	NO (19) → (20)	／	処理 (17-1), (17-2)
	NO		
	(20)在外送付区分=0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である (YES, NO)	／	
	YES (21)転籍者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔7.1〕	／	
	NO (22) → (23)	／	
	(23)新戸編製である (YES, NO)	／	
	YES (24)筆頭者、配偶者を除く構成員数は2名以上である (YES, NO)	／	

025

第２３(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	3／23

処理名	0.0 本紙 2/2					備考
	YES	YES	(25)構成員(筆頭者、配偶者を除く)同生年月日者がいる (YES, NO)	／		
			YES (26)戸籍法14条により並べ換えし並べ換え処理へ		(27)並べ換えに制御を渡す	
			NO →		(28)処分決定に制御を渡す	
		NO				
	NO					
PF1	→				(29)業務選択に制御を渡す	
PF2	→				(30)届出選択に制御を渡す	
PF5	→				(31)審査に制御を渡す	
PF7	(32)前ページがあるか (ある : YES, ない : NO)			／	(34)同画面を編集する	
	あ る	(33)前ページ分の「転籍届」画面を編集				
	な し	(35)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する				
PF8	(36)次ページがあるか (ある : YES, ない : NO)			／	(38)同画面を編集する	
	あ る	(37)次ページ分の「転籍届」画面を編集				
	な し	(39)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する				
PF11	→				(40)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(41)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する				(42)同画面を編集する	

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	4／23

処理名	1.0 確認画面（転籍届（その１））表示 1/2	（受取側）転籍届確認画面	（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰﾋﾞｽﾌﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
転籍届確認画面（その１）	画面ＩＤ			画面ＩＤ				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル（届書）共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	本籍		中間ファイル（届書）事件別内容	本籍コード		有		
				本籍				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	筆頭者のカナ氏名			カナ氏名（筆頭者）				
	筆頭者の漢字氏名			漢字氏名（筆頭者）				
	筆頭者の生年月日			生年月日（筆頭者）		有		
	筆頭者の個人除区分			個人除区分（筆頭者）		有		
	筆頭者の個人除区分名称							
	筆頭者の配偶者区分			配偶者区分（筆頭者）		有		
	筆頭者の配偶者区分名称							
	筆頭者の住所			住所コード（筆頭者）		有		
				住所（筆頭者）				
	筆頭者の世帯主			世帯主（筆頭者）				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／23

処理名	1.0 確認画面（転籍届（その1））表示 2/2	（受取側）転籍届確認画面	（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
転籍届確認画面 （その1）	配偶者の配偶者区分		中間ファイル （届書） 事件別内容	配偶者区分（配偶者）		有		
	配偶者の配偶者区分名称							
	配偶者の外人区分			外人区分（配偶者）		有		
	配偶者の外人区分名称							
	配偶者のカナ氏名			カナ氏名（配偶者）				
	配偶者の漢字氏名			漢字氏名（配偶者）				
	配偶者の住所			住所コード（配偶者）		有		
				住所（配偶者）				
	配偶者の生年月日			生年月日（配偶者）		有		
	届出人資格1			届出人資格1		有		
	届出人資格1名称							
	届出人資格2			届出人資格2		有		
	届出人資格2名称							
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	名義使用区分			名義使用区分		有		
	名義使用区分表示							
	構成員人数			構成員数				

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／23

処理名	1.0 確認画面（転籍届（その2））表示	（受取側）転籍届確認画面	（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
転籍届確認画面（その2）	構成員の番号		中間ファイル（届書）	――――				構成員を一連番号で設定
	構成員のカナ氏名			カナ氏名（構成員）				構成員人数について 画面では、4人／画面 ﾌｧｲﾙでは、3人／ﾚｺｰﾄﾞです
	構成員の漢字氏名		事件別内容	漢字氏名（構成員）				
	構成員の住所			住所コード（構成員）		有		
				住所（構成員）				
	構成員の世帯主			世帯主（構成員）				
	構成員の生年月日			生年月日（構成員）		有		
	現在頁			――――				現在表示している画面の出現番号を表示する
	最大頁			――――				構成員人数より必要な画面数の最大頁数を表示する

第2次(37)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7／23

処理名　2．0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件				戸籍の変動		
	現本籍		新本籍				
	本籍	非本籍	管内	管外	全部除籍 4.1.2 4.2.3 4.3.2 ＊1	新戸籍編製 4.1.1 4.2.1 4.3.1 4.4.1 ＊2	変動なし 4.1.2 4.2.2
1	○		○				○
2	○			○	○		
3		○	○			○	
4		○		○			

＊1　4.3.2 は画面入力した筆頭者、配偶者、構成員の全ての戸籍が除籍の対象とする。
ただし、筆頭者が除籍（個人除区分＝1）の場合、筆頭者の戸籍の変動は行わない。

＊2　4.3.1、4.4.1 は画面入力した転籍者（筆頭者、配偶者、構成員）は、以下の順で記録する。
第1順位　筆頭者区分　（1：筆頭者、0：構成員の順）
第2順位　配偶者区分　（1：夫、2：妻、3：生存配偶者、0：未婚の順）
第3順位　生年月日　（和暦年号は西暦換算で上昇順、年、月、日の順）
第4順位　入力順　（構成員番号の順）

☆管外から管内へ転籍する場合、外国人配偶者の戸籍（個人特定）は作成しないこと

70240
030

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／23

処理名	3.0 中間ファイル（仮受付）編集・出力 1/3	（受取側）中間ファイル（仮受付）／共通	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	備考
中間ファイル（仮受付）共通	受領番号		中間ファイル（届書）	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			――				「33」を設定
	受付日			送付日 または 受領日				送付日≠スペースの場合、送付日 送付日＝スペースの場合、受領日
	事件発生日			――				
	事件発生時分			――				
	事件発生日時			――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			――				0：日本人
	証書提出区分			――				0：届出
	発送日			――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――				移送データなし
	収日			――				移送データなし
	指示日			――				移送データなし
	許可日			――				移送データなし
	関連受領番号			――				移送データなし
	届出人資格区分1			届出人資格1 OR 2				資格区分＝008：筆頭者または009：配偶者 以外のとき設定
	届出人資格区分1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1 OR 2				
	届出人資格区分2							
	届出人資格区分2名称					有		
	届出人氏名2			――				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	9／23

処理名	3.0 中間ファイル（仮受付）編集・出力 2/3	（受取側）中間ファイル（仮受付）／共通	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z９．，	備考
ＤＢ・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ＤＢ・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル （仮受付）共通	届後本籍区分		中間ファイル （届書）	――――				戸籍編製マトリックスから設定 （１：入籍、２：新戸籍編製）
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍				
	届後本籍の筆頭者			筆頭者の漢字氏名				
	送達確認区分１			――――				届後本籍が非本籍　かつ 在外送付区分＝０（受理分）の場合、 １（未到着）を設定。 上記以外は、０（不要）を設定。
	届書送付目録区分			――――				本非区分＝１（本籍）の場合、 １（送付要）を設定。 上記以外は、０（送付不要）を設定。 ＊本非区分は、共通部の項目を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	10／23

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／事件本人	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.，	
中間ファイル (仮戸籍) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号			――――――				
	事件本人区分			――――――				名義使用区分≠1(夫)又は2(妻)の場合 資格区分1又は2＝008の時、44(筆頭者)で1件作成 資格区分1又は2＝009の時、45(配偶者)で1件作成 資格区分1又は2＝008又は009以外の時、44(筆頭者で1件作成 名義使用区分＝1(夫)又は2(妻)の場合 資格区分1又は2＝008又は009の時、44(筆頭者)、45(配偶者)で1件ずつ作成
	届出人区分			――――――				資格区分1 又は2＝008または009 :1を設定 それ以外 :0を設定
	カナ氏名			――――――				事件本人区分 44の場合、筆頭者カナ氏名移送 45の場合、配偶者カナ氏名移送
	漢字氏名			――――――				事件本人区分 44の場合、筆頭者漢字氏名移送 45の場合、配偶者漢字氏名移送
	生年月日			――――――				事件本人区分 44の場合、筆頭者生年月日移送 45の場合、配偶者生年月日移送
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	送達確認2							現本籍が (本非区分＝2)かつ (在外送付区分＝0)の場合 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定。

70243

033

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11／23

処理名	4.1.1 戸籍特定（編製）編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／戸籍特定	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル（仮戸籍）戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル（届書）					
	編製日			処理日（または送付日または受領日）				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	改製日			――――				
	回復日			――――				
	消除日			――――				
	本籍コード			新本籍コード				
	本籍			新本籍				
	筆頭者			筆頭者の漢字氏名				
	記録者数			――――				在籍者数＋除籍者数
	在籍者数			――――				筆頭者個人除区分＝0（在籍）の場合 1＋構成員人数 上記以外は、構成員人数
	除籍者数			――――				筆頭者個人除区分＝1（除籍）の場合 1を設定 上記以外は、0を設定
	戸籍除区分							0：現戸籍
	戸籍異動区分							0：解除を設定

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	12／23

処理名	4.1.2 戸籍特定（記録）編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／戸籍特定 ←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
中間ファイル （仮戸籍） 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル （届書）	――――				
	編製日			――――				
	改製日			――――				
	消除日			処理日 （または送付日 または受領日）				全部除籍のとき設定 処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	回復日			――――				
	本籍コード			新本籍コード				管内転籍のとき設定
	本籍			新本籍				同上
	筆頭者			――――				
	記録者数			――――				
	在籍者数			――――				全部除籍のとき、0を設定
	除籍者数			――――				全部除籍のとき、記録者数を設定
	戸籍除区分			――――				全部除籍のとき1：除籍を設定
	戸籍異動区分			――――				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月 31日	19	13／23

処理名	4.2.1 戸籍事項(編製)編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／戸籍事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――				決裁処理で決定
	行番号			――――――				
	出力区分			――――――				0を設定
	タイトルコード			――――――				3301を設定
	記録コード			――――――				3301を設定
	管掌者コード			――――――				
	事件発生日			受領日				
	転籍日			受領日				
	入戸籍 従前本籍			本籍				
	除戸籍 新本籍			――――――				
	届出 資格			届出人資格1 または 届出人資格2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する。 詳細編集内容は、次項参照(2／2)
	届出 資格名称							
	届出 氏名			届出人氏名1 または 届出人氏名2				
	送付 送付を受けた日			送付日				
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日			――――――				
	許可 許可書謄本を受けた日			――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――				
	従前の記録							
	本籍			――――――				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月 31日	19	14／23

処理名	4.2.1 戸籍事項(編製)編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／戸籍事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目		変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	
		名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	記録	記録日		中間ファイル (届書)	処理日				
	特記	特記事項			――――――				名義使用区分が1または2の場合 '夫婦名義で届出'を設定

届出人資格・氏名の編集内容

(1)届出人資格

入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫または妻 ＊1	夫または妻 ＊1	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
008(筆頭者)	夫または妻 ＊1							
009(配偶者)	夫または妻 ＊1							
016(親権者父)	親権者父				親権者父母		親権者父，養母 ＊2	
017(親権者母)	親権者母			親権者父母		親権者母，養父 ＊2		
019(親権者養父)	親権者養父				親権者母，養父 ＊2		養父、養母 ＊2	
020(親権者養母)	親権者養母			親権者父，養母 ＊2		養父、養母 ＊2		
110(未成年後見人)	未成年後見人							

＊1:名義使用区分 ＝ 1 のとき 「夫」
名義使用区分 ＝ 2 のとき 「妻」 を設定する

＊2:届出人資格1，2にそれぞれ資格名称を設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)
EX. 019(親権者養父)と017(親権者母)の場合
【届出人(1)】親権者養父 甲野義太郎
【届出人(2)】親権者母

(2)届出人氏名

届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月 31日	19	15／23

処理名	4.2.2 戸籍事項(記録)編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／戸籍事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項	個人番号		中間ファイル（届書）	――――				
	行番号			――――				
	出力区分			――――				0を設定
	タイトルコード			――――				3301を設定
	記録コード			――――				3301を設定
	管掌者コード			――――				
	事件発生日			受領日				
	転籍日			受領日				
	入戸籍 従前本籍			――――				
	除戸籍 新本籍			――――				
	届出 資格			届出人資格1 または 届出人資格2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する。 詳細編集内容は、次項参照(2／2)
	届出 資格名称							
	届出 氏名			届出人氏名1 または 届出人氏名2				
	送付 送付を受けた日			送付日				
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日			――――				
	許可 許可書謄本を受けた日			――――				
	許可 許可を受けた者			――――				
	従前の記録							
	本籍			本籍				

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月 31日	19	16／23

処理名	4.2.2 戸籍事項(記録)編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／戸籍事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	記録	記録日		中間ファイル (届書)	処理日				
	特記	特記事項			――――――				名義使用区分が1または2の場合 '夫婦名義で届出'を設定

届出人資格・氏名の編集内容

(1)届出人資格

入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫または妻 ＊1	夫または妻 ＊1	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
008(筆頭者)	夫または妻 ＊1							
009(配偶者)	夫または妻 ＊1							
016(親権者父)	親権者父				親権者父母		親権者父，養母 ＊2	
017(親権者母)	親権者母			親権者父母		親権者母，養父 ＊2		
019(親権者養父)	親権者養父				親権者母，養父 ＊2		養父、養母 ＊2	
020(親権者養母)	親権者養母			親権者父，養母 ＊2		養父、養母 ＊2		
110(未成年後見人)	未成年後見人							

＊1:名義使用区分 ＝ 1 のとき 「夫」
名義使用区分 ＝ 2 のとき 「妻」 を設定する

＊2:届出人資格1，2にそれぞれ資格名称を設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)
EX. 019(親権者養父)と017(親権者母)の場合
【届出人(1)】親権者養父 甲野義太郎
【届出人(2)】親権者母

(2)届出人氏名

届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月 31日	19	17／23

処理名	4.2.3 戸籍事項(消除)編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／戸籍事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――				
	行番号			――――――				
	出力区分			――――――				0を設定
	タイトルコード			――――――				3301を設定
	記録コード			――――――				3301を設定
	管掌者コード			――――――				
	事件発生日			受領日				
	転籍日			受領日				
	入戸籍 従前本籍			――――――				
	除戸籍 新本籍			新本籍				
	届出 資格			届出人資格1 または 届出人資格2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する。 詳細編集内容は、前項参照
	届出 資格名称							
	届出 氏名			届出人氏名1 または 届出人氏名2				
	送付 送付を受けた日			送付日				
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日			――――――				
	許可 許可書謄本を受けた日			――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――				
	従前の記録							
	本籍			――――――				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	18／23

処理名	4.2.3 戸籍事項（消除）編集・出力 2/2	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／戸籍事項	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側				引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目			DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称		記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ファイル	記録	記録日		中間ファイル	処理日				
（仮戸籍）	特記	特記事項		（届書）	――――				名義使用区分が1または2の場合
戸籍事項									’夫婦名義で届出’を設定

70251

041

第2章（4）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	19／23

処理名	4.3.1 個人特定（編製）編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／個人特定	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
中間ファイル（仮戸籍）個人特定	個人番号		中間ファイル（届書）	――――				決裁処理で設定
	戸籍番号			――――				決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号			――――				2.0 戸籍編製マトリックス表 *2 で示した順で順次番号を付番する
	入籍日			処理日（または送付日または受領日）				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日			処理日（または送付日または受領日）				個人除区分＝0の時、設定しない 個人除区分≠0の時、上記入籍日と同一日を設定する
	性別			――――				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			――――				筆頭者の場合：1を設定 その他：0を設定
	配偶者区分			配偶者入力区分				筆頭者，配偶者の場合： 配偶者入力区分を移送 その他：0を設定
	父			――――				
	母			――――				
	父母との続柄			――――				
	養父			――――				
	養母			――――				
	養父母との続柄			――――				
	前個人番号			――――				
	個人除区分			――――				0：在籍者を設定 但し、筆頭者かつ個人除区分≠0の場合には入力された区分を設定

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	20／23

処理名	4.3.2 個人特定（記録）編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／個人特定 ←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目				
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻｰﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ファイル（仮戸籍）個人特定	個人番号		中間ファイル（届書）	――――				
	戸籍番号			――――				
	戸籍記録順位番号			――――				
	入籍日			――――				
	除籍日			処理日（または送付日又は受領日）				個人除区分≠0の場合は、既存区分を移送（変更なし） 個人除区分＝0の場合は、 処理日≠ｽﾍﾟｰｽ:処理日 送付日≠ｽﾍﾟｰｽ:送付日 他は受領日
	性別			――――				
	生年月日			――――				
	筆頭者区分			――――				
	配偶者区分			――――				
	父			――――				
	母			――――				
	父母との続柄			――――				
	養父			――――				
	養母			――――				
	養父母との続柄			――――				
	前個人番号			――――				
	個人除区分			――――				既存の区分が0の場合、2（戸籍消除）を設定。 上記以外は、既存区分内容を移送。

第2章（4）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	２１／２３

処理名	4.4.1 氏名（入籍）編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）／氏名	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Ｚ９．．	
中間ファイル（仮戸籍）	個人番号		中間ファイル（届書）	――――				決裁処理で設定
	行番号			――――				
氏名	カナ氏名			カナ氏名（事件者のカナ氏名）				
	漢字氏名			漢字氏名（事件者の漢字氏名）				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	22／23

処理名	5.1 転籍者 編集・出力 1/X	(受取側)中間ファイル(9条2項)／転籍者	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 転籍者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							33(転籍届)
	受理日			受領日 or 送付日				送付日がない場合に受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			漢字氏名(筆頭者, 配偶者, 構成員)				
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者, 配偶者, 構成員)				
	新生年月日			生年月日(筆頭者, 配偶者, 構成員)				
	旧生年月日			生年月日(筆頭者, 配偶者, 構成員)				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード(筆頭者, 配偶者, 構成員)				項目がある場合移送

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	２３／２３

処理名	5.1 転籍者　編集・出力　1/2	（受取側）中間ファイル（9条2項）／転籍者	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z９．，	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項) 転籍者	住所		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	住所（筆頭者， 配偶者，構成員）				項目がある場合移送
	方書			住所（筆頭者， 配偶者，構成員）				項目がある場合移送
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

第23(4)	データ編集表（サンプル提示）	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月 1日	2.1	23-1／23

処理名	6.1転籍者　編集・出力　1/2	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)／転籍者	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	サ=サブルーチン	Z9.,	
中間ファイル (30条の12第1項) 転籍者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					33(転籍届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			漢字氏名(筆頭者, 配偶者, 構成員)				
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者, 配偶者, 構成員)				
	新生年月日			新生年月日(筆頭者, 配偶者, 構成員)				
	旧生年月日			旧生年月日(筆頭者, 配偶者, 構成員)				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍(筆頭者)				
	新筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード(筆頭者, 配偶者, 構成員)				項目がある場合移送

第2 3 (4)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月 1日	2.1	23-2/23

処理名	6.1 転籍者　編集・出力　2/2	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)／転籍者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	サ=サブルーチン	Z9.,	
中間ファイル (30条の12第1項) 転籍者	住所		中間ファイル(届書)	住所(筆頭者 配偶者, 構成員)				項目がある場合移送
	方書			方書(筆頭者, 配偶者, 構成員)				項目がある場合移送
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

70258

046-2

第2章3節（1）	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		並び換え（転籍届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／1

1．並び換え（転籍届）処理範囲外の処理

2．並び換え（転籍届）入力画面の意義

（1）転籍を行う当事者（筆頭者及び配偶者を除く）の新記録順位を入力する。

3．その他

（1）中間ファイル（仮戸籍：個人特定、氏名）を以下の順に分類し新順位で中間ファイル（仮戸籍：個人特定、氏名）を作成してあること

第１順位　筆頭者区分　（１：筆頭者，０：構成員の順）

第２順位　配偶者区分　（１：夫，２：妻，３：生存配偶者，０：未の順）

第３順位　生年月日　　（上昇順：年号は西暦換算で上昇順になること）

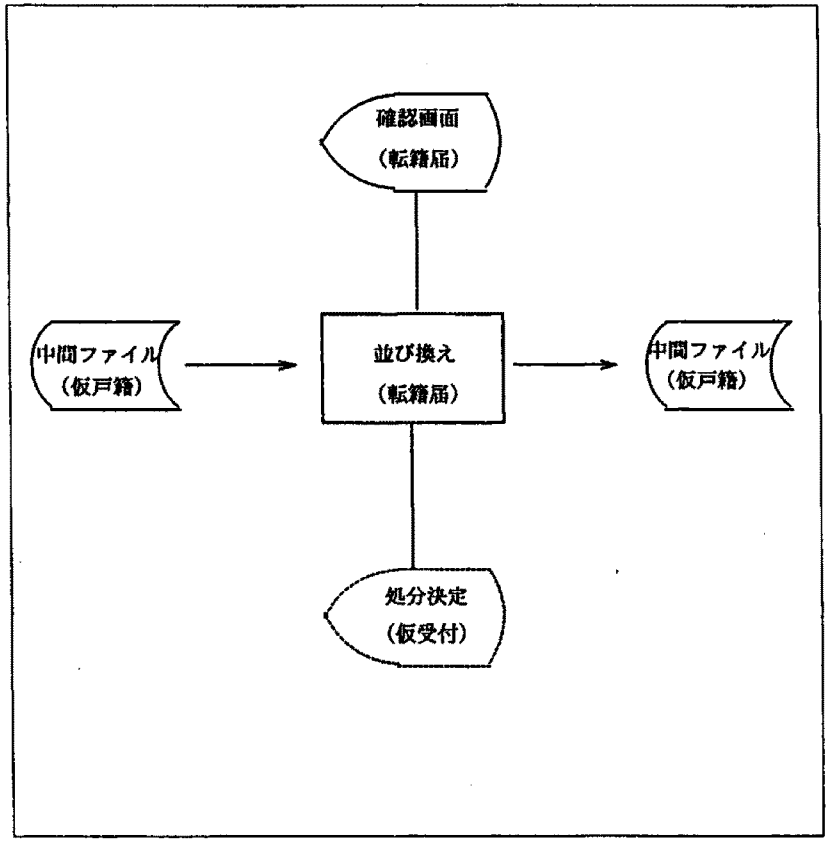
第４順位　入力順　　（画面入力順）

70259

047

第2章（2）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		並び換え（転籍届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／4

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
中間ファイル（仮戸籍	入出力		

3．処理概要

（１）新記録順位のチェック

（２）処分決定処理に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 新記録順位チェック
- 2.0 データ編集表（並び換え（転籍届）画面）

5．備考（特記事項含む）

70260
048

第２３（３）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		並び換え（転籍届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	2／4

処理名		0．0　本紙			備考
（1）中間ファイル（仮戸籍：個人特定）を画面表示する ただし筆頭者、配偶者の新記録順位項目は入力禁止にする			／		
（2）キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF7，PF8，PF11，PF12，その他）			／		
実行キー	（3）新記録順位チェック（OK：YES，NG：NO）〔1．0〕		／		
	ＹＥＳ	（4）中間ファイル（仮戸籍：個人特定）を新記録順位で分類し編集出力	／		
		（5）画面の入力項目を全て入力禁止とする	／		
		（6）新記録順位で「並び換え（転籍届）」画面を編集		（8）同画面を編集する	
	ＮＯ	（7）エラーメッセージを表示する			
ＰＦ1	→			（9）業務選択に制御を渡す	
ＰＦ2	→			（10）届出選択に制御を渡す	
ＰＦ5	「中間ファイル（仮戸籍：個人特定）の順序を記録順位とする。」			（11）入力確認に制御を渡す	
ＰＦ7	（12）前ページがあるか（ある：YES，なし：NO）		／		
	ある	（13）前ページ分の「並び換え（転籍届）」画面を編集		（15）同画面を編集する	
	なし	（14）エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
ＰＦ8	（16）次ページがあるか（ある：YES，なし：NO）		／		
	ある	（17）次ページ分の「並び換え（転籍届）」画面を編集		（20）同画面を編集する	
	なし	（18）エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
ＰＦ10	（19）画面の入力項目の入力禁止を解除する ただし筆頭者、配偶者の新記録順位項目は入力禁止にする				入力項目が入力禁止のときのみ有効
ＰＦ11	「中間ファイル（仮戸籍：個人特定）の順序を記録順位とする。」			（21）処分決定処理に制御を渡す	
ＰＦ12	（22）入力画面を初期化する			（24）同画面を編集する	
その他	（23）エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」				

70261

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		並び換え（転籍届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	3／4

処理名	１．０　新記録順位チェック		備考
（1）構成員分繰り返す		（2）本紙へ	
（3）新記録順位が入力されている（ＹＥＳ，ＮＯ）	／		
ＹＥＳ	（4）新記録順位は００＜新載順位≦在籍数である	／	
ＹＥＳ	（5）新記録順位は同生年月日者の番号である（ＹＥＳ，ＮＯ）	／	戸１４
ＹＥＳ	（6）→（12）		
ＮＯ	（7）エラーメッセージ「同生年月日者どうしの記録順位の変更しか出来ません。」		（9）本紙へ
ＮＯ	（8）エラーメッセージ「新記録順位は設定可能範囲を超えています。」		
ＮＯ	（10）構成員番号を新記録順位に移送	／	
ＮＯ	（11）→（12）	／	
（12）新記録順位は重複している（ＹＥＳ，ＮＯ）		／	新記録順位を新たな構成員番号として移送する前に、既に新構成員番号が他の構成員にて設定されているか判定する。まだ未設定ならば、新たな構成員番号として移送する。
ＹＥＳ	（13）エラーメッセージ「新記録順位が重複しています。」		（14）本紙へ
ＮＯ	（15）新記録順位を構成員番号（新）へ移送する	／	

第2章3節(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（転籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／4

処理名	2.0 並び換え（転籍届）表示	並び換え（転籍届）画面	←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
並び換え（転籍届）画面	画面ＩＤ			画面ＩＤ				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル（届書）	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日		共通	受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	ＮＯ			――――				仮戸籍（個人特定、氏名）の格納順を一連番号として設定
	漢字氏名		仮戸籍（氏名）	漢字氏名				仮戸籍（個人特定、氏名）を順次表示する 1画面／6件
	筆頭者区分		仮戸籍（個人特定）	筆頭者区分		有		
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	生年月日			生年月日		有		

051

70264

第7.2.(5)「異動」処理

33.就籍届

標準仕様書修正履歴

平成１０年２月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).33 （就籍届）	1．審査 （1）単体チェック ・必須チェックの解除 就籍人住所、就籍人世帯主、就籍人住定日 （2）中間ファイル編集（届書）修正 ・指示日、許可日の編集を削除 3．入力確認 （1）本紙 ・誤字修正 (3)～戸籍編成 → (3)～戸籍編製 （2）戸籍編製マトリクス表 ・誤字修正 新本籍編製 → 新戸籍編製 （3）中間ファイル編集（仮受付） ・指示日、許可日の編集条件を削除 ・届後本籍区分の編集条件を削除 ・届後本籍コードの編集条件を削除 ・届後本籍の編集条件を削除 ・届後本籍の筆頭者の編集条件を削除 ・送達確認１の編集条件を削除 ・筆頭者項目及び編集条件を追加 ・送達確認２の編集条件を修正 （4）中間ファイル編集（事件本人：9条2項） ・受理日編集条件修正	004 008 012 015 016 016 017 017 017 017 018 018 020	

70266

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).33 (就籍届)	成年後見法施行によるシステム対応 1. システム処理の概要説明 (1) 業務処理範囲外の処理 ・成年後見人による届出の場合を追加	001	
		2. 審査 (1) 単体チェック ・届出人資格である「030:後見人」を「110:未成年後見人」に変更	005	
		(2) 審査 ・届出人資格である「030:後見人」を「110:未成年後見人」に変更 ・事件本人が15歳以上で「110:未成年後見人」が届出人の場合は確認メッセージを表示	007	

標準仕様書修正履歴

平成13年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).33 (就籍届)	1．審査 (1)審査 ・届出期間の審査を追加	007	

標準仕様書修正履歴

平成16年3月1日

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).33 (就籍届)	標準仕様書修正 1. 入力確認 (1)中間ファイル(仮戸籍)編集・出力 ・届出人の設定条件の変更	019,019-1	

標準仕様書修正履歴

平成16年11月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).33 (就籍届)	「続柄の記載更正(申出)」に伴うシステムへの対応 1. 審査 (1) 単体チェック ・ 父母との続柄のチェックを追加	004	

標準仕様書修正履歴

平成19年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).33 (就籍届)	標準仕様書修正 1. 要件定義ワークシート 3.0 審査　1／1 ・受領日と送付日が同日のチェックを追加	 007	

標準仕様書修正履歴

平成22年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).33 (就籍届)	標準仕様書修正 1. 入力確認 (1)中間ファイル(仮戸籍)編集・出力 ・タイトルコード 「備考欄」を修正 3101 → 3401	019	

標準仕様書修正履歴

平成23年9月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).33 (就籍届)	1. 民法改正に伴う標準仕様書改版 (1)中間ファイル(仮戸籍)編集・出力 ・身分事項の項目名称変更 就籍許可の裁判発効日 → 就籍許可の裁判確定日	019	

標準仕様書修正履歴

平成27年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).33 (就籍届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1. データチェック(関連表)　　就籍13 2.0 関連チェック 事件本人と筆頭者の氏が同一であることについて 関連チェックを追加	006	

標準仕様書修正履歴

平成29年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).33 (就籍届)	標準仕様書見直しによるシステムの対応		
	就籍15	1.「戸籍法43条」届出期間計算の記述の統一 審査 19	007	
	就籍16	2. 年齢の審査 年齢の起算日に関しては、創設的届出、報告的届出による違い等が過去にも議題となった。 研究員の入替もあることから、年齢の起算日に関して補助的記載を追加する 審査 10	007	
	就籍17	3.「受領日」と「届出日」同一日付のチェック 同一日付は認めない方向で統一する 関連チェック 8	006	

標準仕様書修正履歴

平成30年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(5).33 (就籍届) 就籍19	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．データチェック(関連表) 住所、世帯主の関連チェックの表記を統一する修正	 006	

第2 3 (1)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	1/1

1. 就籍業務処理範囲外の処理

・親子関係存在確認の確定判決に基づく親子同時の就籍を行う場合の処理
　個々の届書に分けた上でそれぞれ審査を行う。

・樺太又は千島に本籍を有していた者が内地に就籍を行う場合の処理
　就籍原因については特記事項として記録する為

・死亡した者について就籍許可の審判がなされ、これに基づいて就籍届があっても受理しない(昭31. 3. 6民2発91第二課長回答)

・本籍不明又は無籍のまま婚姻した者が離婚して除籍された後、就籍を行う場合の処理(昭和31. 5. 2民甲838通達)
　別途届出にて審査する

・就籍届により、父または母について新戸籍を作成する場合

・事件本人の成年後見人から届出された場合

2. 就籍届入力画面の意義

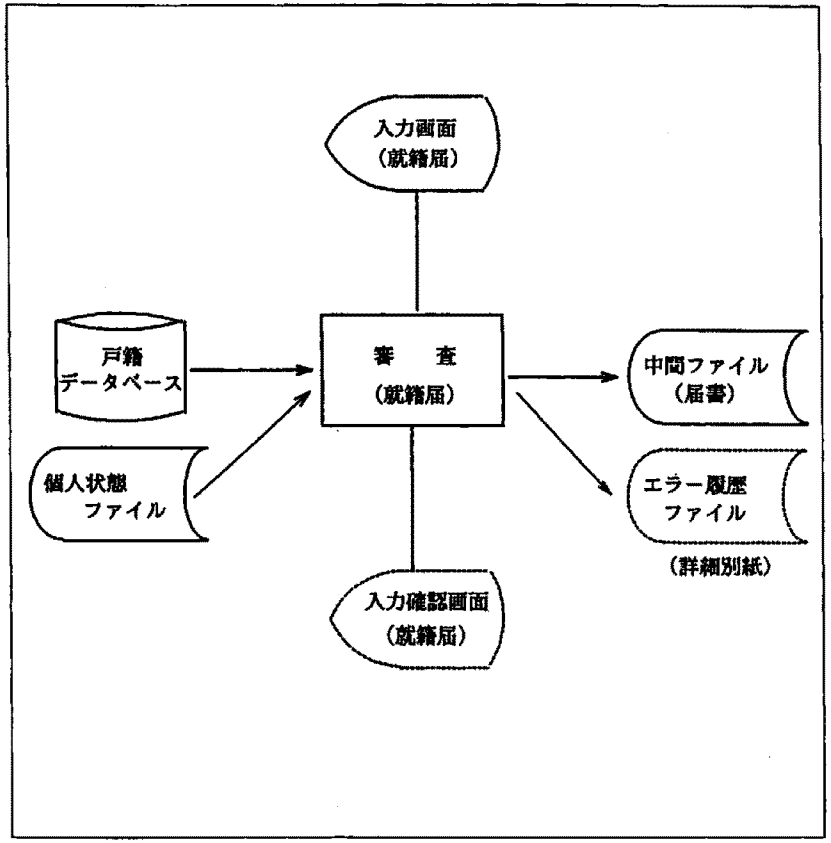
・就籍届を行う事件本人の各項目を入力する。

3. その他

添付書類
・家庭裁判所からの就籍許可審判書の謄本(戸38Ⅱ)又は確定判決(審判)による判決(審判)書の謄本及び判決(審判)確定証明書(戸111)

第2章（2）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（就籍届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／9

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
戸籍ＤＢ	入　力		
個人状態ファイル	入　力		
中間ファイル（届書）	出　力		
エラー履歴ファイル	出　力		

3．処理概要

（1）就籍届の内容を画面入力する。
（2）就籍で入力された項目の単体チェックを行う。
（3）就籍で入力された項目の関連チェックを行う。
（4）審査を行う。
（5）就籍届から中間ファイル（届書）を編集し、出力する。
（6）入力確認（就籍届）に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データチェック（単体表）
- 2.0 データチェック（関連表）
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表（中間ファイル／届書）

5．備考（特記事項含む）

（1）就籍人の年齢計算について
　　受領日を基準日として計算する。

70273
002

第2章 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（就籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／9

処理名	0．0 本紙						備考
（1）届書内容を画面入力する						／	「届出ﾒﾆｭｰ」で受領番号が入力された場合、届書ﾌｧｲﾙから画面編集をおこなう。
（2）キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF10，PF11，PF12，その他 ）						／	
実行キー	（3）入力項目の単体チェック（OK：YES，NG：NO）				〔1．0〕	／	
	YES	（4）入力項目の関連チェック（OK：YES，NG：NO）			〔2．0〕	／	
		YES	（5）画面の入力項目を全て入力禁止とする			／	
			（6）審査（OK：YES，NG：NO）		〔3．0〕	／	
			YES	（7）中間ファイル（届書）編集出力	〔4．0〕		（8）入力確認画面に制御を渡す
			NO	（9）メッセージの種類（審査ｴﾗｰ，確認）		／	（12）同画面を編集する
				審査ｴﾗｰ	（10）エラーメッセージを表示する		
				確認	（11）確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する		
		NO	（13）エラーメッセージを表示する				
	NO	（14）エラーメッセージを表示する					
PF1	→（15）業務選択に制御を渡す						
PF2	→（16）届出選択に制御を渡す						
PF10	（17）画面の入力項目の入力禁止を解除する						（18）同画面を編集する
PF11	（19）当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する						（20）同画面を編集する
PF12	（21）入力画面を初期化する						（22）同画面を編集する
その他	（23）エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」						（24）同画面を編集する

備考
メッセージをエラー履歴に出力する
確認と応答をエラー履歴に出力する
入力項目が入力禁止のときのみ有効
審査エラー発生時のみ有効

003

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	3/9

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表 1/2	入力画面(就籍届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分, 1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由) であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍, 2:非本籍) であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	就籍人カナ氏名	○	カナ				
11	就籍人漢字氏名	○	漢字				
12	就籍人住所		漢字				住基8,9Ⅱ
13	就籍人世帯主		漢字				住基8,9Ⅱ
14	就籍人本籍	○	漢字				
15	就籍人筆頭者	○	漢字				
16	就籍人父の氏名		漢字				
17	就籍人母の氏名		漢字				
18	就籍人生年月日	○	数字				
19	就籍人戸籍変動区分	○	英数	(1:新戸籍編製, 2:父母の現在戸籍に入る, 3:配偶者 の戸籍に入る) であること			
20	就籍人住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	就籍人裁判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
22	就籍人父母続柄	○	英数	(11:長男～29:十九男, 31:長女～49:十九女) であること			
23	就籍人就籍原因		英数	(スペース:家庭裁判所の許可, 1:国籍存在確認の審判確定, 2:親子関係存在確認の審判確定) であること			

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	4/9

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表 2/2	入力画面(就籍届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
24	届出人資格	○	英数	(098:事件本人, 110:未成年後見人, 029:親権代行者, 016:親権者父, 017:親権者母)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		戸110 I
25	届出人氏名		漢字				

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6 年12月 1 日	平成30年 3月31日	21	5／9

処　理　名	画　面　名	画 面 I D	
2.0 関連チェック	就籍届		

No	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
1	(No. 4) 送付日= スペースのとき, (No. 5) 発送元= スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力して		
2	(No. 4) 送付日≠スペースのとき, (No. 5) 発送元≠ スペースであること	ください。		
3	(No. 4) 送付日≠スペースのとき, (No. 4) 発送元≧ (No.3)受領日であること			
4	(No. 4) 送付日= スペースのとき, (No. 6) 在外送付区分=0 :受理分　であること			
5	(No. 5) 発送元≠ スペースのとき, (No. 6) 在外送付区分≠0 :受理分　であること			
6	(No. 5) 発送元≠ スペースかつ (No. 5) 発送元の最終文字が 「市」「区」「町」「村」「長」 の時、 (No. 6) 在外送付区分=1 :国内からの送付　であること			
7	(No. 5) 発送元≠ スペースかつ (No. 5) 発送元の最終文字が 「市」「区」「町」「村」「長」 以外の とき　(No. 6) 在外送付区分=2 : 在外公館の直接送付　または (No. 6) 在外送付区分=3 : 在外公館の国内経由　であること			
8	(No. 7) 処理日≠ スペースのとき, (No. 7) 処理日＞ (No. 3) 受領日であること			
9	(No. 9) 郵送日≠ スペースのとき, (No. 4) 送付日= スペースであること			
10	(No. 9) 郵送日≠ スペースのとき, (No. 9) 郵送日≦ (No. 3) 受領日であること			
11	(No. 3) 受領日≠ (No. 21) 審判日であること			
12	(No. 4) 送付日≠ スペースの時、(No. 4) 送付日≧(No. 21) 審判日であること			
13	(No. 7) 処理日≠ スペースの時、(No. 7) 処理日≧(No. 21) 審判日であること			
14	(No. 9) 郵送日≠ スペースの時、(No. 9) 郵送日≧(No. 21) 審判日であること			
15	(No. 24) 届出人資格= 098の時、(No. 25) 届出人氏名=スペースであること			
16	(No. 24) 届出人資格≠098の時、(No. 25) 届出人氏名≠スペースであること			
17	(No. 11) 就籍人漢字氏名の氏 = (No.15)就籍人筆頭者の氏　であること			
18	(No. 12) 就籍人住所=スペースの時、(No. 13)就籍人世帯主=スペースであること			
19	(No. 13)就籍人世帯主≠スペースの時、(No. 12) 就籍人住所≠スペースであること			

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	6／9

処理名	3.0 審査 1／1			備考
(0-1) 受領日 = 送付日である		／		
YES	(0-2) 確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか？」(YES、NO)	／		
YES	YES (0-3) → (1)	／		
YES	ＮＯ (0-4) →		(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
ＮＯ	(0-6) → (1)			
(1) 戸籍変動区分(1:新戸籍編製, その他)		／		
1	(2) 就籍人氏名と筆頭者は同じである(YES, NO)	／		
1	YES (3) → (10)	／		
1	ＮＯ (4) エラーメッセージ「氏名と筆頭者が一致していません。」		(5)本紙へ	
その他	(6) 就籍人の氏と筆頭者の氏は同じである(YES, NO)	／		
その他	YES (7) → (10)			
その他	ＮＯ (8) エラーメッセージ「氏名と筆頭者の氏が一致していません。」		(9)本紙へ	
(10) 就籍人の生年月日＋15年(15歳以上) ≦ 受領日 である(YES, NO)		／		戸32
YES	(11) 届出人資格(098:事件本人, 110:未成年後見人, その他)	／		
YES	110 (12-1) 確認メッセージ(YES, NO)「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」	／		
YES	110 YES (12-2) → (19)			
YES	110 ＮＯ (12-3) →			不受理
YES	098 (12) → (19)		(13)本紙へ	
YES	その他 (14) エラーメッセージ「届出人資格に誤りがあります。」			
ＮＯ	(15) 届出人資格(098:事件本人, その他)	／		
ＮＯ	098 (16) エラーメッセージ「届出人資格に誤りがあります。」		(17)本紙へ	
ＮＯ	その他 (18) → (19)			
(19) 裁判確定日 ＋ 10日 ＞ 受領日 である		／		戸110, 戸111
YES	(20) →		(21)本紙へ	
ＮＯ	(22) 確認メッセージ(YES, NO)「届出期間を経過していますがよろしいですか。」	／		
ＮＯ	YES (23) →			
ＮＯ	ＮＯ (24) →			不受理

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	7/9

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)／共通	←	(引渡側) 入力画面(就籍届)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.，	
中間ファイル(届書)	受領番号		就籍届	受領No				
共通	選択事件コード		入力画面	————				34:就籍届
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			————				
	許可日			————				
	受理送付区分			————				在外送付区分＝0の時、1 在外送付区分≠0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			————				ZERO(不要)
	届区分			————				2(報告)
	渉外区分			————				0:日本人
	同時決裁受領番号			————				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人かつ新戸籍編製以外の場合 筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3			————				
	ロック戸籍番号4			————				
	ロック戸籍番号5			————				
	事件別内容			————				3／3参照

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（就籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／9

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力 2/3	（受取側）中間ファイル（届書）／共通	←（引渡側）入力画面（就籍届）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ（届書）	不受理申出処分区分		就籍届	――――				
共通	処分区分		入力画面	――――				審査の結果により、1＝受理または2＝不受理をセットする。審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分			――――				何も設定されていない場合に0：未決裁を設定
	届書排他区分			――――				0：未，1：排他

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査（就籍届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	9／9

処理名	4.0 中間ファイル（届書）編集・出力　3/3	（受取側）中間ファイル（届書）／事件別内容	←（引渡側）入力画面（就籍届）

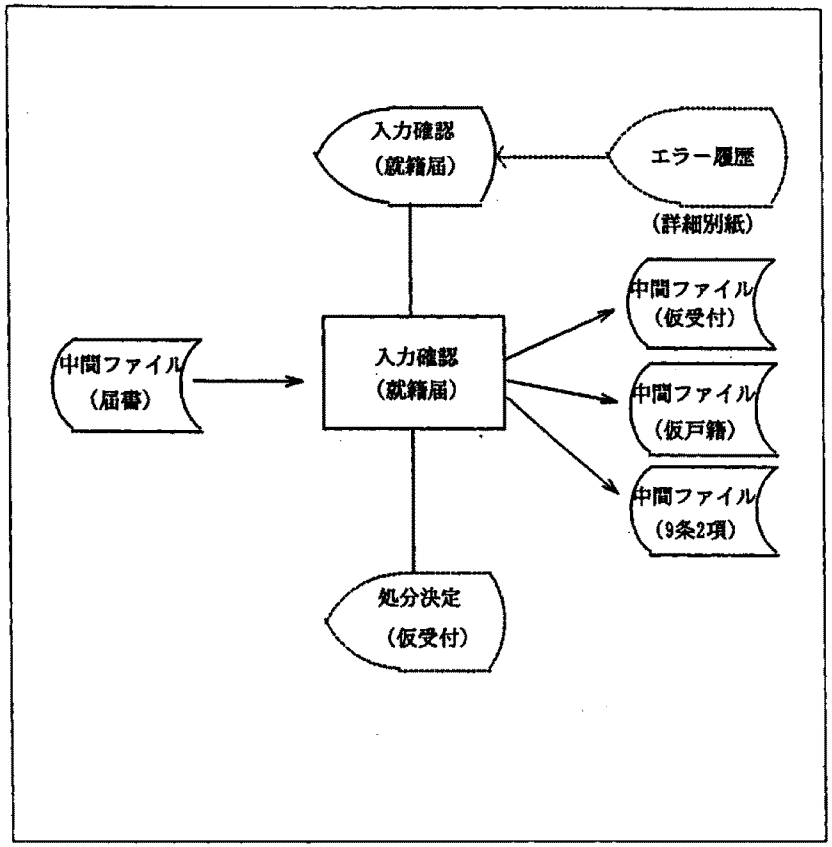
受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
中間ﾌｧｲﾙ（届書）	カナ氏名		就籍届	就籍人カナ氏名				
事件別内容	漢字氏名		入力画面	就籍人漢字氏名				
	住所コード			就籍人住所				
	住所							
	生年月日			就籍人生年月日				
	世帯主			就籍人世帯主				
	本籍コード			就籍人本籍				
	本籍							
	筆頭者カナ氏名							
	筆頭者			就籍人筆頭者				
	父の氏名			就籍人父の氏名				
	母の氏名			就籍人母の氏名				
	父母続柄コード			就籍人父母続柄				
	父母続柄					有		
	審判日			就籍人審判日				
	住定日			住定日				
	戸籍変動区分コード			就籍人戸籍変動区分				
	戸籍変動区分					有		
	就籍原因コード			就籍人就籍原因				
	就籍原因					有		
	届出人資格コード			届出人資格				
	届出人資格					有		
	届出人氏名			届出人氏名				

70281

010

第2章(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（就籍届）	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／10

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
中間ファイル（届書）	入　力		
中間ファイル（仮受付）	出　力		
中間ファイル（仮戸籍）	出　力		
中間ファイル（9条2項）	出　力		

3．処理概要

（1）中間ファイル（届書）の内容を画面表示する。
（2）戸籍変動状況を確定する。
（3）中間ファイル（仮受付）を編集・出力する。
（4）中間ファイル（仮戸籍）を編集・出力する。
（5）中間ファイル（9条2項）を編集・出力する。
（6）処分決定処理に制御を渡す。

4．機能体系（要件定義書の構成）

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表（確認画面）
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表（中間ファイル／仮受付）
  - 4.0 データ編集表（中間ファイル／仮戸籍〔身分事項〕）
    - 4.1 身分事項（入籍）
  - 5.0 データ編集表（中間ファイル／9条2項）

5．備考（特記事項含む）

011

70283

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認（就籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年2月25日	2	2／10

処理名	0．0 本紙			備考
	（1） 中間ファイル（届書）の内容を確認画面に出力し、 [1．0]	/		
	メッセージ「入力項目を確認し、実行キーを押下して下さい。」を表示する			
	（2） キー選択（実行キー、PF1，PF2、PF5、PF11、その他）	/		
実行キー	（3） 中間ファイル（届書）の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の			
	戸籍変動状況を決定する [2．0]			
	（4） 中間ファイル（仮受付）を編集・出力する [3．0]	/		
	（5） 事件本人が本籍人である（YES、NO）	/		
	YES （6） 戸籍の変動状況をもとに中間ファイル（仮戸籍）を編集・出力する [4．0]	/		
	（7） 身分事項の編集 [4．1]	/		
	NO →	/		
	（8） 在外送付区分＝0：受理分 又は 2：在外公館の直接送付である（YES，NO）	/		
	YES （9） 中間ファイル（9条2項）を編集・出力する [5．0]		(10) 処分決定に制御を渡す	
	NO →			
PF1	→		(11) 業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(12) 届出選択に制御を渡す	
PF5	→		(13) 審査（就籍届）に制御を渡す	
PF11	→		(14) エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(15) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(16) 同画面を編集する	

012

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（就籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／10

処理名	1.0 確認画面（就籍届）表示 1／2	（受取側）確認画面（就籍届）	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻｰﾁﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	備考
就籍届確認画面	画面ＩＤ							画面ＩＤ
	システム日付							システム日付
	支所No		中間ファイル（届書）共通	出張所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	就籍人カナ氏名		中間ファイル（届書）事件別内容	カナ氏名				
	就籍人漢字氏名			漢字氏名				
	就籍人住所			住所コード		有		
				住所				
	就籍人生年月日			生年月日		有		
	就籍人世帯主			世帯主				
	就籍人本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	就籍人筆頭者			筆頭者				
	就籍人父の氏名			父の氏名				
	就籍人母の氏名			母の氏名				
	就籍人父母続柄			父母続柄コード		有		
				父母続柄				
	就籍人裁判確定日			裁判確定日		有		
	就籍人住定日			住定日		有		

70285

第2章(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（就籍届）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／10

処理名	1.0 確認画面（就籍届）表示 2／2	（受取側）確認画面（就籍届）	←（引渡側）中間ファイル（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
就籍届確認画面	就籍人戸籍変動区分		中間ファイル（届書）	戸籍変動区分コード		有		
				戸籍変動区分				
	就籍人就籍原因		事件別内容	就籍原因コード		有		
				就籍原因				
	届出人資格			届出人資格コード		有		
				届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

014

第２３(7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認（就籍届）	システム化調査研究会	平成６年12月１日	平成10年 2月27日	2	5／10
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分		新本籍		戸籍の変動	
	戸籍に入る配偶者の現在父母もしくは	新戸籍編製	管内	管外	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1
1	○		○			○4.1
2	○			○		
3		○	○		○4.1	
4		○		○		

＊１：就籍人の筆頭者区分の設定条件

・戸籍変動区分＝１（新戸籍編製）のとき、１(筆頭者）を設定
・戸籍変動区分≠１（新戸籍編製）のとき、０(筆頭者）を設定

＊２：就籍人の配偶者区分の設定条件

・戸籍変動区分＝１（新戸籍編製）のとき、　０(未）を設定
・戸籍変動区分＝２（父母の現在の戸籍に入る）のとき、０(未）を設定
・戸籍変動区分＝３（配偶者の戸籍に入る）のとき、
　就籍人父母続柄＝男～十九男（男属性）の場合、１(夫)を設定
　就籍人父母続柄＝女～十九女（女属性）の場合、２(妻)を設定

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	6／10

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力 1／3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／共通	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 サ=サブルーチン	Z9.，	
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領No				
	出張所番号			支所No				
	受付事件コード			――――				３４０１（就籍）を設定
	受付日			受領日 OR 送付日				送付日≠スペースのとき、送付日 送付日＝スペースのとき、受領日
	事件発生日			裁判確定日				
	事件発生時分			――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			――――				「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日			――――				
	収日			――――				
	指示日			――――				
	許可日			――――				
	関連受領番号			――――				
	届出人資格区分1			届出人資格				届出人資格＝098のとき移送しない
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名				
	届出人資格区分2			――――				
	届出人資格名称2			――――				
	届出人氏名2			――――				
	届後本籍区分			――――				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	7／10

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 2/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)／共通	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 サ=サブルーチン	Z9.,	
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍コード		中間ファイル (届書)	———				
	届後本籍			———				
	届後本籍の筆頭者			———				
	送達確認1			———				
	届書送付目録区分			———				本非区分＝1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 ＊本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

L10

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	8／10

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)／事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 サ=サブルーチン	Z9.，	
中間ファイル (仮受付)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号			――――				
事件本人	事件本人区分			――――				46:就籍者を設定
	届出人区分			――――				届出人資格＝098:1を設定 それ以外 :0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2			――――				本籍が非本籍 かつ 在外送付区分＝0:受理分 の場合 1:未到着 を設定。 上記以外は0:不要 を設定

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6 年12月 1 日	平成23年9月30日	14.1	9／10

処理名	4.1 中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(編成) ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――				決裁処理で設定
	行番号			――――――				
	出力区分			――――――				0:可
	タイトルコード			――――――				3401:「就籍」を設定
	記録コード			――――――				3401:「就籍者の記録」を設定
	管掌者コード			――――――				
	事件発生日			裁判確定日				
	就籍 就籍許可の裁判発効日			――――――				
	就籍 就籍許可の裁判確定日			裁判確定日				就籍原因の内容で審判日を何れかの項目に設定する 就籍原因＝ｽﾍﾟｰｽ:就籍許可の裁判確定日 ＝1 :国籍存在確認の裁判確定日 ＝2 :親子関係存在確認の裁判確定日
	就籍 国籍存在確認の裁判確定日							
	就籍 親子関係存在確認の裁判確定日							
	届出 届出日			受領日				就籍原因＝ｽﾍﾟｰｽの場合、届出日に受領日を移送。 上記以外は、就籍届出日に移送。
	届出 就籍届出日							
	届出 届出人 資格			届出人資格				届出人資格＝098のときは移送しない。 上記以外は、＊1を参照。
	届出 届出人 資格名称							
	届出 届出人 氏名			届出人氏名				届出人資格＝029, 110のとき、届出人氏名を移送する。
	送付 送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
	送付 受理者			送付元				項目がある場合移送
	許可 許可日			――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――				
	記録 記録日			処理日				
	特記 特記事項			――――――				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成16年3月1日	平成 年 月 日	8	9-1/10

処理名	4.1 中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)／身分事項(編成) ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名		Z9.，	

＊1:届出人資格の編集内容

届出人資格(届書)	資格名称(身分事項)
016(親権者父)	親権者父
017(親権者母)	親権者母
029(親権代行者)	親権を行う者
110(未成年後見人)	未成年後見人

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	10／10

処理名	5.0中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)編集・出力 1／1	(受取側)中間ファイル(9条2項)／事件本人	←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	
中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)	受領番号		中間ﾌｧｲﾙ(届書)	受領番号				
事件本人	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――				34(就籍届)
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			――――				
	新氏名			漢字氏名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			父母続柄				
	旧父母との続柄			父母続柄				
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			――――				
	旧本籍			――――				
	新筆頭者			筆頭者				
	旧筆頭者			――――				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			――――				
	住民日			――――				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			――――				

70293

第7.2.(6)

「処分決定」処理

標準仕様書修正履歴

平成１１年３月

項番	業務（届書）名	修正内容	ページ	添付資料No.
1	第 7. 2. (6) （処分決定）	公職選挙法改正によるシステムの対応（サンプル提示） １．入力確認 （１）システム環境仕様書 ・詳細フロー及び使用ＤＢ・ファイル一覧に入力ファイルとして附票データベース、出力ファイルとして中間ファイル（３０条の１２第１項）と仮３０条の１２第１項ファイルを追加 ・機能体系に仮３０条の１２第１項ファイルの編集に関する記述を追加 （２）本紙の処理内容 ・仮３０条の１２第１項ファイルの編集・出力処理の追加 （３）処理テーブル表 ・仮３０条の１２第１項ファイルの処理内容を追加 （４）データ編集表 ・仮３０条の１２第１項ファイルの編集表を追加	 002 002 005 018, 019 030-1	

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (6) (処分決定)	**受付事件コードの追加による修正** 1. データ編集表の修正 ・受付事件コード「4404:その他(死亡)」が追加された ことにより、受付画面のデータ編集項目である 「届後戸籍の筆頭者」の備考欄を修正。	13 34	

標準仕様書修正履歴

平成15年5月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
本人届出確認台帳管理に関する修正				
1	第7.2.(6) (処分決定)	(1)システム処理の概要説明 2.処分決定・確認画面でのPFキー ・処分決定確認画面にPFキーを追加(PF5)	001	
		(2)処分決定(仮受付) [システム環境仕様書] ・「仮本人届出確認台帳ファイル」追加に伴う修正	002	
		[5.0処理テーブル表] ・処理テーブル表に「本人届出確認台帳」欄を追加 ・処理内容に【本人届出確認台帳ファイル処理】を追加	018 019	
		[16.0仮本人届出確認台帳ファイル作成処理] ・仮本人届出確認台帳ファイルのデータ編集表を追加	030−2～ 030−5	
		(3)処分決定(受付・確認) [システム環境仕様書] ・3.処理概要に、本人届出確認台帳作成処理へ制御を渡す PF5キーの説明文を追加	031	
		[0.0本紙] ・PF5キー追加に伴う修正	032	
		(4)処分決定(本人届出確認台帳作成) 新規作成	001～018	
		以上		
※この修正と同時に実施した修正。				
		「受理伺い」→「受理照会」 「処理伺い」→「処理照会」 「監督法務局」→「管轄法務局」		
		以上		

標準仕様書修正履歴

平成18年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(6) (処分決定)	(処分・決裁4) 1．データ編集表の修正 仮受付DBの受付事件本人ファイルに「戸籍の筆頭者」が存在しない。 基準書通達には存在する。 →「戸籍の筆頭者」を追加した。	013 024 034	

70298

標準仕様書修正履歴

平成28年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(6) (処分決定)	(処分・決裁13) 1．要件定義ワークシートの修正 送付された届書で「受理照会」要件の審査があった場合は、受理した自治体で法務局への照会が完了しているケースが殆どと考える。 そこで、「処理照会」の処分区分を「受理」に変更できるように変更する。 2．その他の修正 7．1版で修正漏れの対応 「受理伺い」→「受理照会」 「処理伺い」→「処理照会」 3 全頁PDF未反映修正 13頁、24頁、34頁は10.0版で修正されたが18版(全頁PDF)はそれ以前の設計書であるため、18版(全頁PDF)修正用に10.0版の設計書を再提示する。 同様、10.0版の修正履歴も18版(全頁PDF)に無いため、再掲示する。	015 004 014 015 016 017 027 013 024 034	

標準仕様書修正履歴

平成30年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7. 2. (6) (処分決定)	(処分・決裁17) 1. 要件定義ワークシートの修正 19版の改定で修正した箇所について、「処理伺い」が「受理照会」になっている箇所がある。 2. その他の修正 修正により、縦書き文字が右からの改行になっているので、左からの改行に変更する	015 015 016 017	

70299

(1) 処分決定処理

・処分決定処理では、各届で審査・確認された内容をもとにシステムで処分内容を出力する。
表示された処分内容に誤りがある場合、職員が処分内容を修正する。

・死亡届の受理分については埋火葬許可証区分を表示し、埋火葬許可証の要、不要を決定する。

(2) 処分決定確認処理

・処分決定により取得された受領番号を表示・確認する。

2. 処分決定・確認画面でのPFキー

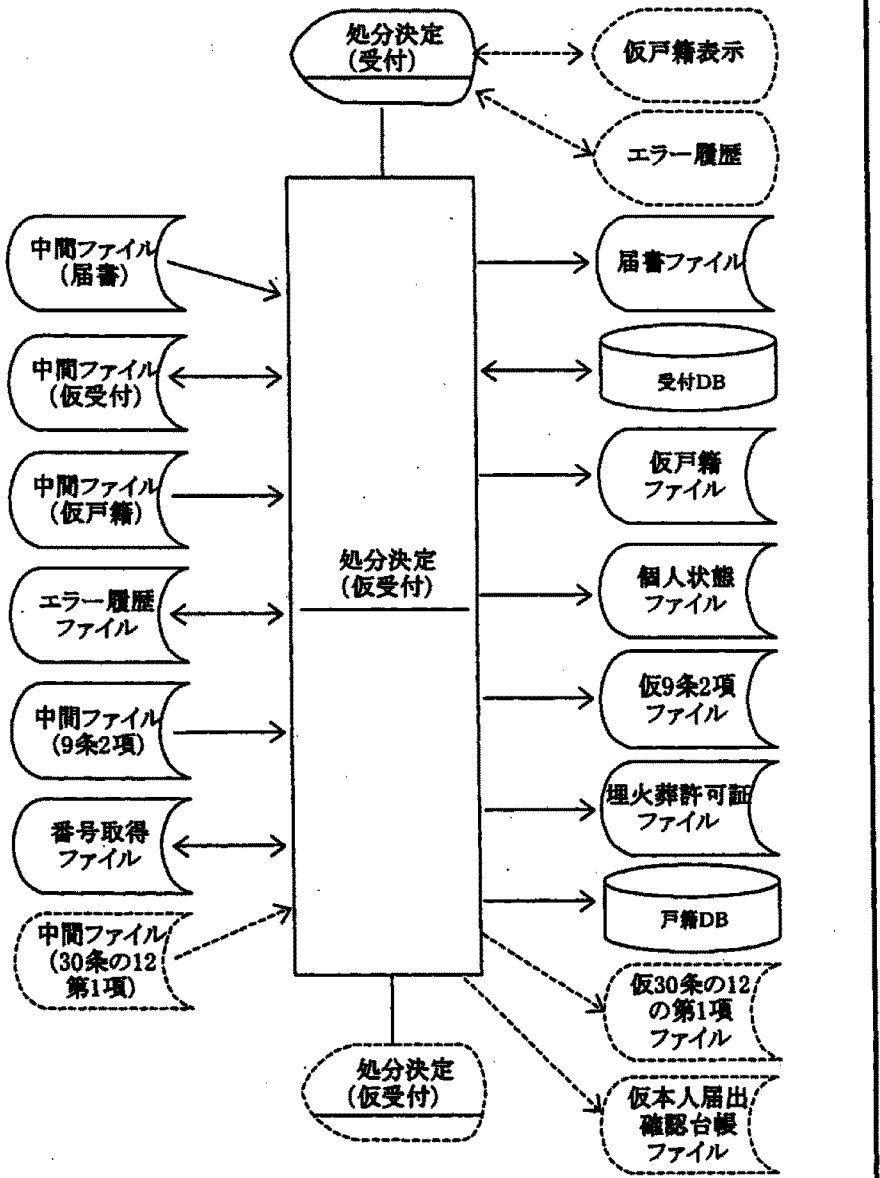
画面 / PFキー	処分決定画面	処分決定確認画面
PF1	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー
PF2	届出選択メニュー	届出選択メニュー
PF3	処分決定処理開始	移記事項入力処理
PF4		
PF5	届書入力処理	本人届出確認台帳処理
PF6		
PF7	前頁表示	前頁表示
PF8	次頁表示	次頁表示
PF9		
PF10	仮戸籍表示	
PF11	エラー履歴表示	
PF12	画面の初期化	
実行キー	処分区分の確定	

3. 処分決定処理で入力可能な処分区分の意味

処分区分	意味
受理	届出が適法であるとする行政処分。
不受理	届出が不適法(法律上の要件を欠いている、届書の重要部分に記載違漏・錯誤がある 他)であり、受理を拒否する行政処分。
受理照会	届出を審査するにあたって法律の解釈運用上に疑義が生じた場合、その届出を受理すべきかどうかについて管轄法務局に指示を求めること。
処理照会	受理または送付された届出の処理について疑義が生じた場合、その処理の方法について管轄法務局に指示を求めること。
返戻	送付された届出で戸籍の記載ができないものを送付された市区町村へ返送すること。
取下げ	提出した届書をお客が取り下げること。
保留	受理するか、不受理にするかの決定を延ばすこと。
受理処分の撤回	受理処分した後届書の審査内容に誤りがあり、正しい審査において無効要件のエラーがあった場合、従前の受理処分を取り消すこと。 取消要件のエラーでは受理処分を撤回することはできない。 (受理後、送付地でその届出に当たる不受理申出が出されていて、送付地から受理が不当と返戻された場合がこの一例である。)

001

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	仮戸籍ファイル	出力
中間ファイル(仮受付)	入出力	戸籍DB	出力
中間ファイル(仮戸籍)	入力	個人状態ファイル	出力
中間ファイル(9条2項)	入力	仮9条2項ファイル	出力
番号取得ファイル	入出力	エラー履歴ファイル	入出力
届書ファイル	出力	埋火葬許可証ファイル	出力
受付DB	入出力	中間ファイル(30条の12第1項)	入力
仮本人届出確認台帳ファイル	出力	仮30条の12第1項ファイル	出力

3. 処理概要

(1)処理区分および埋火葬許可証発行区分(死亡届のみ)を決定する(実行キー)
(2)必要に応じ仮戸籍画面を表示する(PF10)
(3)必要に応じエラー履歴画面を表示する(PF11)
(4)処理区分の内容に従って各々ファイルを処理する(PF3)
(5)処分決定(受付・確認)画面に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 初期審査表
  - 1.1 データ編集表(中間ファイル(仮受付))
  - 1.2 データ編集表(中間ファイル(届書))
- 2.0 データ編集表(処分決定(受付)画面)
- 3.0 単体チェック表
- 4.0 審査表
- 5.0 処理テーブル表(処分区分での処理内容表)
- 6.0 データ編集表(番号取得ファイル)
- 7.0 データ編集表(届書ファイル)
- 8.0 データ編集表(受付DB:受付DB作成更新処理)
- 9.0 データ編集表(仮戸籍ファイル)
- 10.0 データ編集表(戸籍DB)
- 11.0 データ編集表(個人状態ファイル)
- 12.0 データ編集表(仮9条2項ファイル)
- 13.0 データ編集表(エラー履歴ファイル)
- 14.0 データ編集表(埋火葬許可証ファイル)
- 15.0 データ編集表(仮30条の12第1項ファイル)・・・・・(サンプル提示)
- 16.0 データ編集表(仮本人届出確認台帳ファイル)・・・(サンプル提示)

70300
002

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／30

処理名	0．0 本紙 （1／3）		備考
(1) 初期審査（別紙1へ）（OK：YES，NG：NO） [1.0]		／	既に受付ＤＢが作成されている場合のﾁｪｯｸ
YES	(2) → (16)へ	／	
NO	(3) キー選択（PF1，PF2，PF5，その他）	／	初期審査でエラーがあるときは以降の処理へは行けない
PF1	(4) 受領番号をキーとして届書ファイルを検索する（ある：YES，ない：NO）	／	
YES	(5) 届書ﾌｧｲﾙの届書排他区分に0を設定し届書ﾌｧｲﾙを更新する [7.0]	／	届書レコードの排他の解除を行う
NO	⟶	／	
	(6) すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する		(7) 業務選択に制御を渡す
PF2	(8) 受領番号をキーとして届書ファイルを検索する（ある：YES，ない：NO）	／	
YES	(9) 届書ﾌｧｲﾙの届書排他区分に0を設定し届書ﾌｧｲﾙを更新する [7.0]	／	届書レコードの排他の解除を行う
NO	⟶	／	
	(10)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する		(11)届出選択に制御を渡す
PF5	(12)中間ファイル（届書）の同時決裁受領番号（1～5）にスペースを設定する	／	
	(13)中間ファイル（届書）以外の中間ファイルをすべて削除する		(14)届書入力処理に制御を渡す
その他	(15)キー選択を無効とする（画面内容は変わらず） → (3) へ	／	
	(16)中間ファイル（仮受付）の1レコード目の内容で処分決定（受付）画面を編集する [2.0] 受付事件コード＝「死亡」 かつ 在外送付区分＝1：受理分 かつ 受領番号＝スペースのとき 埋火葬許可証メッセージ『埋・火葬許可証をプリントしますか？（0:不要，1:火葬，2:埋葬）』を表示する 処分決定（受付）画面の処分区分には中間ファイル（届書）の処分区分，在外送付区分，不受理申出処分区分の内容から該当する処分内容（[4.0]審査での『表示する処分区分』を参照）を表示し，変更処分区分にはその該当コードを設定する．変更処分名称は空白のまま（初期設定のみ）	／	
	(17)キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF3，PF5，PF7，PF8，PF10，PF11，PF12，その他）	／	
実行キー	(18)入力項目の単体チェック（OK：YES，NG：NO） [3.0]	／	
YES	(19) → (22)へ	／	
NO	(20)エラーメッセージを表示する		(21)同画面を編集する→(16)へ
	(22)処分区分が変更された（YES，NO）	／	
YES	(23)処分区分変更の審査（別紙2）（OK：YES，NG：NO） [4.0]	／	
YES	(24)変更後の処分区分と処分名称を処分決定（受付）画面の変更処分区分と変更処分名称に設定する → (28)へ	／	
NO	(25)エラーメッセージを表示する		(26)同画面を編集する→(16)へ
NO	(27)処分決定（受付）画面の変更処分区分をコード変換し，変更処分名称に設定する → (28)へ	／	

70301

003

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成28年　3月 31日	19	4/30

処　理　名	0.0　本紙(2／3)			備　考
	(28)発日が入力された(YES, NO)	／		
YES	(29)変更処分区分＝3又は4である(YES, NO)	／		受理照会、処理照会のときだけ発日入力可能
	YES　→		(30)同画面を編集する →(16)へ	
	NO　(31)エラーメッセージ「発日は入力できません」を表示する。			
NO	(32)　→　(33)へ	／		発日入力がないときはシステム日付をシステムで設定
	(33)中間ファイル(届書)の選択事件は「受理指示」又は「不受理指示」である(YES, NO)	／		
YES	(34)指示日がある(入力された)(YES, NO)	／		法務局からの回答による処理で提示日は必要入力項目
	YES　→		(35)同画面を編集する →(16)へ	収日は入力されたデータを、入力がない場合はシステム日付をシステムで設定
	NO　(36)エラーメッセージ「指示日を入力して下さい」を表示する			
NO	(37)指示日が入力された(YES, NO)	／		
	YES　(38)エラーメッセージ「指示日は入力できません」を表示する		(39)同画面を編集する　→(16)へ	
	NO　(40)　→　(41)へ	／		
	(41)収日が入力された(YES, NO)	／		
	YES　(42)エラーメッセージ「収日は入力できません」を表示する		(43)同画面を編集する →(16)へ	
	NO　→			
PF1	(44)中間ファイル(届書)の受領番号があれば届書ファイルを検索する(ある:YES, ない:NO)	／		
	YES　(45)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する　(7.0)	／		届書レコードの排他の解除を行う
	NO　→			
	(46)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する		(47)業務選択に制御を渡す	
PF2	(48)中間ファイル(届書)の受領番号があれば届書ファイルを検索する(ある:YES, ない:NO)	／		
	YES　(49)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する　(7.0)	／		届書レコードの排他の解除を行う
	NO　→	／		
	(50)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する		(51)抽出選択に制御を渡す	
PF3	(52)処分決定(受付)画面の変更処分名称がコード変換(表示)されている(YES, NO)	／		実行キーを押してからでないとPF3キー(処分決定)処理は行えない
	YES　(53)入力項目がチェック済みである(YES, NO)	／		画面項目を入力したら実行キーを押さなければならない
	YES　(54)処分区分，入力処理方式，受付件数の各条件により以下の処理を行う(処理テーブル表を参照)(5.0)	／		
	(55)受領番号確保処理　(6.0)	／		
	(56)届書ファイル処理　(7.0)	／		

70302

004

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月 1日	2.1	5/30

処理名	0.0 本紙 (3/3)			備考
	処理内容	(57)受付DB処理 〔8.0〕	／	
		(58)仮戸籍ファイル処理 〔9.0〕	／	
		(59)戸籍DB処理 〔10.0〕	／	
		(60)個人状態ファイル処理 〔11.0〕	／	
		(61)9条2項ファイル処理 〔12.0〕	／	
		(62)エラー履歴ファイル処理 〔13.0〕	／	
		(63)埋火葬許可証処理処理 〔14.0〕	／	
		(63-1)仮30条の12第1項ファイル処理 〔15.0〕	／	
		(64)中間ファイルをすべて削除する		(65)処分決定(受付・確認)処理に制御を渡す
	NO	(66)エラーメッセージ		(67)同画面を編集する
	NO	『実行キーを押さないと処分決定(PF3)処理はできません』表示する		→(16)へ
PF5	(68)中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)にスペースを設定する		／	
	(69)中間ファイル(届書)以外の中間ファイルをすべて削除する			(70)届書入力処理に制御を渡す
PF7	(71)受付件数＞1である(YES,NO)			PF7, PF8は1つの届で複数の受付帳が作成されるときのみ使用可 (事件本人が3名以上いる場面の画面スクロールとは異なる
	YES	(72)現在画面表示している中間ファイル(仮受付)のレコードより前のレコードがある(YES,NO)	／	
	YES	(73)前の中間ファイル(仮受付)の内容を編集・表示する		(74)同画面を編集する →(16)へ
	NO	(75)エラーメッセージ「先頭ページを表示中です」を表示する		
	NO	(76)エラーメッセージ「作成された受付帳は1件だけです」を表示する		
PF8	(77)受付件数＞1である(YES,NO)		／	
	YES	(78)現在画面表示している中間ファイル(仮受付)のレコードより後のレコードがある(YES,NO)	／	
	YES	(79)次の中間ファイル(仮受付)の内容を編集・表示する		(80)同画面を編集する →(16)へ
	NO	(81)エラーメッセージ「最終ページを表示中です」を表示する		
	NO	(82)エラーメッセージ「作成された受付帳は1件だけです」を表示する		
PF10	→			(83)仮戸籍表示に制御を渡す
PF11	→			(84)エラー履歴表示に制御を渡す
PF12	(85)入力画面を初期化する			(86)同画面を編集する→(16)へ
その他	(87)エラーメッセージ『無効なキーが押されました。』を表示する			(88)同画面を編集する→(16)へ

005

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／30

処理名	1．0 初期審査：別紙1 （1／3）		備考
	(1) 中間ファイル（仮受付）を読み，受付件数（レコード数）をカウントする	／	
	(2) 中間ファイル（届書）の受領番号が空白である（YES，NO）	／	
YES	⟶		(3) 本紙へ
NO	(4) → (5) へ	／	
	(5) 中間ファイル（届書）の受領番号をキーとして受付DBを検索する	／	受付DBで履歴がある場合は最新の受付DBが検索対象となる
	(6) 受付DBの処分区分＝スペースである（YES，NO）	／	
YES	(7) 受付件数＝1である（YES，NO）	／	受領番号確保処理での審査：(7) ～(18)まで
	YES (8) 中間ファイル（仮受付）の受領番号に，中間ファイル（届書）の受領番号を設定する [1.1]		(9) 本紙へ
	NO (10) (受付件数－1）の回数(10)～(15)の処理を繰り返す	／	受付件数分連続した受付ファイルが取得できるかのチェック
	(11)次の受付DBを検索する	／	
	(12)受付DBがある（YES，NO）	／	
	YES (13)受付DBの処分区分＝スペースである（YES，NO）	／	
	YES (14) → (10)へ	／	
	NO (15)エラーメッセージ『連続して受付帳を確保することができません』を表示する		(16)本紙へ 受領番号取得処理で確保した数を越えて受付帳が作成される場合はエラーとし，審査結果入力で処理する
	NO ⟶		
	(17)中間ファイル（仮受付）の最初のレコードの受領番号に中間ファイル（届書）の受領番号を設定する，以下順次1を加えた数を次レコードの受領番号に設定し，最後のレコードまで処理する 各々のレコードの関連受領番号（1～5）には今回の処理で作成された他のレコードの受領番号を設定する [1.1]	／	中間ファイル（仮受付）の受領番号と関連受領番号（1～5）へのデータ設定
	(18)中間ファイル（仮受付）の最初のレコードの関連受領番号（1～5）を中間ファイル（届書）の同時決裁受領番号（1～5）に設定する [1.2]		(19)本紙へ 中間ファイル（届書）の同時決裁受領番号（1～5）へのデータ設定
NO	(20)受付DBの決裁区分は『未決裁』又は『修正』又は処分区分が『誤処理』である(YES,NO)	／	受領番号確保処理以外での再入力処理の審査 決裁区分が『決裁』以外 または 処分区分が『誤処理』 のものが対象となる
	YES (21)受付DBの関連受領番号のデータ数をカウントする	／	
	(22)受付件数 ＝ 関連受領番号の数 ＋ 1 である（YES，NO）	／	
	YES (23)受付DBの関連受領番号（1～5）を中間ファイル（届書）の同時決裁受領番号（1～5）に設定する [1.2]	／	中間ファイル（届書）の同時決裁受領番号（1～5）へのデータ設定
	(24)中間ファイル（仮受付）の最初のレコードの受領番号と関連受領番号（1～5）に，受付DBの受領番号と関連受領番号（1～5）を設定する [1.1]	／	作成済みの受付DBの受領番号と関連受領番号（1～5）のデータを，中間ファイル（仮受付）の最初のレコードに移記する

第2(3)3	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成 年 月 日	1	7／30

処理名	1．0 初期審査：別紙1 （2／3）		備考
	(25)受付ＤＢの決裁区分は『修正』である（ＹＥＳ，ＮＯ）	／	
	ＹＥＳ (26)受付ＤＢの決裁区分を中間ファイル（届書）の決裁区分に設定する [1.2]	／	
	(27)中間ファイル（仮受付）の最初のレコードの決裁区分に，受付ＤＢの決裁区分を設定する [1.1]	／	
	ＮＯ (28) → (29)へ	／	
	(29)中間ファイル（届書）の選択事件は『受理指示』又は『不受理指示』である（ＹＥＳ，ＮＯ）	／	
	ＹＥＳ (30)中間ファイル（仮受付）の最初のレコードの発日に，受付ＤＢの発日を設定する [1.1]	／	法務局からの回答入力のとき，受付ＤＢの発日を中間ファイル（仮受付）の最初のレコードに移記する
	ＮＯ (31) → (32)へ	／	
	(32)関連受領番号の数だけ(33)～(43)の処理を繰り返す	／	
	(33)関連受領番号をキーとして受付ＤＢを検索する	／	
	(34)受付ＤＢの決裁区分は『未決裁』又は『修正』又は処分区分は『誤処理』である（ＹＥＳ，ＮＯ）	／	
	ＹＥＳ (35)中間ファイル（仮受付）の次のレコードの受領番号と関連受領番号（1～5）に，検索した受付ＤＢの受領番号と関連受領番号（1～5）を設定する [1.1]	／	次の受付ＤＢの受領番号と関連受領番号（1～5）のデータを，中間ファイル（仮受付）の次のレコードに移記する
	(36)受付ＤＢの決裁区分は『修正』である（ＹＥＳ，ＮＯ）	／	
	ＹＥＳ (37)中間ファイル（仮受付）の次のレコードの決裁区分に，検索した受付ＤＢの決裁区分を設定する → (32)へ [1.1]	／	
	ＮＯ (38) → (39)へ	／	
	(39)中間ファイル（届書）の選択事件は『受理指示』又は『不受理指示』である（ＹＥＳ，ＮＯ）	／	
	ＹＥＳ (40)中間ファイル（仮受付）の次のレコードの発日に，検索した受付ＤＢの発日を設定する → (32)へ [1.1]	／	法務局からの回答入力のとき，受付ＤＢの発日を中間ファイル（仮受付）の次のレコードに移記する
	ＮＯ (41) → (32)へ	／	
	ＮＯ (42)エラーメッセージ『前回の処理で作成された受付帳が決裁済みになっています』を表示する	(43)本紙へ	関連受領番号に該当する受付ＤＢが既に決裁済みになっている場合はエラーとし，審査結果入力で処理する
	→		

第2-3(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／30

処理名			1．0 初期審査：別紙1 （3／3）		備考
		NO	(44)エラーメッセージ 『前回の届書審査で作成された受付帳の数と今回の受付帳の数が異なります』を表示する		今回作成される受付帳の数が前回と異なる場合はエラーとし，審査結果入力で処理する
	NO		(45)エラーメッセージ 『前回の処理で作成された受付帳が決裁済みになっています』を表示する		

初期審査での審査事項

・既に受付レコードが作成されている届に対して，再入力処理を行ったとき

（決裁区分は『決裁』以外である）

(1)届出選択で入力された受領番号に該当する受付レコードが，受領番号確保処理で取得されたものの場合，入力審査で作成された中間ファイル（仮受付）のレコード件数分，受領番号確保処理で作成された受付レコードが存在すること。

この場合，作成された中間（仮受付）の各々のレコードに，記録される情報は次のものである。

①受領番号

②関連受領番号（複数レコード作成される場合） この場合は併せて，中間ファイル（届書）の同時決裁受領番号に，関連受領番号を設定する。

(2)届出選択で入力された受領番号に該当する受付レコードが，処分決定処理で作成されたものの場合，以前の処分決定時に作成した受付レコードの件数と，今回作成した中間ファイル（仮受付）のレコード件数が同じであること。

この場合，既に作成済みの受付レコードから，新たに作成されるレコードへ受け渡す情報は次のものである。

①関連受領番号（1～5）

②発日（ただし，届出選択事件が『受理指示』または『不受理指示』のときのみ）

③決裁区分（ただし，従前の受付レコードの決裁区分が『修正』のときのみ）

第2.3.(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／30

処理名	1．1 中間ファイル（仮受付）更新（1/2）	（受取側）中間ファイル（仮受付）	← （引渡側）受付DB（または中間ファイル（届書））

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル（仮受付）	受領番号		受付DB（受付）	受領番号				
	出張所番号							
	受付事件コード							
	受付日							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							
	本非区分							
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日							
	発日		受付DB（受付）	発日				『受理指示』『不受理指示』のとき
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)		受付DB（受付）	関連受領番号(1～5)				
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							

第2.3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10／30

処理名	1．1 中間ファイル（仮受付）更新（2/2）	（受取側）中間ファイル（仮受付） ← （引渡側）受付ＤＢ（または中間ファイル（届書））

受取側			引渡側			コード	出力形態	
ＤＢ・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ＤＢ・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Ｚ9.，	備考
中間ファイル（仮受付）	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							
	処分区分							
	決裁区分		受付ＤＢ（受付）	決裁区分				『修正』のとき

010

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11／30

処理名	1．2 中間ファイル（届書）更新	（受取側）中間ファイル（届書）	← （引渡側）受付DB（または中間ファイル（仮受付））

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.,	備考
中間ファイル（届書）	受領番号							
	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	同時決裁受領番号（1～5）		受付DB（受付）	関連受領番号（1～5）				
	ロック戸籍番号（1～5）							
	事件本人個人番号（1～5）							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							
	処分区分							
	決裁区分		受付DB（受付）	決裁区分				
	届書排他区分							

第2.3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	12／30

処理名	2．0 処分決定（受付）表示 1／2	（受取側）処分決定（受付）画面	← （引渡側）中間ファイル（仮受付），処分決定（仮受付）処理

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
処分決定（受付）画面	画面ＩＤ							
	システム日付					有		システム日付
	現ページ，総ページ							
	受領番号		中間ファイル（仮受付）受付	受領番号				
	受理送付の別			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分名称		処分決定（仮受付）処理 中間ファイル（仮受付）受付	表示の処分名称				最初の処分内容を表示（変化なし）
	事件名			事件コード		有		
	事件発生日			事件発生日		有		
	事件発生時分			事件発生時分		有		
	決裁内容			決裁区分		有		
	出張所番号			出張所番号				
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本籍非本籍の別			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	指示日			指示日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外内容			渉外区分		有		
	関連受領番号(1～5)			関連受領番号(1～5)				
	事件本人区分内容(1～4)		中間ファイル（仮受付）事件本人	事件本人区分		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している (1) ← 事件本人の1レコード目 (2) ← 事件本人の2レコード目 (3) ← 事件本人の3レコード目 (4) ← 事件本人の4レコード目
	届出人表示(1～4)			届出人区分		有		
	カナ氏名(1～4)			カナ氏名				
	漢字氏名(1～4)			漢字氏名				
	生年月日(1～4)			生年月日		有		

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 18年 3月 1日	10	13／30

処理名	2.0 処分決定(受付)表示 2／2	(受取側) 処分決定(受付)画面 ← (引渡側) 中間ファイル(仮受付),処分決定(仮受付)処理

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.,	備考
処分決定 (受付)画面	送達確認2(1～4)		事件本人	送達確認2				
	送達確認1		受付	送達確認1				
	本籍(1～4)		中間ファイル (仮受付)事件本人	本籍コード		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している
				本籍				
	戸籍の筆頭者(1～4)			戸籍の筆頭者				
	届出人資格1		中間ファイル (仮受付)受付	届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍 (＊1)			届後本籍コード				(＊1) 受付事件コードが「1601」:死亡 又は「4402」:その他(本籍分明)又は「4404」:その他(死亡)のとき,「届後本籍」に設定があれば, その内容を表示する。なお, このときに画面のタイトルを「死亡日時」に変更する。
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	変更処分区分		処分決定 (仮受付)処理					当初は処分決定(仮受付)処理での「表示する処分区分」を設定
	変更処分名称					有		当初はスペース
	埋火葬許可証発行メッセージ							死亡の受理地届出分のみ
	埋火葬許可証発行区分							

70311

013

70312

第 2 3 (5)	データチェック(単体表)	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		処理決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月 31日	19	14/30

処　理　名	画　面　名	画 面 I D	
3. 0単体チェック	処分決定(受付)		

No	項　目　名	必須	属性	内　容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備　考
1	処分区分	○	数字	(1:受理, 2:不受理, 3:受理照会, 4:処理照会, 5:返戻, 6:取下げ, 7:保留, 8:受理処分の撤回)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	埋火葬許可証発行区分	○	数字	(0:不要, 1:火葬許可証, 2:埋葬許可証)であること			死亡届(受理)のみその場合必須表示
3	発日		数字	日付チェックサブルーチン (システム日付≦発日であること)			処分区分が「受理照会」「処理照会」のときのみ入力可
4	収日		数字	日付チェックサブルーチン (システム日付≧収日であること)			届出選択番号が「受理指示」「不受理指示」のときのみ入力可
5	指示日		数字	日付チェックサブルーチン (発日≦指示日≦収日(システム日付)であること)			届出選択番号が「受理指示」「不受理指示」のときのみこの場合必須入力

014

第 2 3 (3)	要件定義ワークシート	作　業　名	作　成　者	作　成　日　付	改　訂　日　付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成　6年12月　1日	平成30年　3月31日	21	15/30

処　理　名	4.0 審査:別紙2　(1／3)	備　考

1　通常入力での処分の変更(複数回修正された場合:最初に表示された処分区分(画面の処分名称)と変更処分区分を比較する)

処分区分での審査	受理・送付	処分区分不受理申出	処分区分表示する	変更後の処分区分							
				受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ	保留	受理処分の撤
受理	受理	受理	受理	－	○*1	○	×	×	○	○	×
		不受理	受理照会	×	○*1	－	×	×	○	○	×
	送付	受理	受理	－	×	×	○	○*2	×	○	×
		不受理	処理照会	×	×	×	－	○*2	×	○	×
不受理	受理	－	不受理	×	－	○	×	×	○	○	×
	送付	－	処理照会	×	×	×	－	○*2	×	○	×
受理照会	受理	－	受理照会	×	○*1	－	×	×	○	○	×
	送付	－	処理照会	○*3	×	×	－	○*2	×	○	×

＊1:システムで審査できない要件で法令エラーがある場合に変更可能。(例:近親婚　等)
＊2:送付された届書で重大な法令エラーがあった場合は、ただちに受理地へ返送する「返戻」として処分区分を変更できる。
＊3:送付された届書で「受理照会」要件の審査があった場合は、受理した自治体で法務局への照会が完了しているケースが殆どと考える。
　そこで、「処理照会」の処分区分を「受理」に変更できるように変更する。ただし、下記メッセージを表示し、YESの場合のみ変更を許可する。
　確認メッセージ「処理照会要件は、法務局に照会済ですね。」(YES,NO)
　YES→「受理」の変更を許可する。　NO→メッセージ「法務局に照会して下さい。」を表示し、「受理」への変更を許可しない。
変更結果が「○」または「－」のときはそのまま「本紙へ」
変更結果が「×」のときは，エラーメッセージ「XXXXには変更できません」を編集して「本紙へ」
　↑変更した処分区分名

2　受領番号確保処理後の入力処理での処分の変更(受付帳の処分区分はスペース)
　1の通常入力と同じ

3　処分区分が「受理照会」＊1「保留」となっていたものの再入力処理での処分の変更
　1の通常入力と同じ
　＊1:法務局へ問い合わせる前に「受理」「不受理」が分かった場合

下記使用参照(平成6年10月6日提示)
・受付ファイルでの処分区分と決裁区分について
・受付ファイルの作成経過

18.0版の出生届、19.0版の73条の2届に伴う修正。

処理名	4.0 審査:別紙2 (2／3)	備考

4 処分区分が「処理照会」＊1となっていたものの再入力処理での処分の変更

＊1:法務局へ問い合わせる前に処理の方法が分かった場合

審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	変更後の処分区分 受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ	保留	受理の撤回処分
受理	受理	受理	受理	－	×	×	○	×	×	×	○＊
		不受理	受理照会	×	×	×	○	×	×	×	○＊
	送付	受理	受理	－	×	×	○	○	×	×	×
		不受理	処理照会	×	×	×	－	○	×	×	×
不受理・受理照会	受理	－	処理照会	×	×	×	－	×	×	×	○＊
	送付	－	処理照会	×	×	×	－	○	×	×	×

＊:受理処分した後届出の入力内容に誤りが発見され、正しい情報を入力した結果，無効要件のエラーがあった場合だけ「受理処分の撤回」に変更できる。ただし，メッセージ「無効要件のエラーでなければ変更してはいけないので注意して下さい。」を表示させる。

5 処分区分が「受理照会」となっていた届で法務局から回答があった場合の処分区分の変更

法務局からの指示	審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分
受理	－	－	－	受理＊
不受理	入力・審査は行わない			不受理

⇒処分区分の変更はできない

＊:受理指示で審査の結果「不受理」となった場合でも処分区分は「受理」以外を選択することができない。審査でエラーが発生した場合は処理内容が保証されないので，メッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。

6 処分区分が「処理照会」となっていた届で法務局から回答があった場合の処分区分の変更

法務局からの指示	審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	
受理	－	－	－	受理＊	⇒処分区分の変更はできない
不受理	入力・審査は行わない	受理	－	受理処分の撤回	
		送付		返戻	

＊:受理指示で審査の結果「不受理」となった場合でも処分区分は「受理」以外を選択することができない。審査でエラーが発生した場合は処理内容が保証されないので，メッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。

7 決裁区分が「修正」または「未決裁」となっていたものの再入力処理での処分の変更

前処分区分	審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	変更後の処分区分							
					受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ	保留	受理処分の撤
受理	－ *1	受理	－ *1	受理*1	－	×	×	×	×	×	×	○*2
		送付			－	×	×	×	×	×	×	×
受理以外	－ *1	－	－ *1	前処分区分*1	前処分区分と同じ処分区分でなければいけない(修正不可)							

＊1:前回の処分区分が受理のとき，再入力処理において審査の結果が「不受理」となった場合でも処分区分を変更することはできない(一部を除く)。審査でエラーが発生した場合は処理内容が保証されないので,メッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。

＊2:受理処分した後届出の入力内容に誤りが発見され，正しい情報を入力した結果，無効要件のエラーがあった場合だけ「受理処分の撤回」に変更できる。ただし，メッセージ「無効要件のエラーでなければ変更してはいけないので注意して下さい。」を表示させる。

8 処分区分が「誤処理」*1(決裁で誤処理とされたもの)となっていたものの再入力処理での処分の変更

1の通常入力と同じ

＊1:前回の処分区分が「誤処理」であれば，処分決定で作成する受付ファイルは，同一受領番号で新しいレコードを作成する。前データ(処分区分が「誤処理」となっているデータ)は履歴となる。

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	18/30

処理名	5.0 処理テーブル表(処分区分での処理内容表) (1/2)	備考

※上段:受領番号未確保　下段:受領番号確保済(受理処分の撤回はこの処理のみ)

処理区分	受理番号取得	届書ファイル	受付DB	仮戸籍ファイル	戸籍DB	個人状態ファイル	9条2項	エラー履歴	墳火葬許可証	30条の12第1項	本人届出確認台帳
受理	取得処理	作成処理	作成処理	作成処理	−	−	作成処理	更新処理	作成処理	作成処理	作成処理
	−	作成・更新処理	作成・追加*1処理	作成処理	−	−	作成処理	更新処理	−	作成処理	更新処理
不受理	取得処理	作成処理	作成処理	−	−	−	−	更新処理	−	−	−
	−	作成・更新処理	作成・追加*1処理	−	−	−	−	更新処理	−	−	−
受理照会	取得処理	−	作成処理	−	更新処理	作成・更新処理	−	−	作成処理	−	−
	−	削除処理	作成・追加*1処理	−	更新処理	作成・更新処理	−	−	−	−	−
処理照会	取得処理	−	作成処理	−	更新処理	作成・更新処理	−	更新処理	−	−	−
	−	削除処理	作成・追加*1処理	−	更新処理	作成・更新処理	−	更新処理	−	−	−
返戻	取得処理	作成処理	作成処理	−	−	−	−	更新処理	−	−	−
	−	作成・更新処理	作成・追加*1処理	−	−	−	−	更新処理	−	−	−
取下げ	取得処理	−	作成処理	−	更新処理	−	−	−	−	−	−
	−	削除処理	作成・追加*1処理	−	更新処理	−	−	−	−	−	−
保留	取得処理	作成処理	作成処理	−	更新処理	作成・更新処理	−	−	作成処理	−	−
	−	作成・更新処理	作成・追加*1処理	−	更新処理	作成・更新処理	−	−	−	−	−
受理処分の撤回	−	更新処理	追加処理	−	−	−	−	更新処理	−	−	更新処理

*1:前回の処分区分が『誤処理』(決裁で誤処理されたもの)の場合は、同一受領番号で新しいレコードを追加する。

【受領番号取得処理】:再入力処理でない場合

番号ファイルを読み、受領番号を取得する

受領番号に受付件数を足した数を番号ファイルの受領番号にセットしファイルを更新する

【届書ファイル処理】

(1)作成処理:再入力処理でない場合

① 受付件数=1件の場合:中間ファイル(届書)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、届書ファイルを作成する。

② 受付件数>1件の場合:中間ファイル(届書)の受領番号に受領番号取得処理で取得した最初の受領番号をセットする。
次の受領番号から取得した最後の受領番号までを、順次同時決裁受領番号(1~5)にセットする。
届書ファイルを作成する。

(2)更新処理:再入力処理の場合

中間ファイル(届書)の受領番号に該当する届書ファイルを更新する。

(3)削除処理:処分区分が『受理照会』又は『処理照会』又は『取下げ』の場合でかつ再入力処理の場合

中間ファイル(届書)に受領番号があれば、それに該当する届書ファイルを検索し、あった場合にその届書ファイルを削除する。

【受付DB処理】

(1)作成処理:再入力処理でない場合

処分区分が『取下げ』の場合、決裁区分に『決裁』を設定する(それ以外は『未決裁』)。

① 受付件数=1件の場合:中間ファイル(仮受付)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、受付DBを作成する。

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	19/30
処理名	5.0 処理テーブル表(処分区分での処理内容表) (2/2)				備考		

② 受付件数＞1件の場合:中間ファイル(仮受付)の受領番号に、受領番号取得処理で取得した最初の受領番号を順番にセットする。
(1レコード目:取得の受領番号、2レコード目:取得の受領番号＋1、3レコード目:取得の受領番号＋2･･･。)
中間ファイル(仮受付)の各レコードの関連受領番号(1～5)に他のレコードの受領番号を順次セットする。
各々のレコード毎に受付DBを作成する。

(2)更新処理:再入力処理の場合(決裁区分が『未決裁』『修正』である)
中間ファイル(仮受付)の受領番号に該当する受付DBを更新する(複数件数ある場合は各々のレコード毎に受付DBを更新する)。

(3)追加処理:処分区分が『受理処分の撤回』又は前回の処分区分が『誤処理』(決裁で誤処理されたもの)の場合(再入力処理しかない)
中間ファイル(仮受付)の受領番号と枝番をカウントアップし、該当する受付DBにレコードを追加する。
(複数件数ある場合は各々の受領番号毎の受付DBにレコードを追加する)。

【仮戸籍ファイル処理】:処分区分が『受理』の場合
中間ファイル(仮戸籍)の各レコード(仮戸籍が複数ある場合)の受領番号に、受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし(受付件数が複数ある場合は最初の受領番号)、仮戸籍ファイルを作成する。

【戸籍DB処理】:処分区分が『受理照会』『処理照会』『取下げ』『保留』の場合
中間ファイル(届書)のロック戸籍番号(1～5)に記載のある戸籍DBを検索する。
戸籍特定DBの戸籍異動処分に"0"をセットし、戸籍DBを更新する(届書審査でロックをかけた戸籍のロック解除処理)。

【個人状態ファイル処理】
(1)処分区分が『受理照会』『処理照会』の場合:中間ファイル(届書)の事件本人の個人番号に記載のある個人状態ファイルを検索する。
個人状態ファイルがあれば、受理処理照会区分に"1"をセットし、個人状態ファイルを更新する(更新処理)。
個人状態ファイルがなければ、個人番号をキーとして個人状態ファイルを作成し、受理処理照会区分に"1"をセットする(作成処理)。

(2)処分区分が『保留』:中間ファイル(届書)の事件本人の個人番号に記載のある個人状態ファイルを検索する。
個人状態ファイルがあれば、保留区分に"1"をセットし、個人状態ファイルを更新する(更新処理)。
個人状態ファイルがなければ、個人番号をキーとして個人状態ファイルを作成し、保留区分に"1"をセットする(作成処理)。

【9条2項ファイル処理】:処分区分が『受理』の場合
中間ファイル(9条2項)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、仮9条2項ファイルを作成する。

【エラー履歴処理】:処分区分が『受理』『不受理』『返戻』『受理処分の撤回』
エラー履歴ファイルの受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、エラー履歴ファイルを更新する。

【埋火葬許可証処理】:事件が『死亡』かつ処分区分が『受理』『受理照会』『保留』かつ1回目の処理(再入力でない)の場合
埋火葬許可証発行区分＝0(不要):許可証発行不要(処理としては何もしない)。
埋火葬許可証発行区分＝1(火葬):火葬許可証の内容で埋火葬ファイルを作成する(受領番号取得処理で取得した受領番号をセットする)。
埋火葬許可証発行区分＝2(埋葬):埋葬許可証の内容で埋火葬ファイルを作成する(受領番号取得処理で取得した受領番号をセットする)。

【30条の12第1項ファイル処理】:処分区分が『受理』の場合
中間ファイル(30条の12第1項)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、仮30条の12第1項ファイルを作成する。

【本人届出確認台帳ファイル処理】:処分区分が『受理』の場合
・ファイル作成件数は、受付DBの作成件数と同じ(上記【受付DB処理】参照)。
・創設的届出のものだけ作成する(創設的届出一覧は【第7.2.(22) 本人届出確認台帳管理】を参照。)
『受理処分の撤回』の場合、本人届出確認台帳の「処分区分」を変更する。この処分区分の場合、本人届出確認台帳の検索対象としないこと。※『受理』で作成したファイルを削除しても構わない。

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	20／30

処理名	6．0 受領番号更新処理	（受取側）番号取得ファイル	← （引渡側）処分決定（仮受付）処理

受取側			引渡側			コード変換有無（サブルーチン）	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
番号取得ファイル	番号種別		処分決定（仮受付）処理	番号種別				3：受領番号
	西暦年			西暦年				
	受領番号			受領番号				最新の受領番号をセットする

70320
020

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	21／30

処理名	7．0 届書ファイル更新処理	（受取側）届書ファイル	← （引渡側）処分決定（仮受付）処理，中間ﾌｧｲﾙ（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
届書ファイル	受領番号		処分決定（仮受付）処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	選択事件コード		中間ファイル（届書）	選択事件コード				
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届区分			届区分				
	渉外区分			渉外区分				
	同時決裁受領番号（1～5）		処分決定（仮受付）処理	同時決裁受領番号（1～5）				
	ロック戸籍番号（1～5）		中間ファイル（届書）	ロック戸籍番号（1～5）				
	事件別内容			事件別内容				届出事件により異なる
	不受理申出処分区分			不受理申出処分区分				
	処分区分		処分決定（仮受付）処理 中間ファイル（届書）	処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
	届書排他区分		処分決定（仮受付）処理					0，未，を設定（排他の解除のみの場合は，の項目だけを修正する）

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	22／30

処理名	8．0 受付DB作成・更新処理 1／3	（受取側）受付DB（受付）1／2	←	（引渡側）処分決定（仮受付）処理，中間ﾌｧｲﾙ（仮受付）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.,	備考
受付DB（受付）	受領番号		処分決定（仮受付）処理中間ファイル（仮受付）	受領番号				最新の受領番号をセットする
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			受付事件コード				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日		処分決定（仮受付）処理	発日				
	収日			収日				
	指示日			指示日				
	許可日		中間ファイル（仮受付）	許可日				
	関連受領番号（1～5）			関連受領番号（1～5）				
	届出人資格区分1			届出人資格区分1				
	届出人資格名称1			届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格区分2				
	届出人資格名称2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			届後本籍区分				
	届後本籍コード			届後本籍コード				

70323

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	23／30

処理名	8．0 受付DB作成・更新処理 2／3	（受取側）受付DB（受付）2／2	← （引渡側）処分決定（仮受付）処理，中間ﾌｧｲﾙ（仮受付）

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
受付DB（受付）	届後本籍		中間ファイル（仮受付）	届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1			送達確認1				
	証書提出区分			証書提出区分				
	届書送付目録区分			届書送付目録区分				
	処分区分		処分決定（仮受付）処理 中間ファイル（仮受付）	処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

023

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 18年 3月 1日	10	24／30

処理名	8.0 受付DB作成・更新処理 3／3	(受取側) 受付DB(事件本人) ← (引渡側) 処分決定(仮受付)処理、中間ファイル(仮受付)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
受付DB(事件本人)	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	行番号							複数レコードを管理する(RDB)
事件本人が複数人いる場合は複数件のレコードが作成される	事件本人区分		中間ファイル(仮受付)	事件本人区分				
	届出人区分			届出人区分				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			戸籍の筆頭者				
	送達確認2			送達確認2				

70325

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	25／30

処理名	9．0 仮戸籍ファイル作成処理	（受取側）仮戸籍ファイル ← （引渡側）処分決定（仮受付）処理，中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
仮戸籍ファイル	受領番号		処分決定（仮受付）処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	その他の項目は省略		中間ファイル（仮戸籍）	その他の項目は省略				

025

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	26／30

処理名	10．0戸籍DB更新処理	（受取側）戸籍DB（戸籍特定） ← （引渡側）処分決定（仮受付）処理

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.，	備考
戸籍DB (戸籍特定)	戸籍番号							
	編製日							
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者							
	記載者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分		処分決定（仮受付）処理					0：解除を設定

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月 31日	19	27／30

処理名	11.0 個人状態ファイル更新処理	(受取側) 個人状態ファイル ← (引渡側) 処分決定(仮受付)処理

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
個人状態ファイル	個人番号							
	禁治産者区分							
	準禁治産者区分							
	破産宣告人区分							
	裁判所通知区分							
	犯歴区分							
	胎児認知区分							
	受理照会区分		処分決定 (仮受付)処理					処分が「受理照会」「処理照会」のとき1を設定
	保留区分							処分が「保留」のとき1を設定
	メモ							

70327
027

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	28／30

処理名：12．0 仮9条2項ファイル作成処理　（受取側）仮9条2項ファイル ← （引渡側）処分決定（仮受付）処理，中間ﾌｧｲﾙ（9条2項）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9.，	備考
仮9条2項ファイル	受領番号		処分決定（仮受付）処理中間ファイル（9条2項）	受領番号				最新の受領番号をセットする
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	29／30

処理名	13．0 エラー履歴ファイル作成処理	（受取側）エラー履歴ファイル	← （引渡側）処分決定（仮受付）処理

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
エラー履歴ファイル	受領番号		処分決定（仮受付）処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	エラーコード							
	メッセージコード（1～20）							
	確認 （1～20）							
	審査完了区分							

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（仮受付）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	30／30

処理名	14．0 埋火葬許可証ファイル作成処理	（受取側）埋火葬許可証ファイル ← （引渡側）処分決定（仮受付）画面，中間ﾌｧｲﾙ（届書）

受取側			引渡側			コード変換有無（ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ）	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
埋火葬許可証ファイル	書類名		処分決定（受付）画面			有		埋火葬許可証発行区分 1：死体火葬許可証 2：死体埋葬許可証
	進行番号							
	死亡者の本籍		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	本籍コード		有		
				本籍				
	死亡者の住所			住所コード		有		
				住所				
	死亡者の氏名			漢字氏名				
	死亡者の性別							
	死亡者の生年月日			生年月日		有		
	死因							
	死亡年月日時		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	死亡日		有		中間ﾌｧｲﾙ（受付）の「届後本籍」に設定されている場合は，その設定内容を移送する
				死亡時分		有		
	死亡の場所			死亡場所				
	埋火葬の場所							
	申請者の住所		中間ﾌｧｲﾙ（届書）	届出人住所コード		有		
				届出人住所				
	申請者の氏名			届出人氏名				
	申請者と死亡者の続柄							
	発行日			システム日付		有		自治体，メーカに一任
	交付市区町村名							
	首長名							

030

70331

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月1日	2.1	30-1／30

処理名	15.0 仮30条の12第1項ファイル	(受取側) 仮30条の12第1項ファイル ←	(引渡側) 処分決定(仮受付), 中間ファイル(仮30条の12第1項)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9..	
仮30条の12第1項ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	出張所番号		中間ファイル(30条の12第1項)	出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新性別			新性別				
	旧性別			旧性別				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	転入届出日			転入届出日				

30-1

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	30-2/30

処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ファイル作成処理 1/4	(受取側) 仮本人届出確認台帳ファイル ← (引渡側)処分決定(仮受付),中間ファイル(仮受付),中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
仮本人届出確認台帳ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード		中間ファイル(仮受付)	受付事件コード				
	受付日			受付日				
	処分区分		処分決定(仮受付)処理	処分区分				
	台帳対象区分							受付事件ｺｰﾄﾞに応じて「1:対象」「2:対象外」を初期設定
	漢字氏名(1)		中間ファイル(事件本人)	漢字氏名(1)				中間ファイル(仮受付)の1ﾚｺｰﾄﾞ目
	住所(1)							
	本人区分(1)			事件本人区分(1)				
	来庁者区分(1)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=ｽﾍﾟｰｽのとき「1:来庁者」「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	確認区分(1)							
	確認方法1(1)							
	確認手段1(1)							
	確認方法2(1)							
	確認手段2(1)							
	確認担当者(1)							
	通知要否(1)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知日(1)							
	通知担当者(1)							
	漢字氏名(2)		中間ファイル(事件本人)	漢字氏名(2)				中間ファイル(仮受付)の2ﾚｺｰﾄﾞ目
	住所(2)							
	本人区分(2)			事件本人区分(2)				
	来庁者区分(2)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=ｽﾍﾟｰｽのとき「1:来庁者」「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	確認区分(2)							
	確認方法1(2)							
	確認手段1(2)							

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	30-3/30

処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ファイル作成処理 2/4	(受取側) 仮本人届出確認台帳ファイル ← (引渡側)処分決定(仮受付),中間ファイル(仮受付),中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
仮本人届出確認台帳ファイル	確認方法2(2)							
	確認手段2(2)							
	確認担当者(2)							
	通知要否(2)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知日(2)							
	通知担当者(2)							
	漢字氏名(3)		中間ファイル(仮受付)	漢字氏名(3)				中間ファイル(仮受付)の3レコード目
	住所(3)							
	本人区分(3)			事件本人区分(3)				
	来庁者区分(3)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠スペースのとき「2:郵送」を設定
	確認区分(3)							
	確認方法1(3)							
	確認手段1(3)							
	確認方法2(3)							
	確認手段2(3)							
	確認担当者(3)							
	通知要否(3)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知日(3)							
	通知担当者(3)							
	漢字氏名(4)		中間ファイル(仮受付)	漢字氏名(4)				中間ファイル(仮受付)の4レコード目
	住所(4)							
	本人区分(4)			事件本人区分(3)				
	来庁者区分(4)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠スペースのとき「2:郵送」を設定
	確認区分(4)							
	確認方法1(4)							
	確認手段1(4)							

70335

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	30-4/30

処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ファイル作成処理 3/4	(受取側) 仮本人届出確認台帳ファイル ← (引渡側)処分決定(仮受付),中間ファイル(仮受付),中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	(サブルーチン)	Z9.,1	
仮本人届出確認台帳ファイル	確認方法2(4)							
	確認手段2(4)							
	確認担当者(4)							
	通知要否(4)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知日(4)							
	通知担当者(4)							
	届出人氏名(1)		中間ファイル(仮受付)	届出人氏名1				
	届出人住所(1)							
	届出人本人区分(1)			届出人資格名称1				
	届出人来庁者区分(1)							「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠スペースのとき「2:郵送」を設定
	届出人確認区分(1)							
	届出人確認方法1(1)							
	届出人確認手段1(1)							
	届出人確認方法2(1)							
	届出人確認手段2(1)							
	届出人確認担当者(1)							
	届出人通知要否(1)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	届出人通知日(1)							
	届出人通知担当者(1)							
	届出人氏名(2)		中間ファイル(仮受付)	届出人氏名2				
	届出人住所(2)							
	届出人本人区分(2)			届出人資格名称2				
	届出人来庁者区分(2)							「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠スペースのとき「2:郵送」を設定
	届出人確認区分(2)							
	届出人確認方法1(2)							
	届出人確認手段1(2)							

030−4

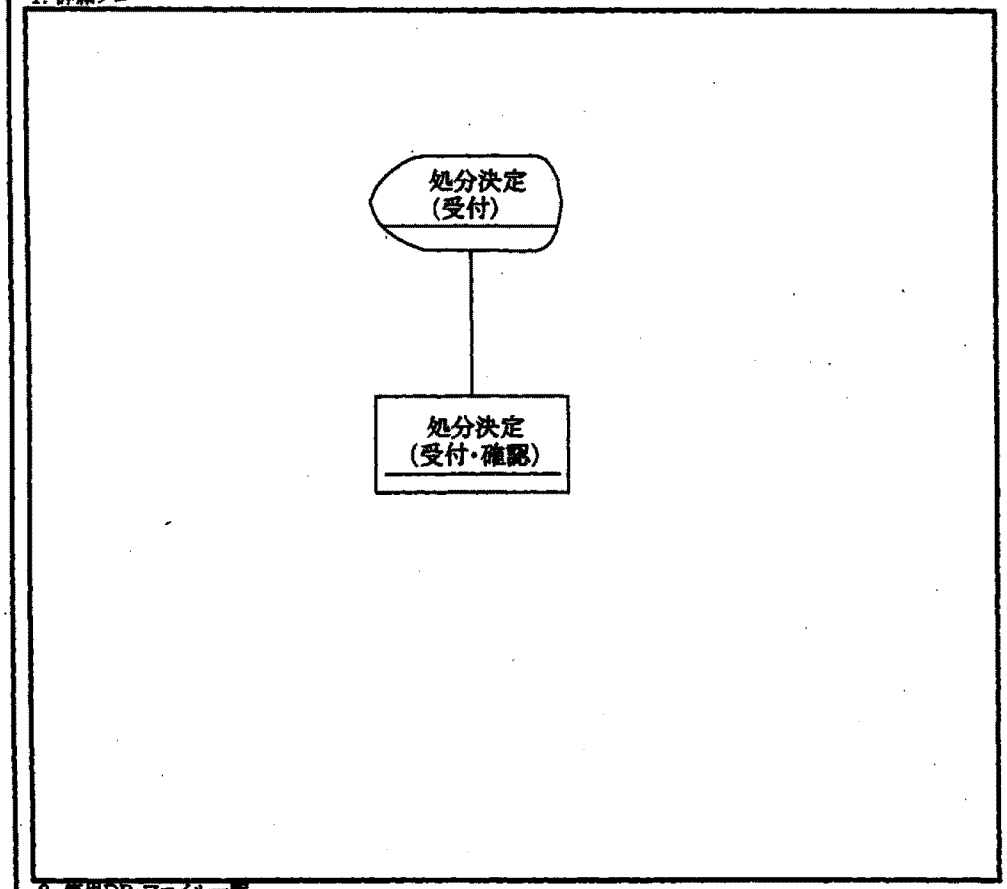
第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	30-5/30

処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ファイル作成処理 4/4	(受取側) 仮本人届出確認台帳ファイル ← (引渡側)処分決定(仮受付),中間ファイル(仮受付),中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.,	
仮本人届出確認台帳ファイル	届出人確認方法2(2)							
	届出人確認手段2(2)							
	届出人確認担当者(2)							
	届出人通知要否(2)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	届出人通知日(2)							
	届出人通知担当者(2)							
	使者氏名(1)							
	使者住所(1)							
	使者確認区分(1)							
	使者確認方法1(1)							
	使者確認手段1(1)							
	使者確認方法2(1)							
	使者確認手段2(1)							
	使者確認担当者(1)							
	使者氏名(2)							
	使者住所(2)							
	使者確認区分(2)							
	使者確認方法1(2)							
	使者確認手段1(2)							
	使者確認方法2(2)							
	使者確認手段2(2)							
	使者確認担当者(2)							
	備考							

第 2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(受付・確認)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	1/4

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名　　称	入出力区分	名　　称	入出力区分

3. 処理概要

(1)受付DB内容、取得受領番号を確認する。
(2)業務選択画面に制御を渡す(PF1)、
　または届出選択画面に制御を渡す(PF2)、
　または移記事項入力画面に制御を渡す(PF3)。
　または本人届出確認台帳画面に制御を渡す(PF5)。

4. 機能体系(要件定義書の構成)
0.0 本紙—— 1.0 データ編集表(処分決定(受付)画面)

5. 備考(特記事項含む)

70338
031

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(受付・確認)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	2/4

処理名	0.0 本紙			備考
(1) 処分決定(受付)画面を編集する、「内容を確認して下さい」のメッセージ出力		／		
(2) キー選択(PF1、PF2、PF3、PF5、PF7、PF8、その他)		／		
PF1	→		(3) 業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(4) 届出選択に制御を渡す	
PF3	(5) 仮戸籍ファイルが存在する(YES、NO)	／		
	YES →		(6) 移記事項処理に制御を渡す	
	NO (7) エラーメッセージ「仮戸籍がありませんので移記事項処理は行えません」を表示する		(8) 同画面を編集する	
PF5	(8.1) 仮本人届出確認台帳ファイルが存在する(YES、NO)	／		
	YES →		(8.2) 本人届出確認台帳処理に制御を渡す	
	NO (8.3) エラーメッセージ「本人届出確認台帳がありませんので本人届出確認台帳処理は行えません」を表示する		(8.4) 同画面を編集する	
PF7	(9) 受付件数>1である(YES、NO)	／		PF7、PF8は1つの届で複数の受付帳が作成されるときにのみ使用可(事件本人が3名以上いる場合の画面スクロールとは異なる)
	YES (10) 現在表示している中間ファイル(仮受付)のレコードより前のレコードがある(YES、NO)	／		
	YES (11) 前の中間ファイル(仮受付)の内容を編集、表示する		(12) 同画面を編集する	
	NO (13) エラーメッセージ「先頭ページを表示中です」を表示する			
	NO (14) エラーメッセージ「作成された受付帳は1件だけです」を表示する			
PF8	(15) 受付件数>1である(YES、NO)	／		
	YES (16) 現在画面表示している中間ファイル(仮受付)のレコードより後のレコードがある(YES、NO)	／		
	YES (17) 次の中間ファイル(仮受付)の内容を編集、表示する		(18) 同画面を編集する	
	NO (19) エラーメッセージ「最終ページを表示中です」を表示する			
	NO (20) エラーメッセージ「作成された受付帳は1件だけです」を表示する			
その他	(21) エラーメッセージ「無効なキーが押されました」を表示する		(22) 同画面を編集する	

70340

032

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定（受付・確認）	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／4

処理名	1．0 処分決定（受付）表示 1／2	（受取側）処分決定（受付）画面	← （引渡側）処分決定（仮受付）処理

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	Z9.,	備考
処分決定（受付）画面	画面ＩＤ		前画面から項目を引き継ぐ					
	システム日付							
	現ページ，総ページ							
	受領番号		処分決定（仮受付）処理 前画面から項目を引き継ぐ	受領番号				再入力の場合は前画面から項目を引き継ぐ
	受理送付の別							
	受付日							
	処分名称					有		処分決定した名称を表示
	事件名							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	決裁内容							
	出張所番号							
	発送日							
	郵送日							
	本籍非本籍の別							
	発日		処分決定（仮受付）処理	発日				仮受付処理で入力がある場合はその日付を表示 システムで設定した日付も表示
	収日			収日				
	指示日			指示日				
	許可日							
	渉外内容							
	関連受領番号(1～5)							
	事件本人区分内容(1～4)							
	届出人表示(1～4)							
	カナ氏名(1～4)							
	漢字氏名(1～4)							
	生年月日(1～4)							

第 2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(受付・確認)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 18年 3月 1日	10	4／4

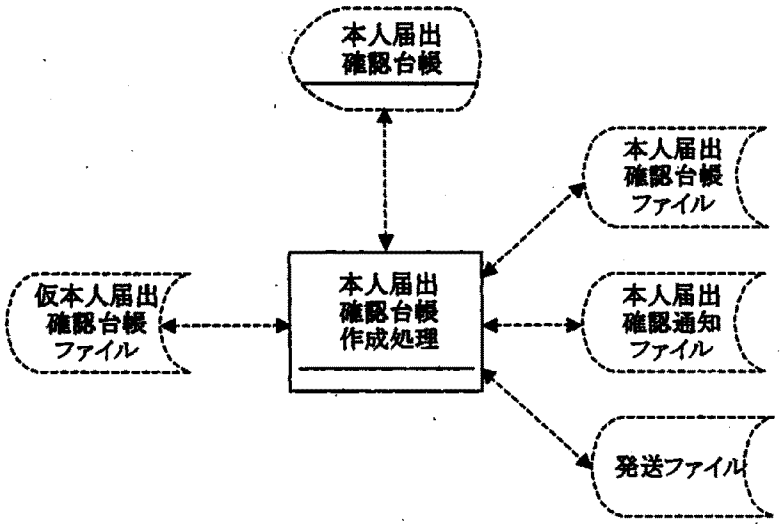
処理名	1.0 処分決定(受付)表示 2／2	(受取側) 処分決定(受付)画面	←	(引渡側) 処分決定(仮受付)処理

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
処分決定 (受付)画面	送達確認2(1～4)		前画面から項目を引き継ぐ					
	送達確認1							
	本籍(1～4)							
	戸籍の筆頭者(1～4)							
	届出人資格1							
	届出人氏名1							
	届出人資格2							
	届出人氏名2							
	届後本籍 (＊1)							(＊1) 受付事件コードが「1601」：死亡 又は「4402」：その他(本籍分明) のときに注意する
	届後戸籍の筆頭者							
	変更処分区分		処分決定 (仮受付)処理	変更処分区分				変更処分区分、その名称を表示する
	変更処分名称					有		
	埋火葬許可証発行メッセージ							死亡の受理地届出のとき表示する
	埋火葬許可証発行区分			埋火葬許可証発行区分				

70344

第 2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(本人届出確認台帳作成)	システム化調査研究会	平成 15年 5月 30日	平成 年 月 日	7.1	1/18

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
仮本人届出確認台帳ファイル	入力		
本人届出確認台帳ファイル	出力		
本人届出確認通知ファイル	出力		
発送ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)本人届出確認台帳を確認する。
(2)業務選択画面に制御を渡す(PF1)、
　または届出選択画面に制御を渡す(PF2)、

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(本人届出確認台帳画面)
- 2.0 単体チェック表
- 3.0 関連チェック表
- 4.0 データ編集表(本人届出確認台帳ファイル)
- 5.0 データ編集表(本人届出確認通知ファイル)
- 6.0 データ編集表(発送ファイル)

5. 備考(特記事項含む)

[redacted]

001

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(本人届出確認台帳作成)	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	2/18

処理名	0.0 本紙			備考
(1) 本人届出確認台帳画面を編集する [1.0]		／		
(2) キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF12、その他)		／		
実行キー	(3) 入力項目の単体チェック (OK:YES, NG:NO) [2.0]	／		
YES	(4) 入力項目の関連チェック (OK:YES, NG:NO) [3.0]	／		
YES	(5) 本人届出確認台帳ファイルを編集・出力する [4.0]	／		
	(6) 通知要否(全項目)に「1:通知要」がある(ある:YES, ない:NO)	／		事件本人及び届出人の全てが対象
YES	(7) 本人届出確認通知ファイルを編集・出力する [5.0]	／		
	(8) 発送ファイルを編集・出力する [6.0]		(9) 同画面を編集する	
NO	(10) エラーメッセージを表示する			
NO				
PF1	→		(11) 業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(12) 届出選択に制御を渡す	
PF7	(13) 仮本人届出確認台帳件数>1である(YES、NO)	／		PF7、PF8は1つの届で複数の仮本人届出
YES	(14) 現在表示している仮本人届出確認台帳ファイルより前のファイルがある(YES、NO)	／		確認台帳が作成されるときにのみ使用可 (画面スクロールとは異なる)
YES	(15) 前の仮本人届出確認台帳ファイルの内容を編集、表示する		(16) 同画面を編集する	
NO	(17) エラーメッセージ「先頭ページを表示中です」を表示する			
NO	(18) エラーメッセージ「作成された本人届出確認台帳は1件だけです」を表示する			
PF8	(19) 仮本人届出確認台帳件数>1である(YES、NO)	／		
YES	(20) 現在表示している仮本人届出確認台帳ファイルより後のファイルがある(YES、NO)	／		
YES	(21) 次の仮本人届出確認台帳ファイルの内容を編集、表示する		(22) 同画面を編集する	
NO	(23) エラーメッセージ「最終ページを表示中です」を表示する			
NO	(24) エラーメッセージ「作成された本人届出確認台帳は1件だけです」を表示する			
PF12	(25) 入力画面を初期化する		(26) 同画面を編集する	
その他	(27) エラーメッセージ「無効なキーが押されました」を表示する		(28) 同画面を編集する	

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	3/18

処理名	1.0 本人届出確認台帳画面編集 (1/4)	(受取側) 本人届出確認台帳画面 ← (引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出 確認台帳画面	受領番号		仮本人届出確認 台帳ファイル	受領番号				
	受付日			受付日				
	処分区分			処分区分		有		
	受付事件			受付事件		有		
	台帳対象区分			台帳対象区分		有		
	漢字氏名(1)			漢字氏名(1)				
	住所(1)			住所(1)				
	本人区分(1)			本人区分(1)		有		
	来庁者区分(1)			来庁者区分(1)		有		
	確認区分(1)			確認区分(1)				
	確認方法1(1)			確認方法1(1)				
	確認手段1(1)			確認手段1(1)				
	確認方法2(1)			確認方法2(1)				
	確認手段2(1)			確認手段2(1)				
	確認担当者(1)			確認担当者(1)				
	通知要否(1)			通知要否(1)		有		
	通知日(1)			通知日(1)				
	通知担当者(1)			通知担当者(1)				
	漢字氏名(2)			漢字氏名(2)				
	住所(2)			住所(2)				
	本人区分(2)			本人区分(2)		有		
	来庁者区分(2)			来庁者区分(2)		有		
	確認区分(2)			確認区分(2)				
	確認方法1(2)			確認方法1(2)				
	確認手段1(2)			確認手段1(2)				
	確認方法2(2)			確認方法2(2)				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	4/18

処理名	1.0 本人届出確認台帳画面編集 (2/4)	(受取側) 本人届出確認台帳画面 ← (引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.,	
本人届出 確認台帳画面	確認手段2(2)		仮本人届出確認 台帳ファイル	確認手段2(2)				
	確認担当者(2)			確認担当者(2)				
	通知要否(2)			通知要否(2)		有		
	通知日(2)			通知日(2)				
	通知担当者(2)			通知担当者(2)				
	漢字氏名(3)			漢字氏名(3)				
	住所(3)			住所(3)				
	本人区分(3)			本人区分(3)		有		
	来庁者区分(3)			来庁者区分(3)		有		
	確認区分(3)			確認区分(3)				
	確認方法1(3)			確認方法1(3)				
	確認手段1(3)			確認手段1(3)				
	確認方法2(3)			確認方法2(3)				
	確認手段2(3)			確認手段2(3)				
	確認担当者(3)			確認担当者(3)				
	通知要否(3)			通知要否(3)		有		
	通知日(3)			通知日(3)				
	通知担当者(3)			通知担当者(3)				
	漢字氏名(4)			漢字氏名(4)				
	住所(4)			住所(4)				
	本人区分(4)			本人区分(4)		有		
	来庁者区分(4)			来庁者区分(4)		有		
	確認区分(4)			確認区分(4)				
	確認方法1(4)			確認方法1(4)				
	確認手段1(4)			確認手段1(4)				
	確認方法2(4)			確認方法2(4)				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	5/18

処理名	1.0本人届出確認台帳画面編集 (3/4)	(受取側) 本人届出確認台帳画面 ← (引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出確認台帳画面	確認手段2(4)		仮本人届出確認台帳ファイル	確認手段2(4)				
	確認担当者(4)			確認担当者(4)				
	通知要否(4)			通知要否(4)		有		
	通知日(4)			通知日(4)				
	通知担当者(4)			通知担当者(4)				
	届出人氏名(1)			届出人氏名(1)				
	届出人住所(1)			届出人住所(1)				
	届出人本人区分(1)			届出人本人区分(1)		有		
	届出人来庁者区分(1)			届出人来庁者区分(1)		有		
	届出人確認区分(1)			届出人確認区分(1)				
	届出人確認方法1(1)			届出人確認方法1(1)				
	届出人確認手段1(1)			届出人確認手段1(1)				
	届出人確認方法2(1)			届出人確認方法2(1)				
	届出人確認手段2(1)			届出人確認手段2(1)				
	届出人確認担当者(1)			届出人確認担当者(1)				
	届出人通知要否(1)			届出人通知要否(1)		有		
	届出人通知日(1)			届出人通知日(1)				
	届出人通知担当者(1)			届出人通知担当者(1)				
	届出人氏名(2)			届出人氏名(2)				
	届出人住所(2)			届出人住所(2)				
	届出人本人区分(2)			届出人本人区分(2)		有		
	届出人来庁者区分(2)			届出人来庁者区分(2)		有		
	届出人確認区分(2)			届出人確認区分(2)				
	届出人確認方法1(2)			届出人確認方法1(2)				
	届出人確認手段1(2)			届出人確認手段1(2)				
	届出人確認方法2(2)			届出人確認方法2(2)				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	6/18

処理名	1.0 本人届出確認台帳画面編集 (4/4)	(受取側) 本人届出確認台帳画面 ← (引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出確認台帳画面	届出人確認手段2(2)		仮本人届出確認台帳ファイル	届出人確認手段2(2)				
	届出人確認担当者(2)			届出人確認担当者(2)				
	届出人通知要否(2)			届出人通知要否(2)		有		
	届出人通知日(2)			届出人通知日(2)				
	届出人通知担当者(2)			届出人通知担当者(2)				
	使者氏名(1)			使者氏名(1)				
	使者住所(1)			使者住所(1)				
	使者確認区分(1)			使者確認区分(1)				
	使者確認方法1(1)			使者確認方法1(1)				
	使者確認手段1(1)			使者確認手段1(1)				
	使者確認方法2(1)			使者確認方法2(1)				
	使者確認手段2(1)			使者確認手段2(1)				
	使者確認担当者(1)			使者確認担当者(1)				
	使者氏名(2)			使者氏名(2)				
	使者住所(2)			使者住所(2)				
	使者確認区分(2)			使者確認区分(2)				
	使者確認方法1(2)			使者確認方法1(2)				
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認方法2(2)			使者確認方法2(2)				
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認担当者(2)			使者確認担当者(2)				
	備考			備考				

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成 15年 5月 30日	平成 年 月 日	7.1	7/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0単体チェック表(1/4)	本人届出確認台帳画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
1	台帳対象区分	○	数字	(1:対象, 2:対象外)であること。	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	漢字氏名(1)	○	漢字				
3	住所(1)		漢字				
4	本人区分(1)	○	数字	※コード一覧参照			修正可能
5	来庁者区分(1)	○	数字	(1:来庁者, 2:郵送)であること。			
6	確認区分(1)	○	数字	(0:未確認, 1:確認)であること。			
7	確認方法1(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
8	確認手段1(1)		漢字				
9	確認方法2(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
10	確認手段2(1)		漢字				
11	確認担当者(1)		漢字				
12	通知要否(1)	○	数字	(0:通知不要, 1:通知要)であること。			
13	通知日(1)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	通知担当者(1)		漢字				
15	漢字氏名(2)		漢字				
16	住所(2)		漢字				
17	本人区分(2)		数字	※コード一覧参照			修正可能
18	来庁者区分(2)		数字	(1:来庁者, 2:郵送)であること。			
19	確認区分(2)		数字	(0:未確認, 1:確認)であること。			
20	確認方法1(2)		数字				
21	確認手段1(2)		漢字				
22	確認方法2(2)		数字				
23	確認手段2(2)		漢字				
24	確認担当者(2)		漢字				
25	通知要否(2)		数字	(0:通知不要, 1:通知要)であること。			
26	通知日(2)		英数	「日付チェックサブルーチン」			

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	8/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0単体チェック表(2/4)	本人届出確認台帳画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
27	通知担当者(2)		漢字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
28	漢字氏名(3)		漢字				
29	住所(3)		漢字				
30	本人区分(3)		数字	※コード一覧参照			修正可能
31	来庁者区分(3)		数字	(1:来庁者, 2:郵送)であること。			
32	確認区分(3)		数字	(0:未確認, 1:確認)であること。			
33	確認方法1(3)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
34	確認手段1(3)		漢字				
35	確認方法2(3)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
36	確認手段2(3)		漢字				
37	確認担当者(3)		漢字				
38	通知要否(3)		数字	(0:通知不要, 1:通知要)であること。			
39	通知日(3)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
40	通知担当者(3)		漢字				
41	漢字氏名(4)		漢字				
42	住所(4)		漢字				
43	本人区分(4)		数字	※コード一覧参照			修正可能
44	来庁者区分(4)		数字	(1:来庁者, 2:郵送)であること。			
45	確認区分(4)		数字	(0:未確認, 1:確認)であること。			
46	確認方法1(4)		数字				
47	確認手段1(4)		漢字				
48	確認方法2(4)		数字				
49	確認手段2(4)		漢字				
50	確認担当者(4)		漢字				
51	通知要否(4)		数字	(0:通知不要, 1:通知要)であること。			
52	通知日(4)		英数	「日付チェックサブルーチン」			

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	9/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0単体チェック表(3/4)	本人届出確認台帳画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
53	通知担当者(4)		漢字		「項目エラーがあります。		
54	届出人氏名(1)		漢字		正しく入力して下さい。」		
55	届出人住所(1)		漢字				
56	届出人本人区分(1)		数字	※コード一覧参照			修正可能
57	届出人来庁者区分(1)		数字	(1:来庁者, 2:郵送)であること。			
58	届出人確認区分(1)		数字	(0:未確認, 1:確認)であること。			
59	届出人確認方法1(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
60	届出人確認手段1(1)		漢字				
61	届出人確認方法2(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
62	届出人確認手段2(1)		漢字				
63	届出人確認担当者(1)		漢字				
64	届出人通知要否(1)		数字	(0:通知不要, 1:通知要)であること。			
65	届出人通知日(1)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
66	届出人通知担当者(1)		漢字				
67	届出人氏名(2)		漢字				
68	届出人住所(2)		漢字				
69	届出人本人区分(2)		数字	※コード一覧参照			修正可能
70	届出人来庁者区分(2)		数字	(1:来庁者, 2:郵送)であること。			
71	届出人確認区分(2)		数字	(0:未確認, 1:確認)であること。			
72	届出人確認方法1(2)		数字				
73	届出人確認手段1(2)		漢字				
74	届出人確認方法2(2)		数字				
75	届出人確認手段2(2)		漢字				
76	届出人確認担当者(2)		漢字				
77	届出人通知要否(2)		数字	(0:通知不要, 1:通知要)であること。			
78	届出人通知日(2)		英数	「日付チェックサブルーチン」			

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成 15年 5月 30日	平成 年 月 日	7.1	10／18

処理名	画面名	画面ID	
2.0単体チェック表(4／4)	本人届出確認台帳画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
79	届出人通知担当者(2)		漢字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
80	使者氏名(1)		漢字				
81	使者住所(1)		漢字				
82	使者確認区分(1)		数字	(0:未確認, 1:確認)であること。			
83	使者確認方法1(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
84	使者確認手段1(1)		漢字				
85	使者確認方法2(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
86	使者確認手段2(1)		漢字				
87	使者確認担当者(1)		漢字				
88	使者氏名(2)		漢字				
89	使者住所(2)		漢字				
90	使者確認区分(2)		数字	(0:未確認, 1:確認)であること。			
91	使者確認方法1(2)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
92	使者確認手段2(2)		漢字				
93	使者確認方法2(2)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
94	使者確認手段2(2)		漢字				
95	使者確認担当者(2)		漢字				
96	備考		漢字				

第2 3 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成　年　月　日	7.1	11／18

処理名	画面名	画面ID	
3.0関連チェック表(1／2)	本人届出確認台帳画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
1	(No.5) 来庁者区分(1) ＝ 2(郵送) の場合、 (No.6) 確認区分(1) = 0(未確認) であること。	「関連エラーがあります。確認して下さい。」 ※ワーニングレベルのエラーでも構わない。		他の事件本人、届出人も同様
2	(No.6) 確認区分(1) = 0(未確認) の場合、 (No.7) 確認方法1(1) = スペース かつ (No.11) 確認担当者(1) = スペース であること。			他の事件本人、届出人、使者も同様
3	(No.6) 確認区分(1) = 1(確認) の場合、 (No.7) 確認方法1(1) ≠ スペース かつ (No.11) 確認担当者(1) ≠ スペース であること。			
4	(No.7) 確認方法1(1) = 1～4 の場合、 (No.8) 確認手段1(1) = スペース であること。			
5	(No.7) 確認方法1(1) = 5(その他) の場合、 (No.8) 確認手段1(1) ≠ スペース であること。			
6	(No.9) 確認方法2(1) ≠ スペース の場合、 (No.7) 確認方法1(1) ≠ スペース であること。			
7	(No.9) 確認方法2(1) = 1～4 の場合、 (No.10) 確認手段2(1) = スペース であること。			
8	(No.9) 確認方法2(1) = 5(その他) の場合、 (No.10) 確認手段2(1) ≠ スペース であること。			
9	(No.12) 通知要否(1) = 0(通知不要) の場合、 (No.13) 通知日(1) = スペース かつ (No.14) 通知担当者(1) = スペース であること。			他の事件本人、届出人も同様
10	(No.12) 通知要否(1) = 1(通知要) の場合、 (No.3) 住所(1) ≠ スペース であること。			
11	(No.15) 漢字氏名(2)、(No.17) 本人区分(2)、(No.18) 来庁者区分(2)、(No.19) 確認区分(2)、(No.25) 通知要否(2) のいずれかに入力がある場合、全てに入力があること。			
12	(No.15) 漢字氏名(2)、(No.17) 本人区分(2)、(No.18) 来庁者区分(2)、(No.19) 確認区分(2)、(No.25) 通知要否(2) の全てが未入力である場合、(No.15) 漢字氏名(2) ～ (No.27) 通知担当者(2) の全てが未入力であること。			
13	(No.28) 漢字氏名(3) ≠ スペース の場合、 (No.15) 漢字氏名(2) ≠ スペース であること。			

第2 3 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	12/18

処理名	画面名	画面ID	
3.0関連チェック表(2/2)	本人届出確認台帳画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
14	(No.41) 漢字氏名(4) ≠ スペース の場合、 (No.28) 漢字氏名(3) ≠ スペース であること。	「関連エラーがあります。確認して下さい。」 ※ワーニングレベルのエラーでも構わない。		
15	(No.67) 届出人氏名(2) ≠ スペース の場合、 (No.54) 届出人氏名(1) ≠ スペース であること。			
16	(No.80) 使者氏名(1)、(No.82) 使者確認区分(1) のいずれかに入力がある場合、全てに入力があること。			
17	(No.80) 使者氏名(1)、(No.82) 使者確認区分(1) の全てが未入力である場合、(No.80) 使者氏名(1) ～ (No.87) 使者確認担当者(1) の全てが未入力であること。			
18	(No.88) 使者氏名(2) ≠ スペース の場合、 (No.80) 使者氏名(1) ≠ スペース であること。			
19	(No.88) 使者氏名(2)、(No.90) 使者確認区分(2) のいずれかに入力がある場合、全てに入力があること。			
20	(No.88) 使者氏名(2)、(No.90) 使者確認区分(2) の全てが未入力である場合、(No.88) 使者氏名(2) ～ (No.95) 使者確認担当者(2) の全てが未入力であること。			

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	13/18

処理名	4.0 本人届出確認台帳ファイル編集(1/4)	(受取側) 本人届出確認台帳ファイル ← (引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル, 本人届出確認台帳画面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
本人届出確認台帳ファイル	受領番号		仮本人届出確認台帳ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			受付事件コード				
	受付日			受付日				
	処分区分			処分区分				
	台帳対象区分		本人届出確認台帳画面	台帳対象区分		有		
	漢字氏名(1)			漢字氏名(1)				
	住所(1)			住所(1)				
	本人区分(1)			本人区分(1)		有		
	来庁者区分(1)			来庁者区分(1)		有		
	確認区分(1)			確認区分(1)		有		
	確認方法1(1)			確認方法1(1)		有		
	確認手段1(1)			確認手段1(1)				
	確認方法2(1)			確認方法2(1)		有		
	確認手段2(1)			確認手段2(1)				
	確認担当者(1)			確認担当者(1)				
	通知要否(1)			通知要否(1)		有		
	通知日(1)			通知日(1)				
	通知担当者(1)			通知担当者(1)				
	漢字氏名(2)			漢字氏名(2)				
	住所(2)			住所(2)				
	本人区分(2)			本人区分(2)		有		
	来庁者区分(2)			来庁者区分(2)		有		
	確認区分(2)			確認区分(2)		有		
	確認方法1(2)			確認方法1(2)		有		
	確認手段1(2)			確認手段1(2)				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成　年　月　日	7.1	14／18

処理名	4.0 本人届出確認台帳ファイル編集(2／4)	(受取側) 本人届出確認台帳ファイル ← (引渡側)本人届出確認台帳画面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出確認台帳ファイル	確認方法2(2)		本人届出確認台帳画面	確認方法2(2)		有		
	確認手段2(2)			確認手段2(2)				
	確認担当者(2)			確認担当者(2)				
	通知要否(2)			通知要否(2)		有		
	通知日(2)			通知日(2)				
	通知担当者(2)			通知担当者(2)				
	漢字氏名(3)			漢字氏名(3)				
	住所(3)			住所(3)				
	本人区分(3)			本人区分(3)		有		
	来庁者区分(3)			来庁者区分(3)		有		
	確認区分(3)			確認区分(3)		有		
	確認方法1(3)			確認方法1(3)		有		
	確認手段1(3)			確認手段1(3)				
	確認方法2(3)			確認方法2(3)		有		
	確認手段2(3)			確認手段2(3)				
	確認担当者(3)			確認担当者(3)				
	通知要否(3)			通知要否(3)		有		
	通知日(3)			通知日(3)				
	通知担当者(3)			通知担当者(3)				
	漢字氏名(4)			漢字氏名(4)				
	住所(4)			住所(4)				
	本人区分(4)			本人区分(4)		有		
	来庁者区分(4)			来庁者区分(4)		有		
	確認区分(4)			確認区分(4)		有		
	確認方法1(4)			確認方法1(4)		有		
	確認手段1(4)			確認手段1(4)				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成 15年 5月 30日	平成 年 月 日	7.1	15／18

処理名	4.0 本人届出確認台帳ファイル編集(3／4)	(受取側) 本人届出確認台帳ファイル ← (引渡側)本人届出確認台帳画面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出確認台帳ファイル	確認方法2(4)		本人届出確認台帳画面	確認方法2(4)		有		
	確認手段2(4)			確認手段2(4)				
	確認担当者(4)			確認担当者(4)				
	通知要否(4)			通知要否(4)		有		
	通知日(4)			通知日(4)				
	通知担当者(4)			通知担当者(4)				
	届出人氏名(1)			届出人氏名(1)				
	届出人住所(1)			届出人住所(1)				
	届出人本人区分(1)			届出人本人区分(1)		有		
	届出人来庁者区分(1)			届出人来庁者区分(1)		有		
	届出人確認区分(1)			届出人確認区分(1)		有		
	届出人確認方法1(1)			届出人確認方法1(1)		有		
	届出人確認手段1(1)			届出人確認手段1(1)				
	届出人確認方法2(1)			届出人確認方法2(1)		有		
	届出人確認手段2(1)			届出人確認手段2(1)				
	届出人確認担当者(1)			届出人確認担当者(1)				
	届出人通知要否(1)			届出人通知要否(1)		有		
	届出人通知日(1)			届出人通知日(1)				
	届出人通知担当者(1)			届出人通知担当者(1)				
	届出人氏名(2)			届出人氏名(2)				
	届出人住所(2)			届出人住所(2)				
	届出人本人区分(2)			届出人本人区分(2)		有		
	届出人来庁者区分(2)			届出人来庁者区分(2)		有		
	届出人確認区分(2)			届出人確認区分(2)		有		
	届出人確認方法1(2)			届出人確認方法1(2)		有		
	届出人確認手段1(2)			届出人確認手段1(2)				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成 15年 5月 30日	平成 年 月 日	7.1	16/18

処理名	4.0 本人届出確認台帳ファイル編集(4/4)	(受取側) 本人届出確認台帳ファイル ← (引渡側)本人届出確認台帳画面

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	(サブルーチン)	Z9..	
本人届出確認台帳ファイル	届出人確認方法2(2)		本人届出確認台帳画面	届出人確認方法2(2)		有		
	届出人確認手段2(2)			届出人確認手段2(2)				
	届出人確認担当者(2)			届出人確認担当者(2)				
	届出人通知要否(2)			届出人通知要否(2)		有		
	届出人通知日(2)			届出人通知日(2)				
	届出人通知担当者(2)			届出人通知担当者(2)				
	使者氏名(1)			使者氏名(1)				
	使者住所(1)			使者住所(1)				
	使者確認区分(1)			使者確認区分(1)		有		
	使者確認方法1(1)			使者確認方法1(1)		有		
	使者確認手段1(1)			使者確認手段1(1)				
	使者確認方法2(1)			使者確認方法2(1)		有		
	使者確認手段2(1)			使者確認手段2(1)				
	使者確認担当者(1)			使者確認担当者(1)				
	使者氏名(2)			使者氏名(2)				
	使者住所(2)			使者住所(2)				
	使者確認区分(2)			使者確認区分(2)		有		
	使者確認方法1(2)			使者確認方法1(2)		有		
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認方法2(2)			使者確認方法2(2)		有		
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認担当者(2)			使者確認担当者(2)				
	備考			備考				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成 15年 5月 30日	平成 年 月 日	7.1	17/18

処理名	5.0 本人届出確認通知ファイル編集(1/1)	(受取側) 本人届出確認通知ファイル ← (引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル, 本人届出確認台帳画面

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出確認通知ファイル	作成年月日		本人届出確認台帳画面					システム編集
	事件本人氏名			漢字氏名(1)～(4),届出人氏名(1)～(2)				通知要の者が対象
	発行市区町村名							システム編集
	受理年月日		仮本人届出確認台帳ファイル	受付日				
	事件名			受付事件コード		有		
	届出人氏名1		本人届出確認台帳画面	漢字氏名(1)～(4),届出人氏名(1)～(2)				事件本人で届出人である者及び届出人が対象
	届出人氏名2			漢字氏名(1)～(4),届出人氏名(1)～(2)				
	届出人氏名3			漢字氏名(1)～(4),届出人氏名(1)～(2)				
	届出人氏名4			漢字氏名(1)～(4),届出人氏名(1)～(2)				
	届出事件本人氏名1			漢字氏名(1)				
	届出事件本人氏名2			漢字氏名(2)				
	届出事件本人氏名3			漢字氏名(3)				
	届出事件本人氏名4			漢字氏名(4)				
	受領番号		仮本人届出確認台帳ファイル	受領番号				

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	18/18

処理名	6.0 発送ファイル編集(1/1)	(受取側) 発送ファイル ← (引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル, 本人届出確認台帳画面

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
発送ファイル	受領番号		仮本人届出確認台帳ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード							システム編集
	郵便番号		本人届出確認台帳画面					住所からシステム編集
	住所			住所(1)～(4),届出人住所(1)～(2)				通知要の者
	宛名			漢字氏名(1)～(4),届出人氏名(1)～(2)				通知要の者
	送付書類区分			本人届出確認通知				

標準仕様書修正履歴

平成15年5月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(22) (本人届出 確認台帳管理)	平15.3.18付け民一第748号通達及び民一第749号依命 通知によるシステムの対応(サンプル提示) 1. 本人届出確認台帳管理の新規追加 (1)システム処理の概要説明 (2)システム環境仕様書 (3)要件定義ワークシート (4)データチェック (5)データ編集表 (6)補足説明書 (7)帳票設計書 (8)コード設計書 (9)コード一覧表 (10)メッセージ一覧表		

第7. 2. (22)

本人届出確認台帳管理
(サンプル)

標準仕様書修正履歴

平成31年3月

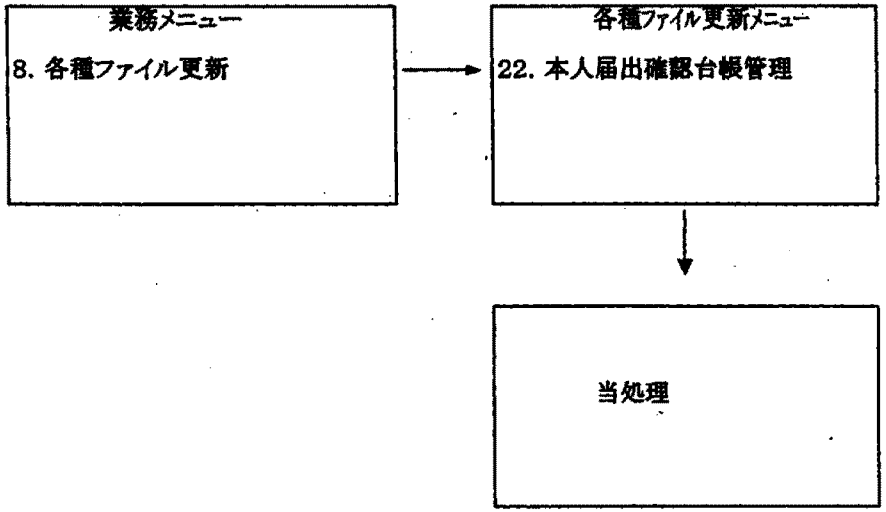
項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(22) (本人届出 確認台帳管理)	本人確認にマイナンバーカードが追加されたことによる修正 1. 補足説明書:本人届出確認台帳表示・更新(その1)画面 欄外「確認方法1・2」の3. 住基カードを個人番号カード に変更する。 2. コード一覧表 本人確認方法の住基カードを個人番号カードに変更 する。	 13 20	

第 2 3 (1)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5 月30日	平成 年 月 日	7.1	1/15

0. 前提

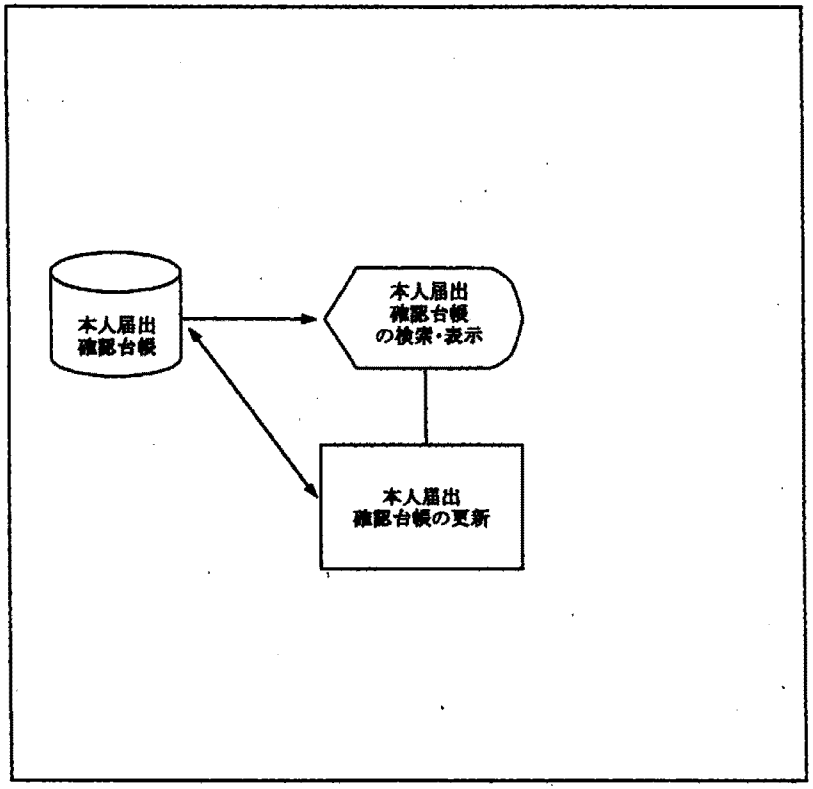
・本仕様は創設的届における届出本人確認用の確認台帳の管理処理の一例を示すものです。

・当処理の位置付け



第2 3 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成　年　月　日	7.1	2/15

1. 詳細フロー



2. 使用DB・dファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
本人届出確認台帳ファイル	入出力		
本人届出確認通知ファイル	入出力		
発送ファイル	入出力		

3. 処理概要

(1)検索キーの入力及びキーによる本人届出確認台帳の検索

a. 受領番号(9桁)

b. 受付日　　※範囲指定も検索可能

c. 事件名

d. 漢字氏名(氏, 氏名)

e. 処分区分

f. 台帳対象区分

(2)キーを基に本人届出確認台帳を検索し, データの内容等を編集する

(3)本人届出確認台帳一覧画面の表示

(4)本人届出確認台帳の更新

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データチェック(単体表)
- 2.0 データチェック(関連表)
- 3.1 データ編集表(検索画面編集)
- 3.2 データ編集表(確認台帳表示画面編集)

5. 備考(特記事項含む)

002

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	3/15

処理名	0.0 本紙 1/2																備考
(1) 本人届出確認台帳検索画面を表示する。																／	
(2) キー選択(実行キー, PF1, PF12, その他)																／	
実行キー	(3) 入力検索キーのチェック(OK:YES, NG:NO) [1.0][2.0]															／	
	YES	(4) 受領番号～台帳対象区分で本人届出確認台帳ファイルを検索する。														／	
		(5) 0 < 検索件数 < 100 か？(YES, NO)														／	
		YES	(6) 本人届出確認台帳検索画面を編集・表示する。 [3.1]													／	
			(7) キー選択(該当番号の入力(実行キー), PF1, PF7, PF8, PF12, その他)													／	
			実行キー	(8) 該当番号のチェック(OK:YES, NO:NG)												／	
				YES	(9) 本人届出確認台帳表示・更新画面(該当受領番号)を編集・出力する。 [3.2]											／	(10)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す
					(11) キー選択(PF1, PF7, PF8, PF9, その他)												(12)同画面を編集する
					PF1	→											(13)業務選択画面に制御を渡す
					PF2	→										／	(14)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す
					PF7	(15) 前ページがあるか？(ある:YES, なし:NO)										／	
						YES	(16) 前ページ分の本人届出確認台帳表示・更新画面編集									／	
						NO	(17)エラーメッセージ『先頭ページです。』を表示する。										(18)同画面を編集する
					PF8	(19) 次ページがあるか？(ある:YES, なし:NO)										／	
						YES	(20) 次ページ分の本人届出確認台帳表示・更新画面編集									／	
						NO	(21)エラーメッセージ『最終ページです。』を表示する。										(22)同画面を編集する
					PF9	(23) 本人届出確認台帳ファイルを更新する。											(24)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す
					その他	(25) エラーメッセージ『無効なキーが入力されました。』を表示する。											(26)同画面を編集する
					NO	(27) エラーメッセージ『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』を表示する。											
				PF1	→												(28)業務選択画面に制御を渡す

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	4/15

処理名	0.0 本紙 2/2						備考
			PF7	(29) 前ページがあるか？(ある:YES, なし:NO)		/	
				YES	(30) 前ページ分の本人届出確認台帳検索画面編集		(31) 同画面を編集する
				NO	(32) エラーメッセージ『先頭ページです。』を表示する。		
			PF8	(33) 次ページがあるか？(ある:YES, なし:NO)			
				YES	(34) 次ページ分の本人届出確認台帳検索画面編集		
				NO	(35) エラーメッセージ『最終ページです。』を表示する。		
			PF12	(36) 入力画面を初期化する。			
			その他	(37) エラーメッセージ『無効なキーが入力されました。』を表示する。			
		NO	(38) 検索件数＝0		エラーメッセージ『該当がありません。再度，検索キーを入力して下さい。』を表示する。		
			(39) 検索件数＞99		エラーメッセージ『該当が多すぎます。再度，検索キーを入力して下さい。』を表示する。		
	NO	(40) エラーメッセージ『検索キーが正しくありません。再度，検索キーを入力して下さい。』を表示する。					
PF1	→						(41) 業務選択画面に制御を渡す
PF12	(42) 入力画面を初期化する。						(43) 同画面を編集する
その他	(44) エラーメッセージ『無効なキーが入力されました。』を表示する。						

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成　年　月　日	7.1	5/15

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表(1/1)	本人届出確認台帳検索画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
1	受領番号		数字		『項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。』		
2	受付事件		数字	※コード一覧参照			
3	受付日(1)		英数	『日付チェックサブルーチン』			
4	受付日(2)		英数	『日付チェックサブルーチン』			
5	漢字氏名		漢字				
6	処分区分		数字	※コード一覧参照			
7	台帳対象区分		数字	(1:対象, 2:対象外)であること			

第 2 3 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5 月30日	平成 年 月 日	7.1	6／15

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック(1/1)	本人届出確認台帳検索画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
1	(No.1)受領番号 = スペース(未入力) かつ (No.2)受付事件 = スペース(未入力) かつ (No.3)受付日(1) = スペース(未入力) かつ (No.4)受付日(2) = スペース(未入力) かつ (No.5)漢字氏名 = スペース(未入力) かつ (No.6)処分区分 = スペース(未入力) かつ (No.7)台帳対象区分 = スペース(未入力) の時	『関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。』		
2	(No.2)受付日(1) = スペース(未入力) かつ (No.3)受付日(2) ≠ スペース(未入力) の時			

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成　年　月　日	7.1	7/15

処理名	3.1 検索画面編集(1/1)	(受取側) 本人届出確認台帳検索画面	← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
本人届出確認台帳検索	画面ID							
	システム日付							
	画面ページ							
	受領番号							
	受付事件							
	受付日1							
	受付日2							
	処分区分							
	台帳対象区分							
	漢字氏名							
	No1～n		本人届出確認台帳ファイル	――――――				1～n件のシーケンス番号設定
	受領番号1～n			受領番号				
	受付日1～n			受付日				
	受付事件1～n			受付事件コード		有		
	氏名1～n			漢字氏名				

007

70370

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	8/15

処理名	3.2 確認台帳表示画面編集(1/5)	(受取側) 本人届出確認台帳検索画面	← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9..	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出確認 台帳表示・更新	画面ID							
	システム日付							
	画面ページ							
	受領番号		本人届出確認 台帳ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件			受付事件コード		有		
	受付日			受付日				
	処分区分			処分区分		有		
	台帳対象区分			台帳対象区分		有		
	事件本人(1) 氏名(1)			漢字氏名(1)				
	住所(1)			住所(1)				
	本人区分(1)			本人区分(1)		有		
	来庁者区分(1)			来庁者区分(1)		有		
	確認区分(1)			確認区分(1)		有		
	確認方法1(1)			確認方法1(1)		有		
	確認手段1(1)			確認手段1(1)				
	確認方法2(1)			確認方法2(1)		有		
	確認手段2(1)			確認手段2(1)				
	確認担当者(1)			確認担当者(1)				
	通知要否(1)			通知要否(1)		有		
	通知日(1)			通知日(1)				
	通知担当者(1)			通知担当者(1)				
	事件本人(2) 氏名(2)			漢字氏名(2)				
	住所(2)			住所(2)				
	本人区分(2)			本人区分(2)		有		
	来庁者区分(2)			来庁者区分(2)		有		

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	a	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	9/15

処理名	3.2 確認台帳表示画面編集(2/5)	(受取側) 本人届出確認台帳検索画面	← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル

受取側				引渡側				コード変換有無 (サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
		名称	記号名		名称	記号名				
本人届出確認台帳表示・更新	事件本人(2)	確認区分(2)		本人届出確認台帳ファイル	確認区分(2)		有			
		確認方法1(2)			確認方法1(2)		有			
		確認手段1(2)			確認手段1(2)					
		確認方法2(2)			確認方法2(2)		有			
		確認手段2(2)			確認手段2(2)					
		確認担当者(2)			確認担当者(2)					
		通知要否(2)			通知要否(2)		有			
		通知日(2)			通知日(2)					
		通知担当者(2)			通知担当者(2)					
	事件本人(3)	氏名(3)			漢字氏名(3)					
		住所(3)			住所(3)					
		本人区分(3)			本人区分(3)		有			
		来庁者区分(3)			来庁者区分(3)		有			
		確認区分(3)			確認区分(3)		有			
		確認方法1(3)			確認方法1(3)		有			
		確認手段1(3)			確認手段1(3)					
		確認方法2(3)			確認方法2(3)		有			
		確認手段2(3)			確認手段2(3)					
		確認担当者(3)			確認担当者(3)					
		通知要否(3)			通知要否(3)		有			
		通知日(3)			通知日(3)					
		通知担当者(3)			通知担当者(3)					
	事件本人(4)	氏名(4)			漢字氏名(4)					
		住所(4)			住所(4)					
		本人区分(4)			本人区分(4)		有			
		来庁者区分(4)			来庁者区分(4)		有			

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	10/15

処理名	3.2 確認台帳表示画面編集(3/5)	(受取側) 本人届出確認台帳検索画面	← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル

受取側				引渡側				コード変換有無(サブルーチン)	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目	名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目	名称	記号名		Z9.,	
本人届出確認 台帳表示・更新	事件本人(4)	確認区分(4)		本人届出確認 台帳ファイル		確認区分(4)		有		
		確認方法1(4)				確認方法1(4)		有		
		確認手段1(4)				確認手段1(4)				
		確認方法2(4)				確認方法2(4)		有		
		確認手段2(4)				確認手段2(4)				
		確認担当者(4)				確認担当者(4)				
		通知要否(4)				通知要否(4)		有		
		通知日(4)				通知日(4)				
		通知担当者(4)				通知担当者(4)				
	届出人(1)	氏名(1)				届出人氏名(1)				
		住所(1)				届出人住所(1)				
		本人区分(1)				届出人本人区分(1)		有		
		来庁者区分(1)				届出人来庁者区分(1)		有		
		確認区分(1)				届出人確認区分(1)		有		
		確認方法1(1)				届出人確認方法1(1)		有		
		確認手段1(1)				届出人確認手段1(1)				
		確認方法2(1)				届出人確認方法2(1)		有		
		確認手段2(1)				届出人確認手段2(1)				
		確認担当者(1)				届出人確認担当者(1)				
		通知要否(1)				届出人通知要否(1)		有		
		通知日(1)				届出人通知日(1)				
		通知担当者(1)				届出人通知担当者(1)				
	届出人(2)	氏名(2)				届出人氏名(2)				
		住所(2)				届出人住所(2)				
		本人区分(2)				届出人本人区分(2)		有		
		来庁者区分(2)				届出人来庁者区分(2)		有		

010

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成 年 月 日	7.1	11/15

処理名	3.2 確認台帳表示画面編集(4/5)	(受取側) 本人届出確認台帳検索画面	← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 (サブルーチン)	Z9.,	備考
本人届出確認 台帳表示・更新	届出人(2) 確認区分(4)		本人届出確認 台帳ファイル	届出人確認区分(2)		有		
	届出人(2) 確認方法1(4)			届出人確認方法1(2)		有		
	届出人(2) 確認手段1(4)			届出人確認手段1(2)				
	届出人(2) 確認方法2(4)			届出人確認方法2(2)		有		
	届出人(2) 確認手段2(4)			届出人確認手段2(2)				
	届出人(2) 確認担当者(4)			届出人確認担当者(2)				
	届出人(2) 通知要否(4)			届出人通知要否(2)		有		
	届出人(2) 通知日(4)			届出人通知日(2)				
	届出人(2) 通知担当者(4)			届出人通知担当者(2)				
	使者(1) 氏名(1)			使者氏名(1)				
	使者(1) 住所(1)			使者住所(1)				
	使者(1) 確認区分(1)			使者確認区分(1)		有		
	使者(1) 確認方法1(1)			使者確認方法1(1)		有		
	使者(1) 確認手段1(1)			使者確認手段1(1)				
	使者(1) 確認方法2(1)			使者確認方法2(1)		有		
	使者(1) 確認手段2(1)			使者確認手段2(1)				
	使者(1) 確認担当者(1)			使者確認担当者(1)				
	使者(2) 氏名(2)			使者氏名(2)				
	使者(2) 住所(2)			使者住所(2)				
	使者(2) 確認区分(2)			使者確認区分(2)		有		
	使者(2) 確認方法1(2)			使者確認方法1(2)		有		
	使者(2) 確認手段1(2)			使者確認手段1(2)				
	使者(2) 確認方法2(2)			使者確認方法2(2)		有		
	使者(2) 確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者(2) 確認担当者(2)			使者確認担当者(2)				
	備考			備考				

703274

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成　年　月　日	7.1	12／15

本人届出確認台帳検索の画面

```
画面ＩＤ                本人届出確認台帳検索                X.99.99.99    99/99
 検索 受領番号 999999999          受付事件 9999 K----------(15)----------K
      受 付 日 X.99.99.99 ～ X.99.99.99  処分区分 9 KKK 台帳対象区分 9 KKK
      漢字氏名 K----------(30)----------K

 No  受領番号                受 付 事 件
     受 付 日                氏　　名
     999999999  K----------(15)----------K
 99  X.99.99.99 K----------(30)----------K
     999999999  K----------(15)----------K
 99  X.99.99.99 K----------(30)----------K
     999999999  K----------(15)----------K
 99  X.99.99.99 K----------(30)----------K
     999999999  K----------(15)----------K
 99  X.99.99.99 K----------(30)----------K
     999999999  K----------(15)----------K
 99  X.99.99.99 K----------(30)----------K
     999999999  K----------(15)----------K
 99  X.99.99.99 K----------(30)----------K
                                  選択番号 99

                PFガイダンス
K----------(39)----------K
```

検索キー　：受領番号，受付事件，受付日，漢字氏名，処分区分，
　　台帳対象区分

※検索事件数:MAX99件
※受付日は範囲指定も可とする。

氏名　　：事件本人の複数表示も可とする。

本人届出確認台帳の画面

```
画面ＩＤ              本人届出確認台帳表示・更新（その１）   X.99.99.99     99/99

受領番号：999999999   出張所番号：99     受付事件：Ｋ――――――(15)――――――Ｋ
受 付 日：X.99.99.99  処分区分：ＫＫＫ   台帳対象区分：9  ＫＫＫ

                                  氏　　名          本人区分    来庁者区分   確認区分
                                  住　　所          確認方法１  確認方法２   確認担当者
                                                    通知要否    通知日       通知担当者
事 Ｋ――――――――(19)――――――――Ｋ  Ｋ―(5)―Ｋ   Ｘ ＫＫＫ    Ｘ ＫＫＫ
件 XXX-XXXX Ｋ――――――――――――  Ｘ Ｋ―(5)―Ｋ  Ｘ Ｋ―(5)―Ｋ  Ｋ―(5)―Ｋ
本 ――――――――(33)――――――――Ｋ  Ｘ ＫＫＫＫ   X.99.99.99  Ｋ―(5)―Ｋ
人 Ｋ――――――――(19)――――――――Ｋ  Ｋ―(5)―Ｋ   Ｘ ＫＫＫ    Ｘ ＫＫＫ
  XXX-XXXX Ｋ――――――――――――  Ｘ Ｋ―(5)―Ｋ  Ｘ Ｋ―(5)―Ｋ  Ｋ―(5)―Ｋ
  ――――――――(33)――――――――Ｋ  Ｘ ＫＫＫＫ   X.99.99.99  Ｋ―(5)―Ｋ
  Ｋ――――――――(19)――――――――Ｋ  Ｋ―(5)―Ｋ   Ｘ ＫＫＫ    Ｘ ＫＫＫ
  XXX-XXXX Ｋ――――――――――――  Ｘ Ｋ―(5)―Ｋ  Ｘ Ｋ―(5)―Ｋ  Ｋ―(5)―Ｋ
  ――――――――(33)――――――――Ｋ  Ｘ ＫＫＫＫ   X.99.99.99  Ｋ―(5)―Ｋ

                        PFガイダンス
Ｋ――――――――――――――――――――(39)――――――――――――――――――――Ｋ
```

本人確認通知書：処分決定で発送ファイルが作成された後は、当該処理または帳票出力において発行することは、メーカー任意とする。

受付事件　　：受付事件名

処分区分　　：コード一覧参照

台帳対象区分：1.対象
2.対象外

来庁者区分　：1.来庁者
2.郵送

確認区分　　：1.確認
0.未確認

確認方法1・2：1.運転免許証　2.パスポート
3.個人番号カード　4.健康保険証
5.その他
※「その他」のときはワープロ的に入力できるものとする。
※その他確認方法の参考例
クレジットカード、免許証、許可証、学生証などがある

確認担当者　：本人確認をした職員氏名
※職員ｺｰﾄﾞ・職員氏名についてはメーカー任意とする。

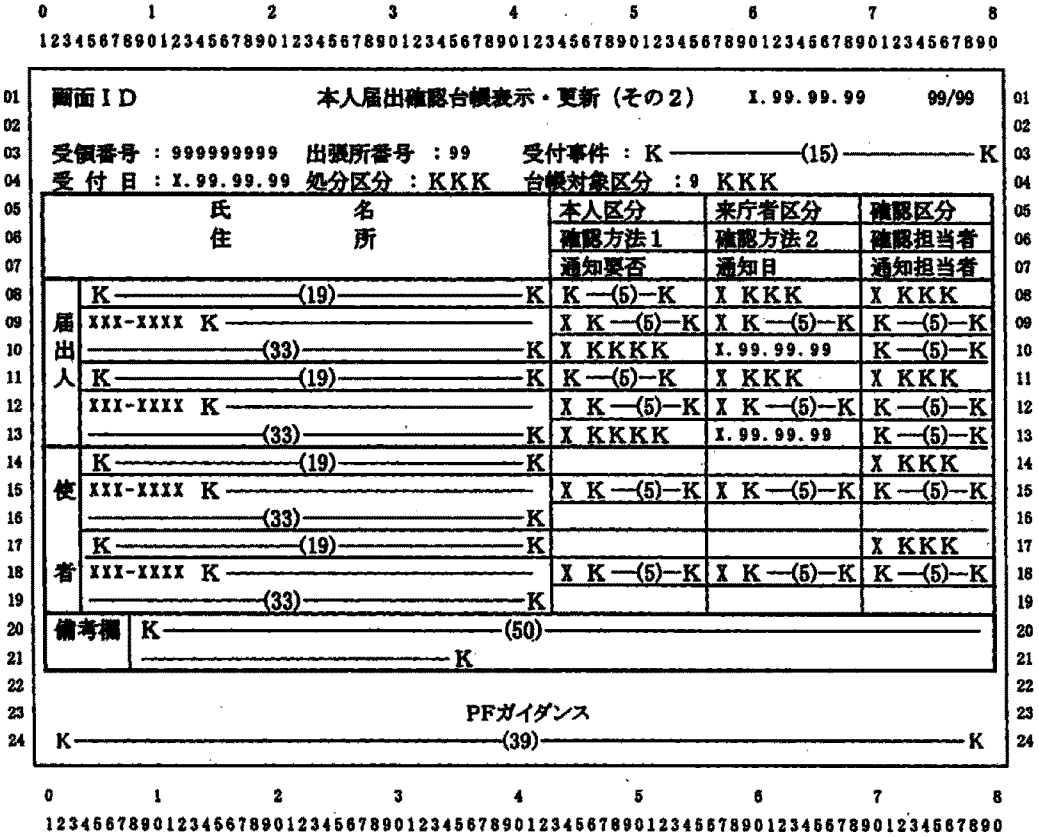
通知要否　　：1.通知要
0.通知不要

通知日　　：届出人に対して通知をした日

通知担当者　：通知をした職員氏名
※職員ｺｰﾄﾞ・職員氏名についてはメーカー任意とする。

703777

本人届出確認台帳の画面



使者の欄　：入力可能となっているが、運用に合わせて不要としてもよい。

備考欄　：届出人からの連絡の記録等をワープロ的に記録できるものとする。

014

第2 3 (7)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年5月30日	平成　年　月　日	7.1	15/15

本人確認が必要と思われる届

No	届書	届出種類	創設種別	報告種別	届出人候補	事件本人候補	備考
1	出生(認知)	創設・報告	認知	出生	父、母	出生子、父	認知が創設の為、父に対して本人確認要。
2	出生(国籍留保)	創設・報告	国籍留保	出生	父、母	出生子	国籍留保が創設の為、国籍留保の届出人に対し本人確認要。
3	認知	創設・報告	右以外	裁判認知、 外国の方式	父、子、親権者母、親権者養父、 親権者養母、その他	父(認知者)、 子(被認知者)	
4	養子縁組	創設・報告	右以外	証書提出	養子、養女、養父、養母、法定代理人 (父、母、母の親権者、特別代理人、母 の未成年後見人、未成年後見人、未成 年後見監督人、児童福祉施設の長)	養子、養女、養父、養 母	
5	養子離縁	創設・報告	協議離縁	裁判離縁	養親、養子	養親、養子	養子が15歳未満のときは法定代理人(親権者、後見人)が届出人になる。
6	73の2	創設	創設のみ	無	離縁によって縁組前の氏に復した者	離縁によって縁組前の 氏に復した者	届出人は本人のみ。法定代理人も不可。
7	離縁同時73の2	創設・報告	協議離縁	裁判離縁	養子、養女、養父、養母	養子、養女、養父、養母	
8	婚姻	創設・報告	右以外	証書提出	夫、妻	夫、妻	
9	離婚	創設・報告	協議離婚	裁判離婚	夫、妻	夫、妻	
10	77の2	創設	創設のみ	無	復氏者	復氏者	
11	離婚 同時 77の2	創設・報告 創設	協議離婚 創設のみ	裁判離婚 無	夫、妻 夫、妻	夫、妻 夫、妻	創設的な離婚時、77の2は離婚の本人確認状態を引継ぐ。 報告的な離婚時、77の2は77の2の処分決定で本人確認情報を入力する。
12	親権(管理権)	創設・報告	親権辞任、 親権回復、 管理権辞任、 管理権回復、 親権者指定(協 議)	親権変更、 親権喪失、 管理権喪失、 親権者指定(調 停・裁判)	父、母、養父、養母、親族	親権者、 未成年の子、 親権協議者	
13	復氏	創設	創設のみ	無	生存配偶者	生存配偶者	
14	姻族関係終了	創設	創設のみ	無	生存配偶者	生存配偶者	
15	入籍	創設	創設のみ	無	入籍者、 入籍者の配偶者(配偶者があるとき)、 法定代理人(15歳未満のとき)	入籍者	民791条2項の場合は氏変更許可の審判書の謄本が必要
16	分籍	創設	創設のみ	無	分籍者	分籍者	
17	国籍選択	創設	創設のみ	無	親権者父、親権者母、 親権者養父、親権者養母、 未成年後見人、法定代理人	国籍選択者	
18	107の2	創設	創設のみ	無	外国人との婚姻による氏の変更者	外国人との婚姻による 氏の変更者	
19	107の3	創設	創設のみ	無	事件本人	事件本人	
20	転籍	創設	創設のみ	無	筆頭者、配偶者、 親権者父、親権者母、 親権者養父、親権者養母、 未成年後見人	筆頭者、 配偶者	

第56(2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1／3
帳票名称		作成日付	改訂日付	版
本人確認通知		平成15年5月30日		7.1

1．様式

（1） A4版縦

2．編集条件

（1） 出力サイクル
日時

（2） 抽出条件
本人届出確認台帳ファイルから該当項目を抽出

（3） 出力条件
特になし

3．運用関係

本通知書は、
法務省民一第748号、戸籍の届出における本人確認等の取扱いについて（通達）
法務省民一第749号、戸籍の届出における本人確認等の取扱いについて（依命通知）
により運用すること。

70379

第56(2)	帳票設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	2／3

帳票名称	作成日付	改訂日付	版
本人確認通知	平成１５年５月３０日		7.1

KK99年99月99日

K————(15)————K 様

①K————————(25)————————K

お 知 ら せ

あなたからの戸籍届出については，下記のとおり受理されました。

記

1 受 理 年 月 日　KK99年99月99日

2 事 件 名　K————(15)————K

3 届 出 人 氏 名　K————(15)————K

K————(15)————K

K————(15)————K

K————(15)————K

4 届出事件本人氏名　K————(15)————K

K————(15)————K

K————(15)————K

K————(15)————K

②999999999

①発行市区町村名＋”長”

②受領番号

70380

第56(3)	帳票項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3／3
帳票名称		作成日付	改訂日付	版
本人確認通知		平成１５年5月３０日		7.1

No.	項　目　名	桁数	編集方法	備　考
1	作成年月日	１１	漢字	元号Ｚ９年Ｚ９月Ｚ９日
2	事件本人氏名	１５	漢字	
3	発行市区町村名	２５	漢字	市区町村名＋”長”
4	受理年月日	１１	漢字	元号Ｚ９年Ｚ９月Ｚ９日
5	事件名	１５	漢字	
6	届出人氏名１	１５	漢字	
7	届出人氏名２	１５	漢字	
8	届出人氏名３	１５	漢字	
9	届出人氏名４	１５	漢字	
10	届出事件本人氏名１	１５	漢字	
11	届出事件本人氏名２	１５	漢字	
12	届出事件本人氏名３	１５	漢字	
13	届出事件本人氏名４	１５	漢字	
14	受領番号	9	数字	

70381

第14(9)	コード設計書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成15年5月30日	平成　年　月　日	7.1

索引	付設対象	方式	一覧頁	目的	付設区分具体例
た					
	台帳対象区分	区分	1	本人届出確認台帳の作成有無	「対象」「対象外」
	通知要否区分	区分	1	本人確認通知の要否	「通知不要」「通知要」
は					
	本人確認区分	区分	1	本人確認の有無	「未確認」「確認」
	本人確認方法	区分	1	届書持参者の本人識別	「運転免許証」「ﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ」
ら					
	来庁者区分	区分	1	届出の方法	「来庁者」「郵送」

70382

第２４（９）	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1／1
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成15年５月30日	平成31年３月31日	22

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	台帳対象区分	対象	1	1		
		対象外	2			
	通知要否区分	通知不要	0	1		
		通知要	1			
	本人確認区分	未確認	0	1		
		確認	1			
	本人確認方法	運転免許証	1	1		
		パスポート	2			
		個人番号カード	3			
		健康保険証	4			
		その他	5			
	来庁者区分	来庁者	1	1		
		郵送	2			

第24(10)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成15年5月30日	平成　年　月　日	7.1

コード	メッセージ
Mnnnnn	作成された本人届出確認台帳は1件だけです。

70384

70385

第7.2.(7)

「仮戸籍表示」処理

第2章3節（1）	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		仮戸籍表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／1

70387

001

1．仮戸籍表示

システムが入力審査確認後に，身分事項等の記載を，戸籍ＤＢに仮に記載したり，新戸籍を仮に編製したりし，決裁処理で戸籍ＤＢとして反映するまでのものを『仮戸籍』と呼ぶ。これらは，システムが自動的に作成するので，これらを確認する手段として『仮戸籍表示』を設ける。

『仮戸籍』は，あくまで仮の戸籍であり，システムが「受理」と判断した本籍分しか作成されないので，『仮戸籍表示』としては，移記処理の表示方法と同様とする。よって，ここでは概略を述べるに留めるので，詳細は移記処理の要件定義書を参照されたい。（画面は，単独提示）

『仮戸籍表示』としては，次の３画面を使用する。

（１）確認表示画面（該当戸籍表示）

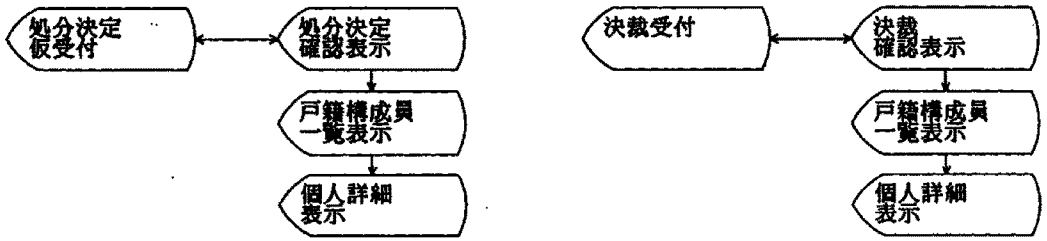
（２）戸籍構成員一覧画面

（３）個人詳細表示画面

2．仮戸籍表示箇所

確認として表示されるのは，処分決定処理前と決裁処理前の２ヶ所である。

それぞれ，処分決定・決裁を行おうとする処理に該当する戸籍すべてを確認表示で表示させる。ここで，移記処理での表示との違いとしては，処分決定前においては，まだ，受領番号が確保されていないのでシステムにては注意を要する。



70388

第7.2.(8)

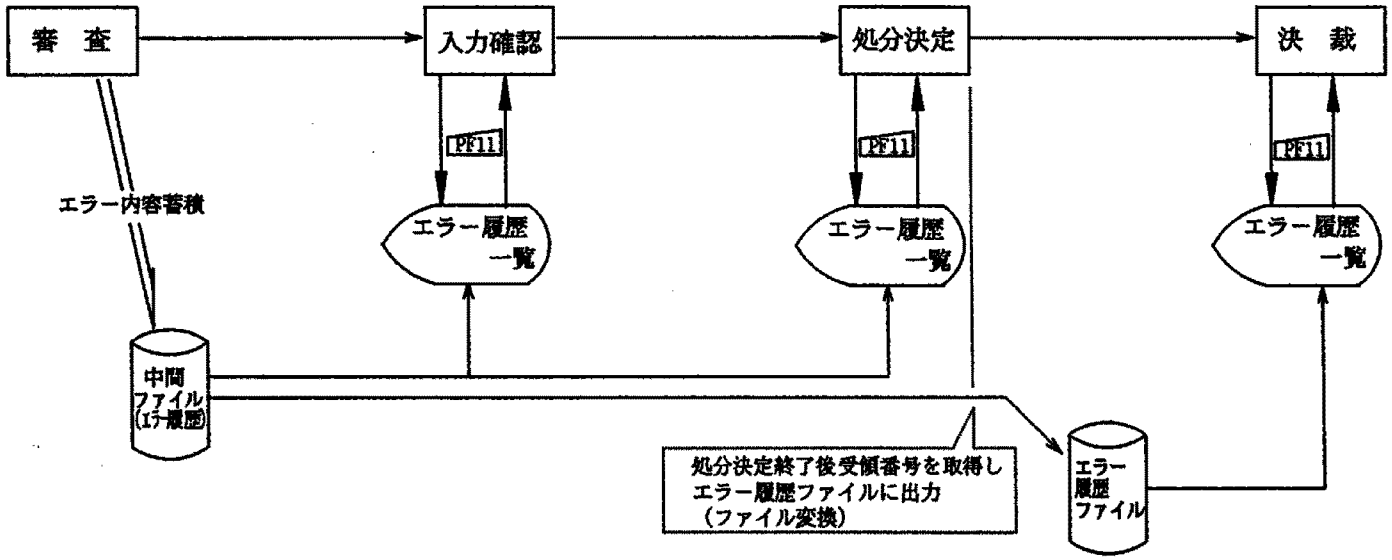
「エラー履歴表示」処理

第５10（８）	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴表示	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／2

１．処理概要

異動業務処理において届書入力時の審査処理で発生したエラー内容（項目・関連チェック以外）を、エラー履歴として以降の処理で参照できるよう、共通仕様として以下に示す。

エラー履歴ファイルでは、受領番号がキーとなるため、受領番号を取得するまでは、一時的ファイル：中間ファイル（エラー履歴）に対して入出力を行う。処分決定処理で受領番号を取得し、完了した時点で、中間ファイル（エラー履歴）から、エラー履歴ファイルに出力する。



２．届書入力処理におけるエラー処理について

審査処理で発生したエラー内容を、中間ファイル（エラー履歴）へ出力する。
但し、項目チェック、関連チェックによるエラーは除外し、法令審査による、重大エラー及び確認エラーを対象とする。

（１）重大エラー

法令等で定めた条件に明らかに反している場合、画面上にエラーメッセージを表示する。
エラーコードを、中間ファイル（エラー履歴）に出力する。

（２）確認エラー

システム上で判断不能なエラーを、画面上に確認メッセージとして表示し、判断結果を応答する。
確認エラーコード及び、応答結果を中間ファイル（エラー履歴）に出力する。

第5-10(8)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／2

3．エラー履歴一覧表示について

（1）入力確認

・届書入力項目の確認時、ＰＦ１１押下した時に本処理（エラー履歴一覧）に制御を渡す。

・中間ファイル（エラー履歴）からエラー情報を入力し、画面編集・出力する。

・本画面（エラー履歴一覧）でＰＦ１１押下した時、起動元の画面に制御を戻す。

（2）処分決定

・処分決定の確認時、ＰＦ１１押下した時に本処理（エラー履歴一覧）に制御を渡す。

・中間ファイル（エラー履歴）からエラー情報を入力し、画面編集・出力する。

・本画面（エラー履歴一覧）でＰＦ１１押下した時、起動元の画面に制御を戻す。

・処分決定し受領番号を取得した後、中間ファイル（エラー履歴）からエラー履歴ファイルへ出力する。（ファイル変換）

（3）決　裁

・決裁の確認時、ＰＦ１１押下した時に本処理（エラー履歴一覧）に制御を渡す。

・エラー履歴ファイルからエラー情報を入力し、画面編集・出力する。

・本画面（エラー履歴一覧）でＰＦ１１押下した時、起動元の画面に制御を戻す。

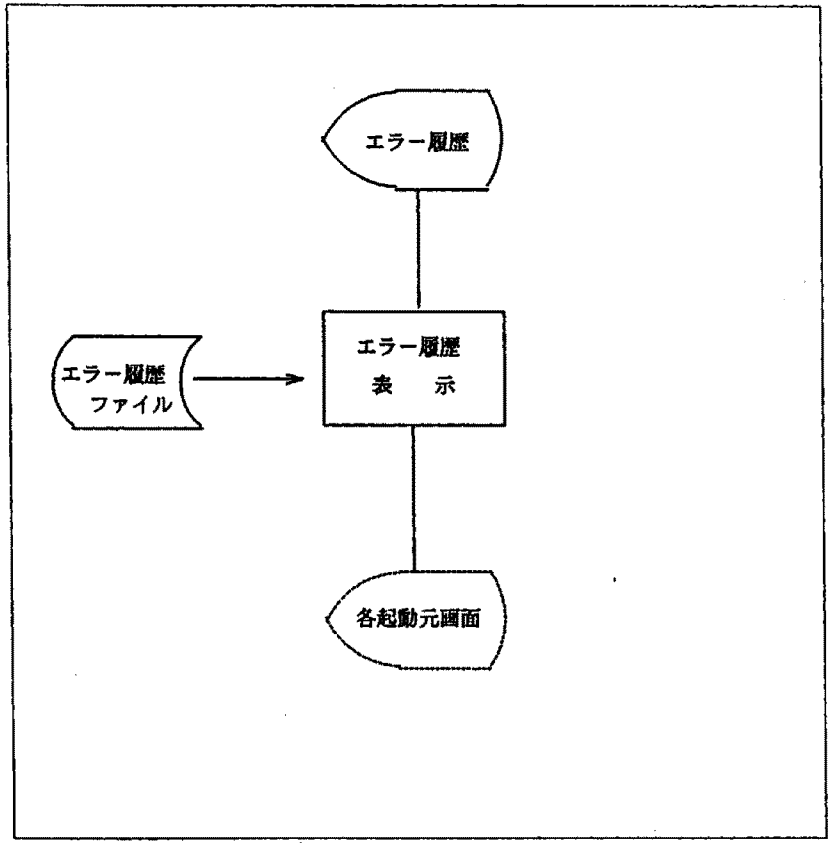
4．その他

（1）エラー履歴一覧のエラー情報は、エラー発生順に表示する。

（2）エラー履歴として収容可能なエラー数は、ＭＡＸ９９個とし同一エラーは重複しないものとする。

第5 10 (8)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／4

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
エラー履歴ファイル	入力		

3．処理概要

（1）検索キー（受領番号）でエラー履歴ファイルを検索検索

（2）エラー履歴情報の編集・表示

（3）起動元画面に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表（中間ファイル作成（エラー履歴一覧））
　　　　└ 2.0 データ編集表（エラー履歴一覧画面作成）

5．備考（特記事項含む）

エラー履歴ファイルに対して入出力する場合、処理（入力確認・処分決定・決裁）によって状態が異なるため、データ出力と画面表示する場合に分けて以下の表に示す。

項番	処理区分	データ出力	画面表示
1	審査処理	△	－
2	入力確認処理	－	△
3	処分決定処理	○	△
4	決裁処理	－	○

△：中間ファイル（エラー履歴）
○：エラー履歴ファイル
－：該当せず

※取り扱うファイルとして、中間ファイル（エラー履歴）とエラー履歴ファイルが存在するが、本仕様書では「エラー履歴ファイル」で表現する。処理区分により識別し、それぞれのケースに合わせて置き換えること。

第5 10 (8)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／4

処理名					0．0 本紙		備考
(1) 検索キー（受領番号）でエラー履歴ファイルを検索する						／	
(2) 該当データはあるか（YES，NO）						／	
YES	(3) エラー数 ＝ 0					／	
	YES	(4) エラーメッセージ 『エラー履歴情報が存在しません。』を表示する					(5)同画面を編集する
	NO	(6) 中間ファイル（エラー履歴一覧）に編集・出力する			[1．0]	／	
		(7) エラー履歴一覧画面を編集する			[2．0]	／	
	(8) キー選択（PF7，PF8，PF11，その他）					／	
	PF7	(9) 前ページがあるか？（YES，NO）				／	
		YES	(10) 前ページ分のエラー履歴一覧画面編集				(11)同画面を編集する
		NO	(12) エラーメッセージ 『先頭ページです』を表示する				
	PF8	(13) 次ページがあるか？（YES，NO）				／	
		YES	(14) 次ページ分のエラー履歴一覧画面編集				
		NO	(15) エラーメッセージ 『最終ページです』を表示する				
	PF11	(16) →					(17)起動元画面に制御を渡す
	その他	(18) エラーメッセージ 『無効なキーが入力されました』を表示する					(19)同画面を編集する
NO	(20) エラーメッセージ 『エラー履歴情報が存在しません』を表示する						
	(21) キー選択（PF11，その他）					／	
	PF11	(22) →					(23)起動元画面に制御を渡す
	その他	(24) エラーメッセージ 『無効なキーが入力されました』を表示する					(25)同画面を編集する

第5-10(8)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／4

処理名	1.0 中間ファイル（エラー履歴一覧）	（受取側）中間ファイル(エラー履歴一覧)	←（引渡側）エラー履歴ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
中間ﾌｧｲﾙ（エラー履歴一覧）	受領番号		エラー履歴ファイル	受領番号				
	届出選択番号			届出選択番号				
	エラー数			エラー数				
	メッセージ：メッセージコード			メッセージ：メッセージコード				99のテーブル
	メッセージ：応答内容			メッセージ：応答内容				

70394

005

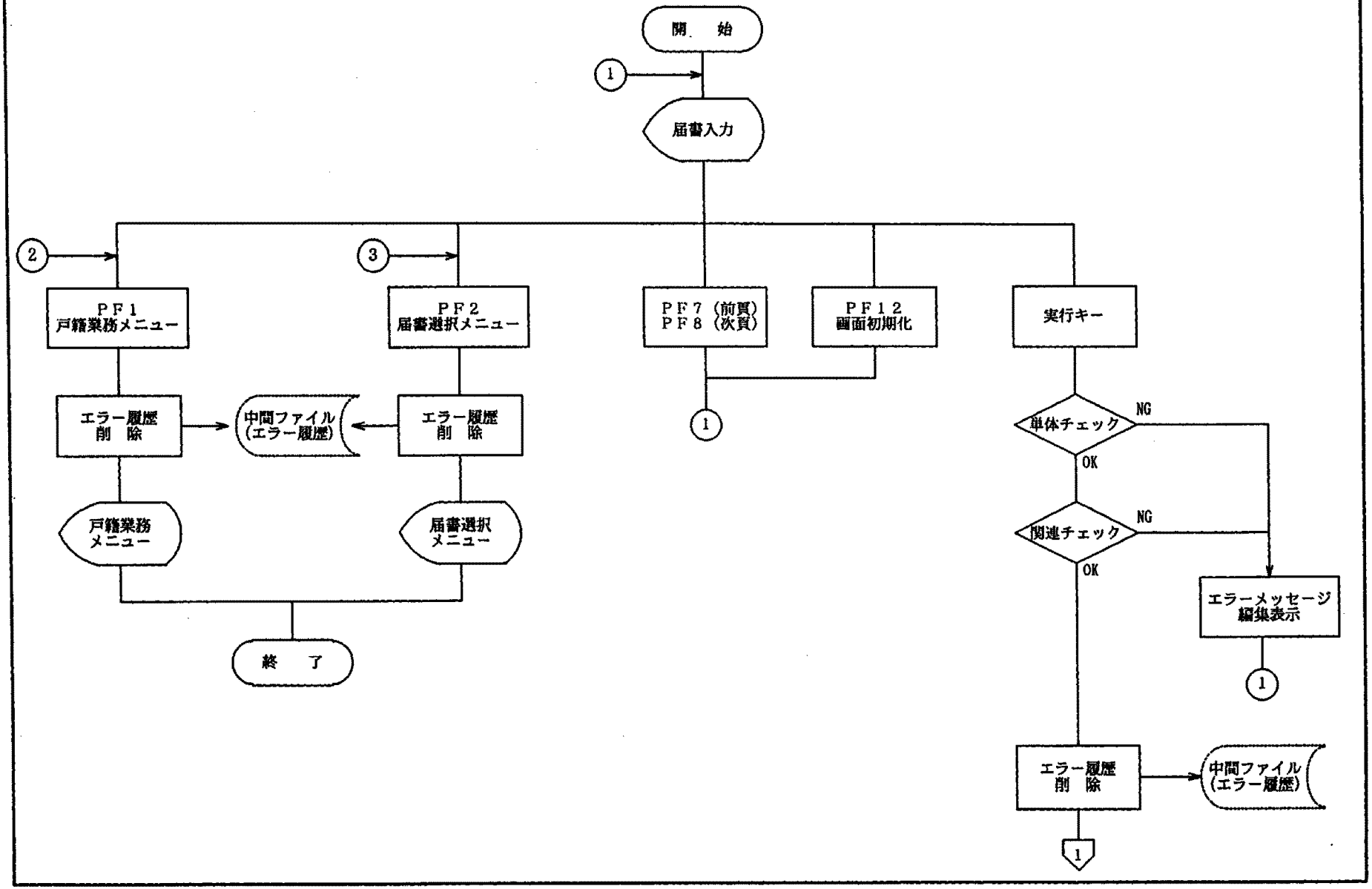
第5 10 (8)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／4

処理名：2.0 エラー履歴一覧画面　　（受取側）エラー履歴一覧画面　　←（引渡側）中間ファイル（エラー履歴一覧）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サーブルーチン	出力形態 Z9..	備考
エラー履歴一覧画面	画面ID		———	画面ID				
	システム日付			システム日付				
	ページ			———			Z9/Z9	
	受領番号		中間ファイル	受領番号				
	届出名		（エラー履歴一覧）	届出選択番号		有		届出選択番号に対応する届出名称
	エラー履歴詳細情報			———				
	一連番号							シーケンス番号を付番
	メッセージコード			メッセージコード				
	応答内容			応答内容				
	メッセージ内容			（メッセージコード）				ﾒｯｾｰｼﾞｺｰﾄﾞに対応するﾒｯｾｰｼﾞ内容

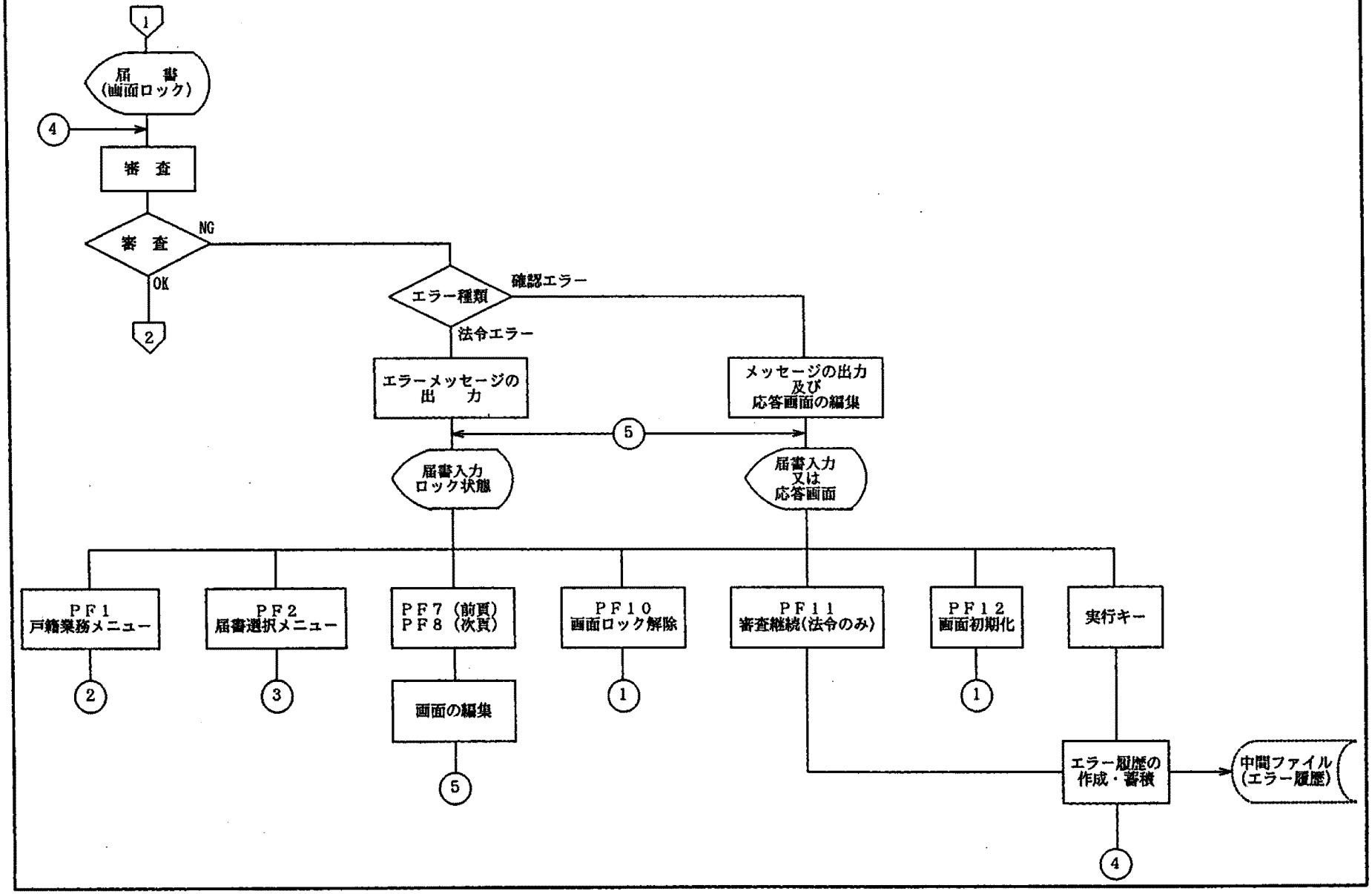
第5-10(8)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／6

処理名 エラー履歴処理フロー

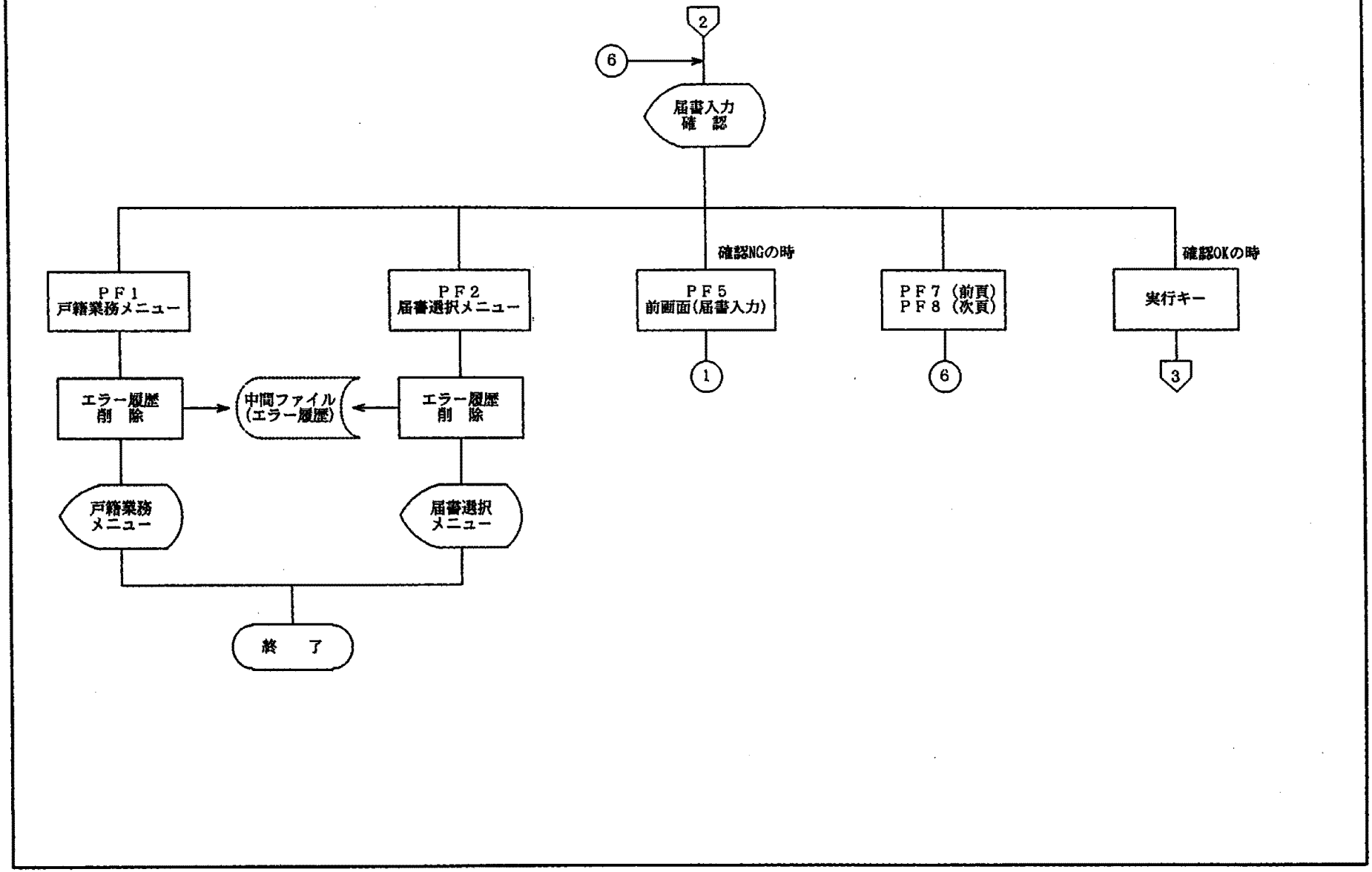


第5-10(8)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／6

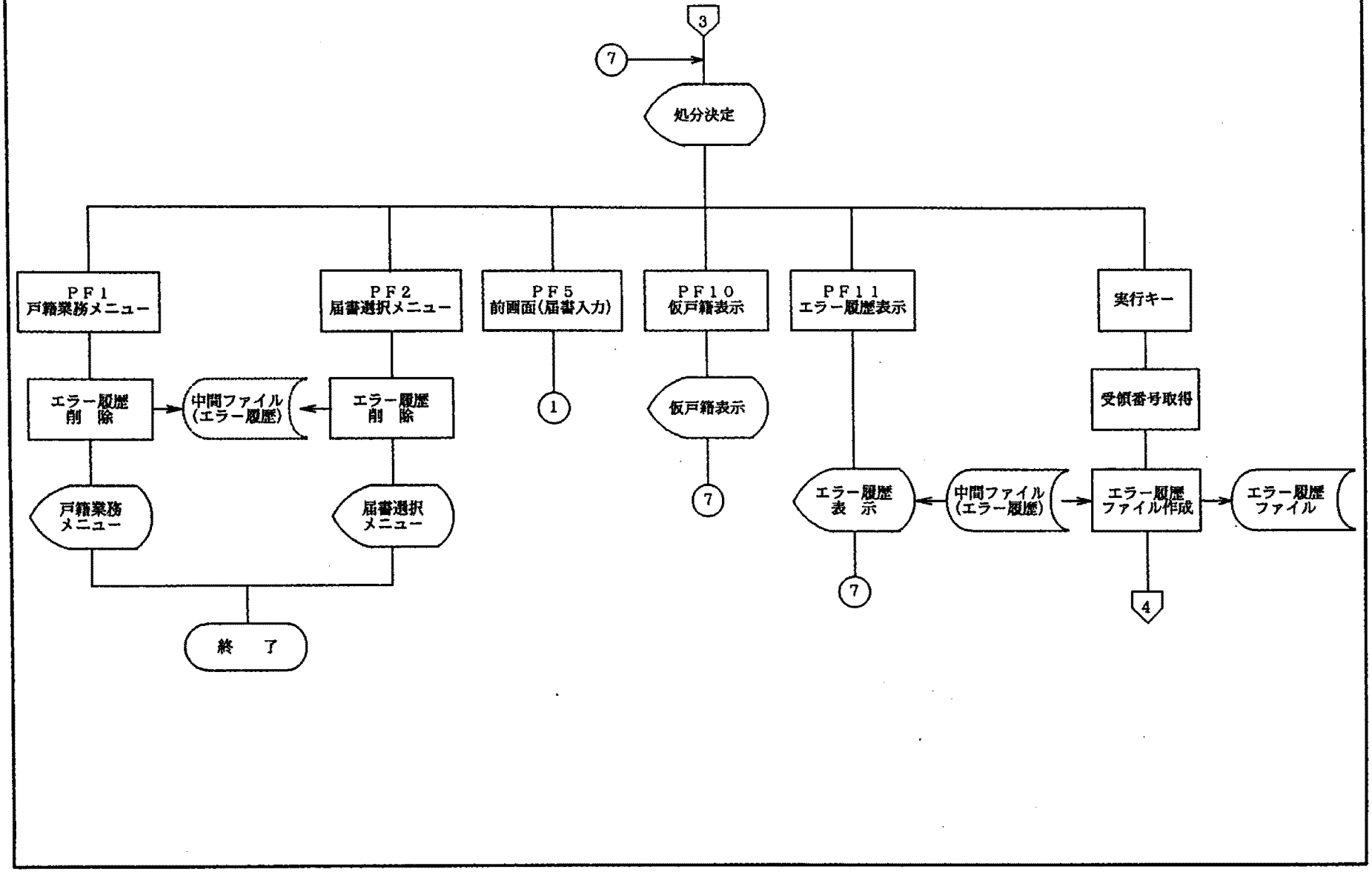
処理名 エラー履歴処理フロー



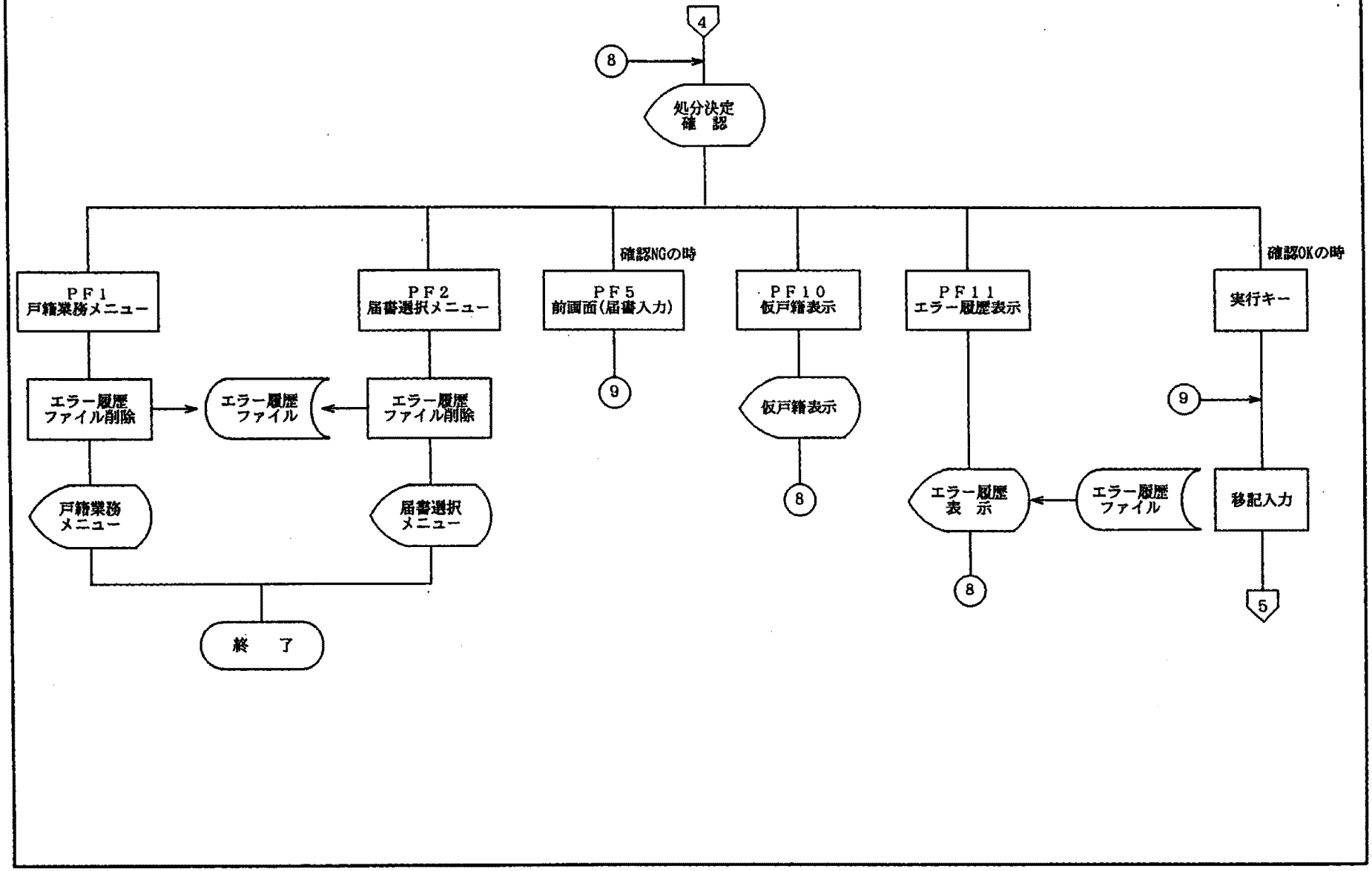
第5 10 (8)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／6
処理名	エラー履歴処理フロー						



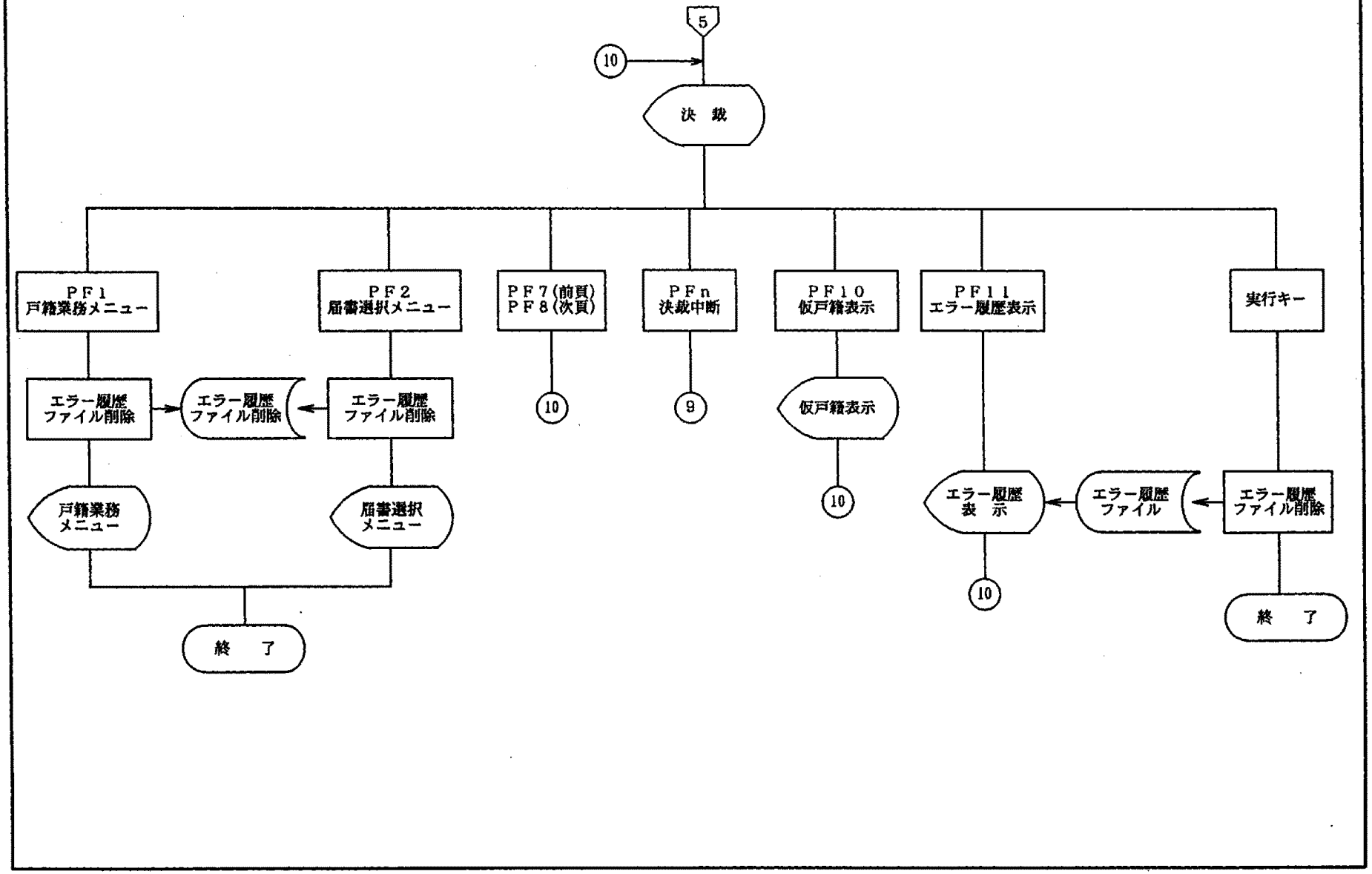
第5-10(8)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／6
処理名	エラー履歴処理フロー						



第5 10 (8)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／6
処理名	エラー履歴処理フロー						



第5-10(8)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／6
処理名	エラー履歴処理フロー						



70402

第7.2.(9)

「移記事項入力」処理

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(9) (移記事項入力処理)	成年後見法施行によるシステムの対応 1. 身分事項「4101:未成年者の後見事項」の追加による修正 (1) 身分表示 ・移記すべき身分事項の判断ワークシートに追加	67	
		(2) 身分事項表示 ・単体チェックに追加	76	
		・ファイル仕様書の「記録コード」の補足を修正	77	
		(3) 身分事項事件別入力 ・別紙1(記録)に追加	80-81	
		・別紙2(修正)に追加	82-83	

標準仕様書修正履歴

平成12年3月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(9) (移記事項入力処理)	**処理方法の確定によるシステムの対応** 1.「戸籍誌」第697号(平成12年1月号)の「戸籍相談室」 ・法107条3項届出において新戸籍を編製する際に、従前の戸籍に法107条2項の氏変更記載がある場合はこれを移記する。 (標準仕様書では管外からの転籍による新戸籍編製しか、氏変更の移記を許していない) (1)「移記:戸籍事項表示」の審査 ・チェック内容の変更 ・エラーメッセージの変更(コード:E03009)	29	

標準仕様書修正履歴

平成16年7月

項番	業務(届書)名	修正内容	ページ	添付資料NO
1	第7.2.(9) (移記事項入力処理)	平成15年法律第111号3条によるシステムの対応 1.身分事項「7003:平成15年法律第111号3条」の追加による修正 (1)身分表示 ・移記すべき身分事項の判断ワークシートに追加	67	
		(2)身分事項表示 ・単体チェックに追加 ・ファイル仕様書の「記録コード」の補足を修正	76 77	
		(3)身分事項事件別入力 ・別紙1(記録)に追加 ・別紙2(修正)に追加	80-81 82-83	

標準仕様書修正履歴

平成19年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(9) (移記事項入力処理)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．要件定義ワークシート (1) 4．0 審査 選択事件コードより 0701:法73条の2 1101:法77条の2 2901:法107条2項 3001:法107条3項　　を削除	029	

標準仕様書修正履歴

平成30年3月

項番	業務(届書)名	修　正　内　容	ページ	添付資料NO
1	第7．2．(9) (移記事項入力処理)	標準仕様書見直しによるシステムの対応 1．データ編集表 6.1仮戸籍ファイル(仮戸籍事項情報)編集・出力 ①(移記11) 以下項目名称の誤記を修正 「戸籍特定DB情報」→「戸籍事項DB情報」	012	

第2.3(1)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記事項入力処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／3

1．仮戸籍ファイル及び中間ファイル（仮戸籍）の管理情報

①戸籍特定情報

・戸籍編製区分（届出による戸籍の動き） ⇨ ・「移記戸籍選択」：編製状態の表示
・「移記：戸籍事項表示」：新戸籍編製かどうかの判定

1：新戸籍編製
2：全部除籍
3：変動なし
4：新戸籍編製・全部除籍

②戸籍事項情報

・戸籍事項記録区分 ⇨ 「移記：戸籍事項表示」：処理できるかどうかの判定

0：既存の記録
1：審査処理で記録
2：移記処理で記録

③個人特定情報

・個人異動区分（届出による個人の動き） ⇨ ・「移記戸籍構成員一覧」：変動状態の表示
・「移記：戸籍事項表示」：処理できるかどうかの判断

0：（記録なし）
1：記録
2：入籍
3：除籍
4：入籍除籍

・個人異動形態区分 ⇨ 未使用

0：異動なし
1：本→本の異動
2：非→本の異動
3：本→非の異動

個人異動区分 と 個人異動形態区分 の関係

2：入籍 ― 1：本→本の異動
2：非→本の異動
3：除籍 ― 2：非→本の異動
3：本→非の異動

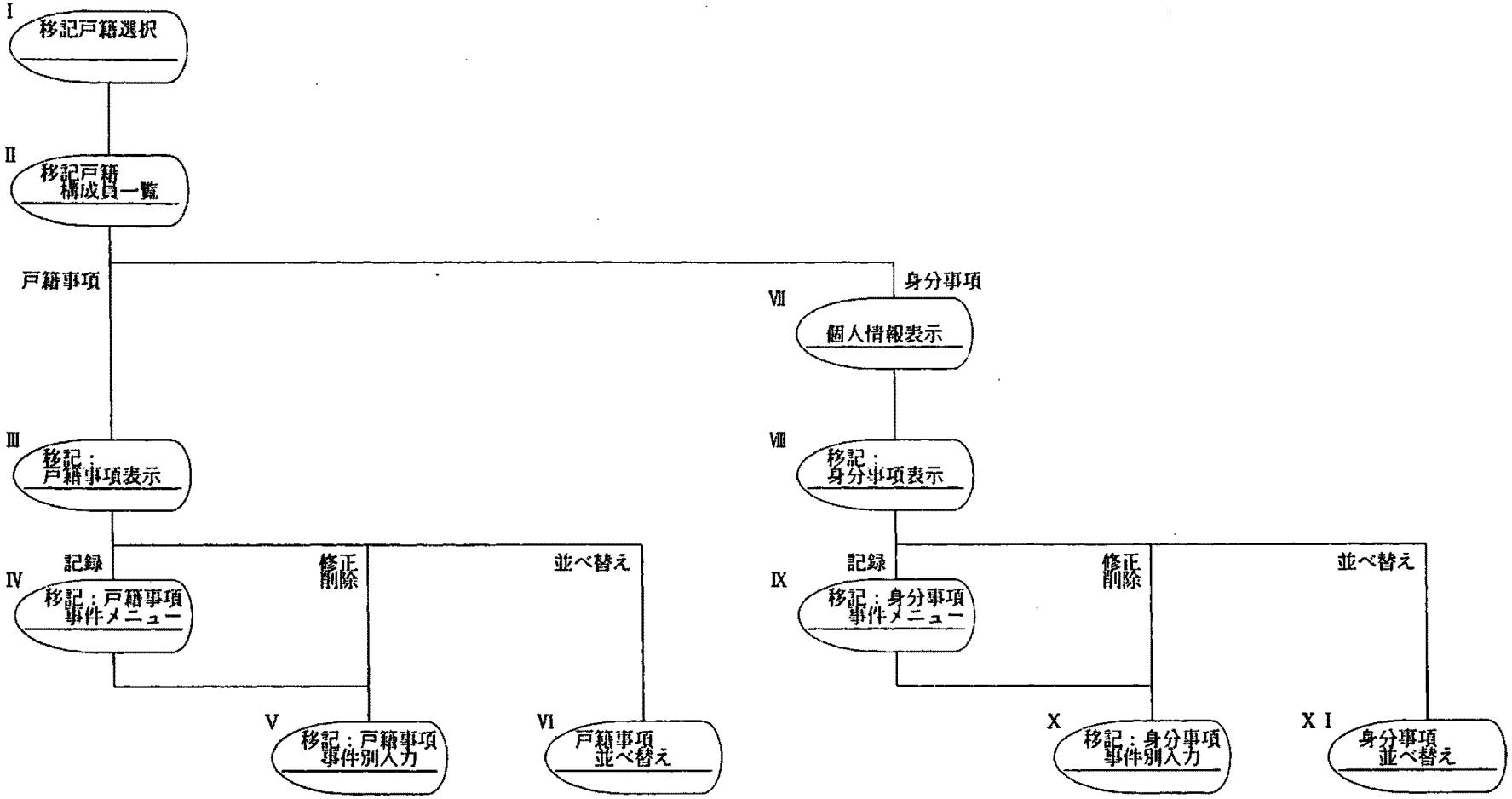
④身分事項情報

・身分事項記録区分 ⇨ 「移記：身分事項表示」：処理できるかどうかの判定

0：既存の記録
1：審査処理で記録
2：移記処理で記録

第2章3節（1）	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記事項入力処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／3

2．画面展開図



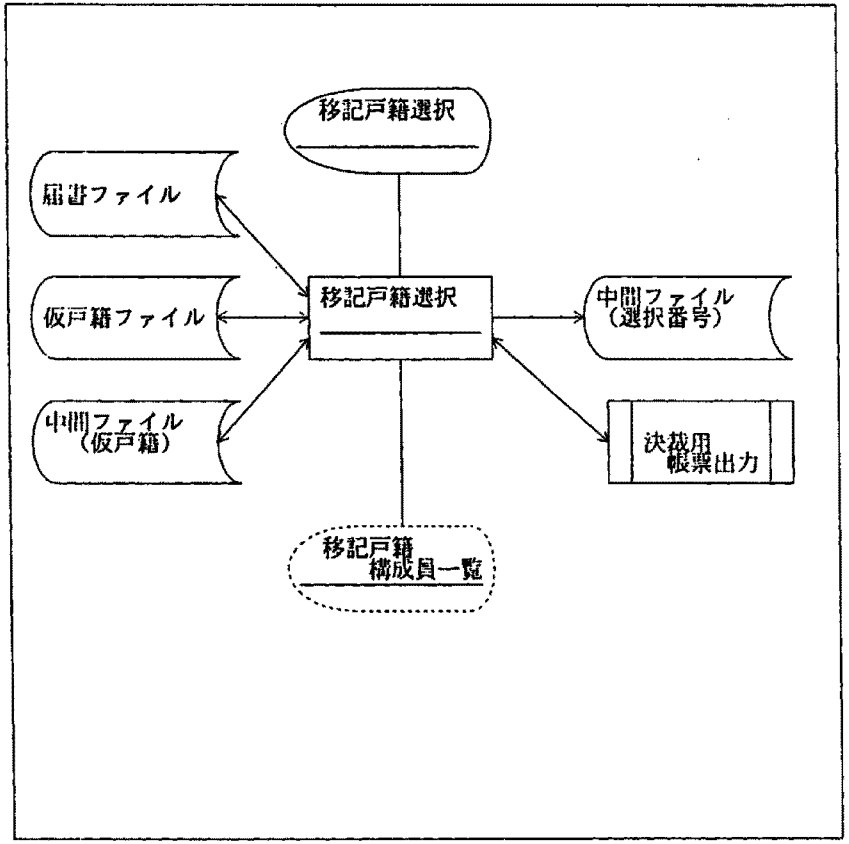
第2 3 (1)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記事項入力処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／3

1. PFキー一覧

画面名 / PFキー	I 移記戸籍選択	II 移記戸籍構成員一覧	III 移記：戸籍事項 表示	IV 移記：戸籍事項 事件メニュー	V 移記：戸籍事項 事件別入力	VI 移記：戸籍事項 並べ替え	VII 個人情報表示	VIII 移記：身分事項 表示	IX 移記：身分事項 事件メニュー	X 移記：身分事項 事件別入力	XI 移記：身分事項 並べ替え	備考
PF1	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	処理中止
PF2		I移記戸籍選択	I移記戸籍選択	I移記戸籍選択	I移記戸籍選択	I移記戸籍選択	I移記戸籍選択	I移記戸籍選択	I移記戸籍選択	I移記戸籍選択	I移記戸籍選択	処理中止
PF3												
PF4				II移記戸籍構成員一覧		II移記戸籍構成員一覧		II移記戸籍構成員一覧				各処理終了
PF5		I移記戸籍選択	II移記戸籍構成員一覧	III移記：戸籍事項表示	・記事録件：IVメニュー ・訂正：III表示	III移記：戸籍事項表示	II移記戸籍構成員一覧	VIII個人情報表示	VIII移記：身分事項表示	・記事録件：IXメニュー ・訂正：VIII表示	VIII移記：身分事項表示	前画面へ
PF6												
PF7	前頁	前頁	前頁		前頁	前頁		前頁		前頁	前頁	
PF8	次頁	次頁	次頁		次頁	次頁		次頁		次頁	次頁	
PF9	処理後業務選択又はI				処理後IV又はIII	処理後III表示	処理後VIII表示			処理後IX又はVIII	処理後VIII表示	処理後次処理
PF10		戸籍事項前頁										
PF11		戸籍事項次頁										
PF12	入力画面初期化				記録：入力画面初期化					記録：入力画面初期化		画面初期化
実行キー	II移記戸籍構成員一覧	・戸籍：戸籍事項 ・戸籍構成分人：事項 III・VII身個人表示	・IVメニュー ・V入力 ・VI並べ替え	V移記：戸籍事項事件別入力	記録，訂正：入力項目チェック	並べ替えチェック	更正（訂正）項目チェック	・IXメニュー ・X入力 ・XI並べ替え	X移記：身分事項事件別入力	記録，訂正：入力項目チェック	並べ替えチェック	入力チェック等

第2章（2）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／11

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
届書ファイル	入出力		
仮戸籍ファイル	入出力		
中間ファイル（仮戸籍）	出力		
中間ファイル（選択番号）	出力		

3．処理概要

(1)戸籍業務メニューから制御が渡ってきた場合（２線式）
(1)-1入力された受領番号から移記戸籍の一覧を画面に表示する
(1)-2処理する移記戸籍の明細番号を選択入力する
(1)-3移記戸籍構成員一覧に制御を渡す
〔仮戸籍ファイルから中間ファイル（仮戸籍）を作成する〕

(2)処分決定処理から制御が渡ってきた場合（１線式）
(2)-1渡ってきた受領番号を画面に表示する
(2)-2実行キーにより移記戸籍の一覧を画面に表示する
(2)-3処理する移記戸籍の明細番号を選択入力する
(2)-4移記戸籍構成員一覧に制御を渡す
〔仮戸籍ファイルから中間ファイル（仮戸籍）を作成する〕

(3)(1)または(2)以外で移記事項入力処理の各処理から制御が渡ってきた場合
(3)-1決裁用帳票出力区分が『要（１）』の場合，決裁用帳票を出力する
(3)-2移記事項入力処理の各処理で更新を行った中間ファイル（仮戸籍）から仮戸籍ファイルを更新する
(3)-3戸籍業務メニューに制御を渡す又は移記戸籍選択処理の当初画面を表示する

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データ編集（届書ファイル）
- 2.0 データ編集（中間ファイル／仮戸籍）
- 3.0 データ編集（移記戸籍一覧画面）
- 4.0 単体チェック
- 5.0 データ編集（中間ファイル／選択番号）〔作成〕
- 6.0 データ編集（仮戸籍ファイル）
  - 6.1 戸籍事項情報
  - 6.2 個人特定情報
  - 6.3 身分事項情報

5．備考（特記事項含む）

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／11

処理名						0．0 本紙			備考
(1) 処分決定処理から制御が渡って来たか？（YES，NO）							／		処分決定処理からの場合（1線式）も，一度受領番号のみを表示する．その後，実行キーにより検索を開始する
YES	(2) 処分決定処理からの受領番号を画面に表示する							(3) 同画面を編集する	
NO	→								
(4) キー選択（実行キー，PF1，PF12，その他）							／		
実行キー	(5) 戸籍業務選択処理または処分決定処理から制御が渡って来た，または移記事項入力処理内の各プロセスからPF2（処理中止）により制御が渡って来たか？（YES，NO）						／		各プロセスからのPF2による処理中止の場合は，画面を初期化し，中間ファイルをすべて削除後，当プロセスの最初から処理を開始する
	YES	(6) 受領番号に該当する仮戸籍ファイルを読む					／		（中間ファイル（仮戸籍）がない場合）
		(7) 仮戸籍ファイルはあるか？（YES，NO）					／		
		YES	(8) 受領番号に該当する届書ファイルを読む				／		
			(9) 届書ファイルはあるか？（YES，NO）				／		
			YES	(10)「届書排他区分」は'0'となっているか？ また，「審査結果入力」処理及び「訂正・更正・追完」処理で作成された届書ファイルでないこと （YES，NO）			／		：「審査結果入力」処理及び「訂正・更正・追完」処理で作成された仮戸籍ファイルは，移記処理では，更新できない
				YES	(11)届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'1'を設定する [1.0]		／		：届書ファイルに排他制御をかける
				NO	(12)エラーメッセージ「入力された受領番号の届書は他の業務で処理中となっています。」を表示する			(13)同画面を編集する	
			NO		(14)ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ「届書が存在しません。受領番号を確認して下さい。」を表示する			(15)同画面を編集する	
			(16)受領番号に該当する仮戸籍ファイルを中間ファイル（仮戸籍）に複写する [2.0]				／		
			(17)受領番号に該当する戸籍の「戸籍特定情報」を中間ファイル（仮戸籍）から全件読む				／		
				(18)移記戸籍選択画面を編集する [3.0]				(19)同画面を編集する	：複数画面を考慮する
		NO	(20)エラーメッセージ「表示する移記戸籍は有りません。」を表示する					(21)同画面を編集する	
	NO	(22)メッセージ「決裁用帳票が必要ならば出力区分を入力し仮戸籍を更新して下さい。」を表示する 画面「決裁用帳票出力区分」に'1'（要）を表示する						(23)同画面を編集する（メッセージ表示）	移記事項処理内の各画面から制御が渡って来た場合，終了処理を行う（中間ファイル（仮戸籍）がある場合）
	(24)キー選択（実行キー，PF1，PF7，PF8，PF9，PF12，その他）						／		
	実行キー	(25)選択番号のチェックをする（OK：YES，NG：NO） [4.0]					／		
		YES	(26)選択した番号を中間ファイル（選択番号）を編集・出力する [5.0]					(27)移記戸籍構成員一覧に制御を渡す	
		NO	(28)単体チェックで編集したメッセージを表示する					(29)同画面を編集する	

005

第2(33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／11

処理名		0．0 本紙			備考
	PF1	(30)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する，届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0' を設定する		(31)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	PF7	(32)前ページがあるか？（ある：YES，ない：NO）	／	(33)同画面を編集する	
		YES (34)前ページ分の移記戸籍選択を表示する			
		NO (35)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
	PF8	(36)次ページがあるか？（ある：YES，ない：NO）	／	(37)同画面を編集する	
		YES (38)次ページ分の移記戸籍選択を表示する			
		NO (39)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
	PF9	(40)中間ファイル（仮戸籍）から仮戸籍ファイルを更新する [6.1][6.2][6.3]	／		
		(41)中間ファイル（仮戸籍）を削除する	／		
		(42)届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0' を設定する	／		
		(43)決裁用帳票出力区分が '1' か？ （YES，NO）	／		
		YES (44)『決裁用帳票出力処理』に帳票出力指示する		(45)決裁用帳票出力処理に制御を依頼する	
		→		(46) ①戸籍業務選択処理から制御が渡ってきた場合，当プロセスの初期画面を表示する ②戸籍業務選択処理から制御が渡ってきた場合に処理区分が決定して来た場合に戸籍業務選択処理に制御を渡す	：①画面を初期化し，中間ファイルをすべて削除する 当初どこから制御が渡ってきたかにより処理後の表示画面が異なる
		NO →			
	PF12	(47)入力画面を初期化し，中間ファイルをすべて削除する		(48)同画面を編集する	
	その他	(49)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			
PF1		(50)当業務処理前に既に届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'1' が設定されていた		(51)業務選択に制御を渡す	：(14)のエラー時，区分は解除しない
	YES	(52)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する			「処理中止」
	NO	(53)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する，届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0' を設定する			「処理中止」「届書ロック解除」
PF12		(54)入力画面を初期化し，中間ファイルをすべて削除する		(55)同画面を編集する	
その他		(56)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

70414

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／11

処理名	1.0 届書ファイル 編集・出力	(受取側) 届書ファイル	← (引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	
届書ファイル 共通	受領番号							
	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	更正区分							
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							項目省略
	不受理申出処分区分							
	処分区分							
	決裁区分							
	届書排他区分			「1」				0：未，1：排他 届書ファイルにロックをかける

007

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／11

処理名	2.0 中間ファイル（仮戸籍）編集・出力	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）	←（引渡側）仮戸籍ファイル

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾆﾀﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	備考
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍） 戸籍特定情報	管理情報		仮戸籍ﾌｧｲﾙ 戸籍特定情報	管理情報				具体的な項目は省略
	戸籍特定DB内容			戸籍特定DB内容				
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍） 戸籍事項情報	管理情報		仮戸籍ﾌｧｲﾙ 戸籍事項情報	管理情報				具体的な項目は省略
	戸籍事項DB内容			戸籍事項DB内容				
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍） 個人特定情報	管理情報		仮戸籍ﾌｧｲﾙ 個人特定情報	管理情報				具体的な項目は省略
	個人特定DB内容			個人特定DB内容				
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍） 氏名情報	管理情報		仮戸籍ﾌｧｲﾙ 氏名情報	管理情報				具体的な項目は省略
	氏名DB内容			氏名DB内容				
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍） 身分事項情報	管理情報		仮戸籍ﾌｧｲﾙ 身分事項情報	管理情報				具体的な項目は省略
	身分事項DB内容			身分事項DB内容				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／11

処理名：3.0 移記戸籍選択画面表示　　（受取側）移記戸籍選択画面　　←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）

受取側 DB・ファイル名／画面名称	受取側 項目名称		受取側 項目記号名	引渡側 DB・ファイル名／画面名称	引渡側 項目名称		引渡側 項目記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
移記戸籍選択画面	受領番号			中間ファイル（仮戸籍）	受領番号					
	事件名				事件コード			有		
	明細件数1～5	明細番号			――――					：1移記戸籍毎に＋1して表示する
		筆頭者			筆頭者					
		編製日			編製日			有		
		消除日			消除日			有		
		戸籍編製区分名称			戸籍編製区分			有		1：新戸籍編製 2：全部除籍 3：変動なし 4：新戸全除（新戸籍編製・全部除籍）
		本籍			本籍コード			有		
					本籍					
	選択番号				――――					移記戸籍の選択入力
	決裁用帳票出力区分				――――					0：不要，1：要の入力

第2章（5）	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7／11

処理名	画面名	画面ID	
4．0 単体チェック	移記戸籍選択画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	表示している移記戸籍のNoであること（MAX05）	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		

704117

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／11

処理名	5.0 中間ファイル（選択番号）編集・出力	（受取側）中間ファイル（選択番号）	←（引渡側）移記戸籍選択画面，届書ファイル，仮戸籍ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.，	
中間ファイル（選択番号）	受領番号		移記戸籍選択画面	受領番号				
	選択事件コード		届書ファイル	選択事件コード				
	在外送付区分			在外送付区分				
	戸籍 戸籍管理番号		中間ファイル（仮戸籍）戸籍特定情報管理	戸籍管理番号				移記戸籍選択画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル（仮戸籍）の戸籍管理番号を設定する
	戸籍事項 処理区分							
	戸籍事項 明細番号							
	戸籍事項 記録コード							
	個人 個人管理番号							
	身分事項 処理区分							
	身分事項 明細番号							
	身分事項 記録コード							

第 2 3 （ 4 ）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	9／11

処理名	6.1 仮戸籍ﾌｧｲﾙ(戸籍事項情報) 編集・出力	(受取側)仮戸籍ファイル ← (引渡側)中間ファイル(仮戸籍)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	備考
仮戸籍ﾌｧｲﾙ 戸籍事項情報	管理情報		中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 戸籍事項情報	管理情報				具体的な項目は省略
	戸籍事項DB情報			戸籍事項DB情報				

70419

012

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10／11

処理名	6.2 仮戸籍ﾌｧｲﾙ（個人情報情報）編集・出力	（受取側）仮戸籍ファイル	←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）

受取側			引渡側			コード	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
仮戸籍ﾌｧｲﾙ 個人情報情報	管理情報		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍） 個人情報情報	管理情報				具体的な項目は省略
	個人情報DB情報			個人情報DB情報				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11／11

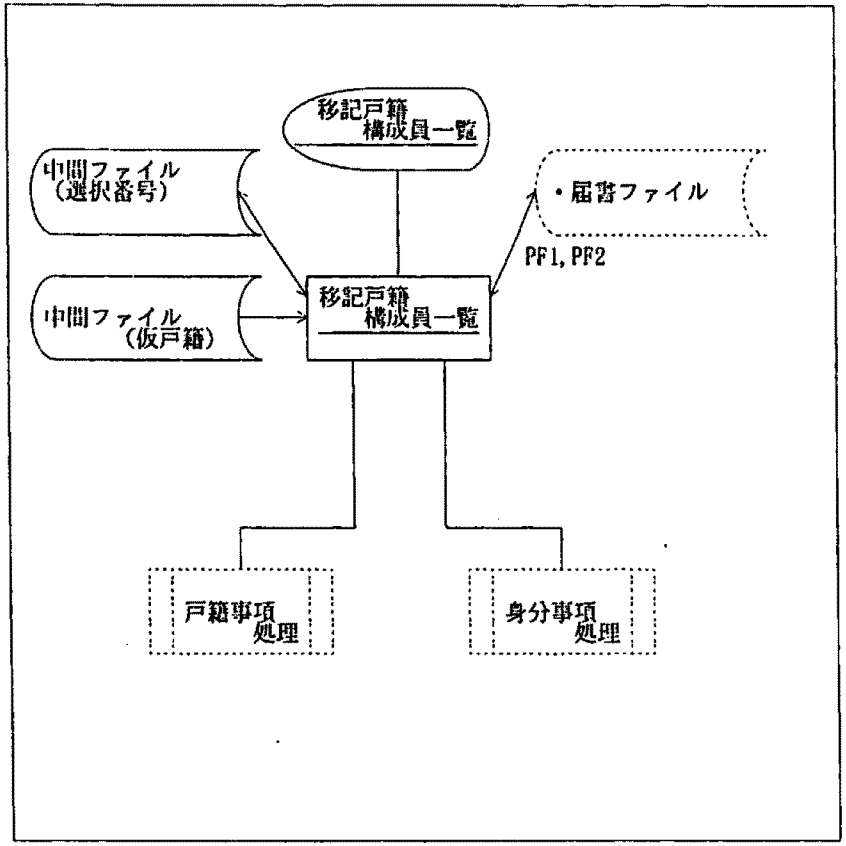
処理名	6.3 仮戸籍ﾌｧｲﾙ（身分事項情報）編集・出力	（受取側）仮戸籍ファイル	←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.，	備考
仮戸籍ﾌｧｲﾙ 身分事項情報	管理情報		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍） 身分事項情報	管理情報				具体的な項目は省略
	身分事項DB情報			身分事項DB情報				

014

第3.2(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／9

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）	入 力		
中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	入出力		

3．処理概要

(1) 中間ファイル（選択番号）の戸籍管理番号をキーに，中間ファイル（仮戸籍）を読み，戸籍事項／身分事項等を編集する

(2) 移記戸籍構成員一覧の表示及び選択番号の入力

(3) 『戸籍事項移記』が選択された場合
(3)-1 戸籍事項処理に制御を渡す

(4) 『身分事項移記』が選択された場合
(4)-1 身分事項処理に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データ編集（移記戸籍構成員一覧画面）
- 2.0 別紙（記録事項チェック）
- 3.0 単体チェック
- 4.0 関連チェック
- 5.0 データ編集（中間ファイル／選択番号）〔更新〕

5．備考（特記事項含む）

70423

第2章（3）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／9

処理名	0．0 本紙 1／2			備考
	(1) 中間ファイル（選択番号）を読む	／		（参）中間ファイル（選択番号） －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ●戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項記録コード ～
	(2) 戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定」情報を中間ファイル（仮戸籍）から読む 該当戸籍の「戸籍事項」「個人特定」「氏名」情報を全件読む	／		
	(3) 移記戸籍構成員一覧画面を編集する [1.0]			別紙 [2.0] で画面を出力する 複数画面を考慮する
	(4) 「戸籍事項情報」「身分事項情報」の記録チェックを行う（OK:YES, NG:NO） 別紙 [2.0]	／		
YES	(5) → (7)	／		
NO	(6) ＦＰ２を無効とする	／		正しい処理を行った後でないと，「移記戸籍選択画面」への戻りは不可とする
	(7) キー選択（実行キー，ＰＦ１，ＰＦ５，ＰＦ７，ＰＦ８，ＰＦ10，ＰＦ11，その他）	／		
実行キー	(8) 入力項目のチェックをする（ＯＫ：ＹＥＳ，ＮＧ：ＮＯ） [3.0] [4.0]	／		
	ＹＥＳ (9) 移記処理区分は何か？（１：戸籍事項移記，２：身分事項移記）	／		
	1 →		(10)移記：戸籍事項表示処理に制御を渡す	
	2 (11)中間ファイル（選択番号）を編集・出力する [5.0]		(12)個人情報表示処理に制御を渡す	
	ＮＯ (13)各チェックで編集したメッセージを表示する			
ＰＦ１	(14)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する		(15)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
ＰＦ２	(16)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する		(17)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
ＰＦ５	(18)前画面へ			「当プロセスのみ処理中止」
ＰＦ７	(19)戸籍構成員の前ページがあるか？（ある：ＹＥＳ，ない：ＮＯ）	／	(20)同画面を編集する	
	ＹＥＳ (21)前ページ分の構成員欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	ＮＯ (22)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
ＰＦ８	(23)戸籍構成員の次ページがあるか？（ある：ＹＥＳ，ない：ＮＯ）	／		
	ＹＥＳ (24)次ページ分の構成員欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	ＮＯ (25)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
ＰＦ10	(26)戸籍事項の前ページがあるか？（ある：ＹＥＳ，ない：ＮＯ）	／		
	ＹＥＳ (27)前ページ分の戸籍事項欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	ＮＯ (28)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			

016

第2章(3節)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／9

処理名	0．0 本紙 2／2			備考
PF11	(29)戸籍事項の次ページがあるか？（ある：YES，ない：NO）	／	(30)同画面を編集する	
	YES (31)次ページ分の戸籍事項欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	NO (32)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
その他	(33)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

70424

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／9

処理名	1.0 移記戸籍構成員一覧画面 編集・出力	(受取側) 移記戸籍構成員一覧画面	←(引渡側) 中間ファイル(仮戸籍)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
移記戸籍構成員一覧画面	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	明細件数1～6 戸籍事項タイトル		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項情報	タイトルコード		有		戸籍事項毎に表示する
	戸籍事項			記録コード		有		1インデックス1明細で表示する (1明細であふれる場合は、複数明細で表示する)
				戸籍事項項目				
	明細件数1～7 明細番号							個人毎に＋1して表示する
	漢字氏名		中間ファイル(仮戸籍) 氏名情報	漢字氏名				
	生年月日		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報	生年月日		有		
	除籍日			除籍日		有		
	父母との続柄			父母との続柄		有		
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	異動区分		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報管理	個人異動区分		有		『入籍』『除籍』『記録』, 『入除』(入籍除籍), 空白 の別で表示
	移記処理区分		――	――				1:戸籍事項移記 2:身分事項移記 の選択入力
	選択番号			――				明細番号の入力

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成 年 月 日	1	5／9

処理名	2．0 別紙 1／2	備考

	(1) 『身分事項処理』の各移記事項入力処理から制御が渡って来たか？（YES，NO） （個人情報表示，移記：身分事項表示，事件メニュー，事件別入力，並べ替えの各移記事項入力処理）	／		（参）中間ファイル（選択番号） －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード	
YES	(2) 個人管理番号に該当する者の「身分事項情報」を中間ファイル（仮戸籍）から全件読む	／			
	(3) 出生事項（子の記録）〔記録コード0101〕が2件以上ないこと，または 認知事項（被認知者の記録）〔記録コード0201〕が2件以上ないこと （YES，NO）			同一事項が記録されていないこと	
	YES (4) → (9)	／			
	NO (5) 確認メッセージ 「出生または認知の記録が2件以上あります。 不要な記録を削除して下さい。」を表示する		(6) 同画面を編集する （確認ﾒｯｾｰｼﾞ 表示）		
	YES (7) → (9)				
	NO →		(8) 同画面を編集する （確認ﾒｯｾｰｼﾞ 表示） 本紙へ	エラー処理（NG）	
	(9) 個人管理番号に該当する者は異動者か？（YES，NO）	／			
	YES (10) 個人管理番号に該当する者の「身分事項情報」を中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）から全件読む	／	(11) 同画面を編集する 本紙へ		
	(12) 移記不要事項がないこと（YES，NO）	／		〔移記不要事項〕については 「移記：身分事項表示」1．1を参照	
	YES (13) → (15)	／			
	NO (14) エラーメッセージ 「移記不要の身分事項があります。 不要な記録を削除して下さい。」を表示する				
	(15)「配偶者区分」が1:夫，2:妻の場合，「婚姻事項」があること（0901）	／			
	YES (16) → (18)	／			
	NO (17) エラーメッセージ 「配偶者区分が夫又は妻となっているにも係わらず， 婚姻事項がありません。」を表示する				
	(18)「配偶者区分」が1:夫，2:妻以外の場合，「婚姻事項」がないこと(0901)	／			
	YES (19) → (21)	／			
	NO (20) エラーメッセージ 「配偶者区分が夫又は妻以外にも係わらず， 婚姻事項があります。」を表示する				

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／9

処理名	2．0 別紙 2／2	備考
	(21)「養父氏名」または「養母氏名」が記録されている場合，「縁組事項」があること (0301:養子の記録) ／	(22)同画面を編集する本紙へ
	YES (23) → (25) ／	
	NO (24)エラーメッセージ「養父又は養母氏名が記録されているにも係わらず，縁組事項がありません。」を表示する	
	(25)「養父氏名」または「養母氏名」が記録されていない場合，「縁組事項」がないこと(0301:養子の記録) ／	
	YES →	
	NO (26)エラーメッセージ「養父又は養母氏名が記録されていないにも係わらず，縁組事項があります。」を表示する	
	NO →	
NO →		

第2 3 (5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7／9

処理名	画面名	画面ID	
3．0 単体チェック	移記戸籍構成員一覧画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	移記処理区分	○	数字	1（戸籍事項移記）または2（身分事項移記）であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	選択番号		数字	表示している移記戸籍の構成員のNo.であること（MAX07）			

第2 3 (6)	データチェック（関連表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／9

処理名	画面名	画面ID	
4．0 関連チェック	移記戸籍構成員一覧画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1) 移記処理区分＝1（戸籍事項移記）のとき (No.2) 選択番号＝スペースであること	「関連エラーがあります。		
2	(No.1) 移記処理区分＝2（身分事項移記）のとき (No.2) 選択番号≠スペースであること	正しく入力して下さい。」		

70429

022

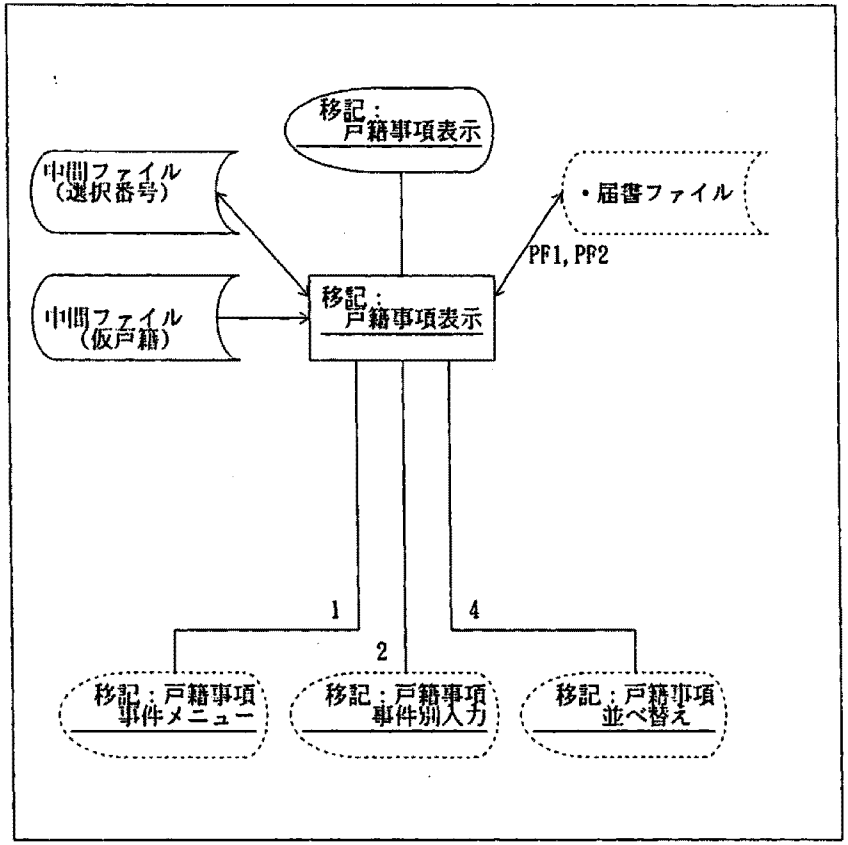
第2-3-(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成 年 月 日	1	9／9

処理名	5.0 中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）編集・出力	（受取側）中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	受領番号							移記戸籍選択画面で設定済
	届出事件コード							移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍 戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項 処理区分							
	戸籍事項 明細番号							
	戸籍事項 記録コード							
	個人 個人管理番号		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）個人特定情報管理	個人管理番号				移記戸籍構成員一覧で入力された選択番号に該当する中間ファイル（仮戸籍）の個人管理番号を設定する
	身分事項 処理区分							
	身分事項 明細番号							
	身分事項 記録コード							

第２３（２）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記：戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／7

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　　称	入出力区分	名　　称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）	入　力		
中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	入出力		

3．処理概要

(1)移記戸籍構成員一覧で入力された「明細番号」（戸籍管理番号）を中間ファイル（仮戸籍）を検索し，該当戸籍の戸籍事項をすべて画面に表示する

(2)選択された「処理番号」から各処理に振り分ける
(2)-1「記録」が選択された場合
移記：戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す
(2)-2「修正」が選択され，「明細番号」が入力された場合
移記：戸籍事項事件別入力処理に「明細番号」と制御を渡す
(2)-3「消除」が選択され，「明細番号」が入力された場合
消除された戸籍事項を高輝度等で表示する
(2)-4「並べ替え」が選択された場合
移記：戸籍事項並べ替え処理に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データ編集（移記：戸籍事項表示画面）
- 2.0 単体チェック
- 3.0 関連チェック
- 4.0 審査
- 5.0 データ編集（中間ファイル／選択番号）〔更新〕

5．備考（特記事項含む）

第32(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成 年 月 日	1	2／7

処理名	0．0 本紙			備考
(1) 中間ファイル（選択番号）を読む		／		(参) 中間ファイル（選択番号） －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ●－戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項記録コード ～
(2) 戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定」情報をファイル（仮戸籍）から読む		／		画面ヘッド部表示
(3) 戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍事項」情報をファイル（仮戸籍）から全件読む				
(4) 移記：戸籍事項表示画面を編集する [1.0]			(5) 同画面を編集する	複数画面を考慮する
(6) キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF5，PF7，PF8，その他）		／		
実行キー	(7) 入力項目のチェック（OK：YES，NG：NO） [2.0] [3.0]	／		
YES	(8) 審査（OK：YES，NG：NO） [4.0]	／		
YES	(9) 処理区分は何か？（1，2，3，4）	／		
1記録	(10)中間ファイル（選択番号）を編集・出力する [5.0]		(11)移記：戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す	
2:修正	(12)中間ファイル（選択番号）を編集・出力する ([5.0])		(13)移記：戸籍事項事件別入力処理に制御を渡す	
3:削除	(14)該当の「戸籍事項」のインデックスを高輝度表示する		(15)同画面を表示する	：中間ファイル（仮戸籍）から削除せず処理終了時(PF5)等で削除する
4並べ替え	⟶		(16)移記：戸籍事項並べ替え処理に制御を渡す	：当プロセスで「削除」した戸籍事項を中間ファイル（仮戸籍）から削除後，制御を渡す
NO	(17)メッセージを表示する		(18)同画面を編集する	
NO	(19)各チェックで編集したメッセージを表示する		(20)同画面を編集する	
PF1	(20)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する		(21)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(23)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する		(24)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF5	(25)前画面へ		(26)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」 ：当プロセスで「削除」した戸籍事項を中間ファイル（仮戸籍）から削除する
PF7	(27)前ページがあるか？（ある：YES，ない：NO）	／	(28)同画面を編集する	
YES	(29)前ページ分の移記：戸籍事項表示画面を表示する			
NO	(30)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(31)次ページがあるか？（ある：YES，ない：NO）	／		
YES	(32)次ページ分の移記：戸籍事項表示画面を表示する			
NO	(33)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
その他	(34)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

第2章3節（4）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／7

処理名：1.0 移記：戸籍事項表示画面 編集・出力　（受取側）移記：戸籍事項表示画面　←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）

受取側 DB・ファイル名／画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名／画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サーブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
移記：戸籍事項表示画面	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル（仮戸籍）戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	明細件数 1～13 ／ 明細番号		中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項情報	――				戸籍事項毎に＋1して表示する
	明細件数 1～13 ／ 戸籍事項タイトル			タイトルコード		有		戸籍事項毎に表示する
	明細件数 1～13 ／ 戸籍事項			記録コード		有		1インデックス1明細で表示する（1明細であふれる場合は複数明細で表示する）
				戸籍事項項目				
				氏変更の種別		有		
	処理区分		――	――				1:記録～4:並べ替え の選択入力
	選択番号			――				明細番号の入力

第2 3 (5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／7

処理名	画面名	画面ID
2．0 単体チェック	移記：戸籍事項表示画面	

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処理区分	○	数字	1（記録） または 2（修正）または 3（削除） または 4（並べ替え） であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	選択番号		数字	表示している戸籍事項のNoであること（MAX13）			

第32(36)	データチェック（関連表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／7

処理名	画面名	画面ID	
3．0 関連チェック	移記：戸籍事項表示画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	（No.1）処理区分＝1（記録）のとき　または （No.1）処理区分＝4（並べ替え）のとき　（No.2）選択番号＝スペース　であること	「関連エラーがあります。 正しく入力してください。」		
2	（No.1）処理区分＝2（修正）のとき　または （No.1）処理区分＝3（削除）のとき　（No.2）選択番号≠スペース　であること			

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	6/7

処理名 4.0 審査

1. 処理区分の審査1

	中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報/管理	中間ファイル(選択番号)	処理区分	
	戸籍編製区分	選択事件コード	1:記録	4:並べ替え
I	1:新戸籍編製	3301:転籍	○	○
		上記以外	× ①	× ①
II	2:全部除籍	−	× ①	× ①
III	3:変動なし	−	× ①	× ①
IV	4:新戸籍編製・全部除籍	−	× ①	× ①

[処理手順]

(1)中間ファイル(選択番号)の戸籍管理番号に該当する
中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報を読む →戸籍編製区分の取得

(2) (1)で取得した区分と移記:戸籍事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する

(2)-1「○」の場合 本紙に戻り、処理区分により次プロセスに制御を渡す

(2)-2「×」の場合
本紙に戻り、該当するエラーメッセージを表示後、同一画面を表示する

・エラーメッセージ
①「この届出では仮戸籍に移記の処理はできません。」

2. 処理区分の審査2

	中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報/管理	中間ファイル(選択番号)	中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報/管理	処理区分	
	戸籍編製区分	選択事件コード	戸籍事項記録区分	2:修正	3:削除
I	1:新戸籍編製	3301:転籍	0:既存の記録 *1	−	−
			1:審査処理で記録	× ①	× ①
			2:移記処理(事件別)で記録	○	○
		上記以外	−	× ②	× ②
II	2:全部除籍	−	−	× ②	× ②
III	3:変動なし	−	−	× ②	× ②
IV	4:新戸籍編製・全部除籍	−	−	× ②	× ②

[処理手順]

(1)中間ファイル(選択番号)の戸籍管理番号に該当する
中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報を読む →戸籍編製区分の取得

(2)移記:戸籍事項表示画面で入力された明細番号に該当する
中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報を読む
→戸籍事項記録区分の取得

(3) (1)及び(2)で取得した区分と移記:戸籍事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する

(3)-1「○」の場合 本紙に戻り、処理区分により次プロセスに制御を渡す

(3)-2「×」の場合
本紙に戻り、該当するエラーメッセージを表示後、同一画面を表示する

・エラーメッセージ
①「審査処理で記録した転籍事項ですので
修正・消除の処理はできません。」
②「この届出では仮戸籍に移記の処理はできません。」

*1:従前が非本籍の戸籍のため、従前の記録は実際はないパターン

第2-3(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7／7

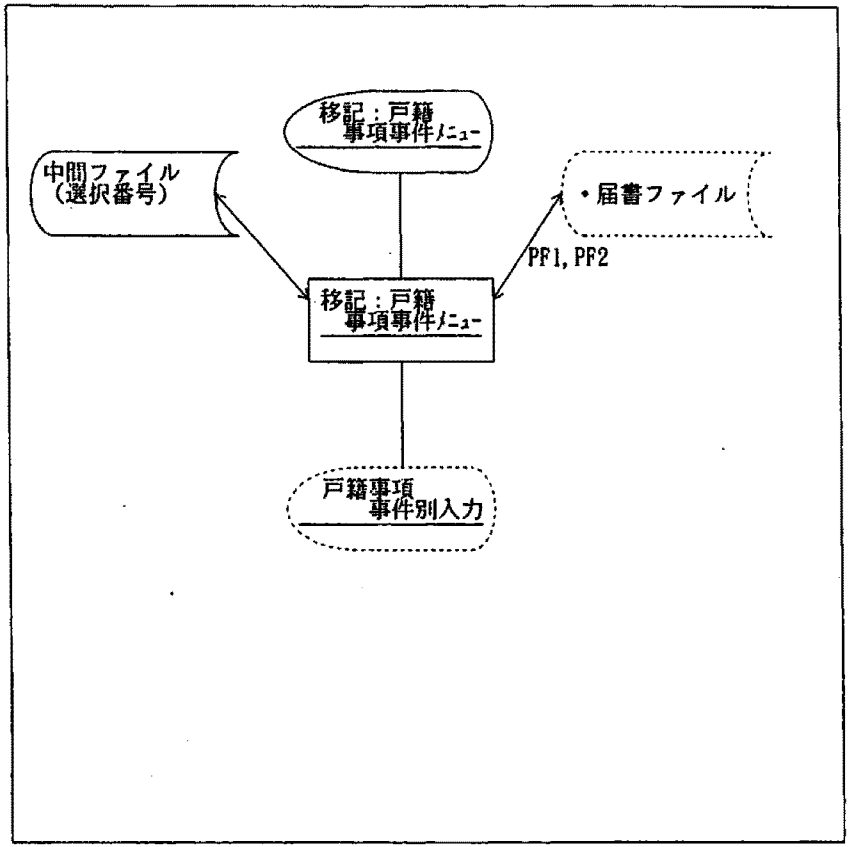
処理名	5.0 中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）編集・出力	（受取側）中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	←（引渡側）移記：戸籍事項表示画面，中間ファイル（仮戸籍）

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	受領番号							移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード							移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍 戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項 処理区分		移記：戸籍事項表示画面	処理区分				
	戸籍事項 明細番号		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）戸籍事項情報	明細番号				処理区分が2：修正，3：削除の場合に，移記：身分事項表示画面で選択された戸籍の明細番号を中間ファイル（仮戸籍）に設定する
	戸籍事項 記録コード			記録コード				処理区分が2：修正，3：削除の場合に，移記：身分事項表示画面で選択された戸籍の記録コードを中間ファイル（仮戸籍）に設定する
	個人 個人管理番号							
	身分事項 処理区分							
	身分事項 明細番号							
	身分事項 記録コード							

030

第2章（2）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記：戸籍事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／5

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	入出力		

3．処理概要

(1)移記：戸籍事項事件メニュー画面を表示する

(2)入力された「選択番号」から移記：戸籍事項事件別入力処理に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データ編集（移記：戸籍事項事件メニュー画面）
- 2.0 単体チェック
- 3.0 データ編集（中間ファイル／選択番号）〔更新〕

5．備考（特記事項含む）

70439

第2 33 (33)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／5

処理名	0．0 本紙			備考
(1) 中間ファイル（選択番号）を読む		／		(参) 中間ファイル（選択番号） －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 －戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項記録コード ～
(2) 戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定」情報を中間ファイル（仮戸籍）から読む		／		画面ヘッド部表示
(3) 移記：戸籍事項事件メニュー画面を出力する	[1.0]		(4) 同画面を編集する	
(5) キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF4，PF5，その他）		／		
実行キー	(6) 入力項目のチェック（OK：YES，NG：NO）	[2.0]	／	
	YES (7) 中間ファイル（選択番号）を編集・出力する	[3.0]		(8) 移記：戸籍事項事件別入力処理に制御を渡す
	NO (9) チェックで編集したメッセージを表示する			(10)同画面を編集する
PF1	(11)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する			(12)業務選択に制御を渡す 「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(13)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する			(14)移記戸籍選択処理に制御を渡す 「処理中止」「届書ロック解除」
PF4	→			(15)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す 「処理終了」
PF5	(16)前画面へ			(17)移記：戸籍事項表示処理に制御を渡す 「当プロセスのみ処理中止」
その他	(18)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

032

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／5

処理名	1.0 移記：戸籍事項事件メニュー編集・出力	(受取側) 移記：戸籍事項事件メニュー画面	←(引渡側) 中間ファイル(仮戸籍)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	備考
移記：戸籍事項事件メニュー画面	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	
	編製日		中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	選択番号			――				明細番号の入力

033

第2 (3/5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／5

処理名	画面名	画面ID
2．0 単体チェック	移記：戸籍事項事件メニュー画面	

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	1（氏の変更）はたたたたたたたたであること 2（1077条2項） 3（1077条3項） 4（1103条4項） 5（7条2） 6（6条2） 7（7条2） 8（75条2）	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		

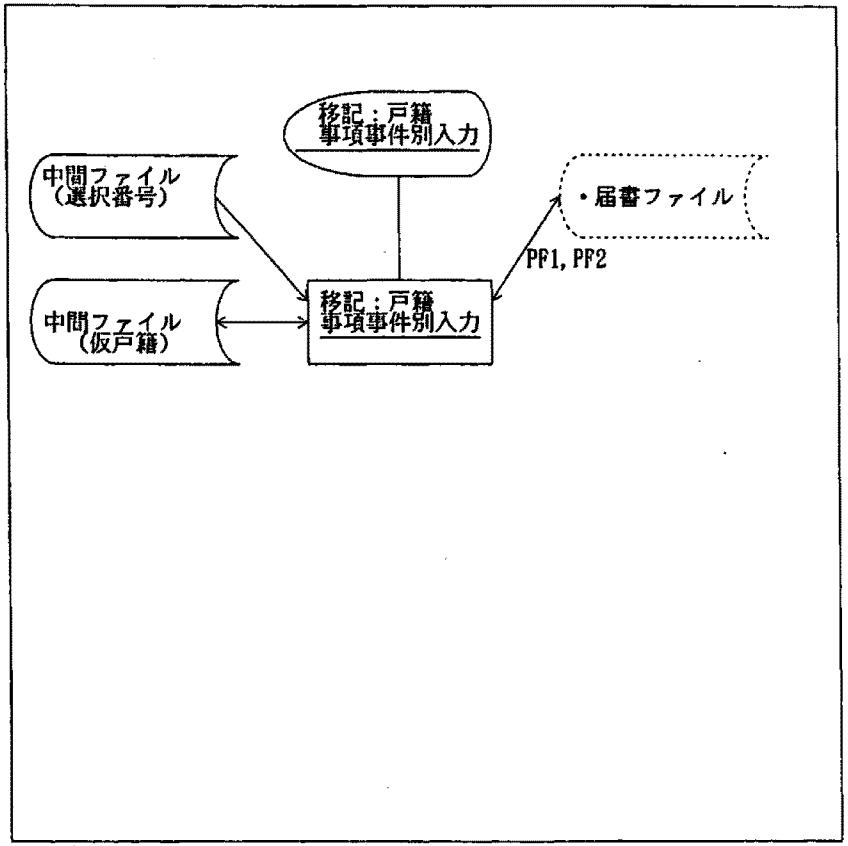
第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項届出メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／5

処理名	3.0 中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）編集・出力	（受取側）中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	←（引渡側）移記：戸籍事項届出メニュー画面

受取側				引渡側				コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目			変換有無 ｻﾝﾌﾟﾙｰﾁﾝ	Z9.,	備考
		名称	記号名		名称	記号名				
中間ﾌｧｲﾙ （選択番号）		受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
		選択事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
		在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分								移記：戸籍事項表示画面で設定済 （1：記録）
		明細番号								
		記録コード		移記：戸籍事項 届出ﾒﾆｭｰ画面	（選択番号）					－選択番号＝1（氏の変更）の場合，'2801'を設定 －選択番号＝2（107条2項）の場合，'2901'を設定 －選択番号＝3（107条3項）の場合，'3001'を設定 －選択番号＝4（107条4項）の場合，'3101'を設定 －選択番号＝5（73条の2）の場合，'0701'を設定 －選択番号＝6（69条の2）の場合，'0801'を設定 －選択番号＝7（77条の2）の場合，'1101'を設定 －選択番号＝8（75条の2）の場合，'1201'を設定
	個人	個人管理番号								
	身分事項	処理区分								
		明細番号								
		記録コード								

第2章（2）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記：戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／4

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	入力		
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）	入出力		

3．処理概要

(1)中間ファイル（選択番号）を読み込む
(2)『戸籍事項処理区分』から記録，修正，削除の処理を行う
(3)『戸籍事項処理区分』が『記録』の場合
　(3)-1「戸籍事項記録コード」から該当事件の入力画面を出力する
　(3)-2入力項目のチェックを行う
　(3)-3中間ファイル（仮戸籍）の戸籍事項情報に入力した戸籍事項を追加する
(4)『戸籍事項処理区分』が『修正』の場合
　(4)-1「戸籍事項明細番号」「戸籍事項記録コード」から該当事件の修正画面を出力する
　(4)-2入力項目のチェックを行う
　(4)-3中間ファイル（仮戸籍）の該当戸籍事項情報の更新を行う

4．機能体系（要件定義書の構成）

- 0.0 本紙
  - 1.0 別紙1（記録）
    - 1.1.2801 事件別 入力画面の表示
    - 1.2.2801 事件別 入力項目のチェック
    - 1.3.2801 事件別 中間ファイル（仮戸籍）への追加
  - 2.0 別紙2（修正）
    - 2.1.2801 事件別 修正画面の表示
    - (1.2.2801) 事件別 修正項目のチェック
    - (1.3.2801) 事件別 中間ファイル（仮戸籍）の修正

5．備考（特記事項含む）

036

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／4

処理名	0．0 本紙			備考
(1) 中間ファイル（選択番号）を読む		／		(参) 中間ﾌｧｲﾙ（選択番号） －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ●戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項記録コード ～
(2) 戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定情報」を中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）から読む		／		画面ヘッド部表示
(3) 戸籍事項処理区分は何か？（1：記録，2：修正）		／		
1	(4) 戸籍事項の「記録」の処理を行う	別紙 [1.0] ／		
2	(5) 戸籍事項の「修正」の処理を行う	別紙 [2.0] ／		

第32(3)(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成 年 月 日	1	3／4

処理名	1．0 別紙1（記録）			備考
(1) 戸籍事項記録番号は何か？（2801, 2901, 3001, 3101, 0701, 0801, 1101, 1201）		／		（参）中間ファイル（選択番号） －受領番号 －選択事件コード －在外送信付区分 －戸籍事項管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 ●戸籍事項記録コード
2801 氏の変更（107条1項）	(2) 戸籍事項事件別入力画面を編集する（入力画面） [1.1.2801]	／		
	(3) ｷｰ選択（実行ｷｰ，ＰＦ1，ＰＦ2，ＰＦ5，ＰＦ9，ＰＦ12，その他）	／		
実行ｷｰ	(4) 入力項目のチェック（OK：YES，NG：NO） [1.2.2801]	／		
YES	→		(5) 同画面を編集する	
NO	(6) チェックで編集したメッセージを表示する			
ＰＦ1	(7) 中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する，届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に‘0’を設定する		(8) 業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
ＰＦ2	(9) 中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する，届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に‘0’を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
ＰＦ5	(11)前画面へ		(12)移記：戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
ＰＦ9	(13)入力項目が，すべてチェックされているか？（YES，NO）	／		
YES	(14)入力画面から戸籍事項を編集し，中間ファイル（仮戸籍）に〔戸籍事項情報〕を追加する [1.3.2801]		(15)移記：戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す	※ 入力項目が未チェックのままＰＦ9が押下されないこと：転籍事項の1つ前に格納する
NO	(16)エラーメッセージ「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する		(17)同画面を編集する	
ＰＦ12	(18)画面を初期化する		(19)同画面を編集する	
その他	(20)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			
2901	※と同様の処理を行う	／		107条2項の処理
3001	※と同様の処理を行う	／		107条3項の処理
3101	※と同様の処理を行う	／		107条4項の処理
0701	※と同様の処理を行う	／		73条の2の処理
0801	※と同様の処理を行う	／		69条の2の処理
1101	※と同様の処理を行う	／		77条の2の処理
1201	※と同様の処理を行う	／		75条の2の処理

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／4

処理名	2．0 別紙2（修正）			備考
(1) 戸籍事項記録番号は何か？（2801, 2901, 3001, 3101, 0701, 0801, 1101, 1201）		／		(参) 中間ﾌｧｲﾙ（選択番号） －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 －戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 ●戸籍事項明細番号 ●戸籍事項記録コード
2801 氏の変更（107条1項）	(2) 戸籍事項明細番号に該当する戸籍事項を中間ファイル（仮戸籍）の戸籍事項情報から取得し，戸籍事項事件別入力画面を編集する（修正画面） [2.1.2801]	／		
	(3) ｷｰ選択（実行ｷｰ，ＰＦ１，ＰＦ２，ＰＦ５，ＰＦ９，その他）	／		
	実行ｷｰ (4) 入力項目のチェック（OK：YES，NG：NO） ([1.2.2801])	／		
	YES →		(5) 同画面を編集する	
	NO (6) チェックで編集したメッセージを表示する			
	ＰＦ１ (7) 中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する，届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に‘0’を設定する		(8) 業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	ＰＦ２ (9) 中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する，届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に‘0’を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	ＰＦ５ (11)前画面へ		(12)移記：戸籍事項表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
	ＰＦ９ (13)入力項目はすべてチェックされているか？（YES，NO）	／		入力項目が未チェックのまま
	YES (14)中間ファイル（仮戸籍）の〔戸籍事項情報〕を修正する ([1.3.0101])		(15)移記：戸籍事項表示処理に制御を渡す	※：ＰＦ９が押下されないこと ：身分事項情報の管理部，共通部は更新しない
	NO (16)エラーメッセージ「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する		(17)同画面を編集する	
	その他 (18)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(19)同画面を編集する	
2901	※と同様の処理を行う	／		１０７条２項の処理
3001	※と同様の処理を行う	／		１０７条３項の処理
3101	※と同様の処理を行う	／		１０７条４項の処理
0701	※と同様の処理を行う	／		７３条の２の処理
0801	※と同様の処理を行う	／		６９条の２の処理
1101	※と同様の処理を行う	／		７７条の２の処理
1201	※と同様の処理を行う	／		７５条の２の処理

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／8

処理名	1.1.2801 移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更）編集・出力1／2	（受取側）移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更）←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）戸籍特定情報

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.，	
移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更1／2）	現ページ／総ページ		―――	―――			Z9/Z9	未使用
	編製日		中間ファイル（仮戸籍）戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	氏変更日		―――	―――				
	氏変更の事由		中間ファイル（選択番号）	（戸籍事項記録コード）				出力項目 － '2801'（氏の変更）の場合，'1'を設定 － '2901'（107条2項）の場合，'2'を設定 － '3001'（107条3項）の場合，'3'を設定 － '3101'（107条4項）の場合，'4'を設定 － '0701'（73条の2）の場合，'5'を設定 － '0801'（69条の2）の場合，'6'を設定 － '1101'（77条の2）の場合，'7'を設定 － '1201'（75条の2）の場合，'8'を設定
	届出人1資格区分		―――	―――				
	届出人1資格名称			―――				
	届出人1氏名			―――				
	届出人2資格区分			―――				
	届出人2資格名称			―――				
	届出人2氏名			―――				
	送付を受けた日			―――				氏変更の種別が1（107条1項）以外の場合，入力不可（プロテクト）
	受理者			―――				

704477

氏の変更〔107条1項～75条の2〕

第2章3節（4）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成　年　月　日	1	2／8

処理名	1.1.2801 移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更）編集・出力2／2	（受取側）移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更）←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）戸籍特定情報

受取側			引渡側			コード変換有無 サーブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更2／2）	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	未使用
	編製日		中間ファイル（仮戸籍）戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	許可日		――	――				
	許可書謄本の送付を受けた日			――				
	許可を受けた者			――				
	従前の記録（氏）			――				入力不可（プロテクト）
	記録日			――				
	特記事項			――				

041

第2 3 (5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／8

処理名	画面名	画面ID	
1．2．2801 単体チェック	移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	氏変更日	○	英数	『日付チェックサブルーチン』	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	氏変更の事由	○	数字	1～9であること 2801の場合，1，または9であること． 2801以外の場合，入力不可．			
3	届出人1資格区分		数字				
4	届出人1氏名		漢字				
5	届出人2資格区分		数字				
6	届出人2氏名		漢字				
7	送付を受けた日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
8	受理者		漢字	『住所変換サブルーチン』			
9	許可日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
10	許可書謄本の送付を受けた日		漢字	『日付チェックサブルーチン』			
11	許可を受けた者		漢字				
12	従前の記録（氏）		漢字				
13	記録日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
14	特記事項		漢字				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／8

処理名：1.3.2801中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）戸籍事項情報 編集・出力1/3　（受取側）中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項情報　←（引渡側）移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 ｻﾝﾌﾟﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）戸籍事項情報 管理	戸籍管理番号		中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	戸籍管理情報				：その他の「管理」情報は省略
	戸籍事項記録区分			「2」移記処理（事件別）で記録				：戸籍事項記録区分 0：既存の記録 1：審査処理で記録 2：移記処理で記録
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）戸籍事項情報 共通	戸籍番号							決裁処理で戸籍DB反映時に設定する
	行番号							決裁処理で戸籍DB反映時に設定する
	出力区分							
	タイトルコード		中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	（戸籍事項記録コード）				－'2801'（氏の変更）の場合'2801'【氏の変更】を設定 －'2901'（107条2項）の場合'2901'【氏の変更】を設定 －'3001'（107条3項）の場合'3001'【氏の変更】を設定 －'3101'（107条4項）の場合'3101'【氏の変更】を設定 －'0701'（73条の2）の場合'0701'【氏の変更】を設定 －'0801'（69条の2）の場合'0801'【氏の変更】を設定 －'1101'（77条の2）の場合'1101'【氏の変更】を設定 －'1201'（75条の2）の場合'1201'【氏の変更】を設定
	記録コード			戸籍事項記録コード				同上
	管掌者コード							
	戸籍事項項目							次ページ以降に記録

704507

氏の変更〔107条1項～75条の2〕

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成 年 月 日	1	5／8

処理名：1.3.2801中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項情報 編集・出力2/3

（受取側）中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項情報 ←（引渡側）移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称		項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9,,	備考
中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項情報	氏変更	氏変更日		移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更 1／2）	氏変更日		有		
	氏変更	氏変更の事由		移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更 1／2）	（氏変更の事由）				－1（氏の変更）の場合，【戸籍法107条1項の届出】設定 －2（107条2項）の場合，【戸籍法107条2項の届出】設定 －3（107条3項）の場合，【戸籍法107条3項の届出】設定 －4（107条4項）の場合，【戸籍法107条4項の届出】設定 －5（73条の2）の場合，【戸籍法73条の2の届出】設定 －6（69条の2）の場合，【戸籍法69条の2の届出】設定 －7（77条の2）の場合，【戸籍法77条の2の届出】設定 －8（75条の2）の場合，【戸籍法75条の2の届出】設定 －9（氏の変更〔事由なし〕）の場合，空白を設定.
	届出	届出人 資格		移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更 1／2）	届出人1資格区分				
	届出	届出人 資格名称			届出人1資格名称				
	届出	届出人 氏名			届出人1氏名				
	届出	届出人 資格			届出人2資格区分				
	届出	届出人 資格名称			届出人2資格名称				
	届出	届出人 氏名			届出人2氏名				
	送付	送付を受けた日 *1			送付を受けた日		有		：107条1項以外の画面では入力不可
	送付	受理者 *1			受理者				：107条1項以外の画面では入力不可
	許可	許可日		移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更 2／2）	許可日				
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日				
	許可	許可を受けた者			許可を受けた者				
	従前記載	従前の記録（氏） *2			――				：画面では入力不可
	従前記載								

氏の変更〔107条1項～75条の2〕

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／8

処理名	1.3.2801中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）戸籍事項情報 編集・出力3/3	（受取側）中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項情報	←（引渡側）移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）戸籍事項情報	記録 記録日			記録日				
	特記 特記事項			特記事項				
	*1：107条1項以外のファイルにはないので注意							
	*2：107条4項のファイルにはないので注意							
	※ ①一番左の項目：グループ名 ②次の項目：インデックス名							

045

氏の変更〔 107条1項～75条の2〕

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7／8

処理名 2.1.2801 移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更）編集・出力1／2

（受取側）移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更）←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）戸籍特定情報

受取側 DB・ファイル名 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9..	備考
移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更 1／2）	現ページ／総ページ		――――	――――			Z9/Z9	未使用
	編製日		中間ファイル（仮戸籍）戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	氏変更日		中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項情報	氏変更日		有		
	氏変更の事由			氏変更の種別				－'2801'（氏の変更）の場合，'1'を設定 －'2901'（107条2項）の場合，'2'を設定 －'3001'（107条3項）の場合，'3'を設定 －'3101'（107条4項）の場合，'4'を設定 －'0701'（73条の2）の場合，'5'を設定 －'0801'（69条の2）の場合，'6'を設定 －'1101'（77条の2）の場合，'7'を設定 －'1201'（75条の2）の場合，'8'を設定 －'2801'（氏の変更）で，氏変更の事由が空白の場合，'9'を設定
	届出人1資格区分			届出人 資格				
	届出人1資格名称			届出人 資格名称				
	届出人1氏名			届出人 氏名				
	届出人2資格区分			届出人 資格				
	届出人2資格名称			届出人 資格名称				
	届出人2氏名			届出人 氏名				
	送付を受けた日			送付を受けた日 *1				氏変更の種別が1（107条1項）以外の場合，入力不可（プロテクト）
	受理者			受理者 *1				

氏の変更〔107条1項～75条の2〕

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／8

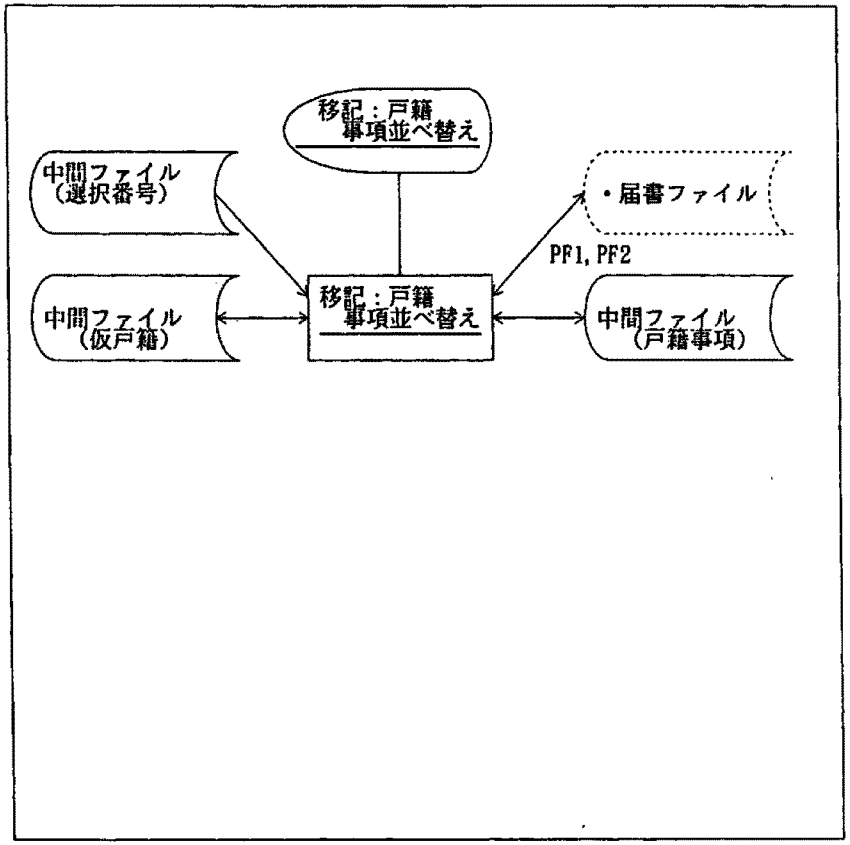
処理名：2.1.2801 移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更）編集・出力2／2

（受取側）移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更）←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）戸籍特定情報

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
移記：戸籍事項事件別入力画面（氏の変更2／2）	許可日		中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項情報	許可日				
	許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日				
	許可を受けた者			許可を受けた者				
	従前の記録（氏）			従前の記録（氏）＊				入力不可（プロテクト）
	特記事項			特記事項				
				＊1：107条1項以外のファイルにはないので注意				
				＊2：107条4項のファイルにはないので注意				

第2編（2）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記：戸籍事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／5

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	入力		
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）	入出力		
中間ﾌｧｲﾙ（戸籍事項）	入出力		

3．処理概要

(1)中間ファイル（選択番号）を読み込む

(2)1戸籍事項のタイトルを1明細として一覧で表示する

(3)戸籍事項の並べ替えを指示する

(4)戸籍事項表示に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データ編集（中間ファイル／戸籍事項）
- 2.0 データ編集（移記：戸籍事項並べ替え画面）
- 3.0 審査

5．備考（特記事項含む）

第２３（３）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項並べ替え	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	2／5

処理名					備考
(1) 中間ファイル（選択番号）を読む			／		（参）中間ファイル（選択番号） －受領番号 －選択件コード －在外送付区分 ●戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項１録コード
(2) 戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定」情報を中間ファイル（仮戸籍）から読む			／		
(3) 戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍事項」情報を中間ファイル（仮戸籍）から全件読む			／		
	(4) 中間ファイル（戸籍事項）を編集・出力する [1.0]		／		当プロセスのWORKファイル
(5) 中間ファイル（戸籍事項）から移記：戸籍事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]				(6) 同画面を編集する	複数画面を考慮する
(7) キー選択（実行キー，ＰＦ１，ＰＦ２，ＰＦ４，ＰＦ５，ＰＦ７，ＰＦ８，ＰＦ９，その他）			／		
実行キー	(8) 審査（ＯＫ：ＹＥＳ，ＮＧ：ＮＯ） [3.0]		／		
	ＹＥＳ	(9) 中間ファイル（戸籍事項）を新明細番号に従って並べ替えを行う	／		
		(10)中間ファイル（戸籍事項）から移記：戸籍事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]		(11)同画面を編集する	
	ＮＯ	(12)審査で編集したメッセージを表示する			
ＰＦ１	(13)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する			(14)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
ＰＦ２	(15)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する			(16)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
ＰＦ４	(17)中間ファイル（戸籍事項）を削除する			(18)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」
ＰＦ５	(19)前画面へ，中間ファイル（戸籍事項）を削除する			(20)移記：戸籍事項事項表示に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
ＰＦ７	(21)前ページがあるか？（ある：ＹＥＳ，ない：ＮＯ）		／	(22)同画面を編集する	
	ＹＥＳ	(23)前ページ分の移記：戸籍事項並べ替え画面を表示する			
	ＮＯ	(24)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
ＰＦ８	(25)次ページがあるか？（ある：ＹＥＳ，ない：ＮＯ）		／		
	ＹＥＳ	(26)次ページ分の移記：戸籍事項並べ替え画面を表示する			
	ＮＯ	(27)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
ＰＦ９	(28)中間ファイル（戸籍事項）を基に中間ファイル（仮戸籍）の戸籍事項情報の並べ替えを行う		／		当ＰＦキーにより中間ファイル（仮戸籍）に並べ替えの処理結果が反映される
	(29)中間ファイル（戸籍事項）を削除する			(30)移記：戸籍事項事項表示処理に制御を渡す	
その他	(31)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(32)同画面を編集する	

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／5

処理名	1.0 中間ファイル（戸籍事項）編集・出力	（受取側）中間ファイル（戸籍事項）	←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻｰﾁｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9..	備考
中間ﾌｧｲﾙ（戸籍事項）	明細件数		――	――				戸籍事項の記録件数を格納する
	明細番号		――	――				：1戸籍事項毎に＋1を付加する
	戸籍事項記録区分		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）戸籍事項情報管理	戸籍事項記録区分				：戸籍事項記録区分 0：既存の記録 1：審査処理で記録 2：移記処理（事件別）で記録
	戸籍事項コード		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）戸籍事項情報共通	タイトルコード				複数明細あり （107条1項等，同一記録コードの明細が複数あり得るので注意すること）
	戸籍事項名称			タイトルコード		有		

70458

第23(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／5

処理名	2.0 移記：戸籍事項並べ替え画面編集・出力	（受取側）移記：戸籍事項並べ替え画面	←（引渡側）中間ファイル（戸籍事項）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9,,	備考
移記：戸籍事項並べ替え画面	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	
	編製日		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	明細件数1～13 明細番号		中間ﾌｧｲﾙ（戸籍事項）	――				1戸籍事項毎に＋1して表示する
	新明細番号			――				入力項目、表示する戸籍事項の戸籍事項記録区分が1（審査処理で記録）の場合（転籍の記録事項）、新明細番号を入力不可（プロテクト）する ⇨ 転籍事項は必ず戸籍事項の最戸後に記録されている（移記：戸籍事項事件別入力を参照）
	戸籍事項※			戸籍事項名称				
	(exp.) 氏変更種別が107条2項の場合『氏の変更（107条2項）』と表示する			氏変更種別				

150

051

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：戸籍事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／5

処理名	3．0 審査			備考
(1) 中間ファイル（戸籍事項）の明細件数の数だけ (3)～(17)の処理を繰り返す			(2) 本紙へ	
	(3) 新明細番号が入力されているか？ （YES，NO）	／		
	YES (4) 新明細番号：中間ファイル（戸籍事項）の明細件数？（>，=，<）	／		
	> (7) エラーメッセージ 「入力された明細番号は戸籍事項件数を超えています。」		(8) 本紙へ	
	= (9) エラーメッセージ 「入力された明細番号の事項は 転籍事項ですので，並べ替えできません。」		(10)本紙へ	
	< (11) → (12)へ	／		
	NO (12)明細番号を新明細番号に転送する	／		新明細番号が入力されていない場合も，中間ファイル（戸籍事項）の並べ替えは，新明細番号を基に行うため，同一番号を設定する
	(13) → (14)へ	／		
	(14)新明細番号は重複しているか？ （YES，NO）	／		チェック済［(3) ～(13)］の新明細番号のすべてと比較し，判断する
	YES (15)エラーメッセージ 「入力されてた明細番号は重複して入力されています。」		(16)本紙へ	
	NO (17)→	／		

第2 3 (1)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／9

Ⅰ．処理概要

（1）父母氏名，続柄の入力チェック

			父氏名	母氏名	父母との続柄
◇「父母との続柄」が設定されている ※ ・異動者でない ・除籍者である ・届書入力処理で審査済である ・移記事項入力処理で設定済である	入籍者である ・入籍者または入籍除籍者である	父／母氏名に記載がある ②	□	□	×
		父／母氏名に記載がない ③	×	×	×
	上記以外 ・記録のない者，記録のある者または除籍者である	②	×	×	×
◇「父母との続柄」が設定されていない ・届書入力処理で審査していない入籍者である （管外からの転籍における構成員等）		④	○	○	◎

（2）養父母氏名，続柄の入力チェック

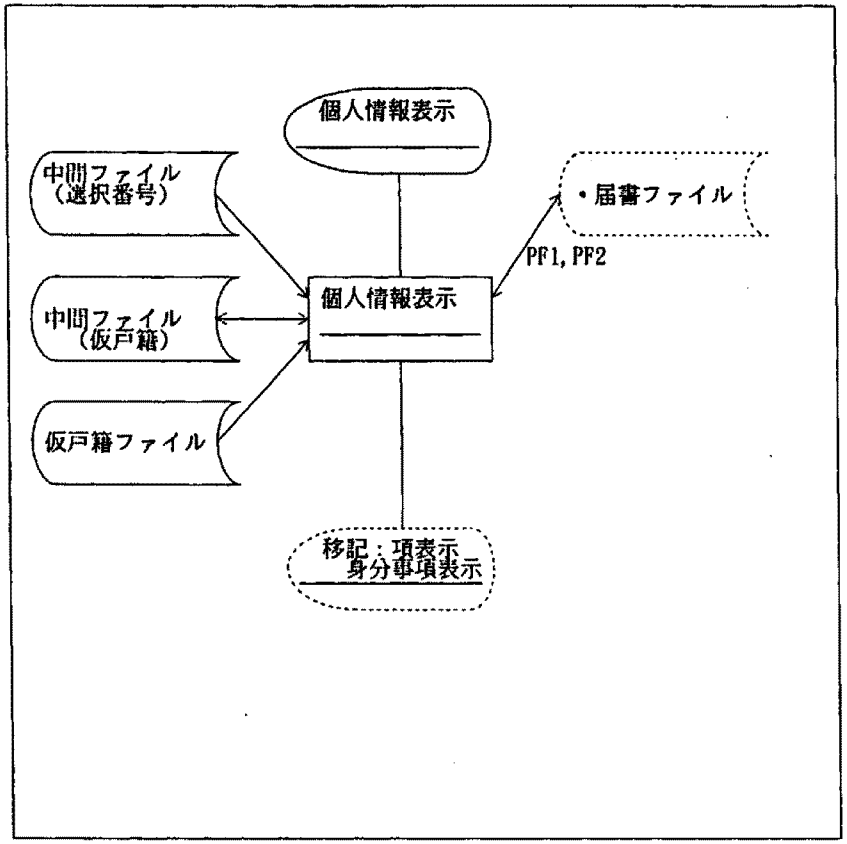
			養父氏名	養母氏名	養父母との続柄
◇「養父母との続柄」が設定されている※ ・届書入力処理で審査済である （養子縁組の養子） ・移記事項入力処理で設定済である	記録者または入籍者である ・記録のある者，入籍者または入籍除籍者である	①	△	△	×
	上記以外である ・記録のない者または除籍者である	②	×	×	×
◇「養父母との続柄」が設定されていない	入籍者である ・入籍者または入籍除籍者である	②	○ *1	○ *1	○ *1
	上記以外である ・記録のない者，記録のある者または除籍者である	③	×	×	×

◎：入力可能（必須入力）
○：入力可能（任意入力）
×：入力不可（プロテクト）
□：更正可能
△：更正または記録可能

*1：関連チェック⇒「養父母との続柄」が記録されている場合，「養父氏名」または「養母氏名」が記録されていること
（参考）「父母との続柄」が記録されている場合，「父氏名」または「母氏名」が記録されていること　の関連チェックは行わない　⇒　棄児の場合がある

※　続柄が設定されているか，設定されていないかにより，処理を振り分けている
⇒　基準書を記録する上で
「一度，移記入力処理で続柄が設定してしまうと，再び修正，削除はできない」仕様としているので注意を要する。
（「審査入力」で設定済の場合，修正・削除は不可であるが，「移記事項入力」で設定した場合であれば，修正・削除の処理は特に制限しない。
：メーカー任。）

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	入力		
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）	入出力		
仮戸籍ﾌｧｲﾙ	入力		

3．処理概要

(1)中間ファイル（選択番号）を読み込む
(2)更正（訂正）できない項目にプロテクトをかける
(3)入力された項目のチェックを行う
(4)個人特定事項が更正（訂正）された場合，中間ファイル（仮戸籍）の個人特定情報を更新する
(5)個人特定事項が入力された場合，中間ファイル（仮戸籍）に身分事項情報を作成する
(6)移記：身分事項表示処理に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データ編集（個人情報表示画面）
- 2.0 別紙1 〔画面プロテクト〕
- 3.0 単体チェック
- 4.0 別紙2 〔入力審査〕
- 5.0 別紙3 〔中間ファイル（仮戸籍）の更新・作成〕

5．備考（特記事項含む）

704461
054

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／9

処理名	0．0 本紙		備考
	(1) 中間ファイル（選択番号）を読む	／	(参) 中間ファイル（選択番号） －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード
	(2) 個人管理番号に該当する者の「個人特定情報」を中間ファイル（仮戸籍）から読み個人情報表示画面を編集する [1.0]	(3) 同画面を編集する	
	(4) 入力項目のプロテクトを行う 別紙 [2.0]		
	(5) キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF5，PF9，その他）	／	
実行キー	(6) 入力項目の単体チェック（OK：YES，NG：NO） [3.0]	／	
	YES (7) 入力項目の審査を行う（OK：YES，NG：NO） 別紙 [4.0]	／	
	YES →	(8) 同画面を編集する	：メッセージが表示される場合がある [4.0]
	NO (9) 審査で編集したエラーメッセージを表示する		
	NO (10)単体チェックで編集したメッセージを表示する	(11)同画面を編集する	
PF1	(12)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する	(13)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(14)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する	(15)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF5	(16)前画面へ	(17)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
PF9	(18)入力項目がすべてチェックされているか？ （YES，NO）	／	入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと
	YES (19)中間ファイル（仮戸籍）の更新・追加 別紙 [5.0]	／ (20)身分事項表示処理	
	NO (21) エラーメッセージ「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する	(22)同画面を編集する	
その他	(23)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／9

処理名	1.0 個人情報表示画面 編集・出力	(受取側) 個人情報表示画面	←(引渡側) 中間ファイル(仮戸籍), 附票DB

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾌﾙｰﾁﾝ	Z9.,	備考
個人情報表示画面	カナ氏名		中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 氏名情報	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日		中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 個人特定情報	生年月日				
	性別							中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)／個人特定情報の「父母との続柄」に項目があれば, それを基に翻訳する
	性別名称					有		
	入籍日			入籍日				
	除籍日			除籍日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		
	父氏名			父氏名				入力可能項目
	母氏名			母氏名				入力可能項目
	父母との続柄			父母との続柄				入力可能項目
	父母との続柄名称			父母との続柄		有		
	養父氏名			養父氏名				入力可能項目
	養母氏名			養母氏名				入力可能項目
	養父母との続柄			養父母との続柄				入力可能項目
	養父母との続柄名称			養父母との続柄		有		
	個人除区分			個人除区分				
	個人除区分名称			個人除区分		有		

第2編（3）	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／9

処理名	1．0 別紙1（入力項目のプロテクト）		備考
(1)「父母との続柄」が設定されているか？（YES，NO）		／	
YES	(2)「父母との続柄」を入力不可（プロテクト）とする	／	(3) 本紙へ
	(4) 個人異動区分は何か？（0：記録なし，1：記録，2：入籍，3：除籍，4：入籍除籍）	／	中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）個人特定情報／管理で判断
	2 入籍 4 入籍除籍 (5)「父氏名」が設定されているか？（YES，NO）	／	入籍者等に関して父母欄の更正を可能とする．（更正が可能の際には父母欄にプロテクトがかかっていないため，父母氏名の消除が可能となるが，業務的にあり得ない）
	YES (6) → (8)	／	
	NO (7)「父氏名」を入力不可（プロテクト）とする	／	
	(8)「母氏名」が設定されているか？（YES，NO）	／	
	YES (9) → (13)	／	
	NO (10)「母氏名」を入力不可（プロテクト）とする	／	
	0 1 3 (11) → 「父氏名」「母氏名」を入力不可（プロテクト）とする	／	
NO	(12) → (13)	／	
(13)「養父母との続柄」が設定されているか？（YES，NO）		／	
YES	(14)「養父母との続柄」を入力不可（プロテクト）とする	／	
	(15)個人異動区分は何か？（0：記録なし，1：記録，2：入籍，3：除籍，4：入籍除籍）	／	身分事項（離縁）を記録した者に関して養父母欄の記録を可能とする．入籍者等に関して養父母欄の更正を可能とする．（更正が可能の際には父母欄にプロテクトがかかっていないため，養父母氏名の消除が可能となるが，業務的にあり得ない）
	1 2 4 (16) →		
	0 3 (17)「養父氏名」「養母氏名」を入力不可（プロテクト）とする		
NO	(18)個人異動区分は何か？（0：記録なし，1：記録，2：入籍，3：除籍，4：入籍除籍）	／	
	2 4 (19) →		入籍者等に関して養父母事項の記録（氏名，続柄）の記録を可能とする．
	0 1 3 (20)「養父氏名」「養母氏名」「養父母との続柄」を入力不可（プロテクト）とする		

第2 3 (5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／9

処理名	画面名	画面ID	
3．0 単体チェック	個人情報表示画面面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	父氏名		漢字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	母氏名		漢字				
3	父母との続柄	○	漢字	（10：男，11：長男～29：十九男， 30：女，31：長女～49：十九女， 99：空欄）であること			
4	養父氏名		漢字				
5	養母氏名		漢字				
6	養父母との続柄		漢字	（51：養子，52：養女）であること			

70465

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7／9

処理名	4．0 別紙1〔審査〕		備考
(1)「養父母との続柄」が入力されたか？（YES，NO）		／	
YES	(2)「養父氏名」≠空白 または 「養母氏名」≠空白 か？ （YES，NO）	／	
	YES →		(3) 本紙へ
	NO (4) エラーメッセージ 「続柄が入力してあるにも係わらず， 養父又は養母氏名が入力されていません。」を表示する		
NO	(5)「養父氏名」＝空白 かつ 「養母氏名」＝空白 か？ （YES，NO）	／	
	YES →		(6) 本紙へ
	NO (7) エラーメッセージ 「養父又は養母氏名が入力されているにも係わらず， 続柄が記録されていません。」を表示する		

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／9

処理名	5．0 別紙3 中間ファイル（仮戸籍）更新・作成〕			備考
	(1) 従前「父氏名」≠「父氏名」 または 従前「母氏名」≠「母氏名」 または 従前「父母との続柄」≠「父母との続柄」 または 従前「養父氏名」≠「養父氏名」 または 従前「養母氏名」≠「養母氏名」 または 従前「養父母との続柄」≠「養父母との続柄」 であるか？ (YES, NO)	／		従前：当画面表示当初の記録内容
YES	(2) 中間ファイル（仮戸籍）の〔個人特定情報〕を更新する [5.1]		(3) 本紙へ	
NO	→			

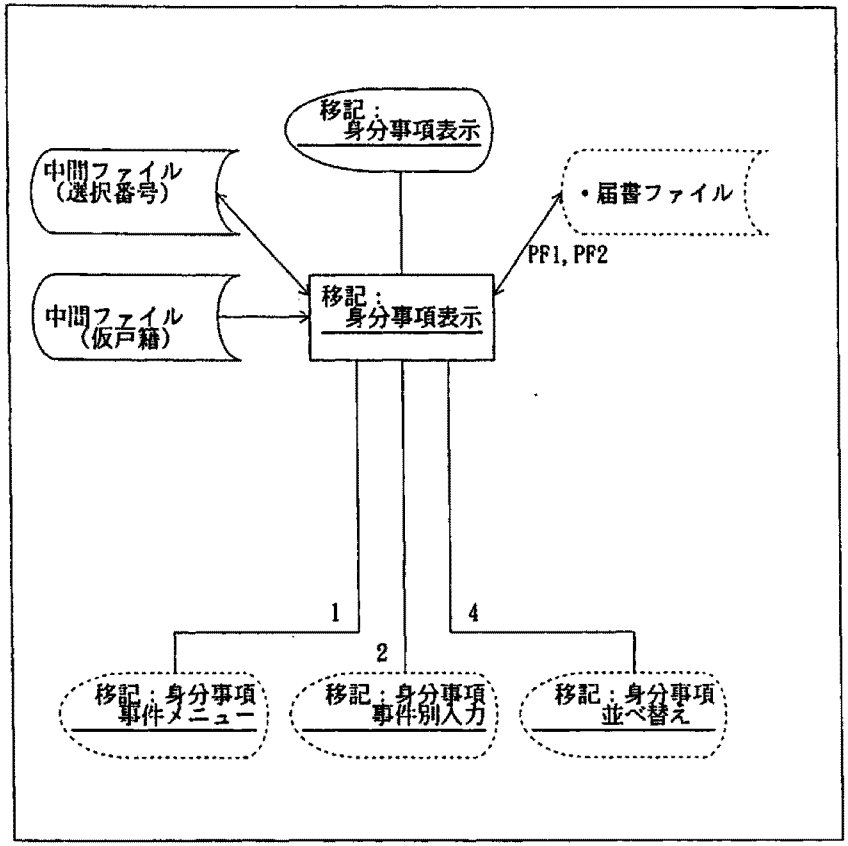
第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／9

処理名　5.1 中間ファイル（仮戸籍）個人特定　編集・出力（受取側）中間ファイル（仮戸籍）　←（引渡側）個人情報表示画面

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	サ=サブルーチン	Z9.,	
中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報管理	管理情報							具体的な項目は省略
中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報	個人番号		個人情報表示画面					
	戸籍番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父氏名				
	養母			養母氏名				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号							
	住所							
	個人除区分							

第２３（２）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記：身分事項表示	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	1／11

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　称	入出力区分	名　称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）	入　力		
中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	入出力		

3．処理概要

(1)移記戸籍構成員一覧で入力された「明細番号」（個人管理番号）で中間ファイル（仮戸籍）を検索し，該当者の身分事項をすべて画面に表示する

(2)選択された「処理番号」から各処理に振り分ける
(2)-1「記録」が選択された場合
移記：身分事項事件メニュー処理に制御を渡す
(2)-2「修正」が選択され，「明細番号」が入力された場合
移記：身分事項事件別入力処理に「明細番号」と制御を渡す
(2)-3「消除」が選択され，「明細番号」が入力された場合
消除された身分事項を高輝度等で表示する
(2)-4「並べ替え」が選択された場合
移記：身分事項並べ替え処理に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データ編集（移記：身分事項表示画面）
  - 1.1 画面表示
- 2.0 単体チェック
- 3.0 関連チェック
- 4.0 審査
- 5.0 データ編集（中間ファイル／選択番号）〔更新〕

5．備考（特記事項含む）

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／11

処理名	0．0 本紙 1／2		備考
	(1) 中間ファイル（選択番号）を読む ／		(参) 中間ファイル（選択番号） －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ●個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード
	(2) 個人管理番号に該当する者の「個人特定情報」「氏名情報」を中間ファイル（仮戸籍）から読む ／		画面ヘッド部表示
	(3) 個人管理番号に該当する者の「身分事項情報」を中間ファイル（仮戸籍）から全件読む ／		
	(4) 移記：身分事項表示画面を編集する [1.0]，別紙 [1.1]	(5) 同画面を編集する	複数画面を考慮する
	(6) キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF4，PF5，PF7，PF8，その他） ／		
実行キー	(7) 入力項目のチェック（OK：YES，NG：NO） [2.0] [3.0] ／		
	YES (8) 審査（OK：YES，NG：NO） [4.0] ／		
	YES (9) 処理区分は何か？（1，2，3，4） ／		
	1 記載 (10)中間ファイル（選択番号）を編集・出力する [5.0]	(11)移記：身分事項事件メニュー処理に制御を渡す	
	2:修正 (12)中間ファイル（選択番号）を編集・出力する ([5.0])	(13)移記：身分事項事件別入力処理に制御を渡す	
	3:削除 (14)該当の「身分事項」のインデックスをすべて高輝度表示する	(15)同画面を編集する	：中間ファイル（仮戸籍）から削除からは削除せず画面上で対応し，処理終了時（PF4，PF5）の際に削除する
	4 並べ替え →	(16)移記：身分事項並べ替え処理に制御を渡す	：当プロセスで「削除」した身分事項を中間ファイル（仮戸籍）から削除し，制御を渡す
	NO (17)エラーメッセージを表示する	(18)同画面を編集する	
	NO (19)各チェックで編集したメッセージを表示する		
PF1	(20)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する	(21)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(22)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する	(23)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF4	→	(24)移記戸籍横成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」 ：当プロセスで「削除」した身分事項を中間ファイル（仮戸籍）から削除する
PF5	(25)前画面へ	(26)個人情報表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」 ：当プロセスで「削除」した身分事項を中間ファイル（仮戸籍）から削除する
PF7	(27)前ページがあるか？（ある：YES，ない：NO） ／	(28)同画面を編集する	
	YES (29)前ページ分の移記：身分事項表示画面を表示する		
	NO (30)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する		

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／11

処理名	0．0 本紙 2／2		備考
PF8	(31)次ページがあるか？（ある：YES，ない：NO）	／	(32)同画面を編集する
	YES (33)次ページ分の移記：身分事項表示画面を表示する		
	NO (34)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する		
その他	(35)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		

第2(3)(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／11

処理名：1.0 移記：身分事項表示画面 編集・出力　（受取側）移記：身分事項表示画面　←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サーブルーチン	出力形態 Z9..	備考
移記：身分事項表示画面	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	明細件数1～13 明細番号		中間ファイル（仮戸籍）戸籍事項情報					身分事項毎に＋1して表示する
	明細件数1～13 身分事項タイトル			タイトルコード		有		身分事項毎に表示する
	明細件数1～13 身分事項			記録コード		有		1インデックス1明細で表示する（1明細であふれる場合は複数明細で表示する）
				身分事項項目				
	処理区分		――	――				1:記録～4:並べ替え　の選択入力
	選択番号			――				明細番号の入力

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／11

処理名	1．1 別紙（身分事項の分類） 1／2	備考

1．身分事項の分類（従前本籍人が入籍する場合，システム上，従前の戸籍からその者の身分事項をすべて移記し，下記の表に従い画面表示を行う）〔入籍者のみ〕
〔移記不要事項〕：無条件に削除可能な身分事項　〔審査要事項〕：移記が必要かどうかの判断を必要とする身分事項

	中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報／共通		入籍者の身分事項の画面の表示方法			
	判断要件（記録コード）		〔移記要事項〕	〔移記不要事項〕 明細番号を 高輝度表示する	〔審査要事項〕 身分事項タイトルを 高輝度表示する	備考
	要件1	要件2				
1	養子離縁事項がある ・養子の記録(0401)	1-1 養子縁組事項がない ・養子の記録(0301)	――――	養子離縁事項 ・養子の記録(0401)	――――	養子縁組事項 ・養親の記録(0302)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(0303)は移記不要
		1-2 養子縁組事項がある ・養子の記録(0301)	――――	――――	養子縁組事項 ・養子の記録(0301) 養子離縁事項 ・養子の記録(0401)	養子離縁事項 ・養親の記録(0402)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(0403)は移記不要
2	養子縁組取消事項がある ・養子の記録(3501)	2-1 養子縁組事項がない ・養子の記録(0301)	――――	養子縁組取消事項 ・養子の記録(3501)	――――	養子縁組事項 ・養親の記録(0302)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(0303)は移記不要 養子縁組取消事項 ・養親の記録(3502)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(3503)は移記不要
		2-2 養子縁組事項がある ・養子の記録(0301)	――――	――――	養子縁組事項 ・養子の記録(0301) 養子縁組取消事項 ・養子の記録(3501)	
3	特別養子離縁事項がある ・養子の記録(0601)	3-1 特別養子縁組事項がない ・養子の入籍戸籍の記録(0503)	――――	特別養子離縁事項 ・養子の記録(0601)	――――	特別養子縁組事項 ・養子の従前戸籍の記録(0501)は移記不要 ・養子の新戸籍の記録(0502)は移記不要 ・養親の記録(0504)は移記不要 特別養子離縁事項 ・養親の記録(0602)は移記不要 3-2:養親が外国人の場合，養子には変動がないので，特別養子縁組事項は記録されている
		3-2 特別養子縁組事項がある ・養子の入籍戸籍の記録(0503)	――――	特別養子縁組事項 ・養子の入籍戸籍の記録(0503) 特別養子離縁事項 ・養子の記録(0601)	――――	
4	離婚事項がある(1001)	4-1 婚姻事項がない(0901)	――――	離婚事項(1001)	――――	
		4-2 婚姻事項がある(0901)	――――	――――	婚姻事項(0901) 離婚事項(1001)	
5	配偶者死亡による婚姻解消事項がある ・死亡／死亡者の生存配偶者の記録(1602)		――――	婚姻事項(0901) 死亡事項 ・死亡者の生存配偶者の記録(1602)		＊婚姻事項(0901)は必ずある 死亡事項 ・死亡者の記録(1601)は移記不要 ・高齢者消除の記録(1603)は移記不要
6	配偶者失踪による婚姻解消事項がある ・失踪／失踪者の生存配偶者の記録(1702)		――――	婚姻事項(0901) 失踪事項 ・失踪者の生存配偶者の記録(1702)		＊婚姻事項(0901)は必ずある 死亡事項 ・失踪者の記録(1701)は移記不要

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:身分事項表示	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	6/11

処理名 1.1 別紙(身分事項の分類) 2/2　　備考

	中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報/共通		入籍者の身分事項の画面の表示方法			
	判断要件(記録コード)		[移記要事項]	[移記不要事項] 明細番号を 高輝度表示する	[審査要事項] 身分事項タイトルを 高輝度表示する	備考
	要件1	要件2				
7	婚姻取消事項がある(3701)	7-1 婚姻事項がない(0901)	――	婚姻取消事項(3701)		
		7-2 婚姻事項がある(0901)	――	――	婚姻事項(0901) 婚姻取消事項(3701)	―
8	親権(管理権)事項がある(1301)		――	――	親権(管理権)事項(1301)	※
9	後見事項がある(1401)		――	――	後見事項(1401)	※
9-1	未成年後見事項がある(4101)		――	――	未成年後見事項(4101)	※
10	保佐事項がある(1501)		――	――	保佐事項(1501)	※
11	認知事項がある ・被認知者の記録(0201)		――	――	認知事項 ・被認知者の記録(0201)	婚姻準正となっている者の場合、移記不要であるが、システムで判断できないため、[審査要事項]とする
12	特別養子縁組事項がある ・養子の新戸籍編製の記録(0502)		――	――	特別養子縁組事項 ・養子の新戸籍編製の記録(0502)	養親が共に外国人の場合、養子の入籍戸籍の記録がないので新戸籍編製の記録を移記する必要があるが、システムで判断できない為、[審査要事項]とする
13	1～12の要件以外の場合で					
	・出生/子の記録(0101)		出生/子の記録(0101)			
	・認知/親に対する認知の記録(0203)		認知/親に対する認知の記録(0203)			
	・養子縁組/養子の記録(0301)		養子縁組/養子の記録(0301)			
	・特別養子縁組/養子の入籍戸籍の記録(0503)		特別養子縁組/養子の入籍戸籍の記録(0503)			
	・婚姻(0901)		婚姻(0901)			
	・推定相続人廃除(1901)		推定相続人廃除(1901)			
	・国籍喪失/国籍喪失の配偶者の記録(2502)		国籍喪失/国籍喪失の配偶者の記録(2502)			
	・国籍選択(2601)		国籍選択(2601)			
	・外国国籍喪失(2701)		外国国籍喪失(2701)			
	・名の変更(3201)		名の変更(3201)			
	・外国人配偶者の国籍変更(9001)		外国人配偶者の国籍変更(9001)			
	・外国人配偶者の氏名変更(9101)		外国人配偶者の氏名変更(9101)			
	・平成15年法律第111号3条(7003)		平成15年法律第111号3条(7003)			
14	1～12の要件以外の場合及び13の要件以外の場合		――	<該当事項>	――	

※移記が必要かどうかは、インデックスの記録有無及び[ ]の者のすべての身分行為(戸籍が複数の場合もある)で判断が必要な為、無条件に[審査要事項]とする。

7047747

第23(35)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7／11

処理名	画面名	画面ID	
2．0 単体チェック	移記：身分事項表示画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処理区分	○	数字	1（記録） または 2（修正）または 3（削除） または 4（並べ替え） であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	選択番号		数字	表示している身分事項のNoであること（ＭＡＸ１３）			

第23(6)	データチェック（関連表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／11

処理名	画面名	画面ID	
3．0 関連チェック	移記：身分事項表示画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	（No.1）処理区分＝1（記録）のとき　または （No.1）処理区分＝4（並べ替え）のとき　（No.2）選択番号＝スペース　であること	「関連エラーがあります。 正しく入力してください。」		
2	（No.1）処理区分＝2（修正）のとき　または （No.1）処理区分＝3（消除）のとき　（No.2）選択番号≠スペース　であること			

第2-3(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／11

処理名 4．0 審査1／2 （1：記録，4：並べ替え）

1．処理区分の審査1

	中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）個人特定情報／管理 個人異動区分	処理区分 1：記録	処理区分 4：並べ替え
Ⅰ	0：（記録なし）	○	○
Ⅱ	1：記録（異動なし 記録のみ）	× ①	× ①
Ⅲ	2：入籍	○	○
Ⅳ	3：除籍	× ②	× ②
Ⅴ	4：入籍除籍	○	○

〔処理手順〕

(1)中間ファイル（選択番号）の個人管理番号に該当する中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報を読む

→ 個人異動区分
個人異動形態区分（未使用）
の取得

(2) (1)で取得した区分と移記：身分事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する

(2)-1「○」の場合
本紙に戻り，処理区分により次プロセスに制御を渡す

(2)-2「×」の場合
本紙に戻り，該当するエラーメッセージを表示後，同一画面を表示する
・エラーメッセージ
①「指定した該当者に対して移記の処理はできません。」
②「除籍者に対して移記の処理はできません。」

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	10／11

処理名 | 4．0 審査2／2 （2：修正，3：削除）

2．処理区分の審査2

中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報／管理		中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報／管理	処理区分	
	個人異動区分	身分事項記録区分	2：修正	3：削除
Ⅰ	0：（記録なし）	0：既存の記録	× ①	× ②
		1：審査処理で記録	× ③	× ④
		2：移記処理（事件別）で記録	○	○
Ⅱ	1：記録（異動なし記録のみ）	0：既存の記録	× ①	× ②
		1：審査処理で記録	× ③	× ④
		2：移記処理（事件別）で記録	――	――
Ⅲ	2：入籍	0：既存の記録	○	○
		1：審査処理で記録	× ③	× ④
		2：移記処理（事件別）で記録	○	○
Ⅳ	3：除籍	0：既存の記録	× ⑤	× ⑤
		1：審査処理で記録	× ⑤	× ⑤
		2：移記処理（事件別）で記録	――	――
Ⅴ	4：入籍除籍	0：既存の記録	○	○
		1：審査処理で記録	× ③	× ④
		2：移記処理（事件別）で記録	○	○

〔処理手順〕

(1)中間ファイル（選択番号）の個人管理番号に該当する中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報を読む

→ 個人異動区分，個人異動形態区分（未使用）の取得

(2)移記：身分事項表示画面で入力された明細番号に該当する中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報を読む

→ 身分事項記録区分の取得

(3) (1)及び(2)で取得した区分と移記：身分事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する

(3)-1「○」の場合
本紙に戻り，処理区分により次プロセスに制御を渡す

(3)-2「×」の場合
本紙に戻り，該当するエラーメッセージを表示後，同一画面を表示する

・エラーメッセージ
①「従前からある記録事項ですので修正できません。」
②「従前からある記録事項ですので削除できません。」
③「審査で記録した事項ですので修正できません。」
④「審査で記録した事項ですので削除できません。」
⑤「除籍者に対して移記の処理はできません。」

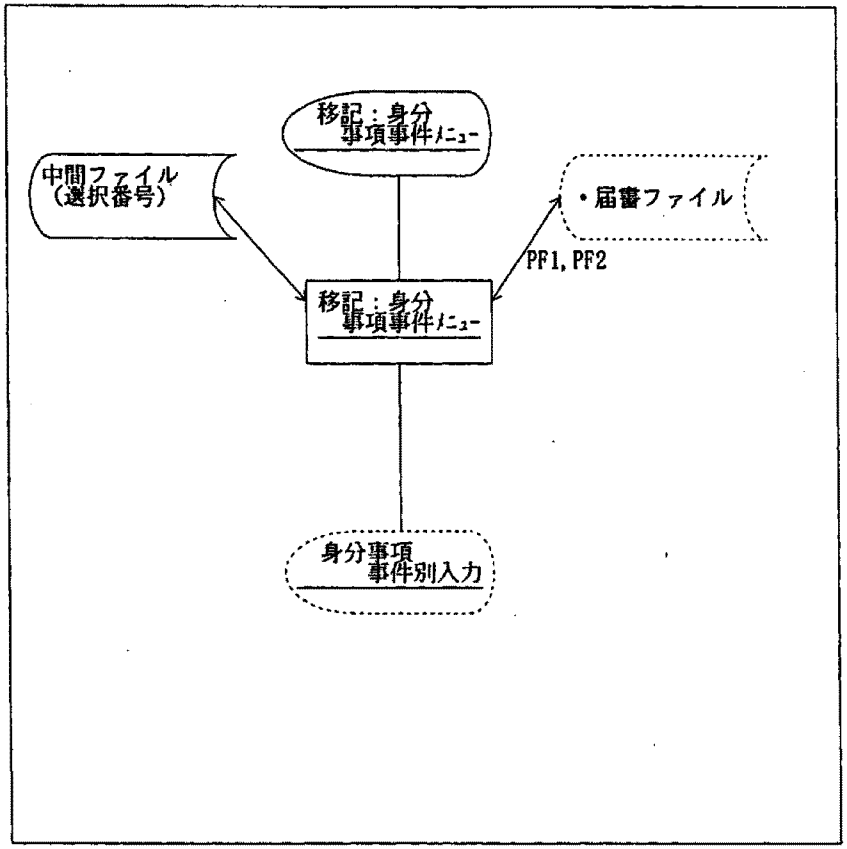
2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11／11

処理名：5.0 中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）編集・出力　（受取側）中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）　←（引渡側）移記：身分事項表示画面，中間ファイル（仮戸籍）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称		記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							
	個人	個人管理番号							
	身分事項	処理区分		移記：身分事項表示画面	処理区分				
		明細番号		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）身分事項情報	明細番号				処理区分が2：修正の場合に，移記：身分事項表示画面中間ファイル（仮戸籍）の該当明細番号を設定する
		記録コード			記録コード				処理区分が2：修正の場合に，移記：身分事項表示画面中間ファイル（仮戸籍）の該当明細番号を設定する

第2章（32）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記：身分事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／5

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	入出力		

3．処理概要

(1)移記：身分事項事件メニュー画面を表示する

(2)入力された「選択番号」から移記：身分事項事件別入力処理に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データ編集（移記：身分事項事件メニュー画面）
- 2.0 単体チェック
- 3.0 データ編集（中間ファイル／選択番号）〔更新〕

5．備考（特記事項含む）

70480
073

第2 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／5

処理名		0．0 本紙			備考
(1) 中間ファイル（選択番号）を読む			／		（参）中間ファイル（選択番号） －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ●個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード
(2) 個人管理番号に該当する者の「氏名」「個人特定」「戸籍特定」情報を中間ファイル（仮戸籍）から読む			／		画面ヘッド部表示
(3) 移記：身分事項事件メニュー画面を出力する		[1.0]	／	(4) 同画面を編集する	
(5) キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF4，PF5，その他）			／		
実行キー	(6) 入力項目のチェック（OK：YES，NG：NO）	[2.0]	／		
	YES (7) 中間ファイル（選択番号）を編集・出力する	[3.0]		(8) 移記：身分事項事件別入力処理に制御を渡す	
	NO (9) チェックで編集したメッセージを表示する			(10) 同画面を編集する	
PF1	(11) 中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する			(12) 業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(13) 中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する			(14) 移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF4	→			(15) 移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」
PF5	(16) 前画面へ			(17) 移記：身分事項表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
その他	(18) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／5

処理名	1.0 移記：身分事項事件ﾒﾆｭｰ画面編集・出力	(受取側) 移記：身分事項事件ﾒﾆｭｰ画面	←(引渡側) 中間ファイル(身分事項)

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	備考
移記：身分事項事件ﾒﾆｭｰ画面	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	選択番号		――	――				明細番号の入力

第2 3 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:身分事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	4/5

処理名	画面名	画面ID	
2.0 単体チェック	移記:身分事項事件メニュー画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラーコード	備考
1	選択番号	○	数字	1(出生) または 20(認知:被認知者の記録) または 21(認知:親に対する認知の記録) または 3(養子縁組) または 40(特別養子縁組:養子の新戸籍編製の記録) または 41(特別養子縁組:養子の入籍戸籍の記録) または 5(婚姻) または 6(親権(管理権)) または 70(後見) または 71(未成年後見) または 8(保佐) または 9(推定相続人廃除) または 10(国籍選択) または 11(配偶者の国籍喪失) または 12(外国国籍喪失) または 13(名の変更) または 90(外国人配偶者の国籍変更) または 91(外国人配偶者の氏名変更) または 92(平成15年法律第111号3条) であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		41の番号が使われているため、後見の番号修正と共に、未成年後見を追加

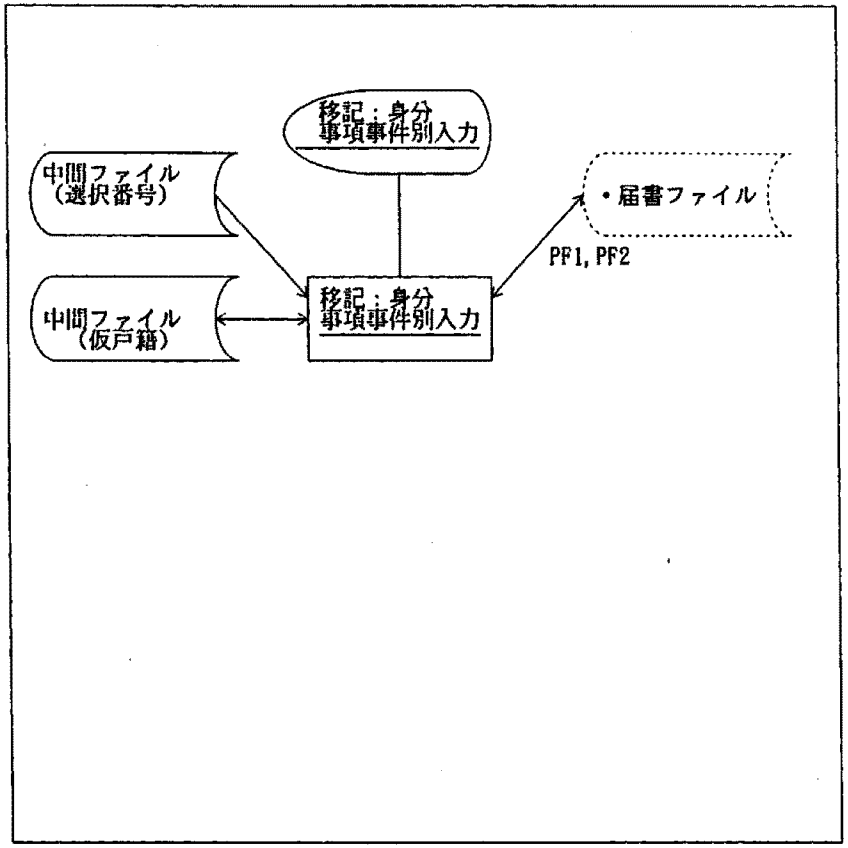
第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:身分事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	5/5

処理名	3.0 中間ファイル(選択番号) 編集・出力	(受取側)中間ファイル(選択番号)	←	(引渡側)移記事項届出メニュー画面

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							
	個人	個人管理番号							移記戸籍構成員一覧画面で設定済
	身分事項	処理区分							移記:身分事項表示画面で設定済
		明細番号							
		記録コード		移記:身分事項 届出メニュー画面	(選択番号)	−選択番号=1(出生)の場合 '0101'を設定 −選択番号=20(認知:被認知者の記録)の場合 '0201'を設定 −選択番号=21(認知:親に対する認知)の場合 '0203'を設定 −選択番号=3(養子縁組)の場合 '0301'を設定 −選択番号=40(特別養子縁組:養子の新戸籍編製)の場合 '0502'を設定 −選択番号=41(特別養子縁組:養子の入籍戸籍)の場合 '0503'を設定 −選択番号=5(婚姻)の場合 '0901'を設定 −選択番号=6(親権(管理権))の場合 '1301'を設定 −選択番号=70(後見)の場合 '1401'を設定	−選択番号=71(未成年後見)の場合 '4101'を設定 −選択番号=8(保佐)の場合 '1501'を設定 −選択番号=9(推定相続人廃除)の場合 '1901'を設定 −選択番号=10(国籍選択)の場合 '2601'を設定 −選択番号=11(配偶者の国籍喪失)の場合 '2502'を設定 −選択番号=12(外国国籍喪失)の場合 '2701'を設定 −選択番号=13(名の変更)の場合 '3201'を設定 −選択番号=90(配偶者の国籍変更)の場合 '9001'を設定 −選択番号=91(配偶者の氏名変更)の場合 '9101'を設定 −選択番号=92(平成15年法律第111号3条)の場合 '7003'を設定			

第2章（2）	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／6

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名　　称	入出力区分	名　　称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	入　力		
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）	入出力		

3．処理概要

(1)中間ファイル（選択番号）を読み込む
(2)『身分事項処理区分』から記録，修正，削除の処理を行う
(3)『身分事項処理区分』が『記録』の場合
　(3)-1「身分事項記録番号」から該当事件の入力画面を出力する
　(3)-2入力項目のチェックを行う
　(3)-3中間ファイル（仮戸籍）の身分事項情報に入力した身分事項を追加する
(4)『身分事項処理区分』が『修正』の場合
　(4)-1「身分事項明細番号」「身分事項記録番号」から該当事件の修正画面を出力する
　(4)-2入力項目のチェックを行う
　(4)-3中間ファイル（仮戸籍）の該当身分事項情報の更新を行う

4．機能体系（要件定義書の構成）

- 0.0 本紙
  - 1.0 別紙1（記録）
    - 1.1.0101 ～ 1.1.9101　事件別 入力画面の表示
    - 1.2.0101 ～ 1.2.9101　事件別 入力項目のチェック
    - 1.3.0101 ～ 1.3.9101　事件別 中間ファイル（仮戸籍）への追加
  - 2.0 別紙2（修正）
    - 2.1.0101 ～ 2.1.9101　事件別 修正画面の表示
    - (1.2.0101) ～ (1.2.9101)　事件別 修正項目のチェック
    - (1.3.0101) ～ (1.3.9101)　事件別 中間ファイル（仮戸籍）の修正

5．備考（特記事項含む）

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	2／6

処理名	0．0 本紙			備考
(1) 中間ファイル（選択番号）を読む			／	(参) 中間ﾌｧｲﾙ（選択番号） －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●個人管理番号 ●身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード
(2) 個人管理番号に該当する者の「氏名」「個人特定」「戸籍特定」情報を中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）から読む			／	画面ヘッド部表示
(3) 身分事項処理区分は何か？（1：記録，2：修正）			／	
1	(4) 身分事項の「記録」の処理を行う	別紙 [1.0]	／	
2	(5) 身分事項の「修正」の処理を行う	別紙 [2.0]	／	

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	3/6

処理名	1.0 別紙1(記録) 1/2			備考
(1)身分事項記録番号は何か？ (0101,0201,0203,0301,0502,0503,0901,1301,1401,1501,2001,2502,2601,2701,3201,4101,9001,9101,7003)		／		(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ －個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 ●身分事項記録コード
0101 出生／子	(2)身分事項事件別入力画面を編集する(入力画面) [1.1.0101]	／		*1
	(3)キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF5, PF7, PF8, PF9, PF12, その他)	／		
実行キー	(4)入力項目のチェック(OK:YES, NG:NO) [1.2.0101][1.3.0101]	／		*2,*3
YES	→		(5)同画面を編集する	
NO	(6)チェックで編集したメッセージを表示する			
PF1	(7)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(8)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(9)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF5	(11)前画面へ		(12)移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
PF7	(13)前ページがあるか？(ある:YES, ない:NO)	／	(14)同画面を編集する	
YES	(15)前ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する			
NO	(16)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(17)次ページがあるか？(ある:YES, ない:NO)	／		
YES	(18)次ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する			
NO	(19)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF9	(20)入力項目が、すべてチェックされているか？(YES, NO)	／		
YES	(21)入力画面から身分事項を編集し、中間ファイル(仮戸籍)に[身分事項情報]を追加する [1.4.0101]		(22)移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す	*4 ※
NO	(23)エラーメッセージ「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する。		(24)同画面を編集する	－入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと 入籍者⇒審査で記録された事項の1つ前に格納する 変動なし者⇒一番最後に格納する
PF12	(25)画面を初期化する		(26)同画面を編集する	
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			
0201	※と同様の処理を行う *1[1.1.0201] *2[1.2.0201] *3[1.3.0201] *4[1.4.0201]	／		認知の処理／被認知者
0203	※と同様の処理を行う *1[1.1.0203] *2[1.2.0203] *3[1.3.0203] *4[1.4.0203]	／		認知の処理／認知を受けた親の直系卑属
0301	※と同様の処理を行う *1[1.1.0301] *2[1.2.0301] *3[1.3.0301] *4[1.4.0301]	／		養子縁組の処理／養子
0502	※と同様の処理を行う *1[1.1.0502] *2[1.2.0502] *3[1.3.0502] *4[1.4.0502]	／		特別養子縁組の処理／養子の新戸籍編製

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	4/6

処理名	1.0 別紙1(記録) 2/2			備考
0503	※と同様の処理を行う	*1[1.1.0503] *2[1.2.0503] *3[1.3.0503] *4[1.4.0503]	/	特別養子縁組の処理/養子の入籍戸籍
0901	※と同様の処理を行う	*1[1.1.0901] *2[1.2.0901] *3[1.3.0901] *4[1.4.0901]	/	婚姻の処理
1301	※と同様の処理を行う	*1[1.1.1301] *2[1.2.1301] *3[1.3.1301] *4[1.4.1301]	/	親権(管理権)の処理
1401	※と同様の処理を行う	*1[1.1.1401] *2[1.2.1401] *3[1.3.1401] *4[1.4.1401]	/	後見の処理
1501	※と同様の処理を行う	*1[1.1.1501] *2[1.2.1501] *3[1.3.1501] *4[1.4.1501]	/	保佐の処理
2001	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2001] *2[1.2.2001] *3[1.3.2001] *4[1.4.2001]	/	推定相続人廃除の処理
2502	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2502] *2[1.2.2502] *3[1.3.2502] *4[1.4.2502]	/	国籍喪失の処理/国籍喪失者の配偶者
2601	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2601] *2[1.2.2601] *3[1.3.2601] *4[1.4.2601]	/	国籍選択の処理
2701	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2701] *2[1.2.2701] *3[1.3.2701] *4[1.4.2701]	/	外国国籍喪失の処理
3201	※と同様の処理を行う	*1[1.1.3201] *2[1.2.3201] *3[1.3.3201] *4[1.4.3201]	/	名の変更の処理
4101	※と同様の処理を行う	*1[1.1.4101] *2[1.2.4101] *3[1.3.4101] *4[1.4.4101]	/	未成年後見の処理
9001	※と同様の処理を行う	*1[1.1.9001] *2[1.2.9001] *3[1.3.9001] *4[1.4.9001]	/	外国人配偶者の国籍変更の処理
9101	※と同様の処理を行う	*1[1.1.9101] *2[1.2.9101] *3[1.3.9101] *4[1.4.9101]	/	外国人配偶者の氏名変更の処理
7003	※と同様の処理を行う	*1[1.1.7003] *2[1.2.7003] *3[1.3.7003] *4[1.4.7003]	/	平成15年法律第111号3条の処理

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	5/6

処理名	2.0 別紙2 (修正) 1/2			備考
(1)身分事項記録番号は何か？ (0101,0201,0203,0301,0502,0503,0901,1301,1401,1501, 2001,2502,2601,2701,3201,4101,9001,9101,7003)				(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ －個人管理番号 －身分事項処理区分 ●身分事項明細番号 ●身分事項記録コード
0101 出生/子	(2)身分事項明細番号に該当する身分事項を中間ファイル(仮戸籍)の身分事項情報から取得し、身分事項事件別入力画面を編集する(修正画面) [2.1.0101]	／		*1
	(3)キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF5, PF7, PF8, PF9, その他)	／		
	実行キー (4)入力項目のチェック(OK:YES, NG:NO) [1.2.0101][1.3.0101]	／		*2,*3
	YES →		(5)同画面を編集する	
	NO (6)チェックで編集したメッセージを表示する			
	PF1 (7)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(8)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	PF2 (9)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	PF5 (11)前画面へ		(12)移記:身分事項表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
	PF7 (13)前ページがあるか？(ある:YES, ない:NO)	／	(14)同画面を編集する	
	YES (15)前ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する			
	NO (16)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
	PF8 (17)次ページがあるか？(ある:YES, ない:NO)	／		
	YES (18)次ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する			
	NO (19)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
	PF9 (20)入力項目が、すべてチェックされているか？(YES, NO)	／		
	YES (21)中間ファイル(仮戸籍)の[身分事項情報]を修正する [1.4.0101]		(22)移記:身分事項表示処理に制御を渡す	*4 ※ 入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと:身分事項情報の管理部、共通部は更新しない
	NO (23)エラーメッセージ「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する。		(24)同画面を編集する	
	その他 (25)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(26)同画面を編集する	
0201	※と同様の処理を行う *1[1.1.0201] *2[1.2.0201] *3[1.3.0201] *4[1.4.0201]	／		認知の処理／被認知者
0203	※と同様の処理を行う *1[1.1.0203] *2[1.2.0203] *3[1.3.0203] *4[1.4.0203]	／		認知の処理／認知を受けた親の直系卑属
0301	※と同様の処理を行う *1[1.1.0301] *2[1.2.0301] *3[1.3.0301] *4[1.4.0301]	／		養子縁組の処理／養子
0502	※と同様の処理を行う *1[1.1.0502] *2[1.2.0502] *3[1.3.0502] *4[1.4.0502]	／		特別養子縁組の処理／養子の新戸籍編製

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	6/6

処理名	2.0 別紙2(修正) 2/2				備考
0503	※と同様の処理を行う	*1[1.1.0503] *2[1.2.0503] *3[1.3.0503] *4[1.4.0503]	/		特別養子縁組の処理/養子の入籍戸籍
0901	※と同様の処理を行う	*1[1.1.0901] *2[1.2.0901] *3[1.3.0901] *4[1.4.0901]	/		婚姻の処理
1301	※と同様の処理を行う	*1[1.1.1301] *2[1.2.1301] *3[1.3.1301] *4[1.4.1301]	/		親権(管理権)の処理
1401	※と同様の処理を行う	*1[1.1.1401] *2[1.2.1401] *3[1.3.1401] *4[1.4.1401]	/		後見の処理
1501	※と同様の処理を行う	*1[1.1.1501] *2[1.2.1501] *3[1.3.1501] *4[1.4.1501]	/		保佐の処理
2001	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2001] *2[1.2.2001] *3[1.3.2001] *4[1.4.2001]	/		推定相続人廃除の処理
2502	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2502] *2[1.2.2502] *3[1.3.2502] *4[1.4.2502]	/		国籍喪失の処理/国籍喪失者の配偶者
2601	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2601] *2[1.2.2601] *3[1.3.2601] *4[1.4.2601]	/		国籍選択の処理
2701	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2701] *2[1.2.2701] *3[1.3.2701] *4[1.4.2701]	/		外国国籍喪失の処理
3201	※と同様の処理を行う	*1[1.1.3201] *2[1.2.3201] *3[1.3.3201] *4[1.4.3201]	/		名の変更の処理
4101	※と同様の処理を行う	*1[1.1.4101] *2[1.2.4101] *3[1.3.4101] *4[1.4.4101]	/		未成年後見の処理
9001	※と同様の処理を行う	*1[1.1.9001] *2[1.2.9001] *3[1.3.9001] *4[1.4.9001]	/		外国人配偶者の国籍変更の処理
9101	※と同様の処理を行う	*1[1.1.9101] *2[1.2.9101] *3[1.3.9101] *4[1.4.9101]	/		外国人配偶者の氏名変更の処理
7003	※と同様の処理を行う	*1[1.1.7003] *2[1.2.7003] *3[1.3.7003] *4[1.4.7003]	/		平成15年法律第111号3条の処理

第2 3 （4）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／14

処理名：1.1.0101 移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）編集・出力1/4

（受取側）移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録その1）	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	『1／3』
	漢字氏名		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	出生日			生年月日				
	出生地		――	――				
	父の国籍			――				
	父の生年月日			――				
	母の国籍			――				
	母の生年月日			――				
	届出日			――				
	航海日誌謄本提出日			――				
	届出人資格区分			――				
	届出人資格名称			――				
	届出人氏名			――				
	届出人の戸籍の本籍			――				
	届出人の戸籍の筆頭者			――				

70491

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	2／14

処理名　1.1.0101　移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）編集・出力2/4　（受取側）移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z９．，	備考
移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録その２）	現ページ／総ページ		―――	―――			Z9/Z9	『２／３』
	漢字氏名		中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	届出人の国籍		―――	―――				
	届出人の生年月日			―――				
	父の氏名			―――				
	父の戸籍の本籍			―――				
	父の戸籍の筆頭者			―――				
	母の氏名			―――				
	母の戸籍の本籍			―――				
	母の戸籍の筆頭者			―――				

704492

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／14

処理名：1.1.0101 移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）編集・出力3/4

（受取側）移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報

受取側 DB・ファイル名 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録その3）	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	『2／3』
	漢字氏名		中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	国籍留保の届出日		――	――				
	国籍留保の届出人			――				
	国籍留保の届出人資格区分			――				
	国籍留保の届出人資格名称			――				
	国籍留保の届出人氏名			――				
	国籍留保の届出人の国籍			――				
	国籍留保の届出人の生年月日			――				
	送付を受けた日			――				
	受理者			――				
	許可日			――				
	許可書謄本の送付を受けた日			――				
	許可を受けた者			――				

70493

第2 3 （4）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	4／14

処理名 1.1.0101 移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）編集・出力4/4 ｜ （受取側）移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報

受取側			引渡側			コード変換有無	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録その4）	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	『3／3』
	漢字氏名		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	入籍日		――	――				
	従前戸籍の本籍			――				
	従前戸籍の筆頭者			――				
	除籍日			――				
	新本籍			――				
	入籍戸籍の戸籍			――				
	入籍戸籍の筆頭者			――				
	記録日			――				
	特記事項			――				

70494

第2 3 (5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／14

処理名	画面名	画面ID	
1．2．0101 単体チェック 1／2	移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出生日	○	英数	『日付チェックサブルーチン』 中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報の生年月日と異なる場合高輝度表示する。	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	出生地		漢字	『住所変換サブルーチン』			
3	父の国籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
4	父の生年月日		数字	『日付チェックサブルーチン』			
5	母の国籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
6	母の生年月日		数字	『日付チェックサブルーチン』			
7	届出日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
8	航海日誌謄本提出日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
9	届出人資格区分		英数				
10	届出人氏名		漢字				
11	届出人の戸籍の本籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
12	届出人の戸籍の筆頭者		漢字				
13	届出人の国籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
14	届出人の生年月日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
15	父の氏名		漢字				
16	父の戸籍の本籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
17	父の戸籍の筆頭者		漢字				
18	母の氏名		漢字				
19	母の戸籍の本籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
20	母の戸籍の筆頭者		漢字				
21	国籍留保の届出日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
22	国籍留保の届出人資格区分		英数				
23	国籍留保の届出人氏名		漢字				

70495

出生（子の記録）

第2 3 (5)	データチェック（単体表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	6／14

処理名	画面名	画面ID	
1．2．0101 単体チェック 2／2	移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	国籍留保の届出人の国籍		漢字	『住所変換サブルーチン』	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
25	国籍留保の届出人の生年月日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
26	送付を受けた日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
27	受理者		漢字	『住所変換サブルーチン』			
28	許可日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
29	許可書謄本の送付を受けた日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
30	許可を受けた者		漢字	『住所変換サブルーチン』			
31	入籍日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
32	従前戸籍の本籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
33	従前戸籍の筆頭者		漢字				
34	除籍日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
35	新本籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
36	入籍戸籍の本籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
37	入籍戸籍の筆頭者		漢字				
38	記録日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
39	特記事項		漢字				

第23（6）	データチェック（関連表）	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	7／14

処理名	画面名	画面ID	
1．3．0101 関連チェック	移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)父の国籍≠空白 のとき (No.4)父の生年月日≠空白 であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	(No.5)母の国籍≠空白 のとき (No.6)母の生年月日≠空白 であること			
3	(No.12) 届出人の戸籍の筆頭者≠空白 のとき (No.11) 届出人の戸籍の本籍≠空白 であること			
4	(No.24) 国籍留保の届出人の国籍≠空白 のとき (No.25) 国籍留保の届出人の生年月日≠空白 であること			
5	(No.32) 従前戸籍の筆頭者≠空白 のとき (No.33) 従前戸籍の本籍≠空白 であること			
6	(No.36) 入籍戸籍の筆頭者≠空白 のとき (No.37) 入籍戸籍の本籍≠空白 であること			

704977

出生（子の記録）

第23（4）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	8／14

処理名：1.4.0101 中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報（出生／子の記録）編集・出力1/3 ｜（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報 ←（引渡側）移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）

受取側 DB・ファイル名／画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名／画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報 管理	個人管理番号		中間ファイル（選択番号）	個人管理情報				：その他の「管理」情報は省略
	身分事項記録区分			「2」移記処理（事件別）で記録				身分事項記録区分 1：既存の記録 2：審査処理で記録 3：移記処理（事件別）で記録 4：移記処理（個人情報）で記録
中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報 共通	個人番号							
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード		移記：身分事項事件別入力画面（出生／子）	「0101」				【出生】
	記録コード			「0101」				出生（子の記録）
	管掌者コード							
	事件発生日			出生日				
	身分事項項目							次ページ以降に記録

第2 3 （4）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	9／14

処理名：1.4.0101 中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報（出生／子の記録）編集・出力2/3

（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報 ←（引渡側）移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9,,	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報	出生	出生日			移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録その1）	出生日			有		
		出生地				出生地					
	外国人父母	父の国籍				父の国籍					
		父の生年月日				父の生年月日			有		
		母の国籍				母の国籍					
		母の生年月日				母の生年月日			有		
	届出	届出日				届出日			有		
		航海日誌の謄本提出日				航海日誌謄本提出日			有		
		届出人	資格			届出人資格区分					
			資格名称			届出人資格名称					
			氏名			届出人氏名					
		届出人の戸籍	本籍		移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録その2）	届出人の戸籍の本籍					
			筆頭者			届出人の戸籍の筆頭者					
		届出人の国籍				届出人の国籍					
		届出人の生年月日				届出人の生年月日					
	日本人父母	父の氏名				父の氏名					
		父の戸籍	本籍			父の戸籍の本籍					
			筆頭者			父の戸籍の筆頭者					
		母の氏名				母の氏名					
		母の戸籍	本籍			母の戸籍の本籍					
			筆頭者			母の戸籍の筆頭者					

70499

第2-3-(4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成　年　月　日	1	10／14

処理名：1.4.0101 中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報（出生／子の記録）編集・出力3/3

（受取側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報 ←（引渡側）移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報	国籍留保 国籍留保の届出日		移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録その2）	国籍留保の届出日		有		
	国籍留保の届出人 資格			国籍留保の届出資格区分				
	国籍留保の届出人 資格名称			国籍留保の届出資格名称				
	国籍留保の届出人 氏名			国籍留保の届出人氏名				
	国籍留保の届出人の国籍			国籍留保の届出人の国籍				
	国籍留保の届出人の生年月日			国籍留保の届出人の生年月日		有		
	送付 送付を受けた日		移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録その3）	送付を受けた日		有		
	送付 受理者			受理者				
	許可 許可日			許可日		有		
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日		有		
	許可 許可を受けた者			許可を受けた日		有		
	入籍 入籍日			入籍日		有		
	入戸籍 従前戸籍 本籍			従前戸籍の本籍				
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			従前戸籍の筆頭者				
	除籍 除籍日			除籍日		有		
	除戸籍 新本籍			新本籍				
	除戸籍 入籍戸籍 本籍			入籍戸籍の本籍				
	除戸籍 入籍戸籍 筆頭者			入籍戸籍の筆頭者				
	記録 記録日			記録日				
	特記 特記事項			特記事項				
	※ ①一番左の項目：グループ名 ②次の項目：インデックス名							

第2表（3）（4）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	11／14

処理名：2.1.0101移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）編集・出力1/4

（受取側）移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）← （引渡側）中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報／身分

受取側 DB・ファイル名 画面名称	受取側 項目 名称	受取側 項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	引渡側 項目 名称	引渡側 項目 記号名	コード変換有無 サニタイブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録その1）	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	『1／3』
	漢字氏名		中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	出生日		中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報（出生／子の記録）	出生日		有		
	出生地			出生地				
	父の国籍			父の国籍				
	父の生年月日			父の生年月日		有		
	母の国籍			母の国籍				
	母の生年月日			母の生年月日		有		
	届出日			届出日		有		
	航海日誌謄本提出日			航海日誌謄本提本提出日		有		
	届出人資格区分			届出人資格区分				
	届出人資格名称			届出人資格名称				
	届出人氏名			届出人氏名				
	届出人の戸籍の本籍			届出人の戸籍の本籍				
	届出人の戸籍の筆頭者			届出人の戸籍の筆頭者				

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	12／14

処理名：2.1.0101移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）編集・出力2/4

（受取側）移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）←（引渡側）中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）個人特定情報／身分

受取側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 / 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録その2）	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	『2／3』
	漢字氏名		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	届出人の国籍		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）身分事項情報（出生／子の記録）	届出人の国籍				
	届出人の生年月日			届出人の生年月日				
	父の氏名			父の氏名				
	父の戸籍の本籍			父の戸籍の本籍				
	父の戸籍の筆頭者			父の戸籍の筆頭者				
	母の氏名			母の氏名				
	母の戸籍の本籍			母の戸籍の本籍				
	母の戸籍の筆頭者			母の戸籍の筆頭者				

70502

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	13／14

処理名：2.1.0101移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）編集・出力3/4

（受取側）移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）← （引渡側）中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報／身分

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録その2）	現ページ／総ページ		————	————			Z9/Z9	『2／3』
	漢字氏名		中間ファイル（仮戸籍）個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	国籍留保の届出日		中間ファイル（仮戸籍）身分事項情報（出生／子の記録）	国籍留保の届出日		有		
	国籍留保の届出人資格区分			国籍留保の届出人資格区分				
	国籍留保の届出人資格名称			国籍留保の届出人資格名称				
	国籍留保の届出人の国籍			国籍留保の届出人の国籍				
	国籍留保の届出人の生年月日			国籍留保の届出人の生年月日				
	送付を受けた日			送付を受けた日				
	受理者			受理者				
	許可日			許可日				
	許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日				
	許可を受けた者			許可を受けた者				

70503

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	14／14

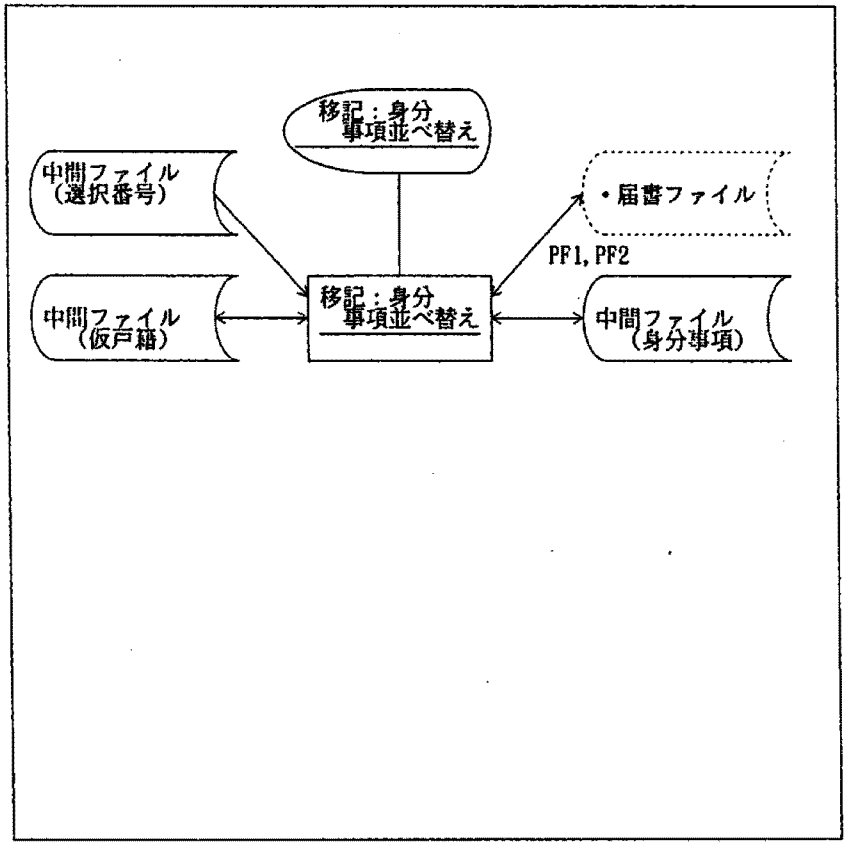
処理名：2.1.0101移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）編集・出力4/4

（受取側）移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録）←（引渡側）中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）個人特定情報／身分

受取側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	引渡側 DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
移記：身分事項事件別入力画面（出生／子の記録その3）	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	『3／3』
	漢字氏名		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	入籍日		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）身分事項情報（出生／子の記録）	入籍日		有		
	従前戸籍			従前戸籍の本籍				
	従前筆頭者			従前戸籍の筆頭者				
	除籍日			除籍日		有		
	新本籍			新本籍				
	入籍戸籍の本籍			入籍戸籍の本籍				
	入籍戸籍の筆頭者			入籍戸籍の筆頭者				
	記録日			記録日		有		
	特記事項			特記事項				

第2-3(2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記：身分事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／5

1．詳細フロー



2．使用ＤＢ・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ（選択番号）	入 力		
中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）	入出力		
中間ﾌｧｲﾙ（身分事項）	入出力		

3．処理概要

(1)中間ファイル（選択番号）を読み込む

(2)1身分事項のタイトルを1明細として一覧で表示する

(3)身分事項の並べ替えを指示する
・異動のない者で，従前からある身分事項は並べ替えの対象外

(4)身分事項表示に制御を渡す

4．機能体系（要件定義書の構成）

0.0 本紙
- 1.0 データ編集（中間ファイル／身分事項）
- 2.0 データ編集（移記：身分事項並べ替え画面）
- 3.0 審査

5．備考（特記事項含む）

第23(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成 年 月 日	1	2／5

処理名	0．0 本紙			備考
(1) 中間ファイル（選択番号）を読み込む			／	（参）中間ファイル（選択番号） －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード
(2) 個人管理番号に該当する戸籍の「氏名」「個人特定」「戸籍特定」情報を中間ファイル（仮戸籍）を読む			／	
(3) 個人管理番号に該当する戸籍の「身分事項」情報を中間ファイル（仮戸籍）を読む			／	
	(4) 中間ファイル（身分事項）を編集・出力する [1.0]		／	当プロセスのWORKファイル
(5) 中間ファイル（身分事項）から移記：身分事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]				(6) 同画面を編集する 複数画面を考慮する
(7) キー選択（実行キー，PF1，PF2，PF4，PF5，PF7，PF8，PF9，その他）			／	
実行キー	(8) 審査（OK：YES，NG：NO） [3.0]		／	
	YES	(9) 中間ファイル（身分事項）を新明細番号に従って並べ替えを行う	／	
		(10)中間ファイル（身分事項）から移記：身分事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]		(11)同画面を編集する
	NO	(12)チェックで編集したメッセージを表示する		
PF1	(13)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する			(14)業務選択に制御を渡す　「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(15)中間ファイルをすべて削除する，届書ファイルの「届書排他区分」に‘0’を設定する			(16)移記戸籍選択処理に制御を渡す　「処理中止」「届書ロック解除」
PF4	→			(17)移記戸籍構成員一覧に制御を渡す　「処理終了」
PF5	(18)前画面へ，中間ファイル（身分事項）を削除する			(19)移記：身分事項表示一覧に制御を渡す　「当プロセスのみ処理中止」
PF7	(20)前ページがあるか？（ある：YES，ない：NO）		／	(21)同画面を編集する
	YES	(22)前ページ分の移記：身分事項並べ替え画面を出力する		
	NO	(23)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する		
PF8	(24)次ページがあるか？（ある：YES，ない：NO）		／	
	YES	(25)次ページ分の移記：身分事項並べ替え画面を出力する		
	NO	(26)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する		
PF9	(27)中間ファイル（身分事項）を基に中間ファイル（仮戸籍）の身分事項の並べ替えを行う		／	} 当PFキーにより中間ファイル（仮戸籍）に並べ替えの処理結果が反映される
	(28)中間ファイル（身分事項）を削除する			(29)身分事項表示処理に制御を渡す
その他	(30)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(31)同画面を編集する

第2 3 (4)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	3／5

処理名	1.0 中間ファイル（身分事項）編集・出力	（受取側）中間ファイル（身分事項）	←（引渡側）中間ファイル（仮戸籍）身分事項

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	変換有無 ｻﾝﾌﾟﾙｰﾁﾝ	Z9,,	備考
中間ﾌｧｲﾙ（身分事項）	明細件数		――――	――――				：身分事項の記録件数を格納する
	明細番号		――――	――――				：1身分事項毎に＋1を付加する
	身分事項記録区分		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）身分事項情報管理	身分事項記録区分				：身分事項記録区分 0：既存の記録 1：審査処理で記録 2：移記処理（事件別）で記録 3：移記処理（個人情報）で記録
	身分事項コード		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）身分事項情報共通	タイトルコード				複数明細あり （認知等，同一記録コードの明細が複数あり得る時で注意すること）
	身分事項名称			タイトルコード		有		

第２３（４）	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項並べ替え	システム化調査研究会	平成６年１２月　１日	平成　年　月　日	1	4／5

処理名	2.0 移記：身分事項並べ替え画面編集・出力	（受取側）移記：身分事項並べ替え画面	←（引渡側）中間ファイル（身分事項）

受取側			引渡側			コード	出力形態	
DB・ファイル名	項目		DB・ファイル名	項目		変換有無		備考
画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	Z9.,	
移記：身分事項並べ替え画面	現ページ／総ページ		――	――			Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	明細件数 1～13 明細番号		中間ﾌｧｲﾙ（身分事項）	――				1身分事項毎に＋1して表示する
	新明細番号			――				入力項目，表示する身分事項の身分事項処理区分が0〔既存の記録〕の場合，その者が戸籍に変動がなければ，新明細番号を入力不可（プロテクト）する ⇨ 戸籍に変動がない者の従前の記録は並べ替えできない
	身分事項			身分事項名称				

70508

第2 3 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記：身分事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	5／5

処理名	3．0 審査			備考
(1) 中間ファイル（身分事項）の明細件数の数だけ (3)～(19)の処理を繰り返す			(2) 本紙へ	
(3) 新明細番号が入力されているか？ (YES, NO)		／		
YES	(4) 新明細番号≦中間ファイル（身分事項）の明細件数であるか？(YES, NO)	／		
YES	(5) → (8) へ	／		
NO	(6) エラーメッセージ 「入力された明細番号が身分事項件数を超えています。」		(7) 本紙へ	
(8) 該当者は『戸籍に入籍する者』か『戸籍に変動のない者』か？		／		：中間ファイル（仮戸籍）の個人特定情報／管理で判断する
入籍	(9) → (16)へ	／		
変動なし	(10)既存の記録（従前からある記録）の明細の明細番号を新明細番号としているか？	／		戸籍に変動ない者の既存の記録（従前からある記録）の並べ替えは不可
YES	(11)エラーメッセージ 「入力された明細番号は既存の記録ですので，並べ替えできません。」		(12)本紙へ	
NO	(13) → (16)へ	／		
NO	(14)明細番号を新明細番号に転送する	／		新明細番号が入力されていない場合も，中間ファイル（身分事項）の並べ替えは，新明細番号を基に行うため，同一番号を設定する
	(15) → (11)へ	／		
(16)新明細番号は重複しているか？ (YES, NO)		／		
YES	(17)エラーメッセージ 「入力されている明細番号が重複しています。」		(18)本紙へ	チェック済［(3)～(15)］の新明細番号のすべてと比較し，判断する
NO	(19)→	／		

70510

第7.2.(10)

「決裁用帳票出力」処理

第2章（1）	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁用帳票出力処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 年 月 日	1	1／1

決裁処理において，戸籍の記載確認を行うための補助資料出力処理であり，仮戸籍表示と同様に『受理』の届のもののみが，出力対象である。
この処理は，単独での処理の形態をとらず，他の処理の中で出力処理を行う。

1．出力様式

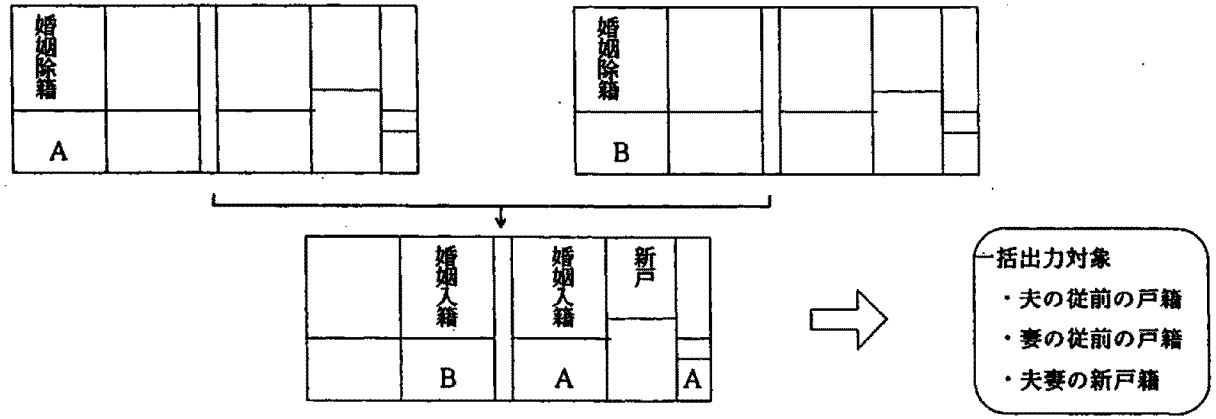
様式は，「全部事項証明」に準じる。

但し，表題を「決裁用帳票」とし，認証文・認印の出力は行わない。又，記録事項は，訂正事項も含め，すべて出力させる。

2．出力対象

異動を伴う戸籍（記載のみも含む）すべてを一括出力する。又，各戸籍別にも選択できるようにする。

例示）夫(A)及び妻(B)となる者が，本籍人である婚姻で，夫の氏を称して新戸籍を管内に編製する場合



3．出力処理業務

運用に依存される処理のため，次の３つの処理で出力可能とする。（出力及び出力後の取扱いには，細心の注意を要する。）

（1）処分決定処理 ‥ 処分決定(「受理」)後で，出力可。移記処理を要しない事件等。

（2）移記処理 …… 移記前後で，出力可。

（3）決裁処理 …… 決裁前で，出力可。